

子ども・子育て支援についてのアンケート調査・
お子さんの放課後の過ごし方についてのアンケート調査・
子どもの権利についてのアンケート調査（子ども用・保護者用）
結果報告書

令和6年3月

岩 倉 市

目次

第1部 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査の対象者	1
3. 調査票の配布・回収状況	2
4. 調査方法	2
5. 調査期間	3
6. 図表の見方等の注意点	3

第2部 子ども・子育て支援についてのアンケート調査

1. 子どもと家族の状況について	4
(1) 小学校区	4
(2) 子どもの年齢	5
(3) 回答者	6
(4) 家族の状況	6
(5) 主に子育てをしている人	7
2. 子どもの育ちをめぐる環境について	8
(1) 子どもをみてもらえる人	8
(2) 子育てで不安に感じる事	11
(3) 子育てで孤立感を感じる事	12
(4) 子育てで大変と感じる事	13
(5) 子育てに関する相談先	15
(6) 暮らし向き	17
3. 保護者の就労状況について	18
(1) 母親の就労状況	18
(2) 未就労の母親の就労希望	27
(3) 父親の就労状況	30
(4) 未就労の父親の就労希望	35
4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況等について	36
5. 子どもの病気の際の対応について	56
6. 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について	60
7. 地域の子育て支援事業の利用状況と利用希望について	63
8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	65
9. 小学校入学後の放課後の過ごし方について	69
10. 育児休業など職場の両立支援制度について	72

第3部 お子さんの放課後の過ごし方についてのアンケート調査

1. 子どもや家族について	79
---------------	----

(1) 子どもの学年	79
(2) 回答者の子どもの人数	79
(3) 小学校区	80
(4) 回答者	80
(5) 家族の状況	81
(6) 放課後の保護者の状況	82
(7) 主に子育てをしている人	83
(8) 子育てに関する相談先	84
2. 平日の放課後の過ごし方について	85
3. 放課後児童クラブの利用状況と利用希望等について	88
(1) 利用状況	88
(2) 利用希望	94
4. 放課後子ども教室の利用状況と今後の利用希望について	103
(1) 利用状況	103
(2) 利用希望	105

第4部 子どもの権利についてのアンケート調査（子ども用）

1. 回答者の学年について	115
2. 日ごろの生活や過ごし方について	116
(1) 平日の放課後の過ごし方	116
(2) 自由な時間の過ごし方	117
(3) ほっとできる場所	121
(4) 休日の過ごし方	122
3. 友だちについて	123
(1) 仲のよい友だち	123
(2) 友だちとの話題	124
4. あなた自身が感じること	125
(1) 生活全般	125
(2) 学校生活	126
(3) 自分のことが好きか	127
(4) 積極的に挑戦できるか	128
(5) 食事	129
(6) 悩みや困りごと	129
(7) 相談相手	130
(8) 他の人からされて嫌な思いをしたこと	131
(9) 傷つけられた経験	132
(10) 他の人を傷つけた経験	133
(11) 経済的な生活レベル	134
5. 子どもの権利・参加について	135

(1) 岩倉市子ども条例の認知度	135
(2) 守られていない、満たされていない子どもの権利	136
(3) 子ども自身が決めたいこと	139
6. 岩倉のまちづくりへの参加について	140
(1) まちづくりへの参加の方法	140
(2) 学校や地域の活動への参加希望	140
7. ヤングケアラーについて	142
(1) ヤングケアラーの言葉の認知度	142
(2) 世話の対象者	142
(3) 世話の内容	143
(4) 世話をしていることでの影響	144
8. 児童館・地域交流センターについて	145
(1) 児童館・地域交流センターの利用経験	145
(2) 行きたい児童館・地域交流センター	146

第5部 子どもの権利についてのアンケート調査（保護者用）

1. 回答者の属性について	147
2. 子どもの権利について	147
(1) 岩倉市子ども条例の認知度	147
(2) 守られていない、満たされていない子どもの権利	148
3. 岩倉のまちづくりへの参加について	150
4. 子どものことについて	151
(1) 子ども自身は自分が好きだと思うか	151
(2) 期待する子どもの居場所	151
(3) 子どもとの関わり	152
5. あなた自身について	157
(1) 子育てをしていて良かったと感じたこと	157
(2) 暮らし向き	158

資料編

自由回答まとめ	159
調査依頼文・調査票	163

第1部 調査の概要

1. 調査の目的

岩倉市では、平成20年に「岩倉市子ども条例」を制定し、平成24年度には「岩倉市子ども行動計画」を策定するなど、子どもの権利を大切に、子どもが安心して暮らすことができるまちづくりを推進しています。

また、令和元年度には、令和2年度から令和6年度までを計画期間とする「第2期岩倉市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、この計画に基づいて子育て支援のための施策を実施しており、現在、第3期計画の策定に向けた準備を進めています。

また、第3期計画の策定にあたり、これまで別計画として策定していた、子どもの権利を保障する施策の方向を示す「岩倉市子ども行動計画」と一体の計画として策定することとしました。

子ども・子育て支援についてのアンケート調査及びお子さんの放課後の過ごし方についてのアンケート調査は、市民の皆さまの幼児期の学校教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」などを把握し、第3期計画を策定するにあたっての基礎資料とします。

また、子どもの権利についてのアンケート調査は、子ども自身とその保護者を対象に、生活の実態や意識についてお聞きし、次期岩倉市子ども行動計画を策定するにあたっての基礎資料とします。

2. 調査の対象者

調査票の種類	対象者
ア. 子ども・子育て支援についてのアンケート調査	未就学児の保護者
イ. お子さんの放課後の過ごし方についてのアンケート調査	小学1～5年生の保護者
ウ. 子どもの権利についてのアンケート調査(子ども用)	小学4年生 中学2年生 高校2年生にあたる年齢の子ども
エ. 子どもの権利についてのアンケート調査(保護者用)	小学4年生の保護者 中学2年生の保護者 高校2年生にあたる年齢の子どもの保護者

3. 調査票の配布・回収状況

調査票の種類	配布数	有効回答数	有効回収率
ア. 子ども・子育て支援についてのアンケート調査	1,856	1,046	56.4%
うち外国籍市民向け 【日本語ふりがな付き(一部ポルトガル語版を含む。)]	144	41	28.5%
イ. お子さんの放課後の過ごし方についてのアンケート調査	1,924	923	48.0%
うち外国籍市民向け 【日本語ふりがな付き(一部ポルトガル語版を含む。)]	103	18	17.5%
ウ. 子どもの権利についてのアンケート調査(子ども用)	1,158	633	54.7%
うち外国籍市民向け 【ポルトガル語版】	24	2	8.3%
エ. 子どもの権利についてのアンケート調査(保護者用)	1,158	510	44.0%
うち外国籍市民向け 【日本語ふりがな付き(一部ポルトガル語版を含む。)]	59	10	16.9%

外国籍の子どもの保護者には、外国籍市民向け調査票（日本語ふりがな付き調査票（一部ポルトガル語版を含む。))を配布・送付しました。また、子どもの権利についてのアンケート調査（子ども用）については、小・中学校の先生のサポートを受けながらの回答を依頼したため、外国籍市民向け調査票は、ポルトガル語版のみとし、母国語がポルトガル語以外の子どもには、通常の調査票（日本人市民向け調査票）を配布しました。

なお、子ども・子育て支援についてのアンケート調査の外国籍市民向け調査票については、回答における負担等に配慮し、設問内容を一部簡略化し、回答しやすくしています。このため、子ども・子育て支援についてのアンケート調査の回答にあたり、当該調査票を用いて回答した場合、通常の調査票と設問構成等が一部異なることから、別集計としています。

4. 調査方法

市内の小・中学校、保育園及び幼稚園等を通じて、調査の案内文を配布し、案内文にある二次元コードからWEBでの回答を依頼しました。

なお、未就園児、市外へ通園している子どもの保護者及び高校2年生にあたる年齢の子どもとその保護者には、案内文を郵送により配布しました。

WEBでの回答ができない場合は、調査票を郵送し、郵送での回収を行いました。

5. 調査期間

令和5年11月20日から12月11日にかけて実施しました。

6. 図表の見方等の注意点

【共通】

- ・構成比(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入して算出した数値であるため、合計が100.0%にならない場合があります。
- ・年齢、学年別の集計では、年齢、学年の回答がなく分類できない場合、全体の回答数(n)と各項目の回答数(n)の合計は一致しません。
- ・複数回答の場合、各項目の比率の合計は100.0%を超えることがあります。
- ・図表の見出し及び文章中の選択肢の表現については、趣旨が変わらない程度で省略している場合があります。
- ・集計結果は特記しない限り「回答なし」を含みますが、時間及び日数の希望等については、「回答なし」を除いて算出しています。
- ・保護者対象の調査については、子どもの属性で分類しています。
- ・「前回調査」とは、「第2期岩倉市子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和2年度～令和6年度）」を策定するために、平成30年11月に実施した「子ども・子育て支援についてのアンケート調査」（未就学児の保護者対象）、「お子さんの放課後の過ごし方についてのアンケート調査」（小学1～5年生の保護者対象）の調査結果を指します。

【子ども・子育て支援についてのアンケート調査】

- ・通常の調査票（日本人市民向け調査票）で回答があったものを「日本人」、外国籍市民向け調査票で回答があったものを「外国籍」と表記しています。
- ・P38～P52の事業の利用状況については、回答をそのまま掲載しているため、実際の事業の利用可能日数・時間等とは異なっています。

【子どもの権利についてのアンケート調査（子ども用・保護者用）】

- ・子どもの学年は、小学4年生を「小学生」、中学2年生を「中学生」、高校2年にあたる年齢の子どもを「高校生」と表記しています。
- ・小学4年生、中学2年生、高校2年にあたる年齢の子どもの比較を、学年別と表記しています。

第2部 子ども・子育て支援についてのアンケート調査

1. 子どもと家族の状況について

(1) 小学校区

問1 お住まいの地区を教えてください。(単数回答)

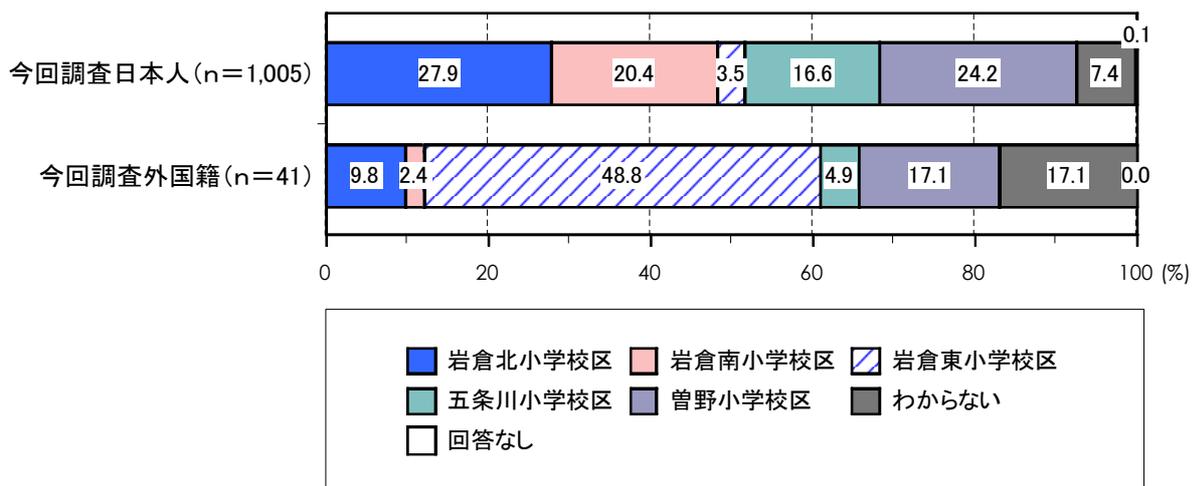
【日本人】

- 「岩倉北小学校区」が27.9%と最も高く、「曾野小学校区」が24.2%、「岩倉南小学校区」が20.4%と続いています。

【外国籍】

- 「岩倉東小学校区」が48.8%と半数近くを占め、「曾野小学校区」が17.1%、「岩倉北小学校区」が9.8%と続いています。

図表 2 - 1 小学校区



(2) 子どもの年齢

問2 すべての就学前（小学生未満）のお子さん（宛名のお子さんを含む）の生年月をご記入ください。

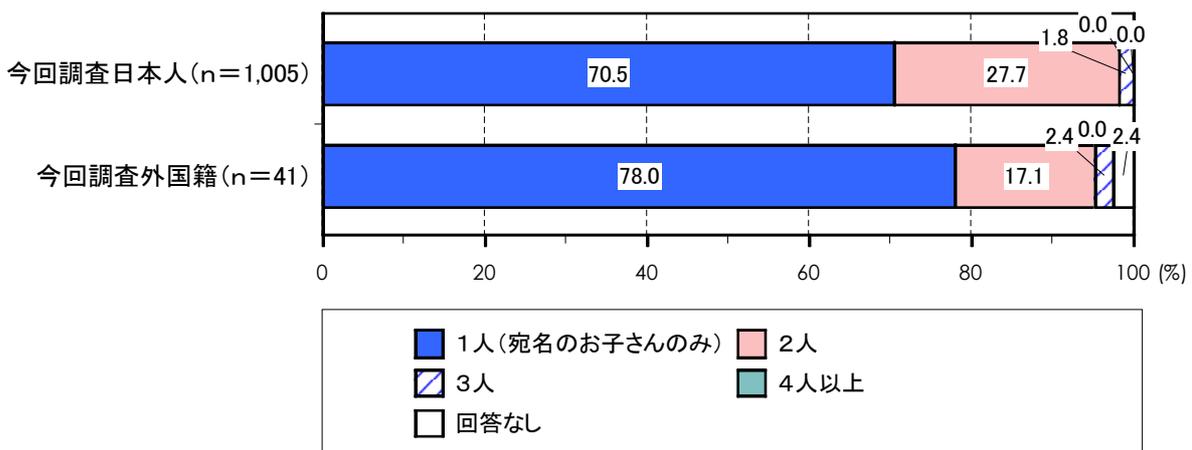
【日本人】

- 就学前の子どもの人数は、「1人」が70.5%、「2人」が27.7%、「3人」が1.8%となっています。
- 子どもの年齢は、「0歳児」が23.7%と最も高く、「5歳児」が16.4%、「3歳児」が16.2%と続いています。

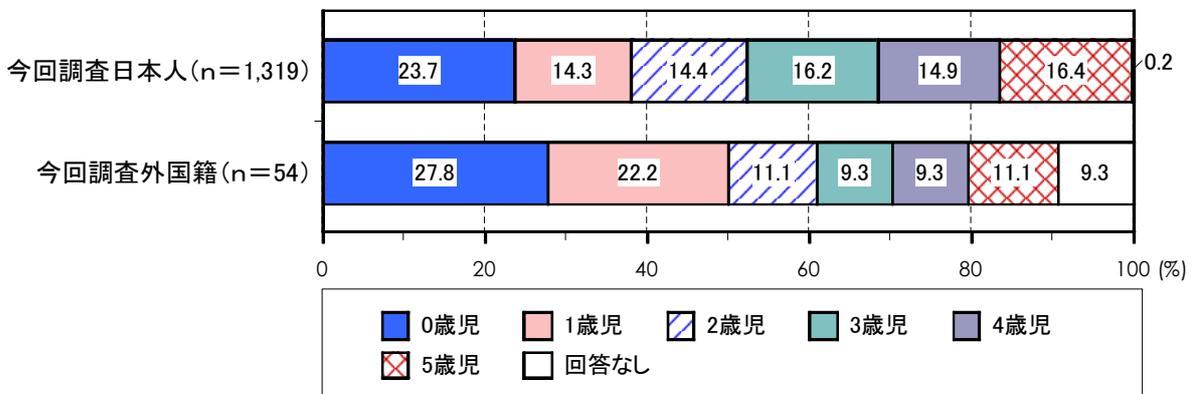
【外国籍】

- 就学前の子どもの人数は、「1人」が78.0%、「2人」が17.1%、「3人」が2.4%となっています。
- 子どもの年齢は、「0歳児」が27.8%と最も高く、「1歳児」が22.2%、「2歳児」、「5歳児」が11.1%と続いています。

図表 2 - 2 就学前の子どもの人数



図表 2 - 3 就学前の子どもの年齢



(3) 回答者

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(単数回答)

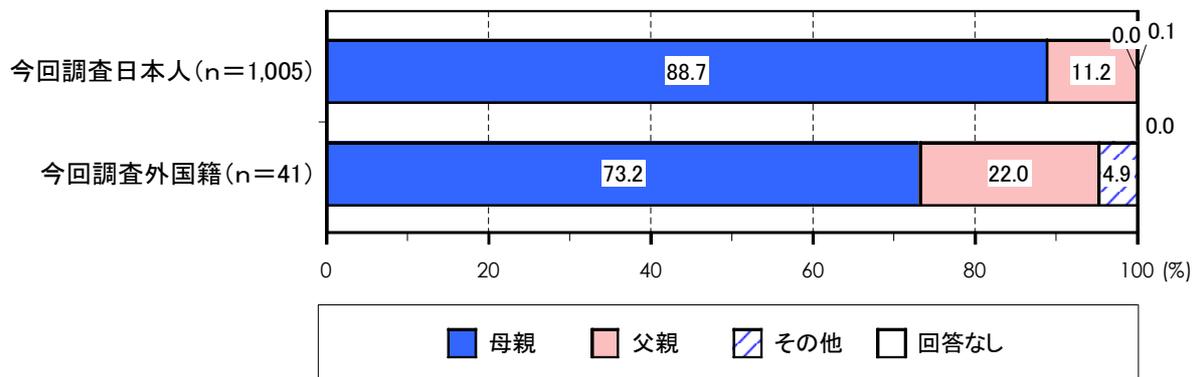
【日本人】

- 「母親」が88.7%、「父親」が11.2%です。

【外国籍】

- 「母親」が73.2%、「父親」が22.0%、「その他」が4.9%です。

図表 2 - 4 回答者



(4) 家族の状況

問4 宛名のお子さんの母親または父親に配偶者はいますか。(単数回答)

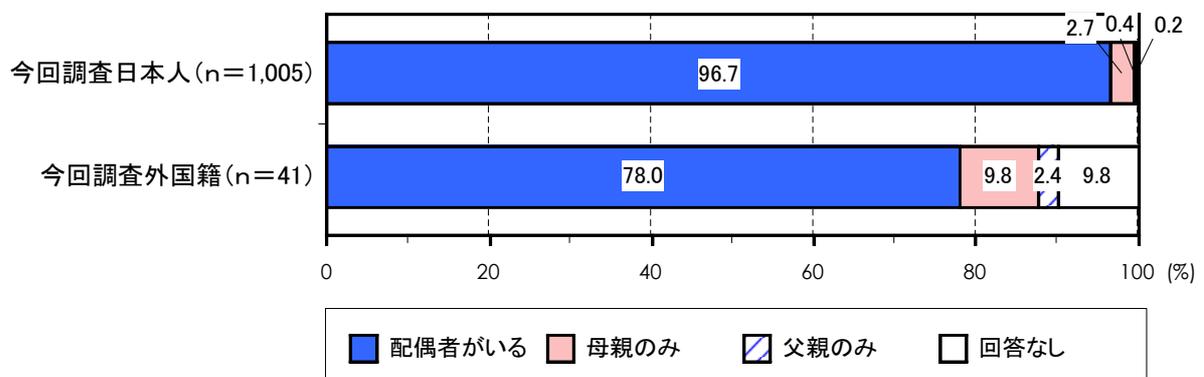
【日本人】

- 「配偶者がいる」が96.7%、「母親のみ」が2.7%、「父親のみ」が0.4%です。

【外国籍】

- 「配偶者がいる」が78.0%、「母親のみ」が9.8%、「父親のみ」が2.4%です。

図表 2 - 5 家族の状況



(5) 主に子育てをしている人

問5 宛名のお子さんの子育て（日常的な身の回りの世話や教育など）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。（単数回答）

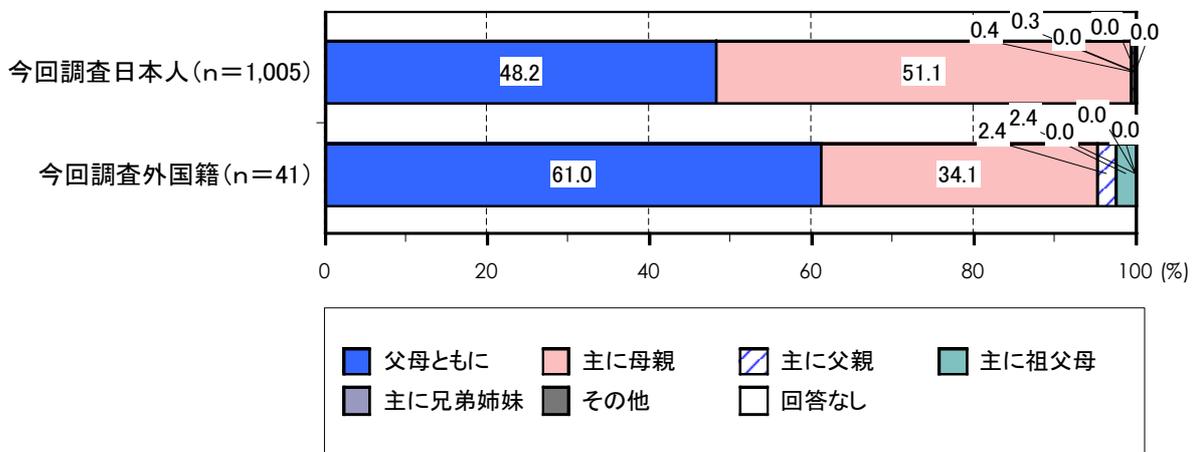
【日本人】

- 「主に母親」が51.1%、「父母ともに」が48.2%、「主に父親」が0.4%です。
- 前回調査と比較すると、「父母ともに」は前回から9.5ポイント高くなっています。

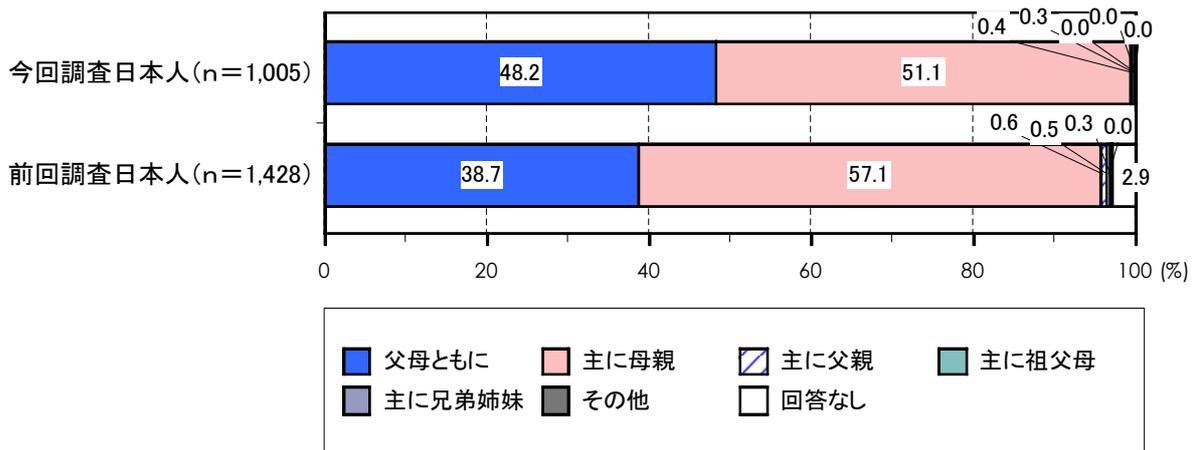
【外国籍】

- 「父母ともに」が61.0%、「主に母親」が34.1%、「主に父親」、「主に祖父母」が2.4%です。

図表 2 - 6 主に子育てをしている人



図表 2 - 7 主に子育てをしている人（日本人・前回調査との比較）



2. 子どもの育ちをめぐる環境について

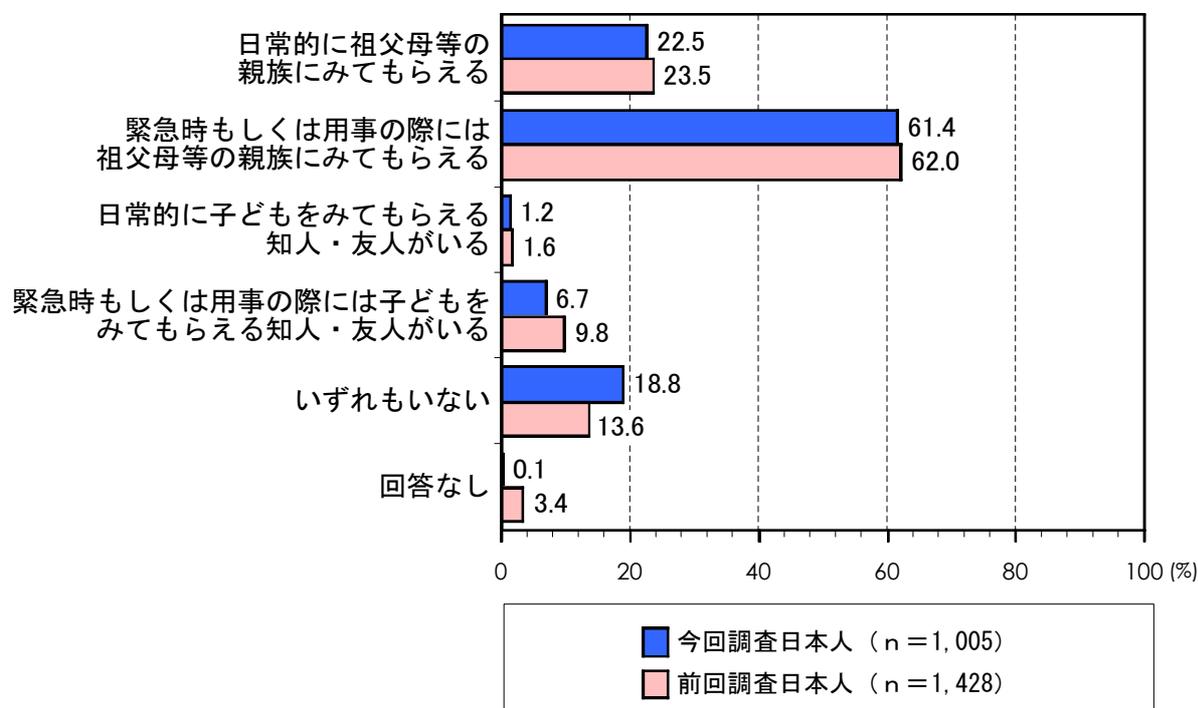
(1) 子どもをみてもらえる人

問6 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。お子さんからみた関係でお答えください。(複数回答)

【日本人】

- 「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.4%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が22.5%、「いずれもない」が18.8%です。
- 前回調査と比較すると、「いずれもない」が5.2ポイント高くなっています。

図表 2 - 8 子どもをみてもらえる人 (日本人・前回調査との比較)



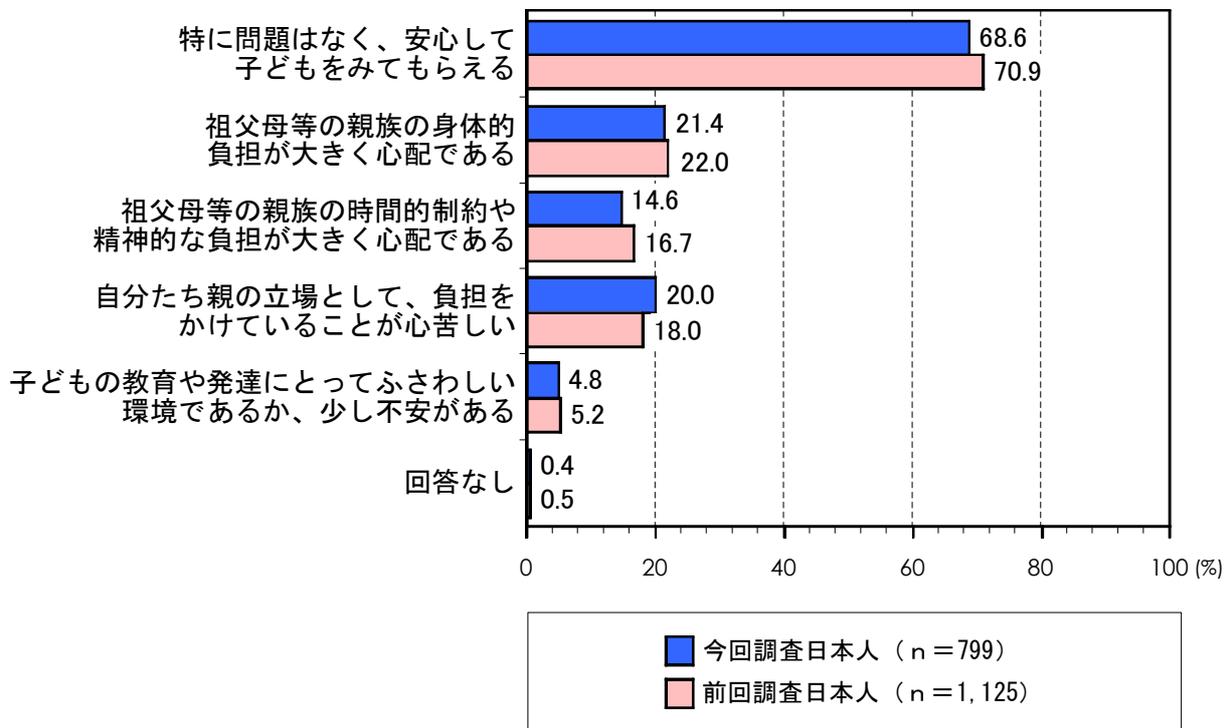
【問6で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」と回答した方のみ対象】

問6-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(複数回答)

【日本人】

- 「特に問題はなく、安心して子どもをみてもらえる」が68.6%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が21.4%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が20.0%です。
- 前回調査と比較すると、傾向に大きな違いはありません。

図表 2 - 9 親族に子どもを見てもらえる状況（日本人・前回調査との比較）

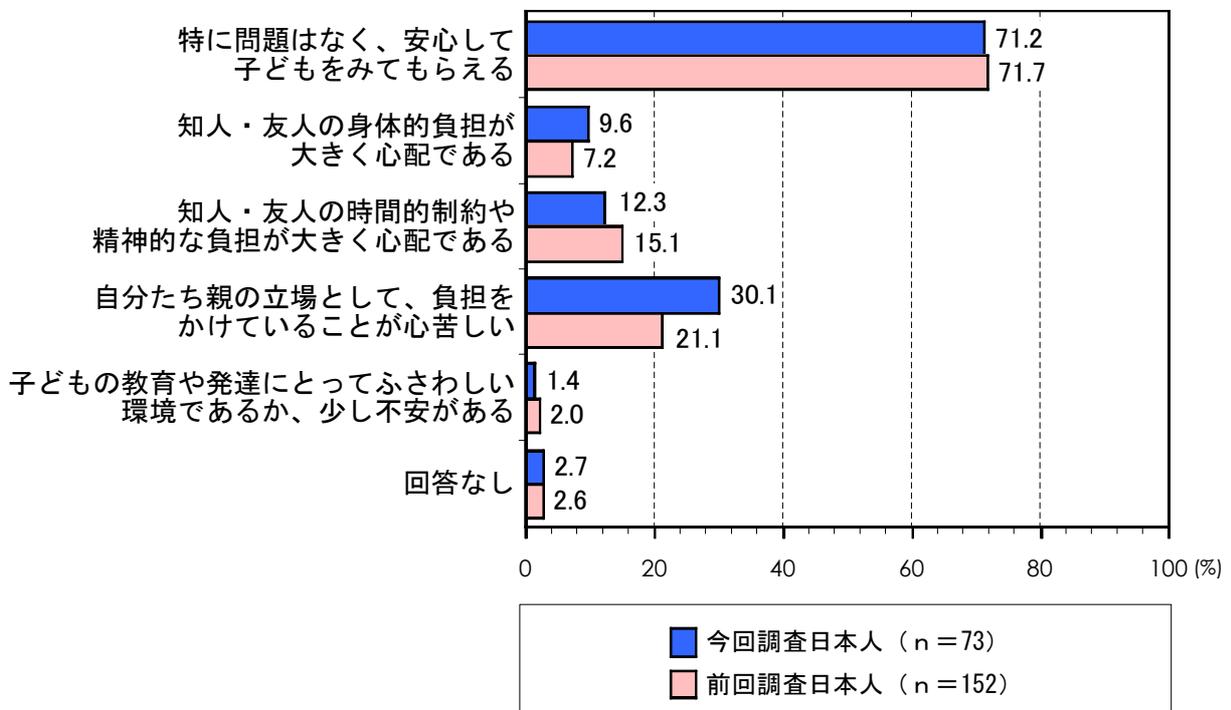


【問6で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」と回答した方のみ対象】
 問6-2 知人・友人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
 (複数回答)

【日本人】

- 「特に問題はなく、安心して子どもをみてもらえる」が71.2%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が30.1%、「知人・友人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が12.3%です。
- 前回調査と比較すると、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が9.0ポイント高くなっています。

図表 2 - 10 友人・知人に子どもを見てもらえる状況 (日本人・前回調査との比較)



(2) 子育てで不安に感じること

問7 子育てに関して、不安を感じることはありますか。(単数回答)

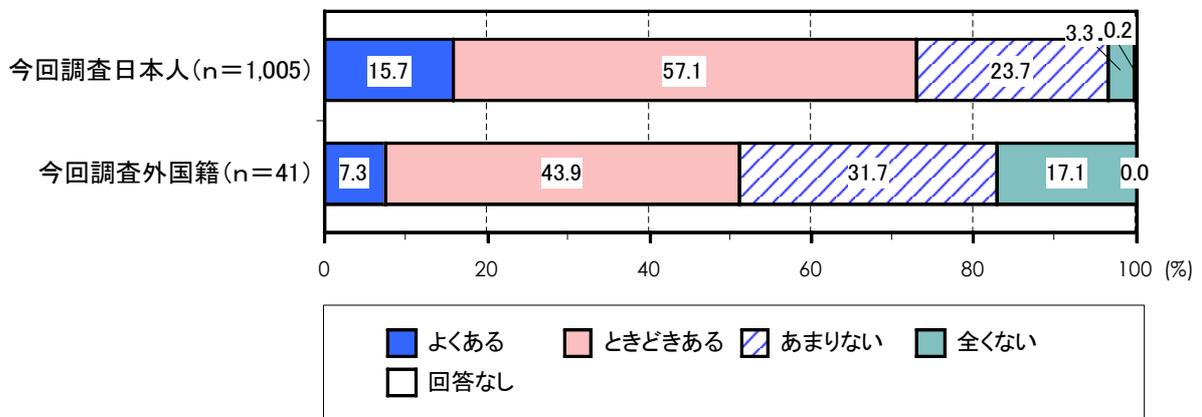
【日本人】

- 「ときどきある」が57.1%、「あまりない」が23.7%、「よくある」が15.7%です。
- 子どもの年齢別では、「よくある」と「ときどきある」をあわせた割合は、0歳児で最も高く77.4%となっています。

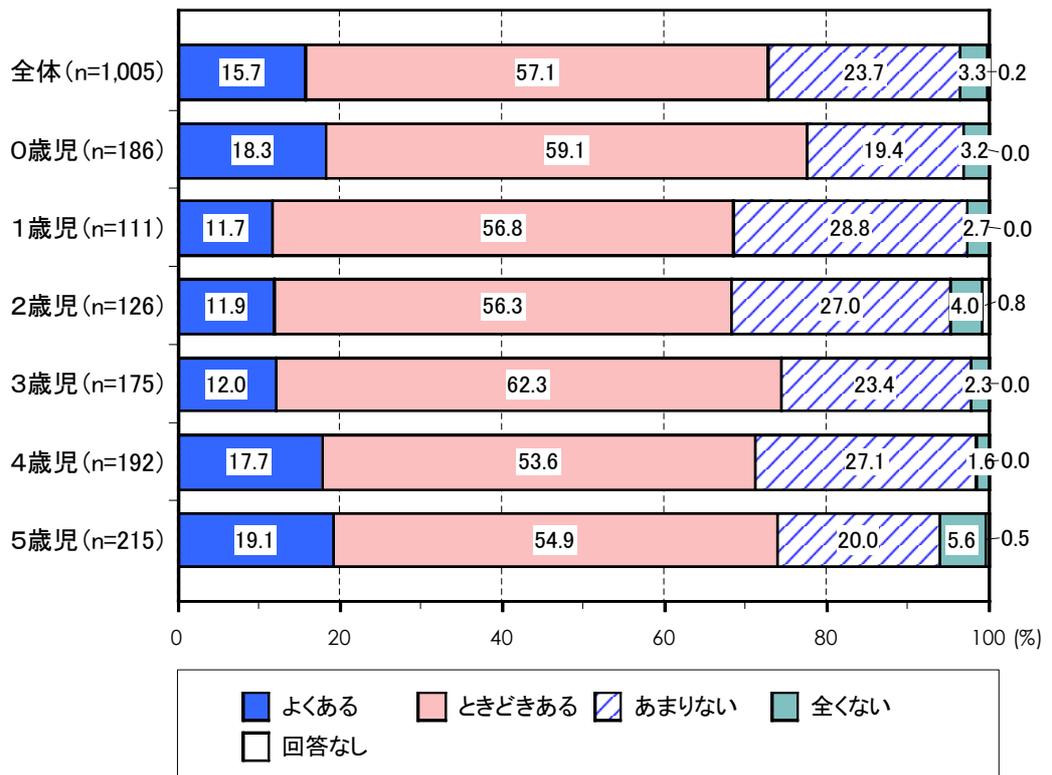
【外国籍】

- 「ときどきある」が43.9%、「あまりない」が31.7%、「全くない」が17.1%です。

図表 2 - 11 子育てで不安に感じること



図表 2 - 12 子育てで不安に感じること (日本人・年齢別)



(3) 子育てで孤立感を感じること

問8 子育てをしていて、孤独感や孤立感を感じることはありますか。(単数回答)

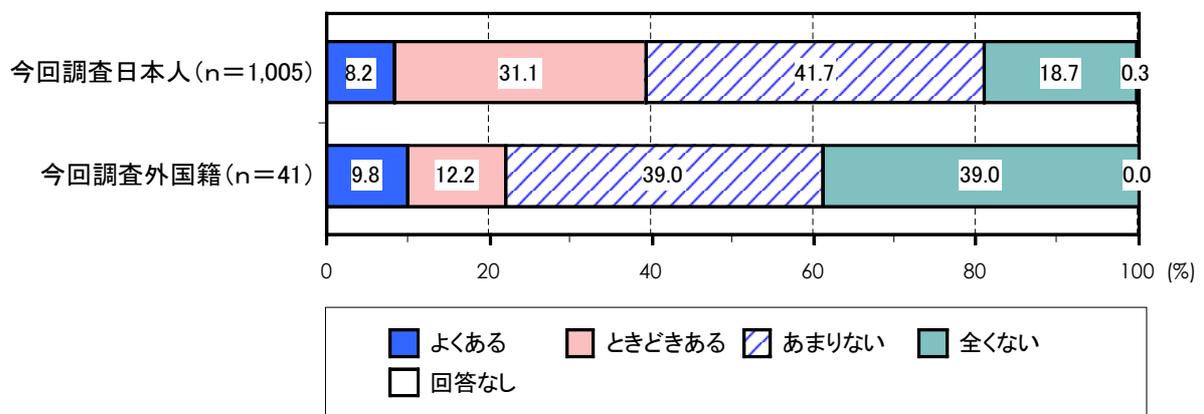
【日本人】

- 「あまりない」が41.7%、「ときどきある」が31.1%、「全くない」が18.7%です。
- 子どもの年齢別では、「よくある」と「ときどきある」をあわせた割合は、0歳児で最も高く45.1%となっています。

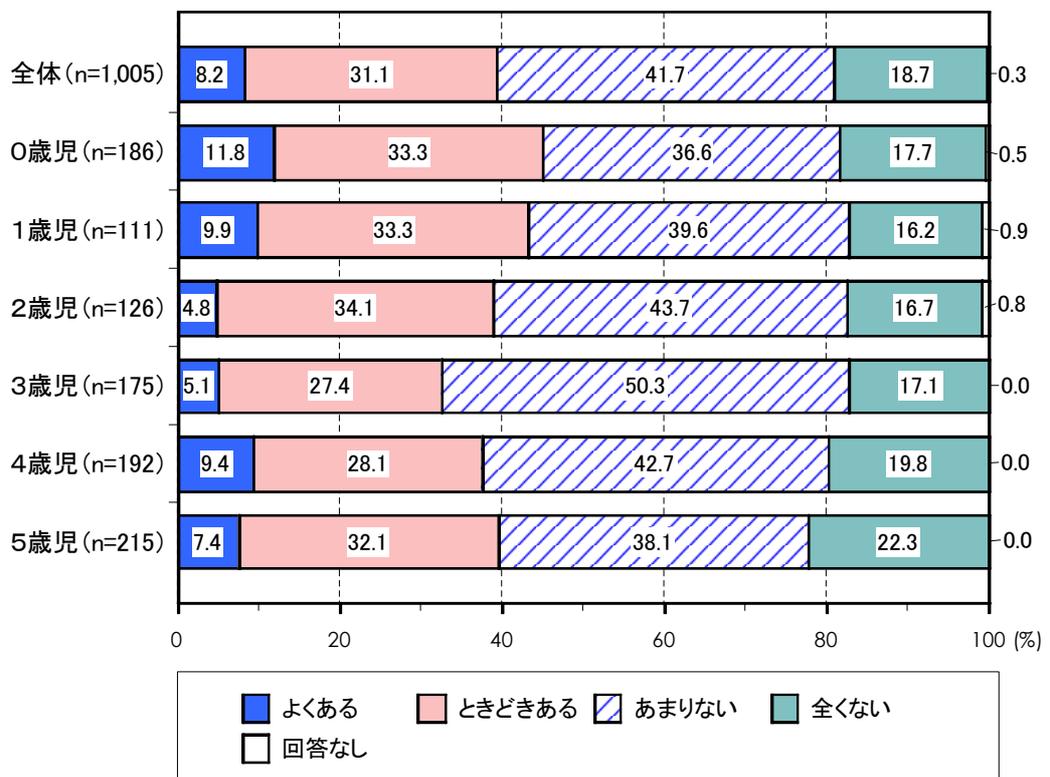
【外国籍】

- 「あまりない」、「全くない」が39.0%、「ときどきある」が12.2%です。

図表 2 - 13 子育てで孤立感を感じること



図表 2 - 14 子育てで孤立感を感じること (日本人・年齢別)



(4) 子育てで大変と感じること

問9 子育てに関して、大変だと感じることはありますか。また、大変だと感じることはどんなことですか。(複数回答)

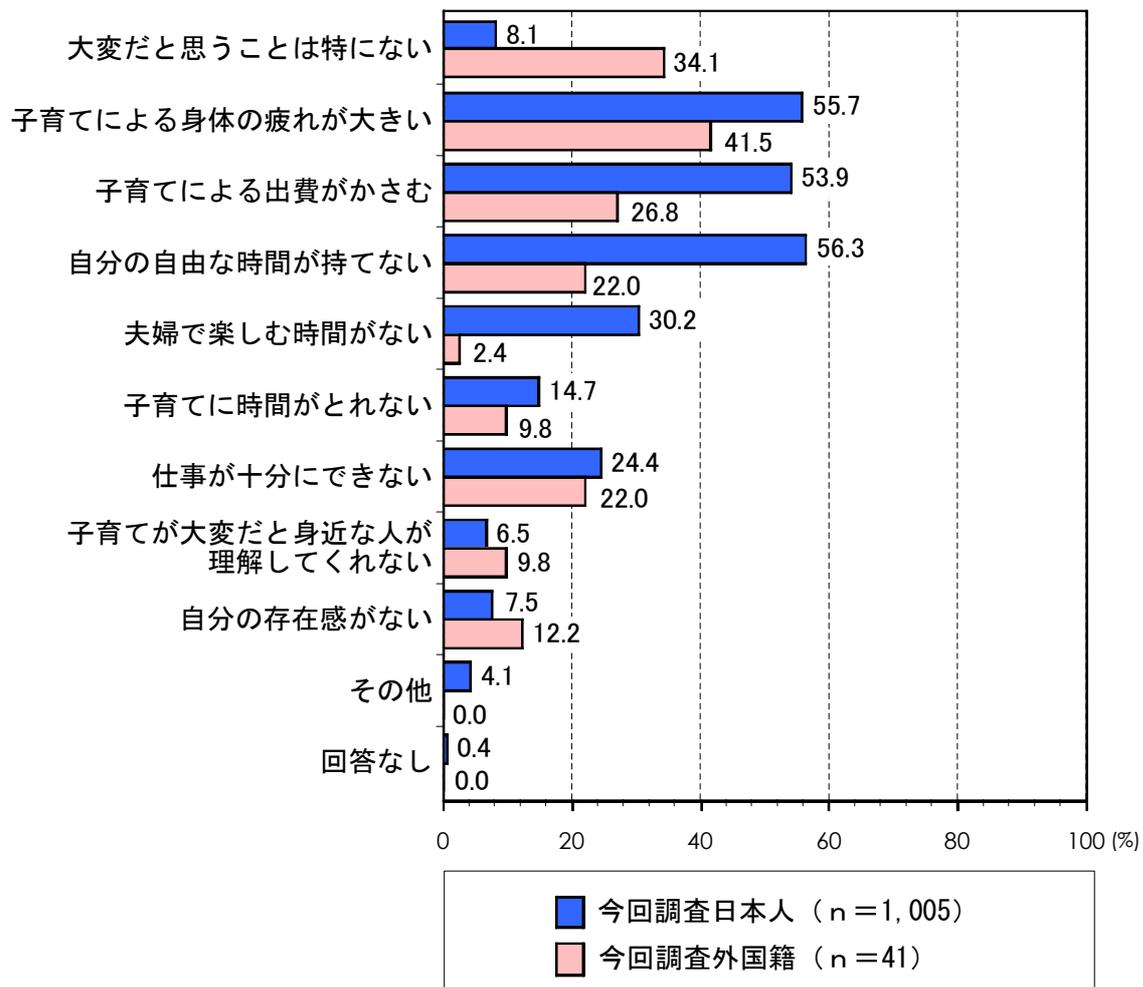
【日本人】

- 「自分の自由な時間が持てない」が56.3%、「子育てによる身体の疲れが大きい」が55.7%、「子育てによる出費がかさむ」が53.9%です。
- 前回調査と比較すると、ほとんどの項目で、前回よりも大変と感じる割合が高くなっています。特に、「子育てによる出費がかさむ」は13.3ポイント高くなっています。
- 子どもの年齢別にみると、各年齢とも上位3つの項目は同じですが、0歳児、4歳児は「子育てによる身体の疲れが大きい」、1歳児、3歳児は「自分の自由な時間が持てない」、2歳児は「子育てによる身体の疲れが大きい」「自分の自由な時間が持てない」、5歳児は「子育てによる出費がかさむ」が最も高くなっています。

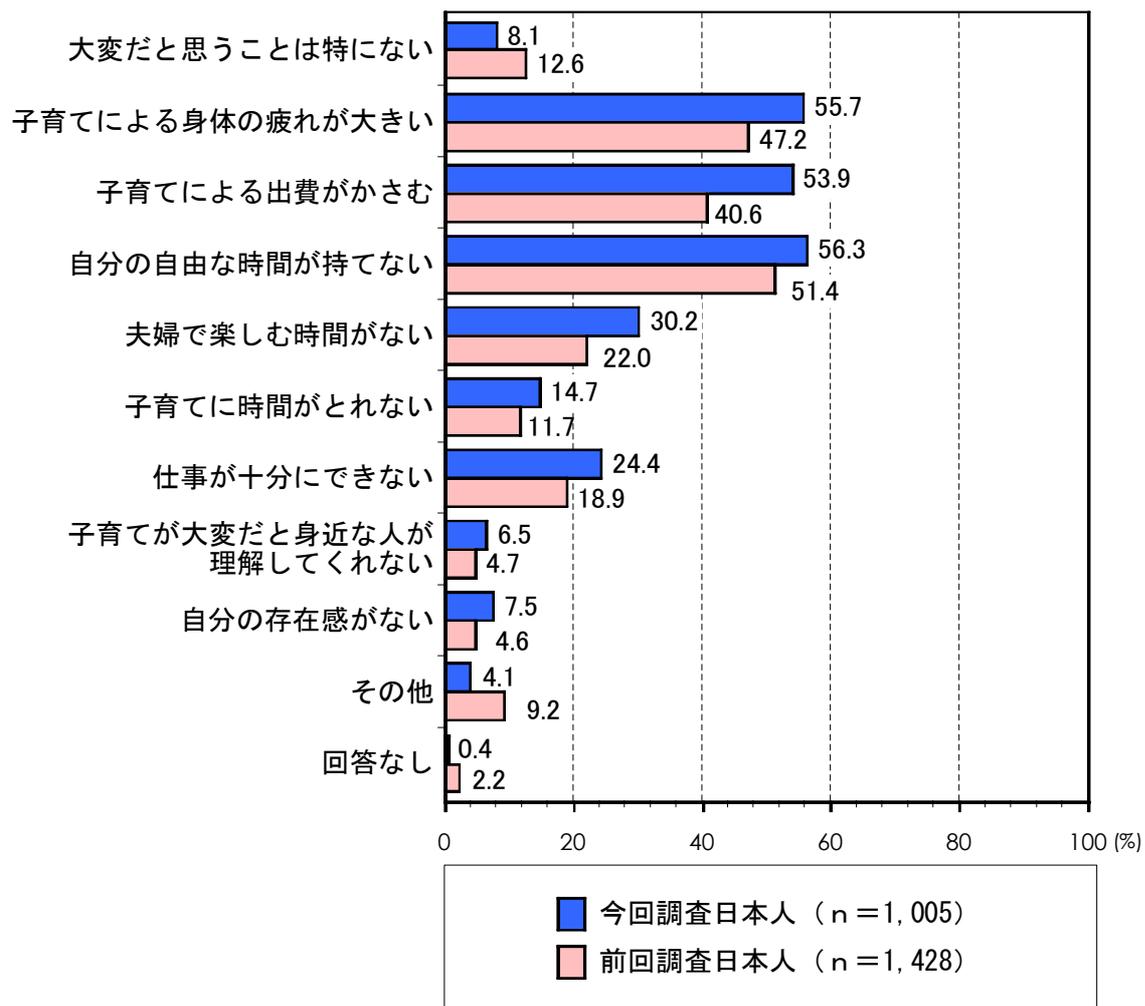
【外国籍】

- 「子育てによる身体の疲れが大きい」が41.5%、「大変だと思うことは特にない」が34.1%、「子育てによる出費がかさむ」が26.8%です。

図表 2 - 15 子育てで大変と感じること



図表 2 - 16 子育てで大変と感じること（日本人・前回調査との比較）



図表 2 - 17 子育てで大変と感じること（日本人・年齢別）

	回答数 (n=)	大変だと思うことは特でない	子育てによる身体の疲れが大きい	子育てによる出費がかさむ	自分の自由な時間が持てない	夫婦で楽しむ時間がない	子育てに時間がとれない
全体	1,005	8.1	55.7	53.9	56.3	30.2	14.7
0歳児	186	11.3	65.6	58.6	56.5	32.8	6.5
1歳児	111	5.4	59.5	53.2	64.0	36.0	7.2
2歳児	126	4.0	57.9	48.4	57.9	28.6	18.3
3歳児	175	4.6	54.3	56.0	60.0	29.7	15.4
4歳児	192	12.5	55.2	49.0	52.1	32.3	18.2
5歳児	215	7.9	45.6	56.3	52.1	24.7	20.0

	回答数 (n=)	仕事が十分にできない	子育てが大変だと身近な人が理解してくれない	自分の存在感がない	その他	回答なし
全体	1,005	24.4	6.5	7.5	4.1	0.4
0歳児	186	17.2	5.4	7.5	2.2	0.5
1歳児	111	25.2	9.9	9.9	5.4	0.9
2歳児	126	24.6	7.9	3.2	3.2	0.8
3歳児	175	27.4	5.7	5.7	3.4	0.0
4歳児	192	25.0	5.2	9.9	4.7	0.0
5歳児	215	27.0	6.5	7.9	5.6	0.5

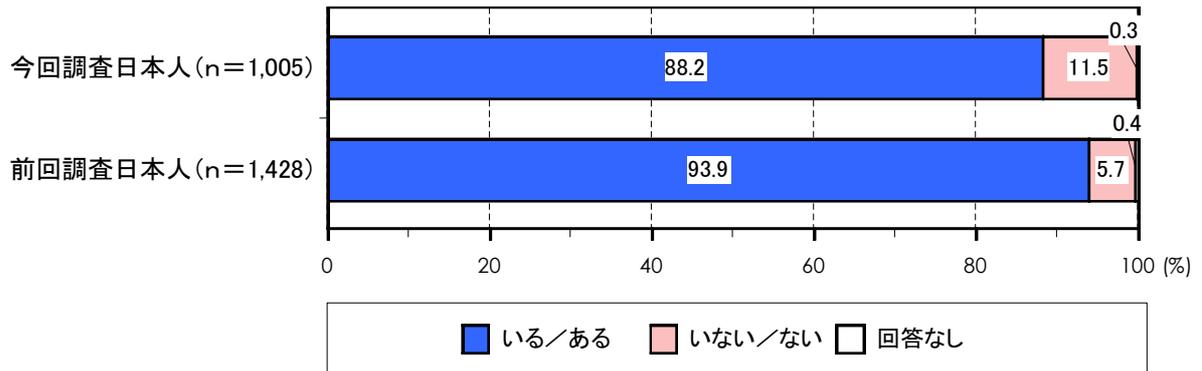
(5) 子育てに関する相談先

問10 子育てをする上で気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。(単数回答)

【日本人】

- 「いる／ある」が88.2%、「いない／ない」が11.5%です。
- 前回調査と比較すると、「いる／ある」がやや低くなっています。

図表 2 - 18 子育てに関する相談先 (日本人・前回調査との比較)



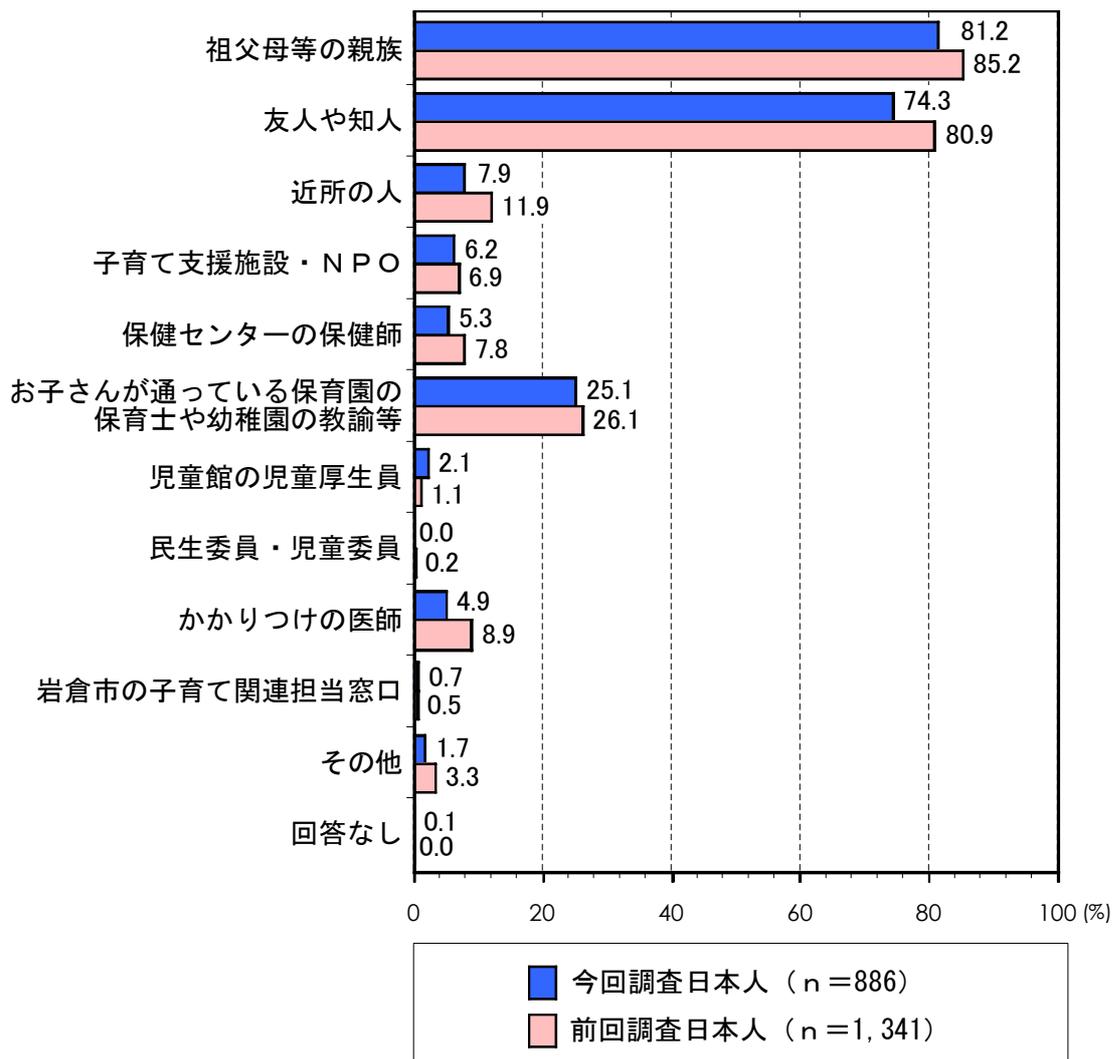
【問10で相談できる人や場所が「いる／ある」と回答した方のみ対象】

問10-1 子育てに関して気軽に相談できる先は誰（またはどこ）ですか。（複数回答）

【日本人】

- 「祖父母等の親族」が81.2%、「友人や知人」が74.3%、「お子さんが通っている保育園の保育士や幼稚園の教諭等」が25.1%です。
- 前回調査と比較すると、「友人や知人」が6.6ポイント、「祖父母等の親族」、「近所の人」、「かかりつけの医師」が4.0ポイント低くなっています。

図表 2 - 19 子育てに関して気軽に相談できる先（日本人・前回調査との比較）



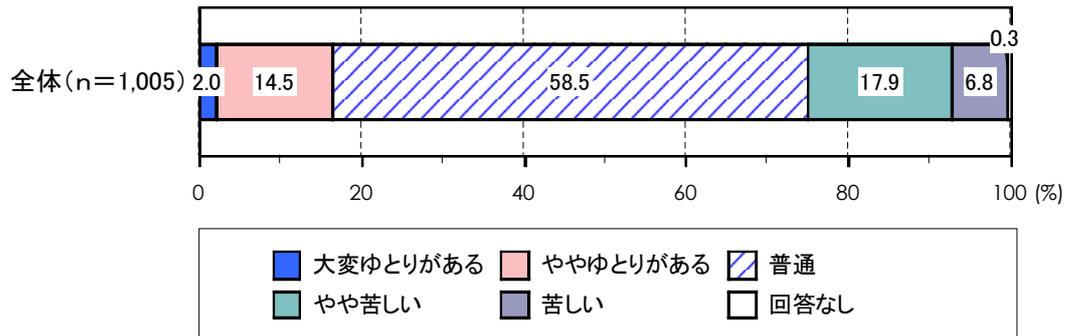
(6) 暮らし向き

問 11 あなたの世帯の現在の暮らし向きについて教えてください。(単数回答)

【日本人】

- 「大変ゆとりがある」2.0%、「ややゆとりがある」14.5%を合わせた“ゆとりがある”が16.5%、「苦しい」6.8%、「やや苦しい」17.9%を合わせた“苦しい”が24.7%です。「普通」が58.5%で最も高くなっています。

図表 2 - 20 世帯の暮らし向き (日本人)



3. 保護者の就労状況について

(1) 母親の就労状況

問12 宛名のお子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を教えてください。
（単数回答）

①就労の概況

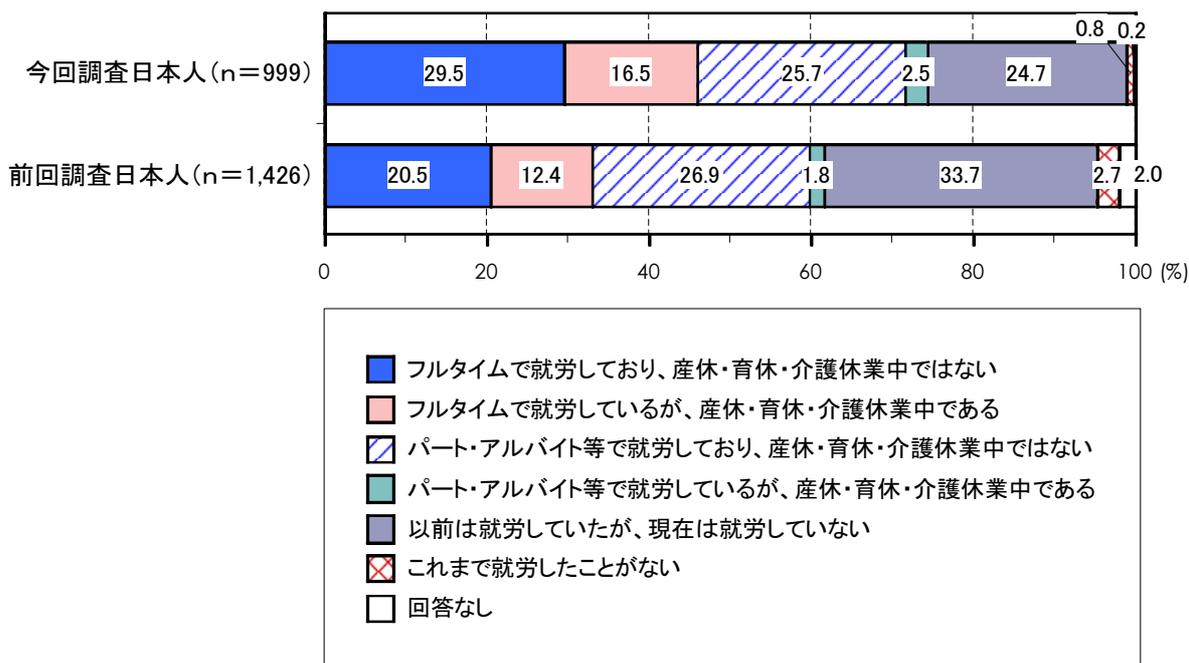
【日本人】

- 「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」29.5%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」16.5%を合わせた“フルタイム”が46.0%です。「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」25.7%、「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」2.5%を合わせた“パート・アルバイト”が28.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」24.7%、「これまで就労したことがない」0.8%を合わせた“家事専従”が25.5%です。
- 前回調査と比較すると、“フルタイム”が13.1ポイント高くなり、“家事専従”が10.9ポイント低くなっています。

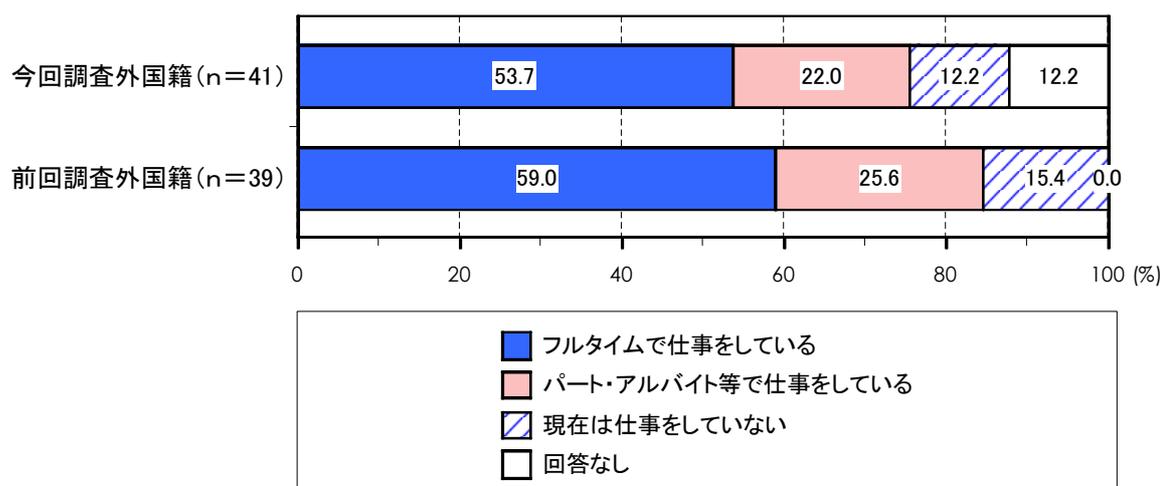
【外国籍】

- 「フルタイムで仕事をしている」が53.7%、「パート・アルバイト等で仕事をしている」が22.0%、「現在は仕事をしていない」が12.2%です。
- 前回調査と比較すると、傾向に大きな違いはありません。

図表 2 - 21 母親の就労状況（日本人・前回調査との比較）



図表 2 - 22 母親の就労状況（外国籍・前回調査との比較）



②フルタイムの母親の就労状況

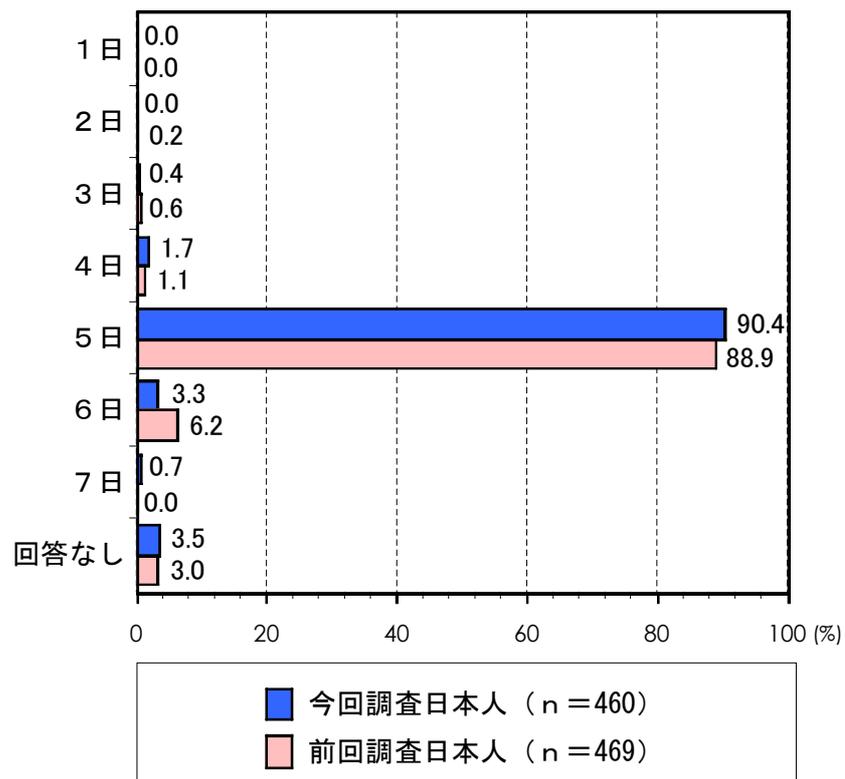
【日本人】

- 1週あたりの平均就労日数は、「5日」90.4%が最も高く、「6日」が3.3%です。
- 1日あたりの平均就労時間は、「8時間」41.1%が最も高く、「6時間」が21.1%、「7時間」が15.4%となっています。
- 働いている日の平均的な家を出る時間は、「7時」と「8時」が合わせて86.7%を占めています。
- 働いている日の平均的な帰宅時間は、「18時」38.9%が最も高く、「17時」23.9%、「19時」20.4%が続いています。
- 前回調査と比較すると、平均就労日数には傾向に大きな違いはありません。平均就労時間は、「6時間」が7.0ポイント高くなり、「8時間」が7.9ポイント低くなっています。

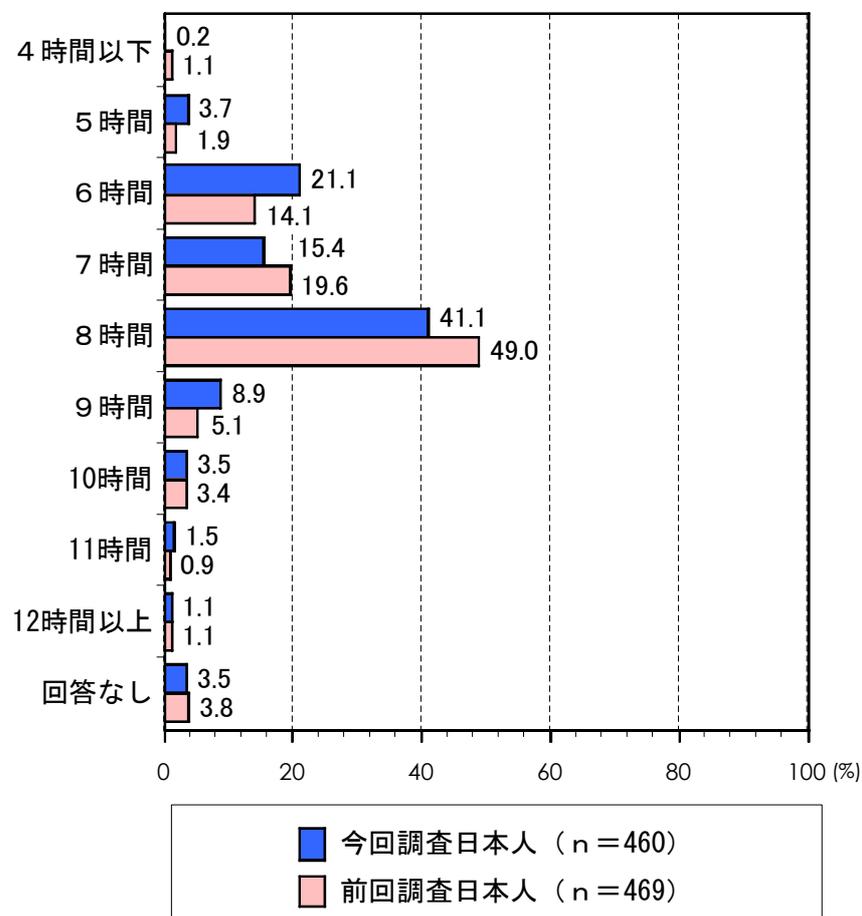
【外国籍】

- 1週あたりの平均就労日数は、「5日」77.3%が最も高く、「6日」が13.6%です。
- 1日あたりの平均就労時間は、「8時間」86.4%が最も高く、「4時間以下」、「7時間」、「10時間」がそれぞれ4.5%です。
- 働いている日の平均的な家を出る時間は、「7時」が50.0%、「8時」が13.6%、「6時より前」、「9時」、「11時～17時」、「19時以降」がそれぞれ9.1%です。
- 働いている日の平均的な帰宅時間は、「18時」が50.0%、「6時より前」、「17時」がそれぞれ13.6%です。
- 前回調査と比較すると、平均就労日数は、「4日」が9.1ポイント高くなっています。平均就労時間は、「7時間」が12.9ポイント低くなり、「8時間」が25.5ポイント高くなっています。

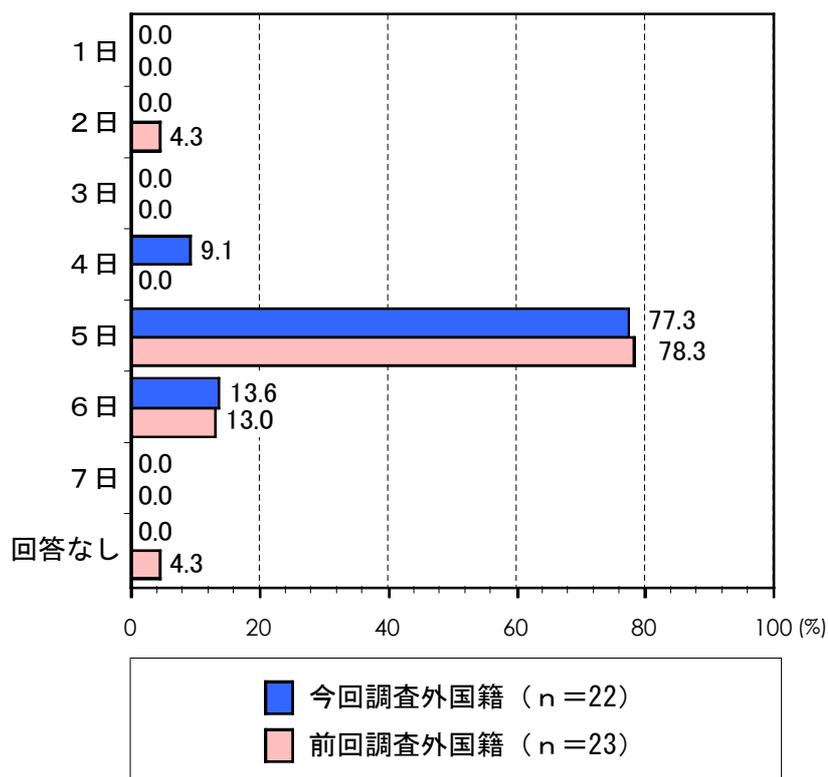
図表 2 - 23 1週あたりの平均就労日数（日本人・フルタイムの母親・前回調査との比較）



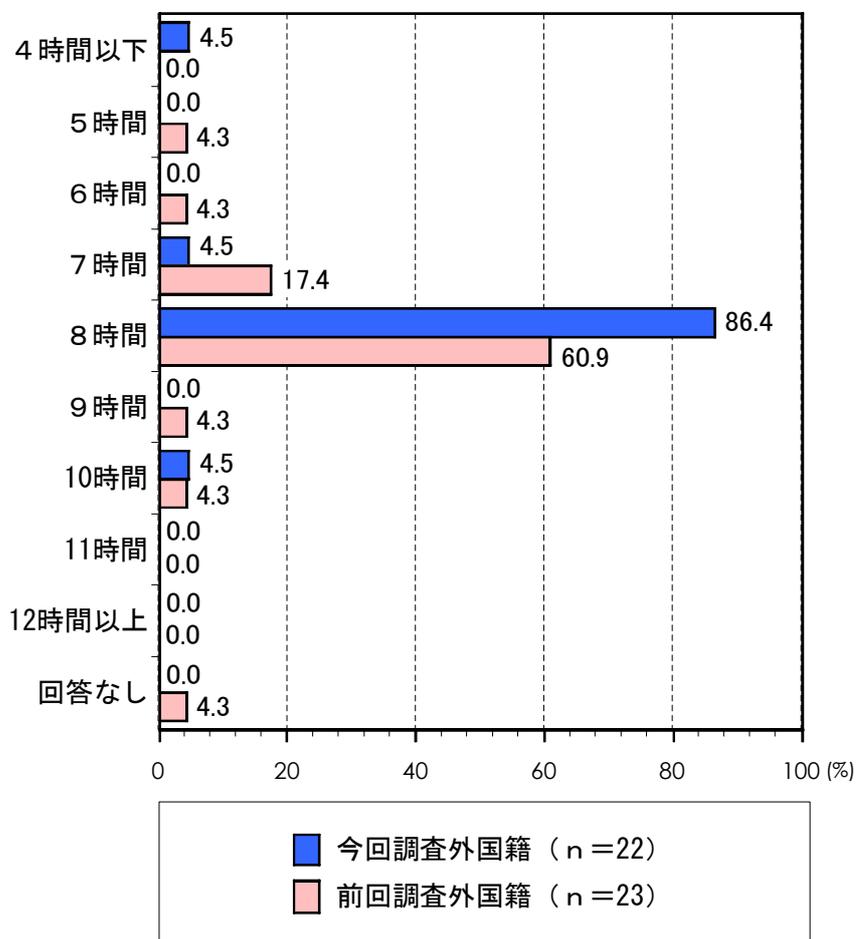
図表 2 - 24 1日あたりの平均就労時間（日本人・フルタイムの母親・前回調査との比較）



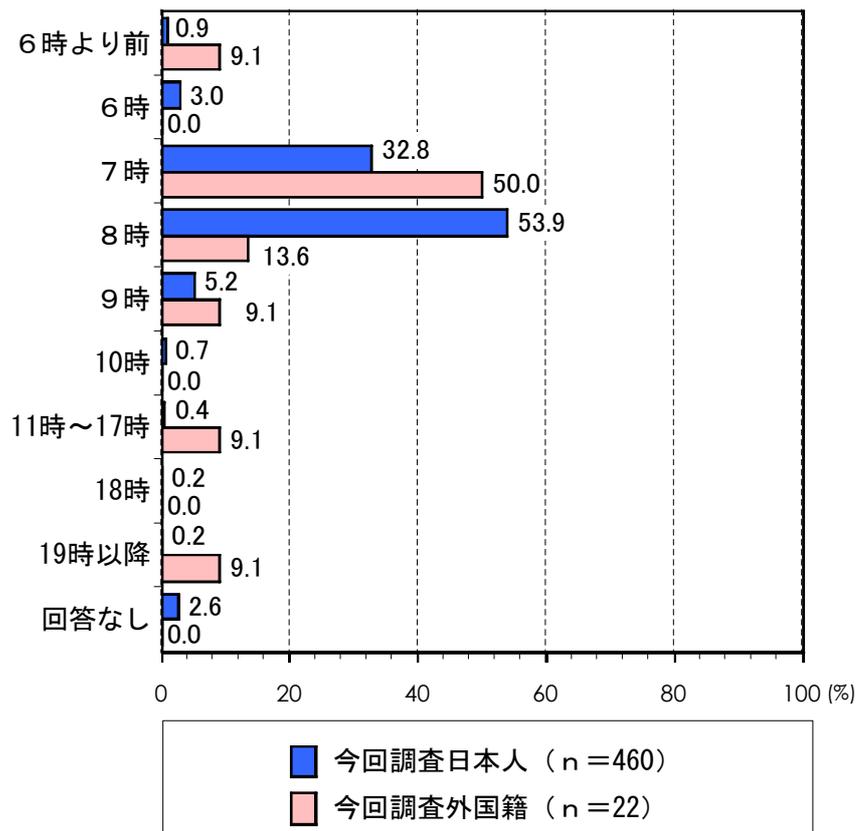
図表 2 - 25 1週あたりの平均就労日数（外国籍・フルタイムの母親・前回調査との比較）



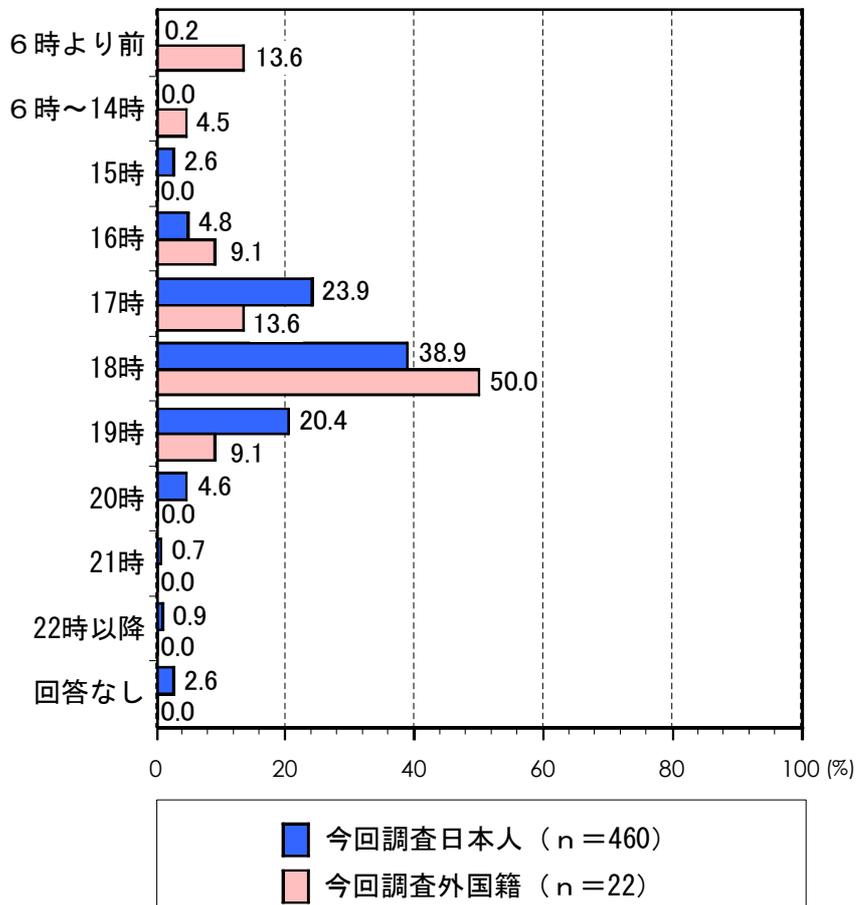
図表 2 - 26 1日あたりの平均就労時間（外国籍・フルタイムの母親・前回調査との比較）



図表 2 - 27 平均的な家を出る時間（フルタイムの母親）



図表 2 - 28 平均的な帰宅時間（フルタイムの母親）



③パートタイムの母親の就労状況

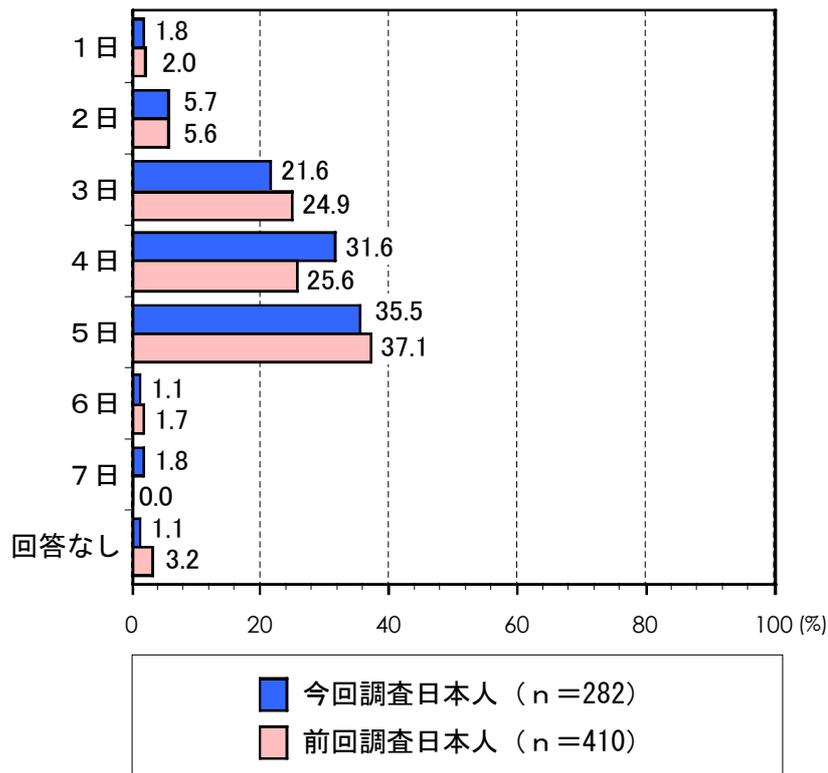
【日本人】

- 1週あたりの平均就労日数は、「5日」が35.5%と最も高く、「4日」が31.6%、「3日」が21.6%と続いています。
 - 1日あたりの平均就労時間は、「5時間」が30.5%と最も高く、「4時間」が22.0%、「6時間」が19.9%と続いています。
 - 前回調査と比較すると、平均就労日数は、「4日」が6.0ポイント高くなっています。平均就労時間には傾向に大きな違いはありません。
 - 働いている日の平均的な家を出る時間は、「8時」が48.6%、「9時」が28.0%、「10時」が9.9%です。
 - 働いている日の平均的な帰宅時間は、「6時～14時」が22.7%、「17時」が20.6%、「15時」が19.5%です。
 - 今後の就労についての希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の52.8%が半数以上を占めて最も高く、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が35.1%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が7.4%です。
 - 前回調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が10.7ポイント高くなっています。
-

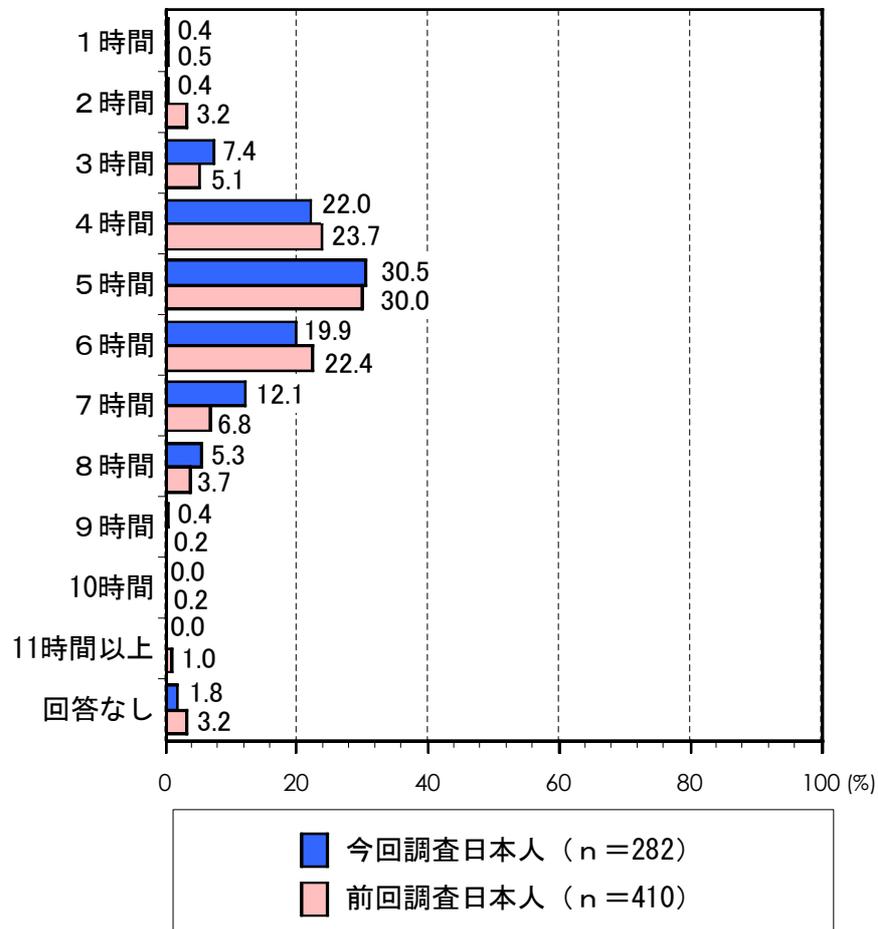
【外国籍】

- 今後の就労についての希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の54.5%が半数以上を占めて最も高く、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が18.2%です。
 - 前回調査と比較すると、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は今回調査ではありませんでした。
-

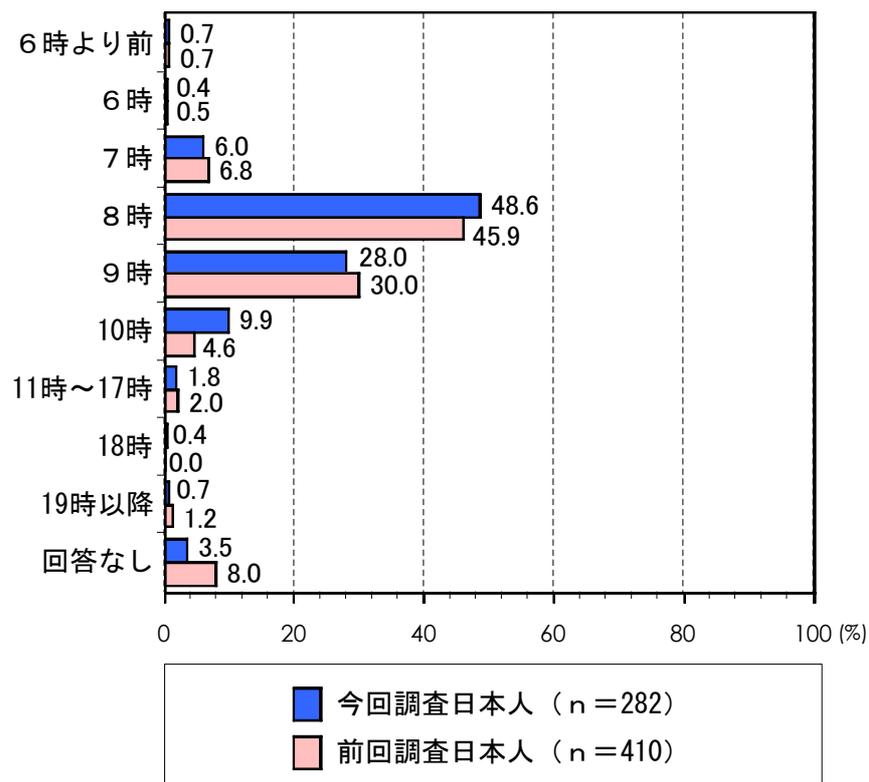
図表 2 - 29 1週あたりの平均就労日数（日本人・パートタイムの母親・前回調査との比較）



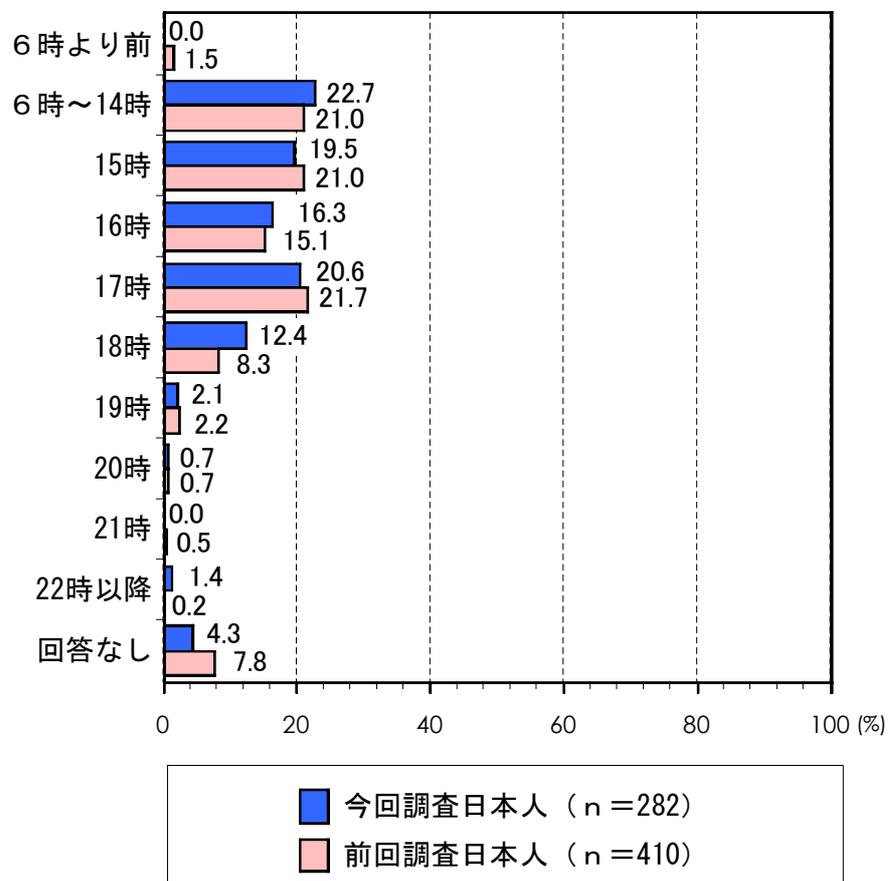
図表 2 - 30 1日あたりの平均就労時間（日本人・パートタイムの母親・前回調査との比較）



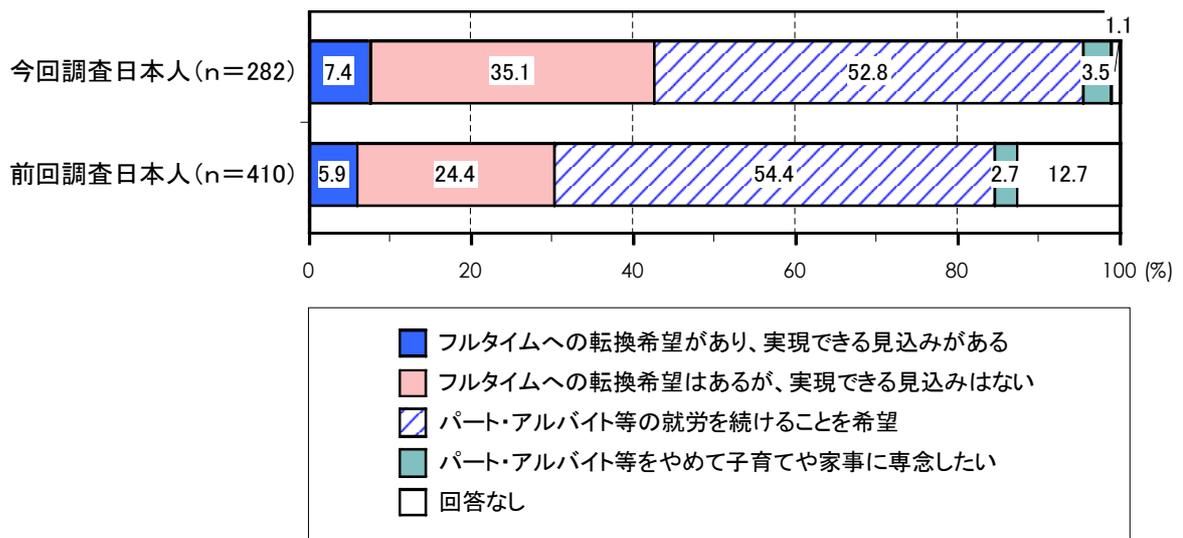
図表 2 - 31 平均的な家を出る時間（日本人・パートタイムの母親・前回調査との比較）



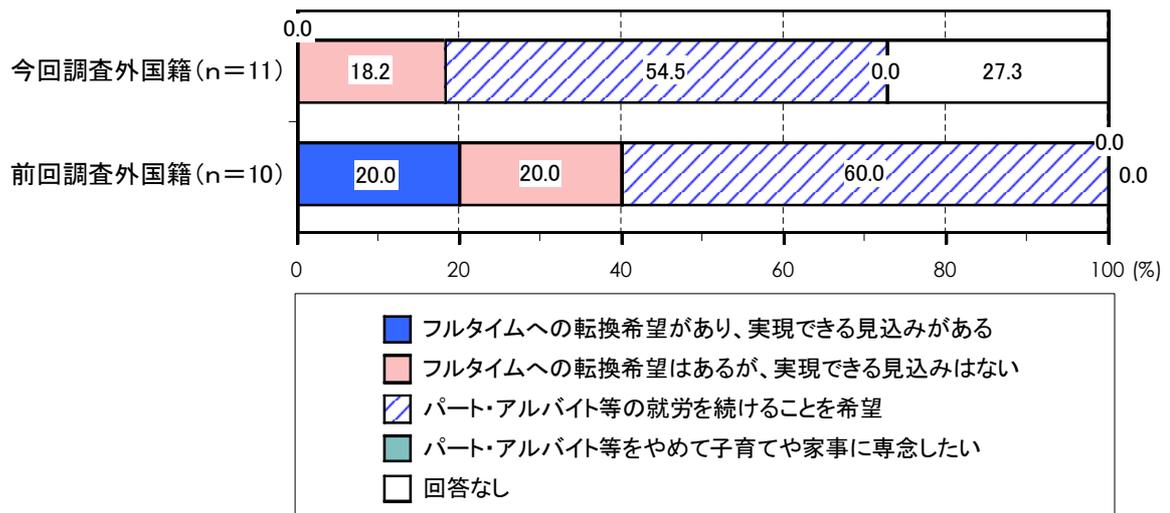
図表 2 - 32 平均的な帰宅時間（日本人・パートタイムの母親・前回調査との比較）



図表 2 - 33 今後の就労についての希望（日本人・パートタイムの母親・前回調査との比較）



図表 2 - 34 今後の就労についての希望（外国籍・パートタイムの母親・前回調査との比較）



(2) 未就労の母親の就労希望

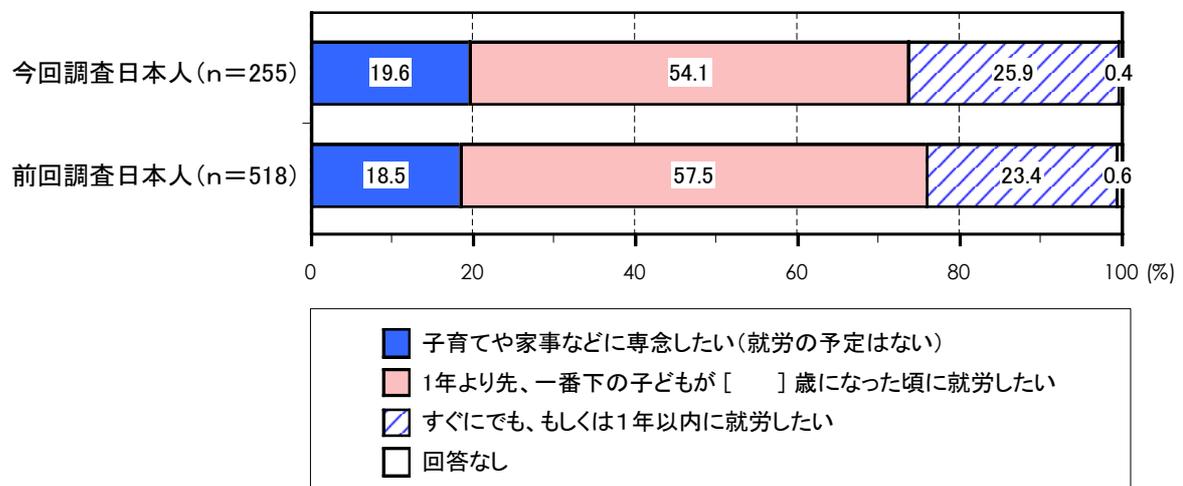
【問12で「現在は就労していない」または「就労したことがない」と回答した方のみ対象】
問12-1 就労したいという希望はありますか。(単数回答)

①就労希望の有無

【日本人】

- 「1年より先、一番下の子どもが[]歳になった頃に就労したい」が54.1%と半数を超えて最も高く、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が25.9%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が19.6%です。
- 前回調査と比較すると、傾向に大きな違いはありません。

図表 2 - 35 未就労の母親の就労希望の有無(日本人・前回調査との比較)

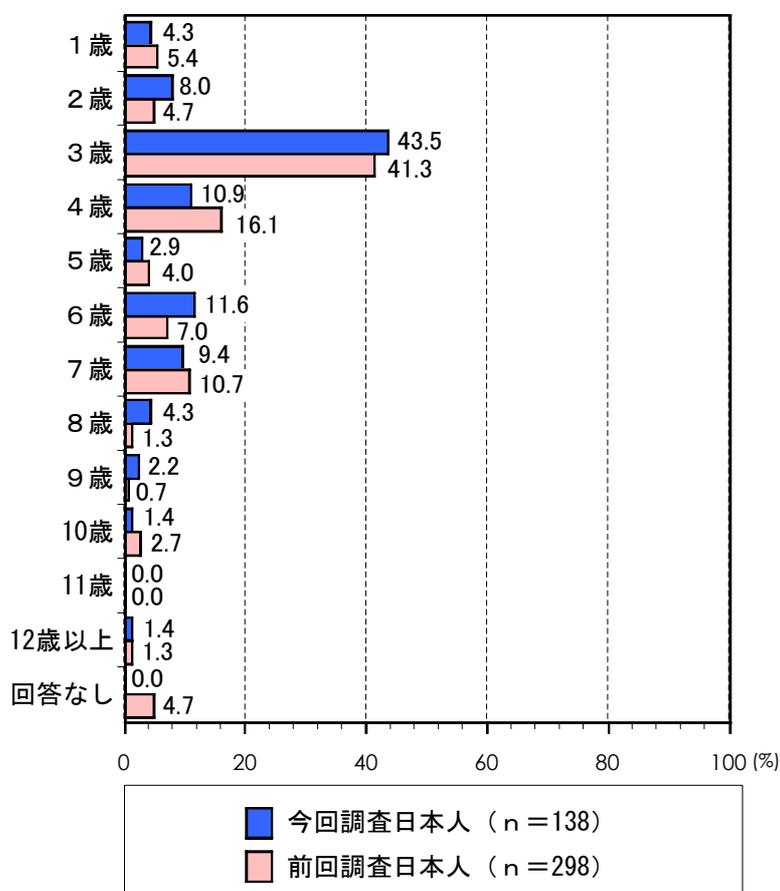


②希望する就労形態

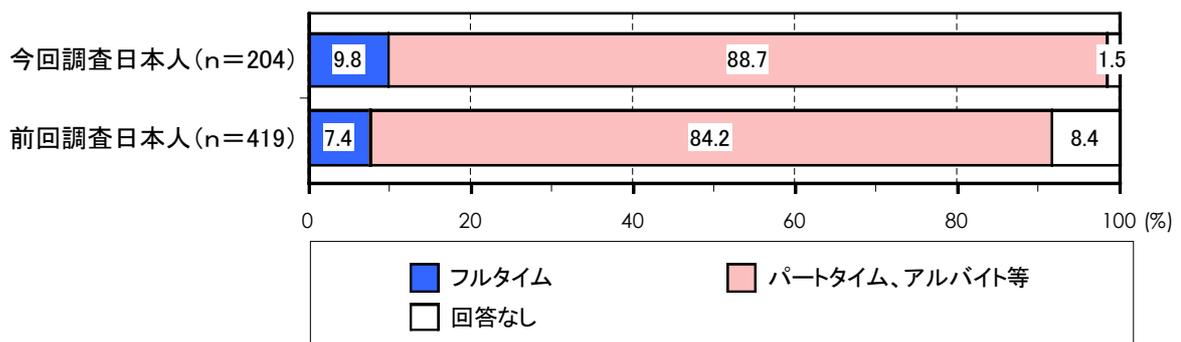
【日本人】

- 希望する就労時期は、子どもが「3歳」頃が43.5%、「6歳」頃が11.6%、「4歳」頃が10.9%です。
- 希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が88.7%、「フルタイム」が9.8%です。
- 前回調査と比較すると、希望する就労時期は、子どもの年齢が「4歳」頃が5.2ポイント低くなり、「6歳」頃が4.6ポイント高くなっています。就労形態は、傾向に大きな違いはありません。

図表 2 - 36 未就労の母親の希望する就労時期（日本人・年齢別・前回調査との比較）



図表 2 - 37 未就労の母親の希望する就労形態（日本人・前回調査との比較）

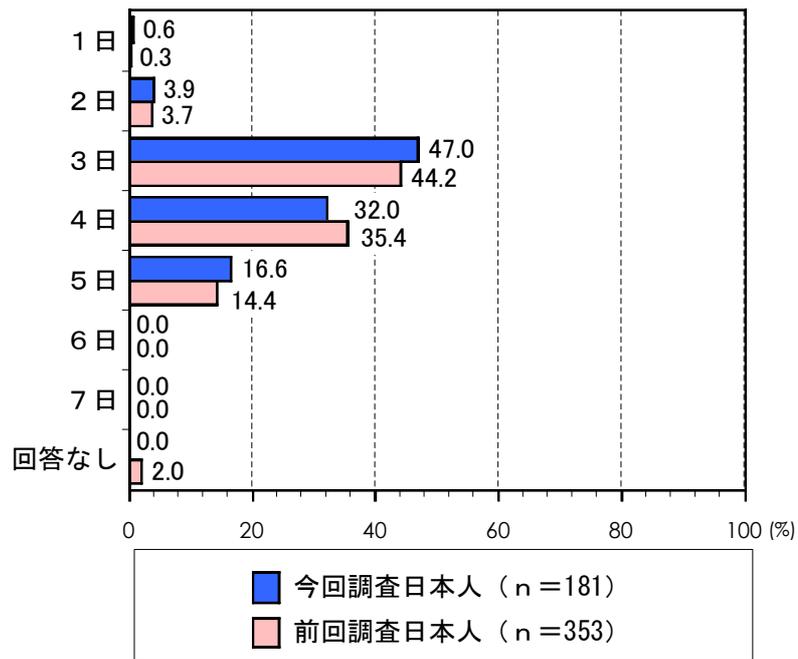


③希望する就労時間

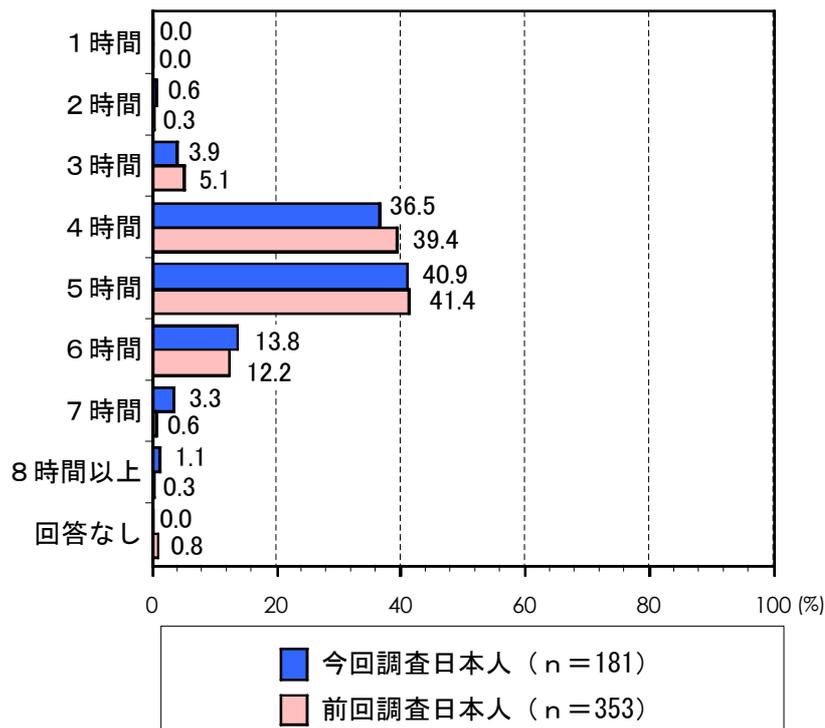
【日本人】

- 希望する1週あたりの就労日数は、「3日」が47.0%と最も高く、「4日」が32.0%、「5日」が16.6%と続いています。
- 希望する1日あたりの就労時間は、「5時間」が40.9%と最も高く、「4時間」が36.5%、「6時間」が13.8%と続いています。
- 前回調査と比較すると、傾向に大きな違いはありません。

図表 2 - 38 未就労の母親の希望する1週間あたりの就労日数（日本人・前回調査との比較）



図表 2 - 39 未就労の母親の希望する1日あたりの就労時間（日本人・前回調査との比較）



(3) 父親の就労状況

問 13 宛名のお子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を教えてください。
（単数回答）

①就労の概況

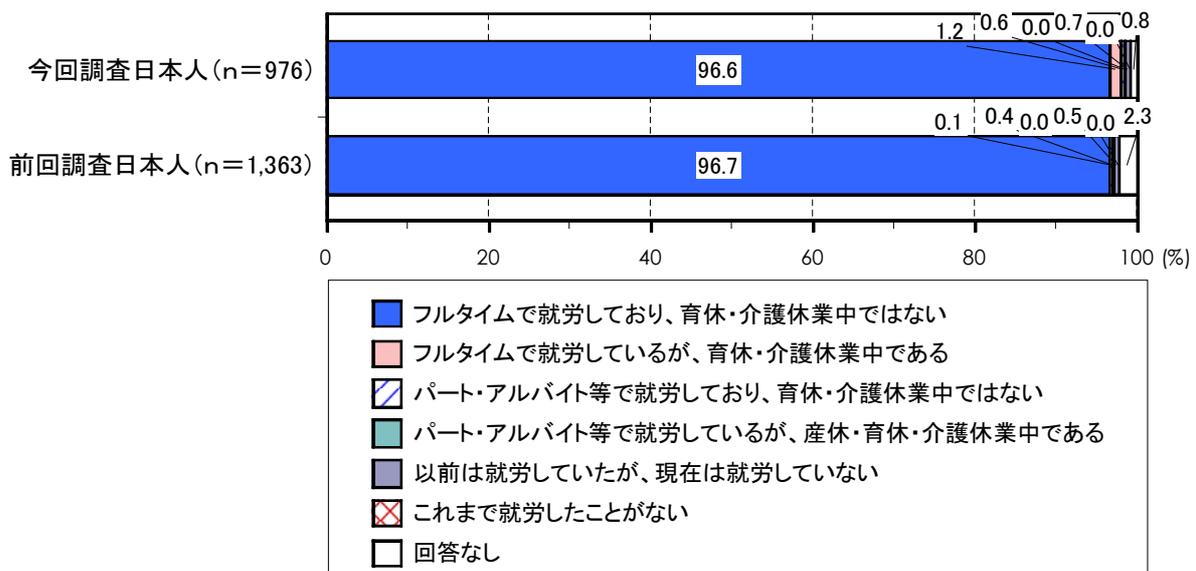
【日本人】

- 「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が96.6%、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」が1.2%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.7%です。
- 前回調査と比較すると、傾向に大きな違いはありません。

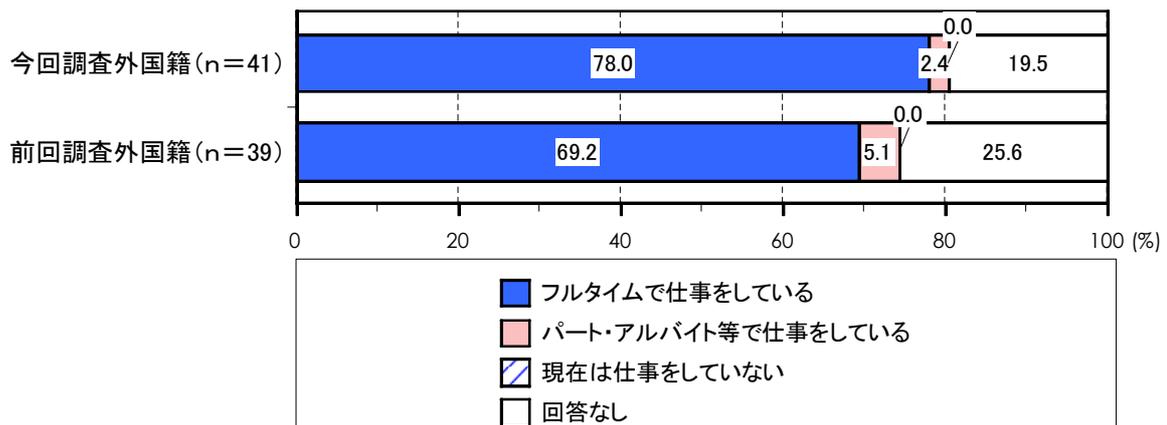
【外国籍】

- 「フルタイムで仕事をしている」が78.0%、「パート・アルバイト等で仕事をしている」が2.4%です。
- 前回調査と比較すると、「フルタイムで仕事をしている」が8.8ポイント高くなっています。

図表 2 - 40 父親の就労状況（日本人・前回調査との比較）



図表 2 - 41 父親の就労状況（外国籍・前回調査との比較）



②フルタイムの父親の就労状況

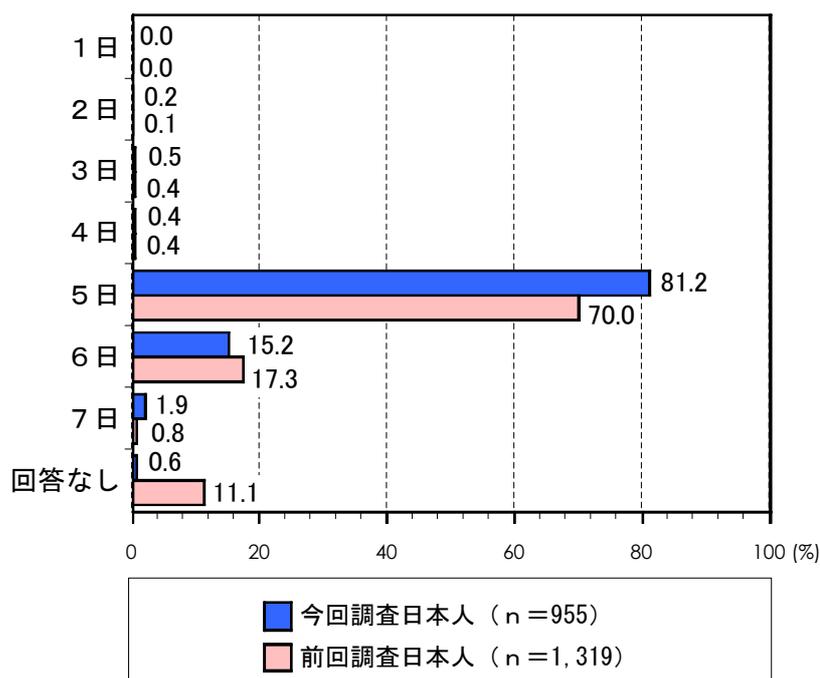
【日本人】

- 1週あたりの平均就労日数は、「5日」が81.2%と最も高く、「6日」が15.2%、「7日」が1.9%と続いています。
 - 前回調査と比較すると、「5日」が11.2ポイント高くなっています。
 - 1日あたりの平均就労時間は、「8時間」が32.3%と最も高く、「10時間」が24.1%、「9時間」が19.8%です。
 - 前回調査と比較すると、「8時間」が最も高いことは変わりませんが、「9時間」が7.1ポイント高くなっています。
 - 働いている日の平均的な家を出る時間は、「7時」と「8時」が合わせて73.0%を占めています。
 - 働いている日の平均的な帰宅時間は、「19時」が26.9%と最も高く、「20時」が25.1%、「21時」が15.5%となっています。
-

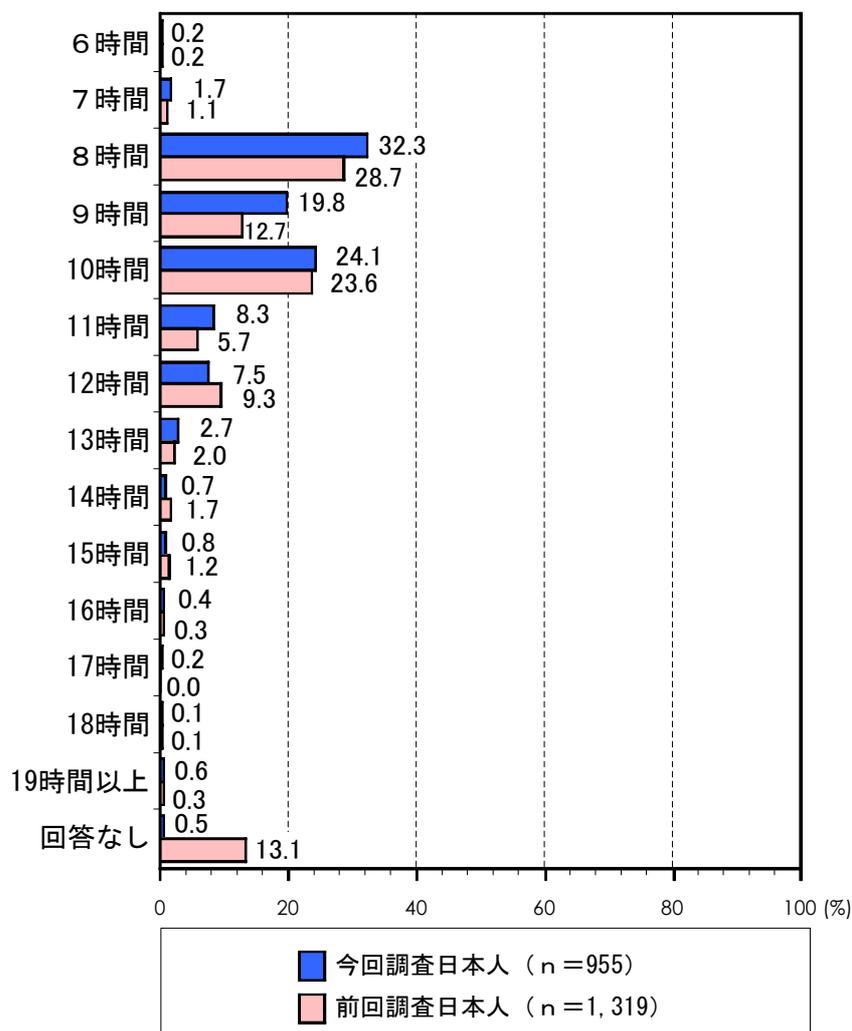
【外国籍】

- 1週あたりの平均就労日数は、「5日」が78.1%と最も高く、「6日」が18.8%、「7日」が3.1%と続いています。
 - 前回調査と比較すると、「5日」が26.2ポイント高くなり、「6日」が21.9ポイント低くなっています。
 - 1日あたりの平均就労時間は、「8時間」が43.8%、「9時間」、「10時間」がそれぞれ25.0%です。
 - 前回調査と比較すると、「8時間」が10.5ポイント、「9時間」が13.9ポイント高くなり、「10時間」が8.3ポイント、「12時間」が8.5ポイント低くなっています。
 - 働いている日の平均的な家を出る時間は、「7時」が31.3%、「8時」が21.9%、「6時より前」、「6時」がそれぞれ15.6%です。
 - 働いている日の平均的な帰宅時間は、「18時」が37.5%、「19時」、「20時」がそれぞれ12.5%です。
-

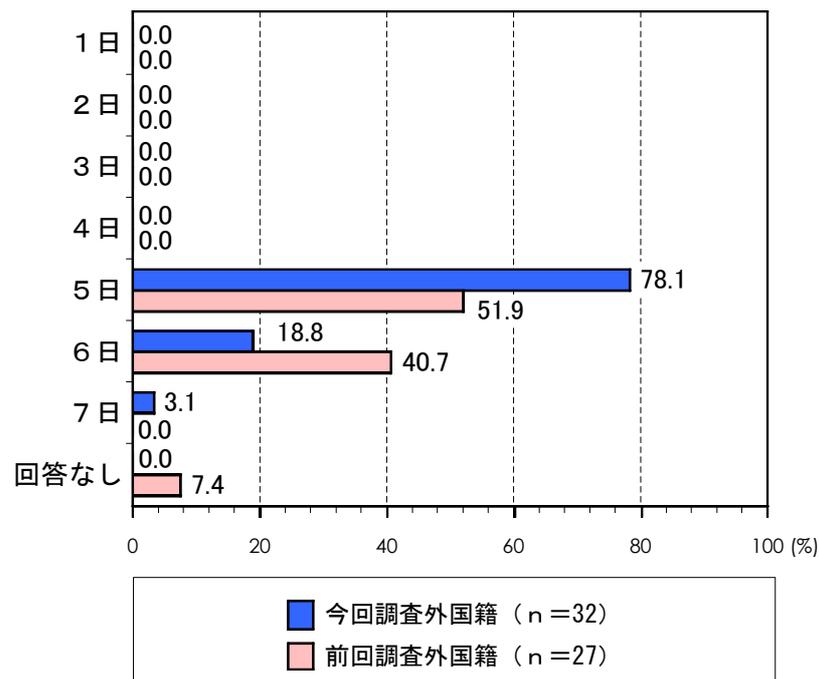
図表 2 - 42 1週あたりの平均就労日数（日本人・フルタイムの父親・前回調査との比較）



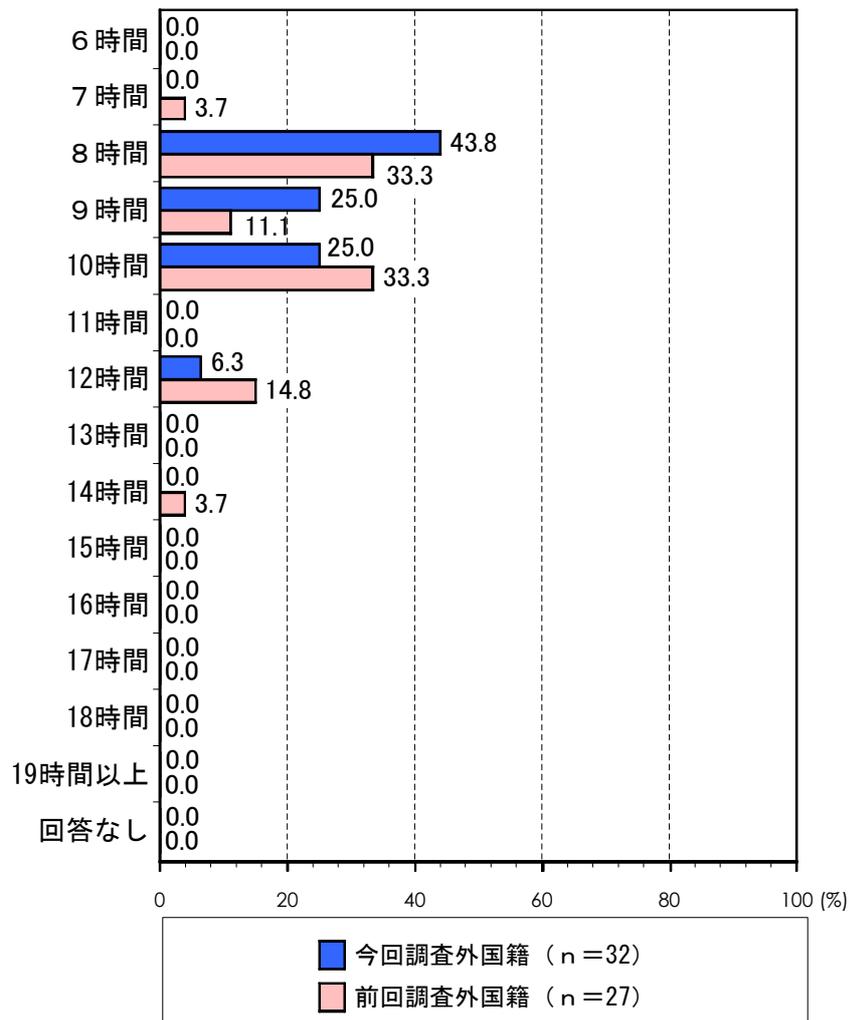
図表 2 - 43 1日あたりの平均就労時間（日本人・フルタイムの父親・前回調査との比較）



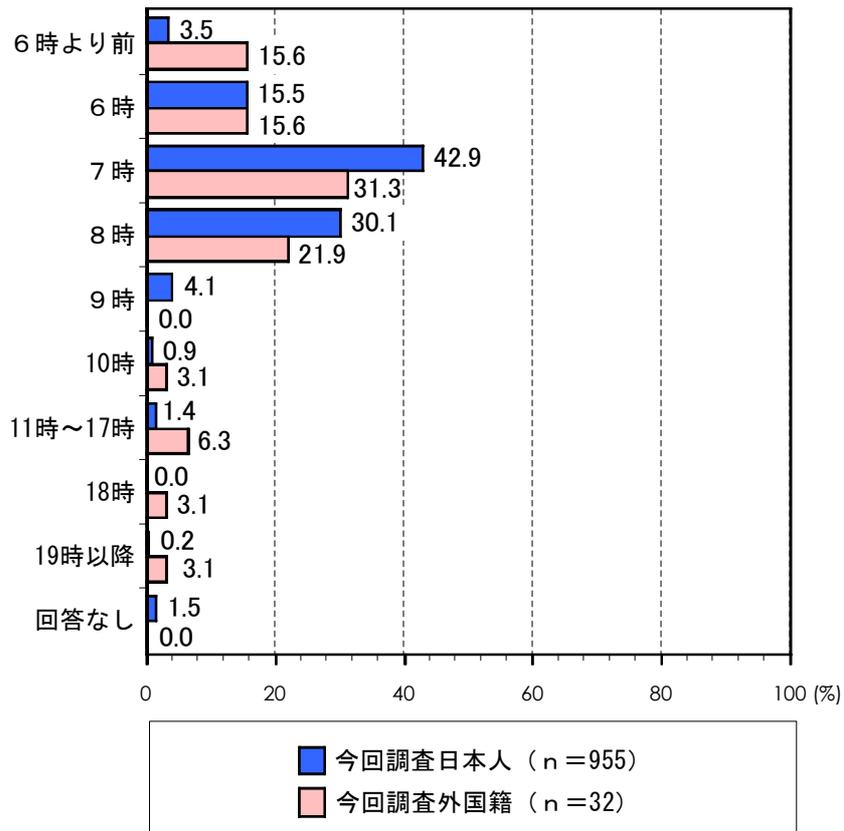
図表 2 - 44 1 週あたりの平均就労日数（外国籍・フルタイムの父親・前回調査との比較）



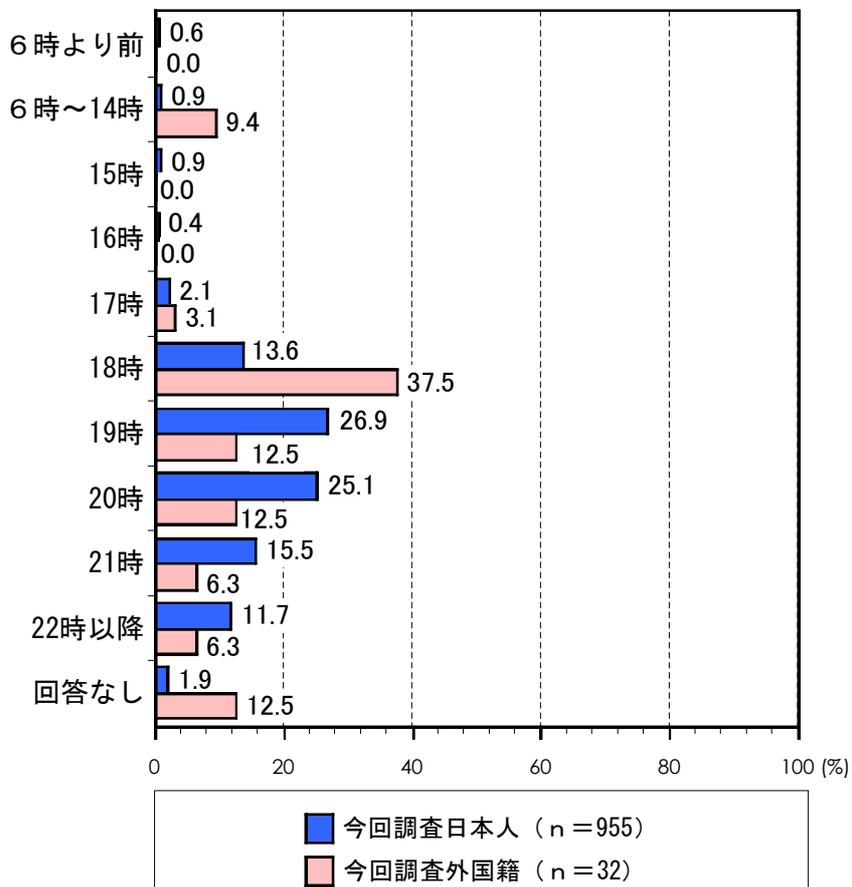
図表 2 - 45 1日あたりの平均就労時間（外国籍・フルタイムの父親・前回調査との比較）



図表 2 - 46 平均的な家を出る時間（フルタイムの父親）



図表 2 - 47 平均的な帰宅時間（フルタイムの父親）



③パートタイムの父親の就労状況

【日本人】

- 1週あたりの平均就労日数は、「4日」、「5日」が2件、「3日」、「6日」が1件です。
 - 1日あたりの平均就労時間は、「6時間」、「7時間」が2件、「5時間」、「9時間」が1件です。
 - 働いている日の平均的な家を出る時間は、「11時～17時」が3件、「7時」、「8時」、「9時」が1件です。
 - 働いている日の平均的な帰宅時間は、「18時」が2件、「6時より前」、「17時」、「19時」、「22時以降」が各1件です。
 - 今後の就労についての希望は、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が3件、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が3件です。
-

【外国籍】

- 今後の就労についての希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が1件、「回答なし」が2件です。
-

(4) 未就労の父親の就労希望

【問13で「現在は就労していない」または「就労したことがない」と回答した人のみ】

問13-1 就労したいという希望はありますか。(単数回答)

①就労希望の有無

【日本人】

- 就労希望は、「子育てや家事などに専念したい」が2件、「1年より先、1番下の子どもが[]歳になった頃に就労したい」が2件、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が3件です。
-

②希望する就労形態

【日本人】

- 希望する就労時期は、子どもが「1歳」頃、「6歳」頃が各1件です。
 - 希望する就労形態は、「フルタイム」が3件、「パートタイム、アルバイト等」が2件です。
-

4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況等について

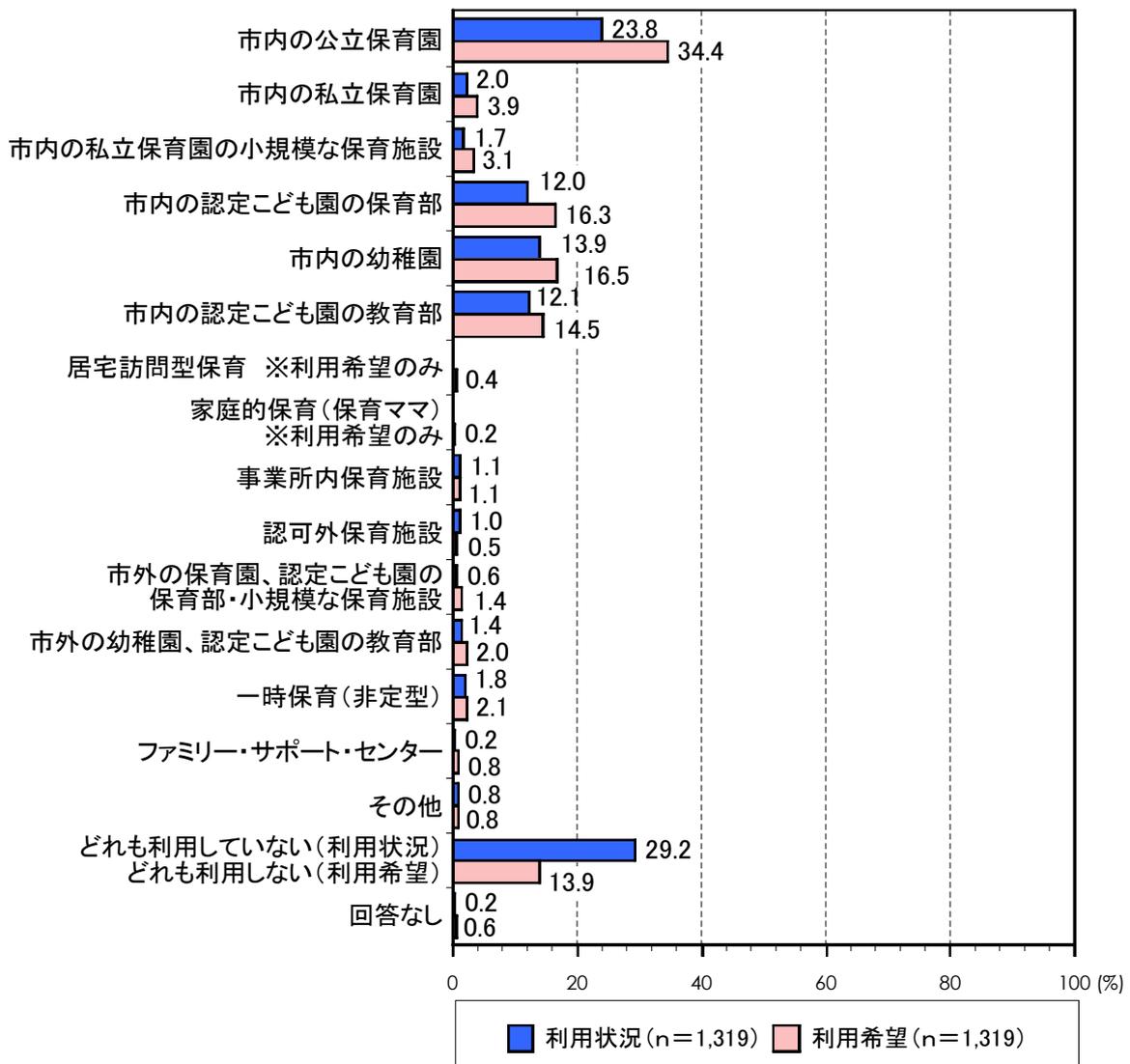
問 14 (1)	就学前のお子さんの平日の「定期的な教育・保育事業」の現在の利用状況等についてお答えください。
問 14 (2)	来年度(2024年4月～2025年3月)に利用したい「定期的な教育・保育事業」(利用希望)

①定期的な教育・保育事業等の利用状況と利用希望

【日本人】

- 定期的な教育・保育事業等の利用状況では、「どれも利用していない」が29.2%、「市内の公立保育園」が23.8%、「市内の幼稚園」が13.9%です。
- 利用希望では、「市内の公立保育園」が34.4%、「市内の幼稚園」が16.5%、「市内の認定こども園の保育部」が16.3%です。

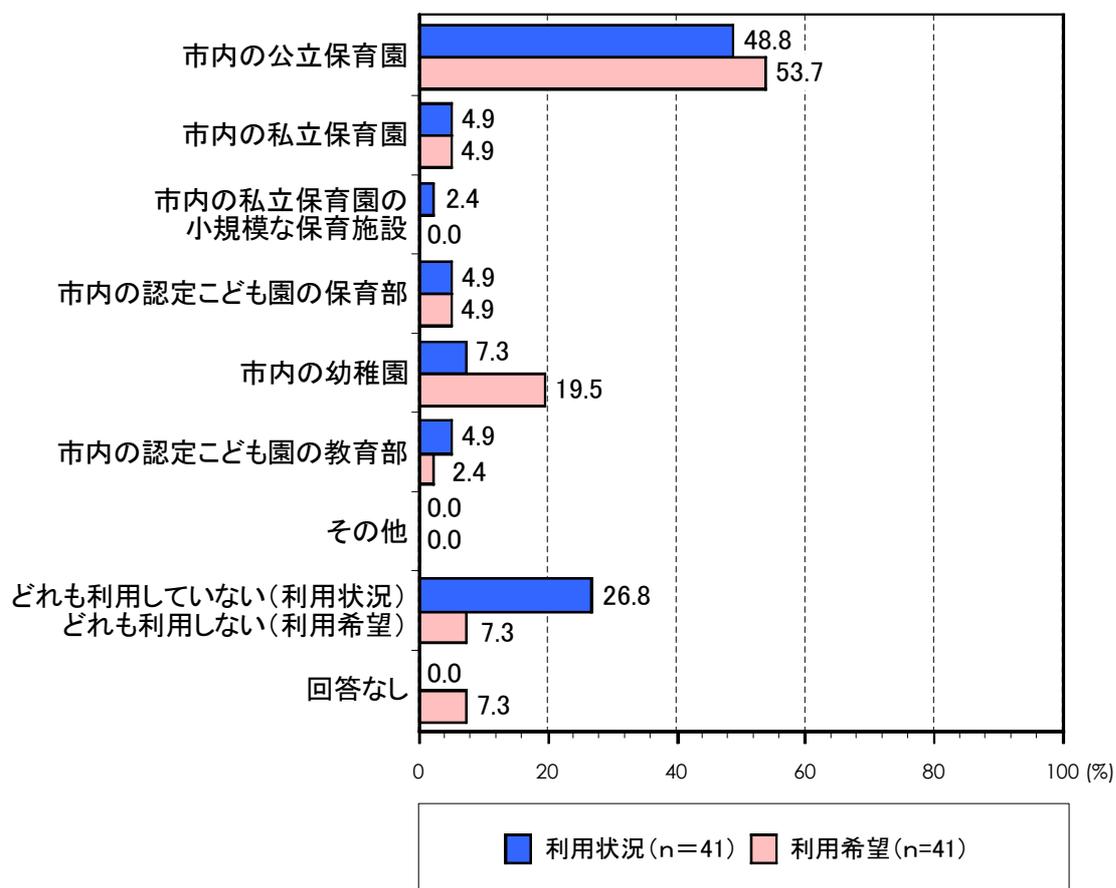
図表 2 - 48 定期的な教育・保育事業等の利用状況と利用希望（日本人）



【外国籍】

- 定期的な教育・保育事業等の利用状況では、「市内の公立保育園」が48.8%、「どれも利用していない」が26.8%、「市内の幼稚園」が7.3%です。
- 利用希望では、「市内の公立保育園」が53.7%、「市内の幼稚園」が19.5%、「どれも利用しない」が7.3%です。

図表 2 - 49 定期的な教育・保育事業等の利用状況と利用希望（外国籍）

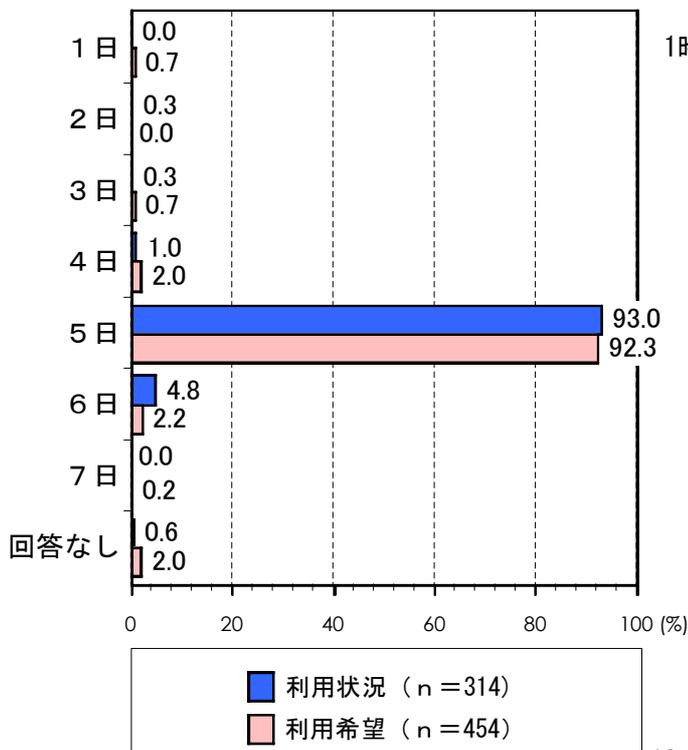


②市内の公立保育園の利用状況と利用希望

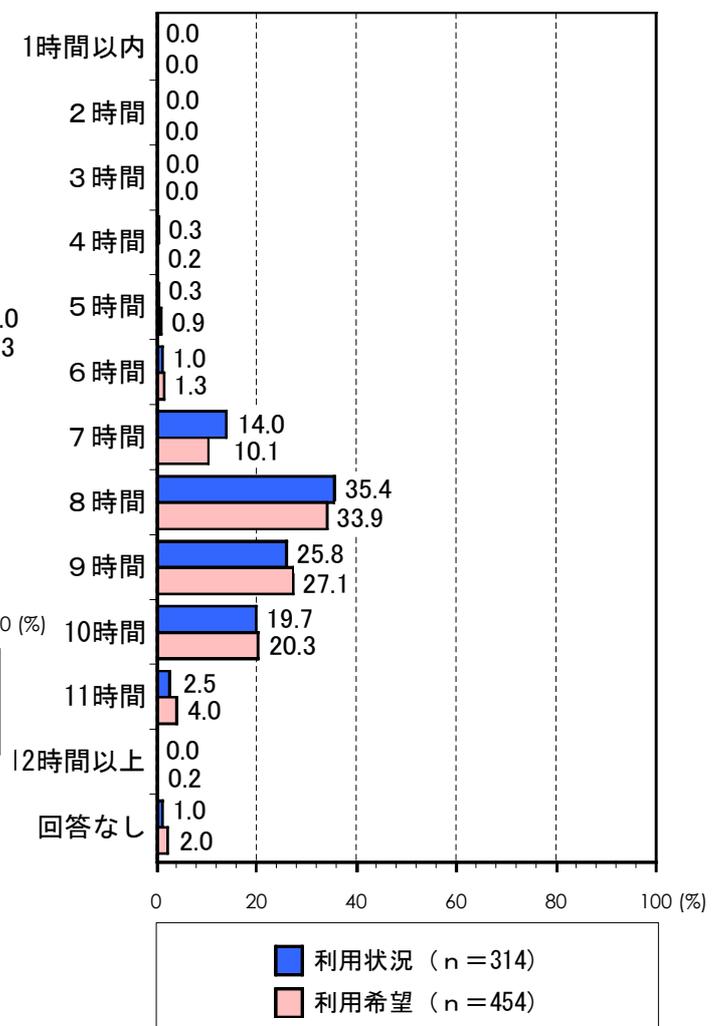
【日本人】

- 1週あたりの利用状況日数は、「5日」が93.0%、「6日」が4.8%です。
- 1週あたりの利用希望日数は、「5日」が92.3%、「6日」が2.2%です。
- 1日あたりの利用状況時間は、「8時間」が35.4%、「9時間」が25.8%、「10時間」が19.7%です。
- 1日あたりの利用希望時間は、「8時間」が33.9%、「9時間」が27.1%、「10時間」が20.3%です。
- 利用時間帯の利用状況は「8時30分」から「20時00分」、利用希望は「8時00分」から「21時00分」です。

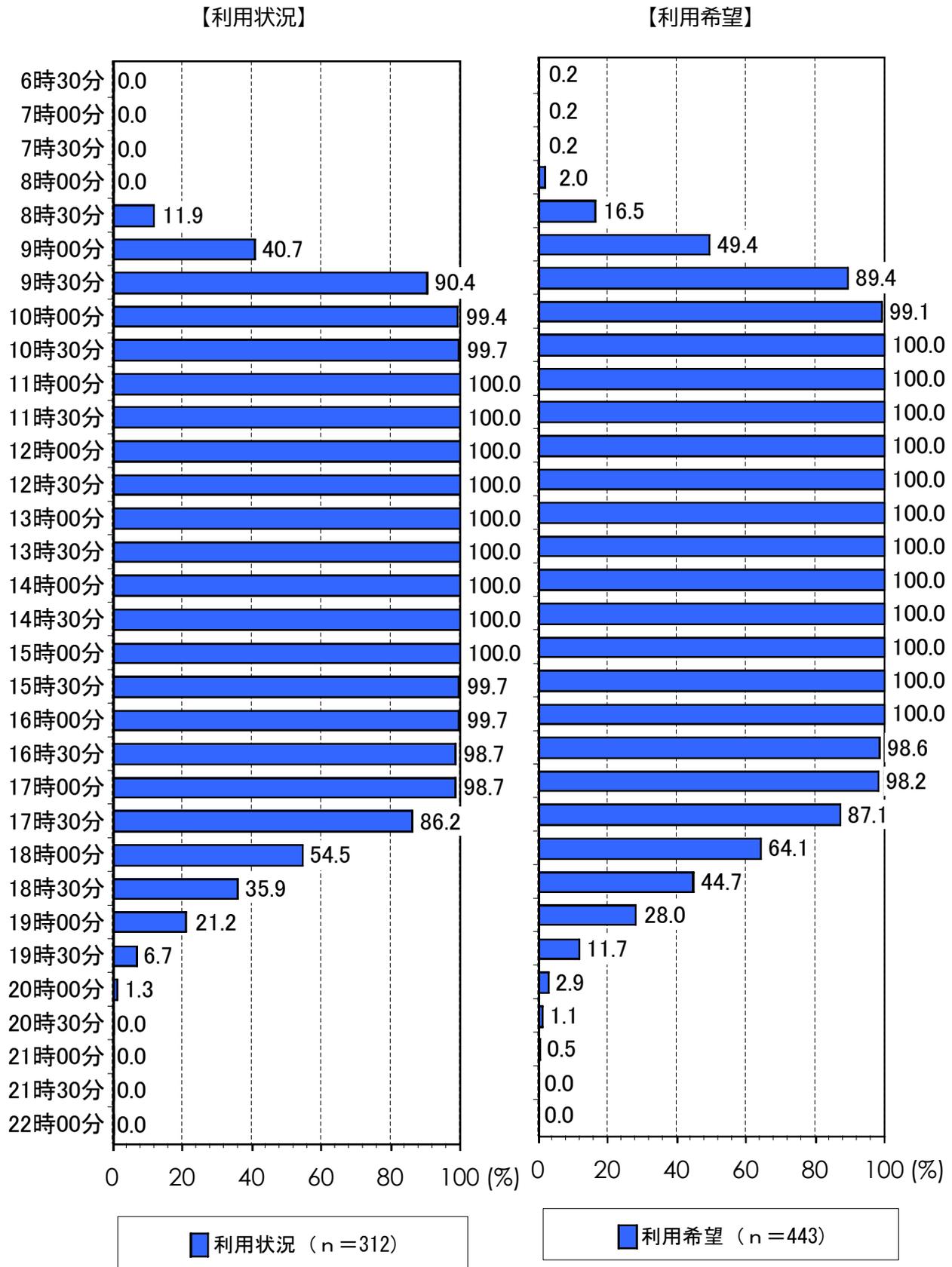
図表 2 - 50 市内の公立保育園の利用状況と利用希望の1週あたりの日数
(日本人)



図表 2 - 51 市内の公立保育園の利用状況と利用希望の1日あたりの時間
(日本人)



図表 2 - 52 市内の公立保育園の利用時間帯(日本人)

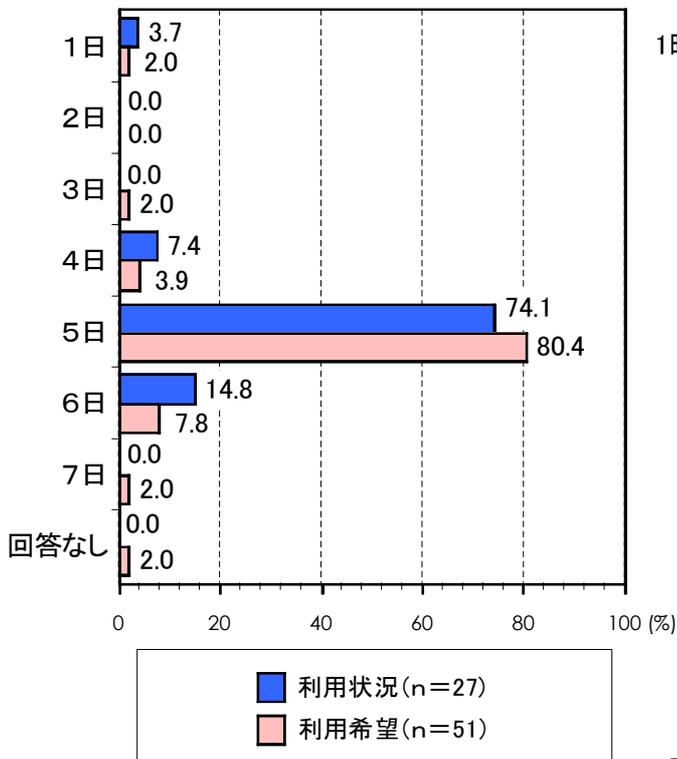


③市内の私立保育園の利用状況と利用希望

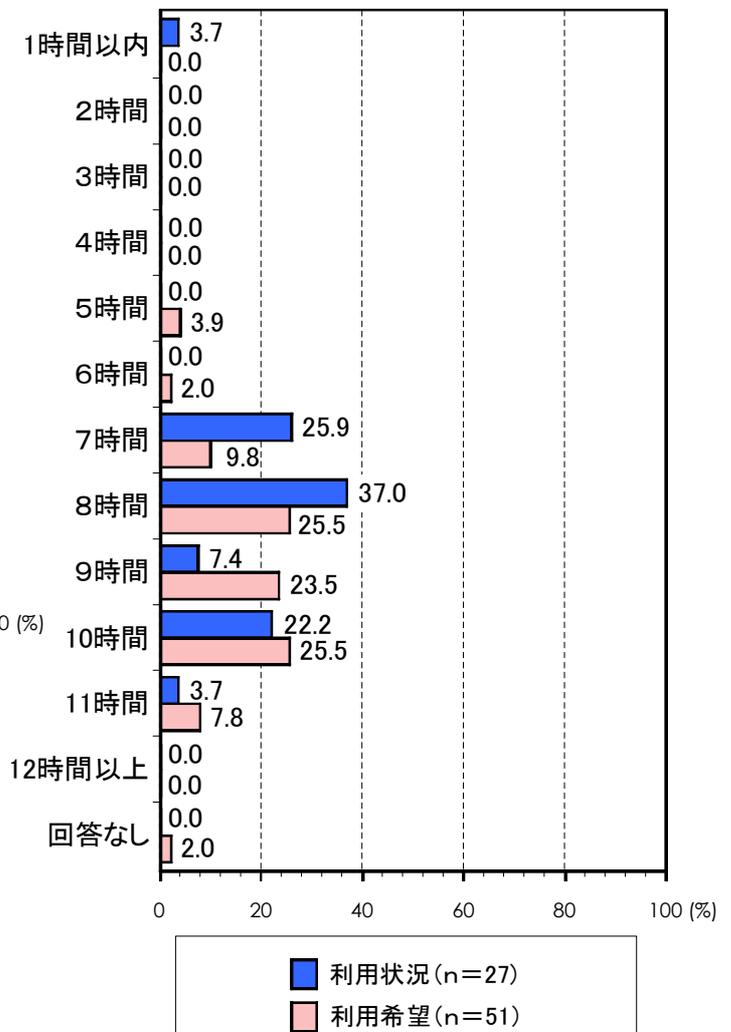
【日本人】

- 1週あたりの利用状況日数は、「5日」が74.1%、「6日」が14.8%です。
- 1週あたりの利用希望日数は、「5日」が80.4%、「6日」が7.8%です。
- 1日あたりの利用状況時間は、「8時間」が37.0%、「7時間」が25.9%、「10時間」が22.2%です。
- 1日あたりの利用希望時間は、「8時間」、「10時間」がそれぞれ25.5%、「9時間」が23.5%です。
- 利用時間帯の利用状況は「8時30分」から「20時00分」、利用希望は「8時00分」から「20時30分」です。

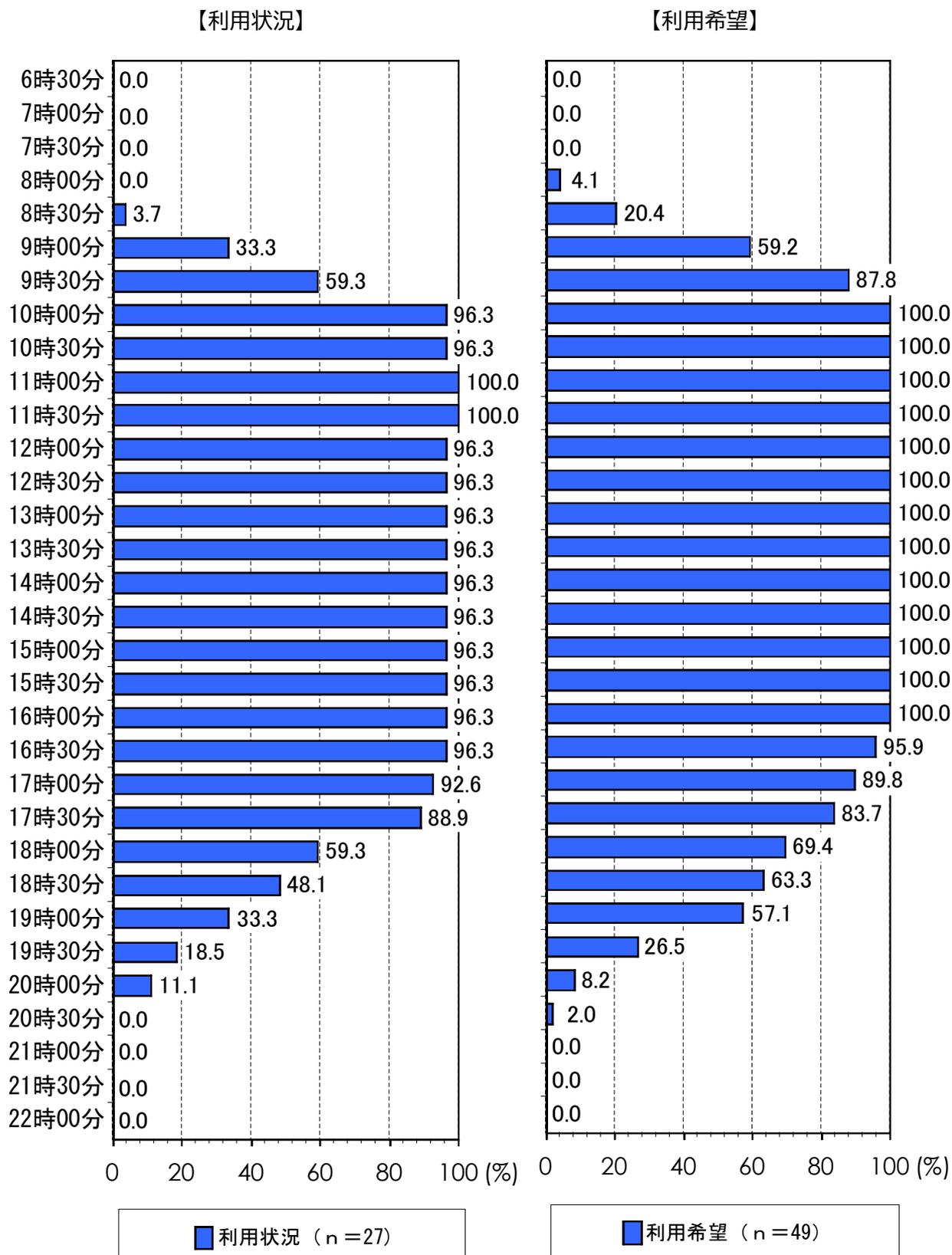
図表 2 - 53 市内の私立保育園の利用状況と利用希望の1週あたりの日数 (日本人)



図表 2 - 54 市内の私立保育園の利用状況と利用希望の1日あたりの時間 (日本人)



図表 2 - 55 市内の私立保育園の利用時間帯（日本人）

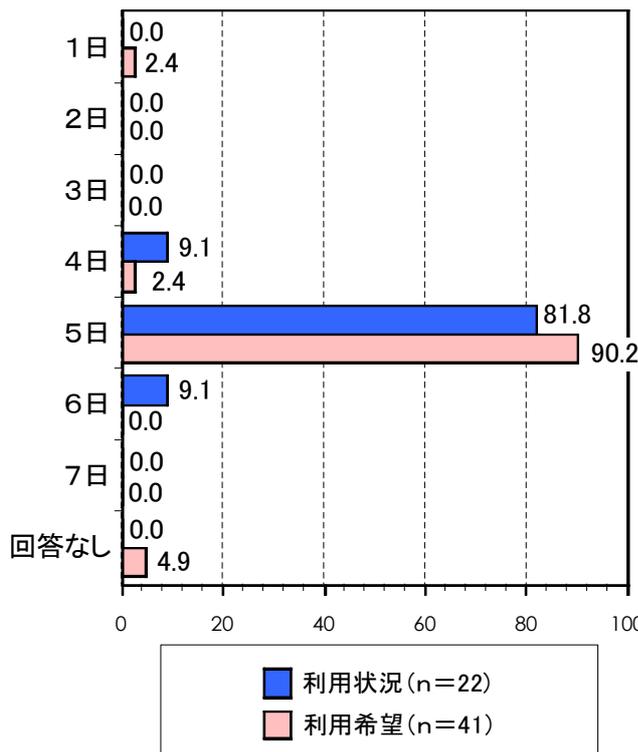


④市内の私立保育園の小規模な保育施設の利用状況と利用希望

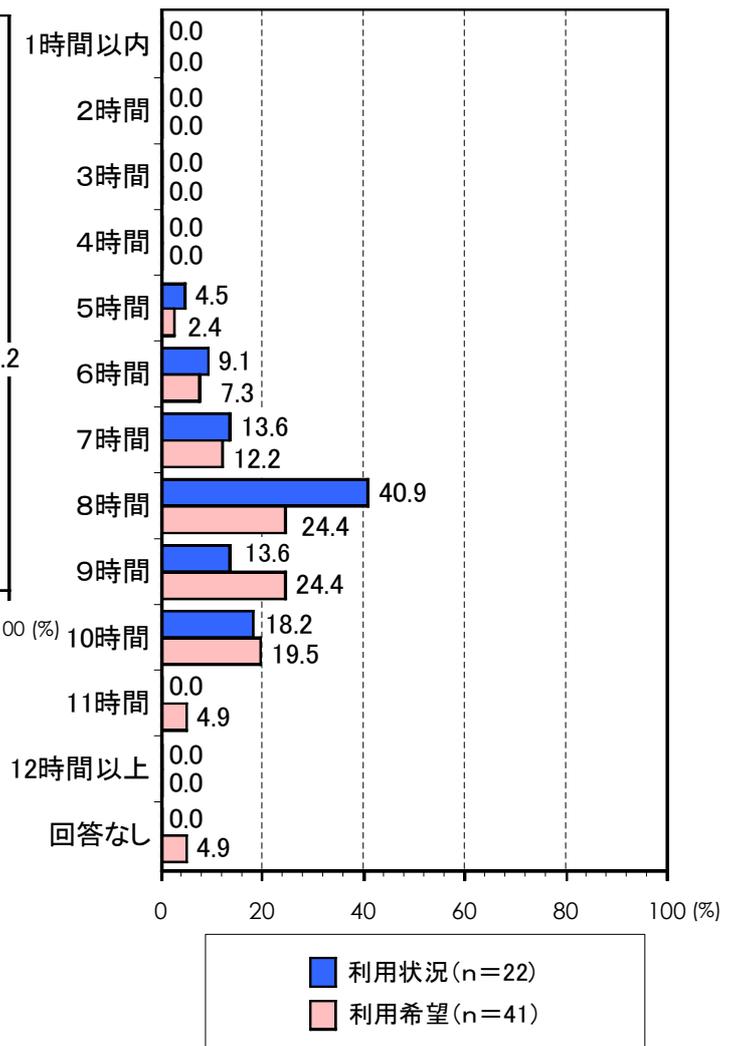
【日本人】

- 1週あたりの利用状況日数は、「5日」が81.8%、「4日」、「6日」がそれぞれ9.1%です。
- 1週あたりの利用希望日数は、「5日」が90.2%、「1日」、「4日」がそれぞれ2.4%です。
- 1日あたりの利用状況時間は、「8時間」が40.9%、「10時間」が18.2%、「7時間」、「9時間」がそれぞれ13.6%です。
- 1日あたりの利用希望時間は、「8時間」、「9時間」がそれぞれ24.4%、「10時間」が19.5%です。
- 利用時間帯の利用状況は「9時00分」から「19時00分」、利用希望は「8時00分」から「19時30分」です。

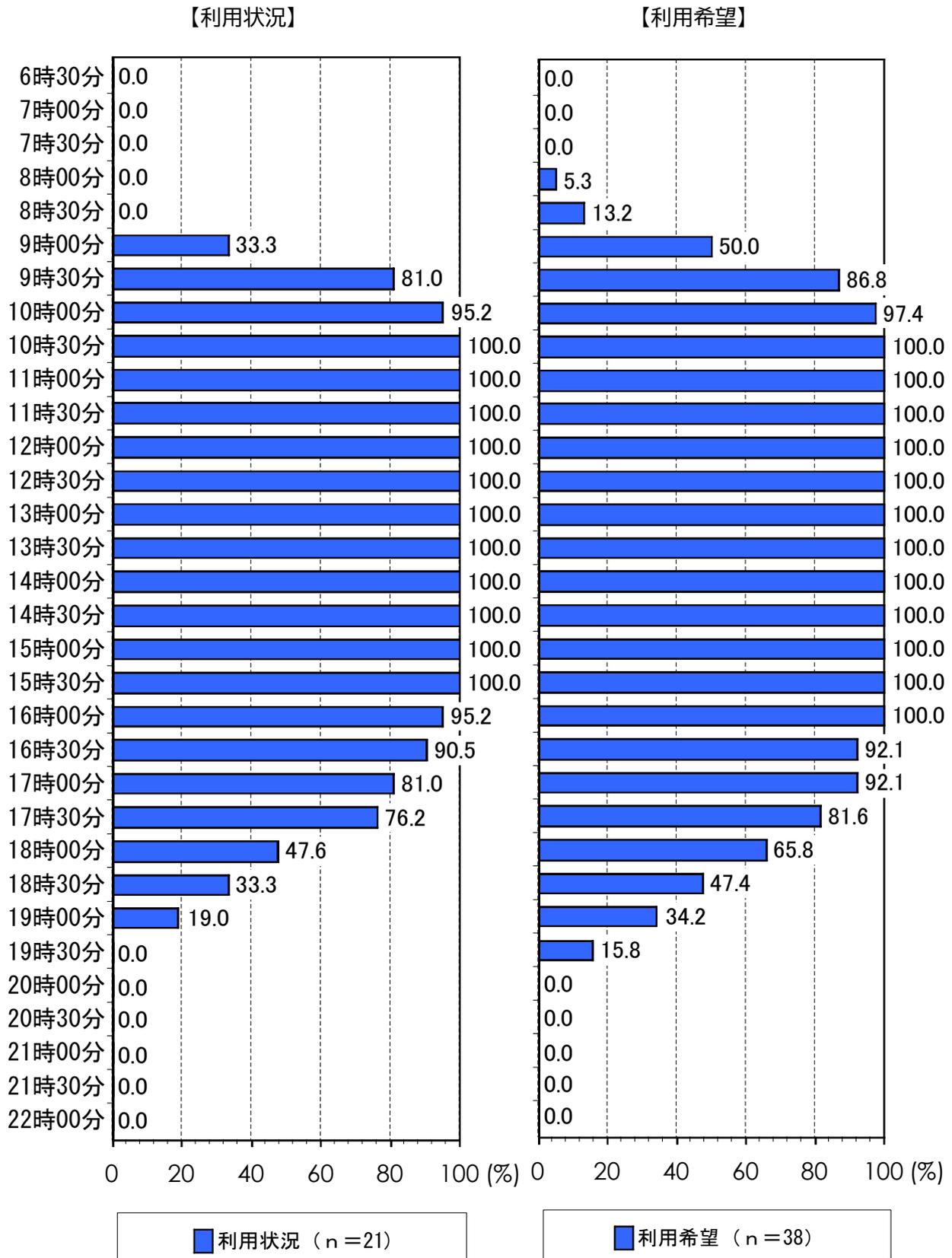
図表 2 - 56 市内の私立保育園の小規模な保育施設の利用状況と利用希望の1週あたりの日数（日本人）



図表 2 - 57 市内の私立保育園の小規模な保育施設の利用状況と利用希望の1日あたりの時間（日本人）



図表 2 - 58 市内の私立保育園の小規模な保育施設の利用時間帯（日本人）

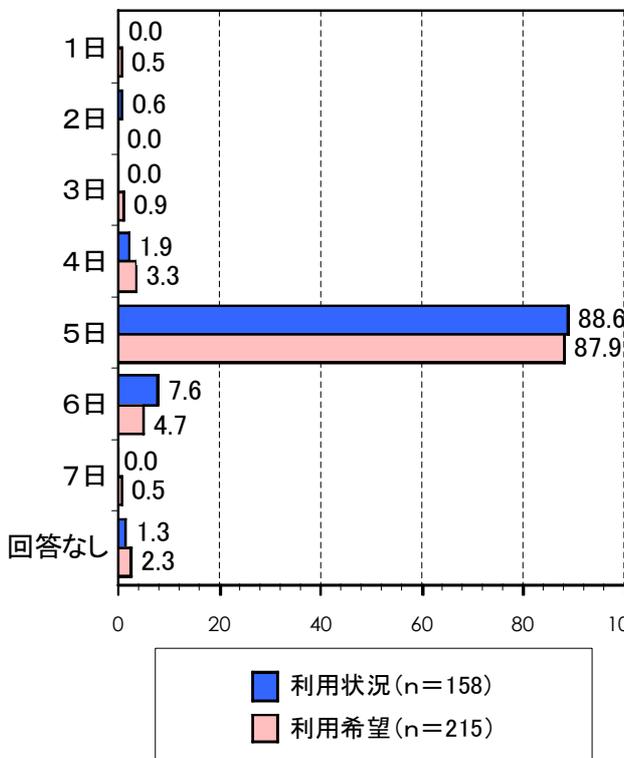


⑤市内の認定こども園の保育部の利用状況と利用希望

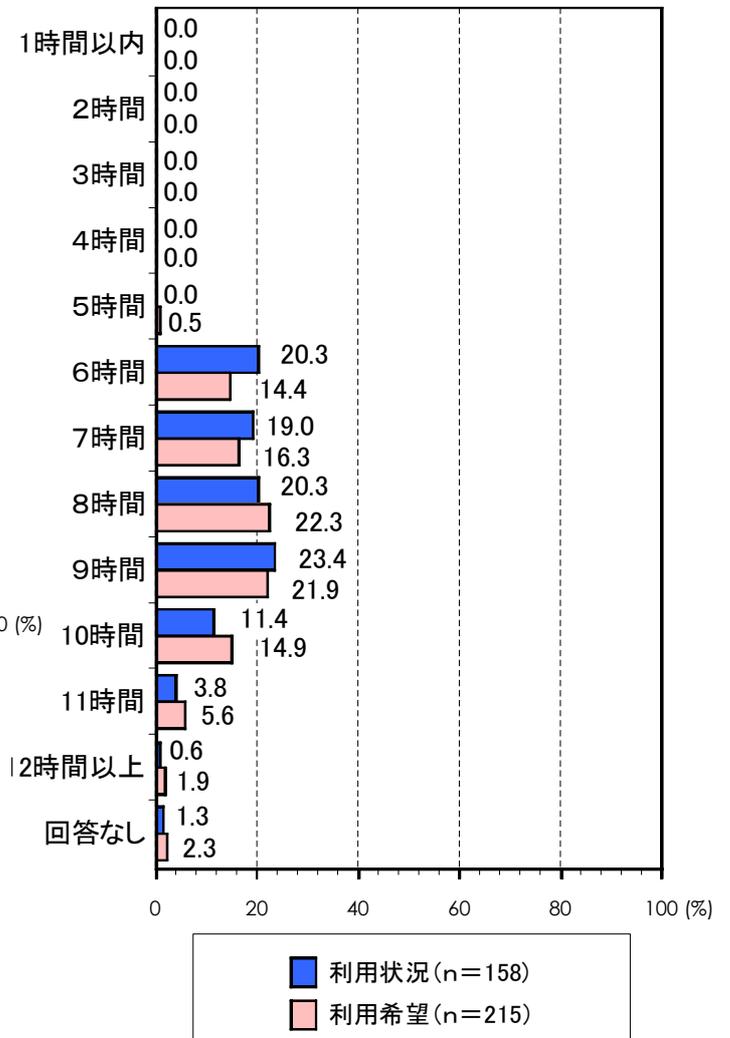
【日本人】

- 1週あたりの利用状況日数は、「5日」が88.6%、「6日」が7.6%です。
- 1週あたりの利用希望日数は、「5日」が87.9%、「6日」が4.7%です。
- 1日あたりの利用状況時間は、「9時間」が23.4%、「6時間」、「8時間」がそれぞれ20.3%です。
- 1日あたりの利用希望時間は、「8時間」22.3%、「9時間」が21.9%、「7時間」が16.3%です。
- 利用時間帯の利用状況は「8時30分」から「20時00分」、利用希望は「8時00分」から「20時30分」です。

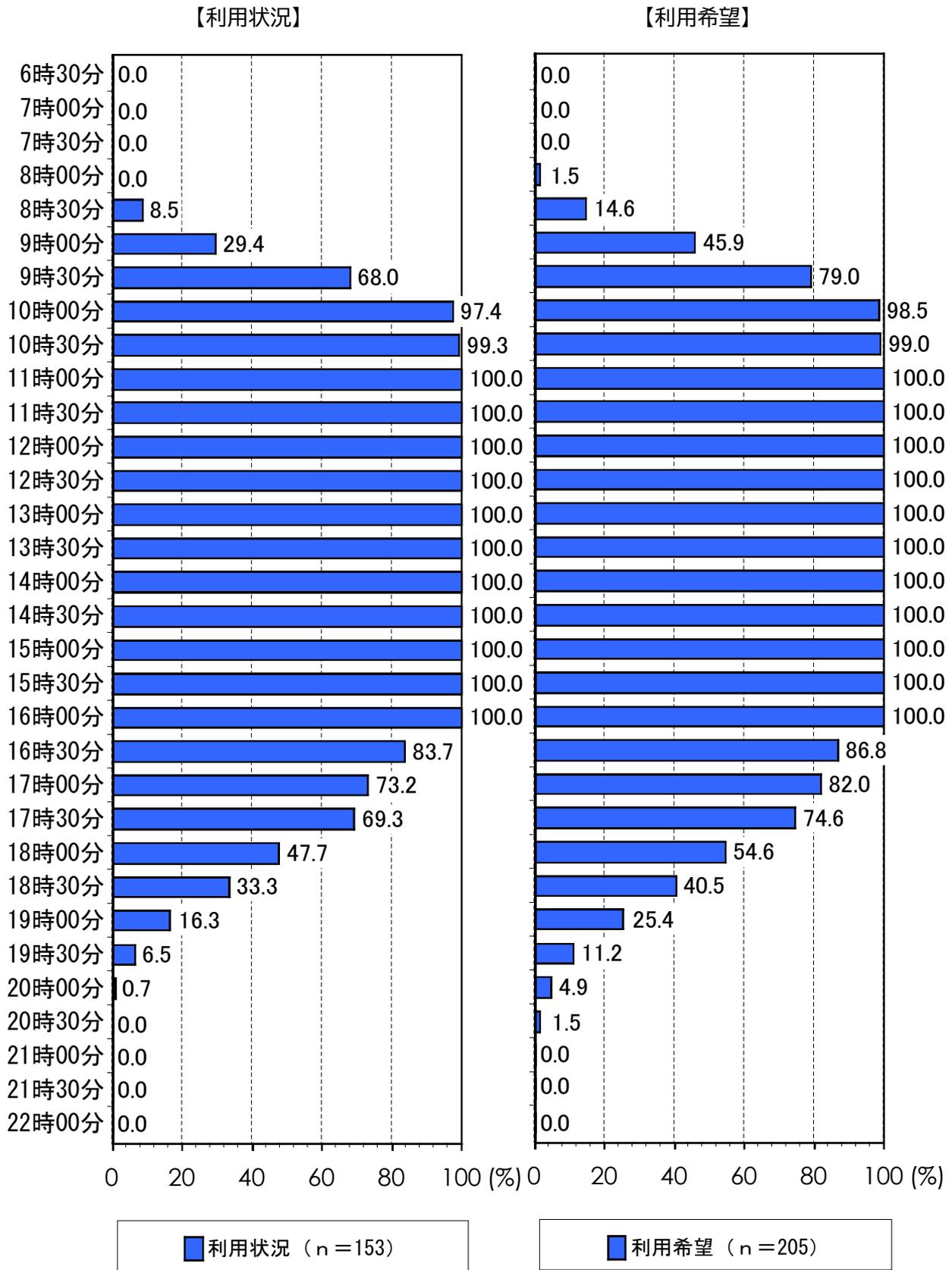
図表 2 - 59 市内の認定こども園の保育部の利用状況と利用希望の1週あたりの日数（日本人）



図表 2 - 60 市内の認定こども園の保育部の利用状況と利用希望の1日あたりの時間（日本人）



図表 2 - 61 市内の認定こども園の保育部の利用時間帯（日本人）

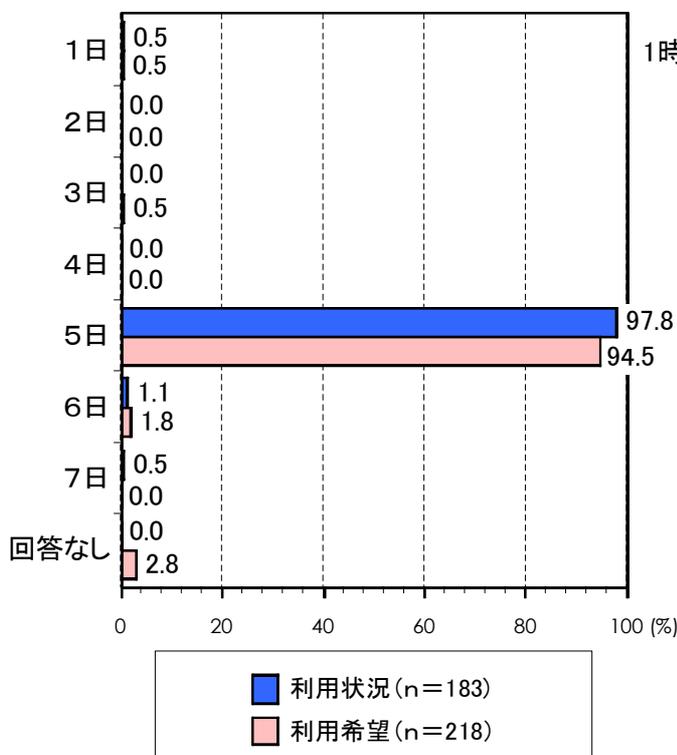


⑥市内の幼稚園の利用状況と利用希望

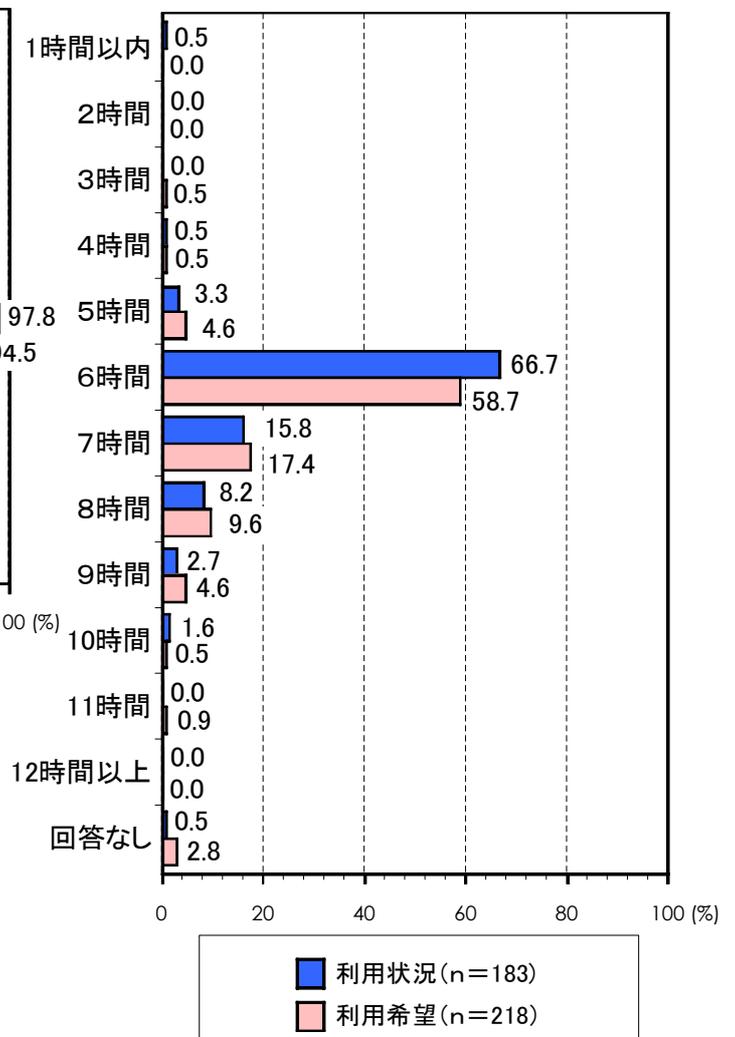
【日本人】

- 1週あたりの利用状況日数は、「5日」が97.8%、「6日」が1.1%です。
- 1週あたりの利用希望日数は、「5日」が94.5%、「6日」が1.8%です。
- 1日あたりの利用状況時間は、「6時間」が66.7%、「7時間」が15.8%、「8時間」が8.2%です。
- 1日あたりの利用希望時間は、「6時間」が58.7%、「7時間」が17.4%、「8時間」が9.6%です。
- 利用時間帯の利用状況は「8時30分」から「19時30分」、利用希望は「8時30分」から「20時00分」です。

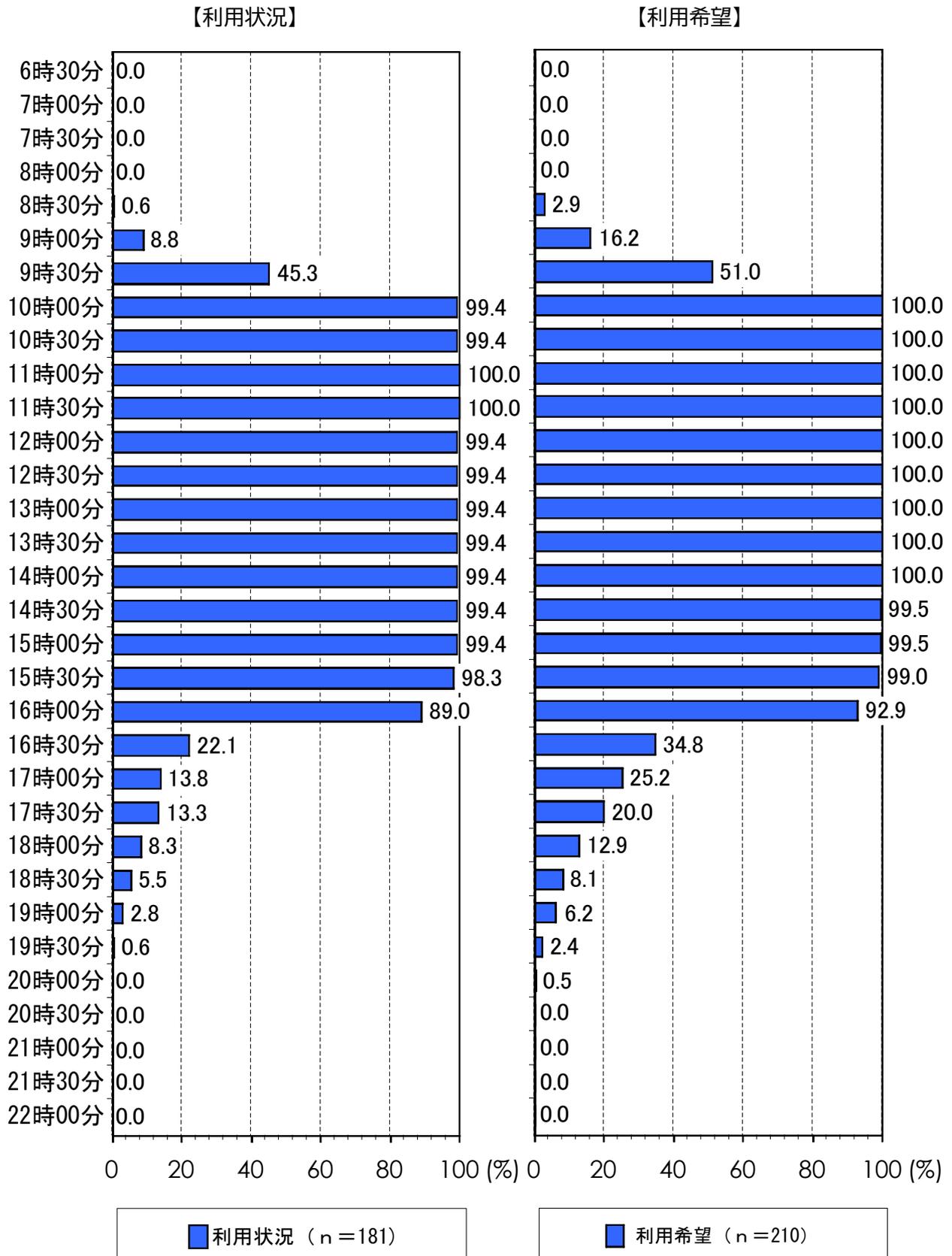
図表 2 - 62 市内の幼稚園の利用状況と利用希望の1週あたりの日数 (日本人)



図表 2 - 63 市内の幼稚園の利用状況と利用希望の1日あたりの時間 (日本人)



図表 2 - 64 市内の幼稚園の利用時間帯（日本人）

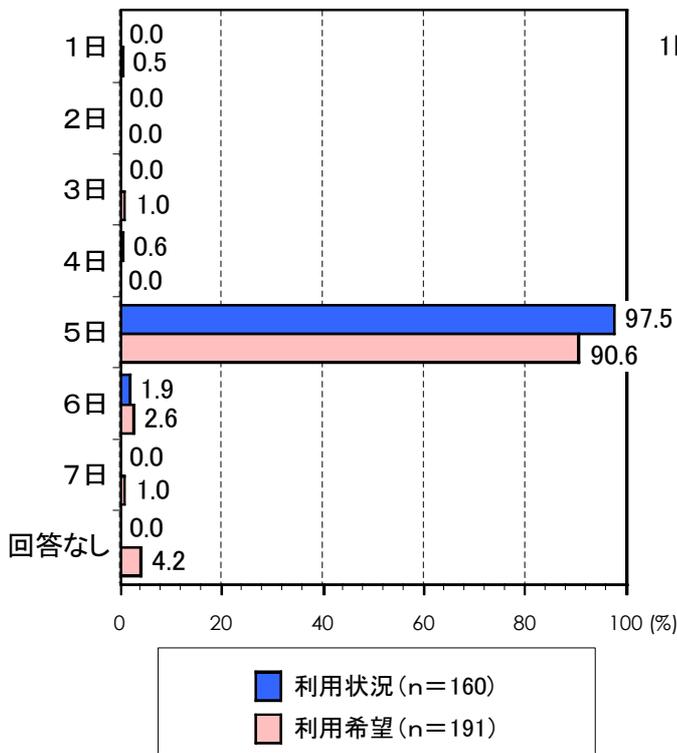


⑦市内の認定こども園の教育部の利用状況と利用希望

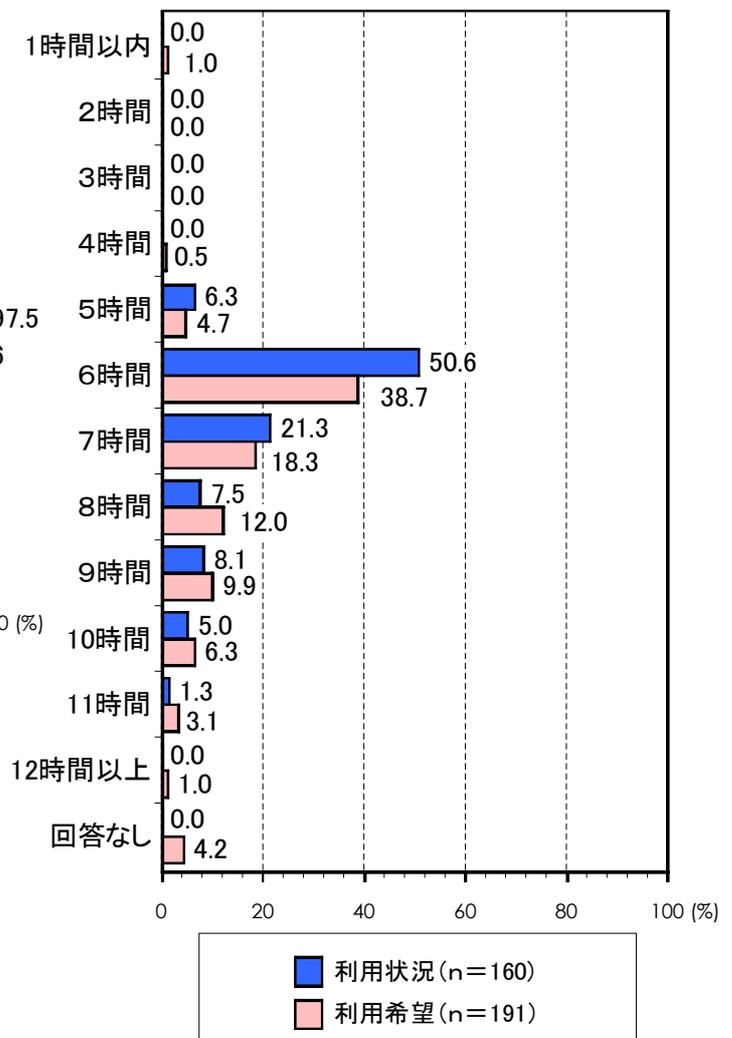
【日本人】

- 1週あたりの利用状況日数は、「5日」が97.5%、「6日」が1.9%です。
- 1週あたりの利用希望日数は、「5日」が90.6%、「6日」が2.6%です。
- 1日あたりの利用状況時間は、「6時間」が50.6%、「7時間」が21.3%、「9時間」が8.1%です。
- 1日あたりの利用希望時間は、「6時間」が38.7%、「7時間」が18.3%、「8時間」が12.0%です。
- 利用時間帯の利用状況は「8時30分」から「20時00分」、利用希望は「8時00分」から「20時30分」です。

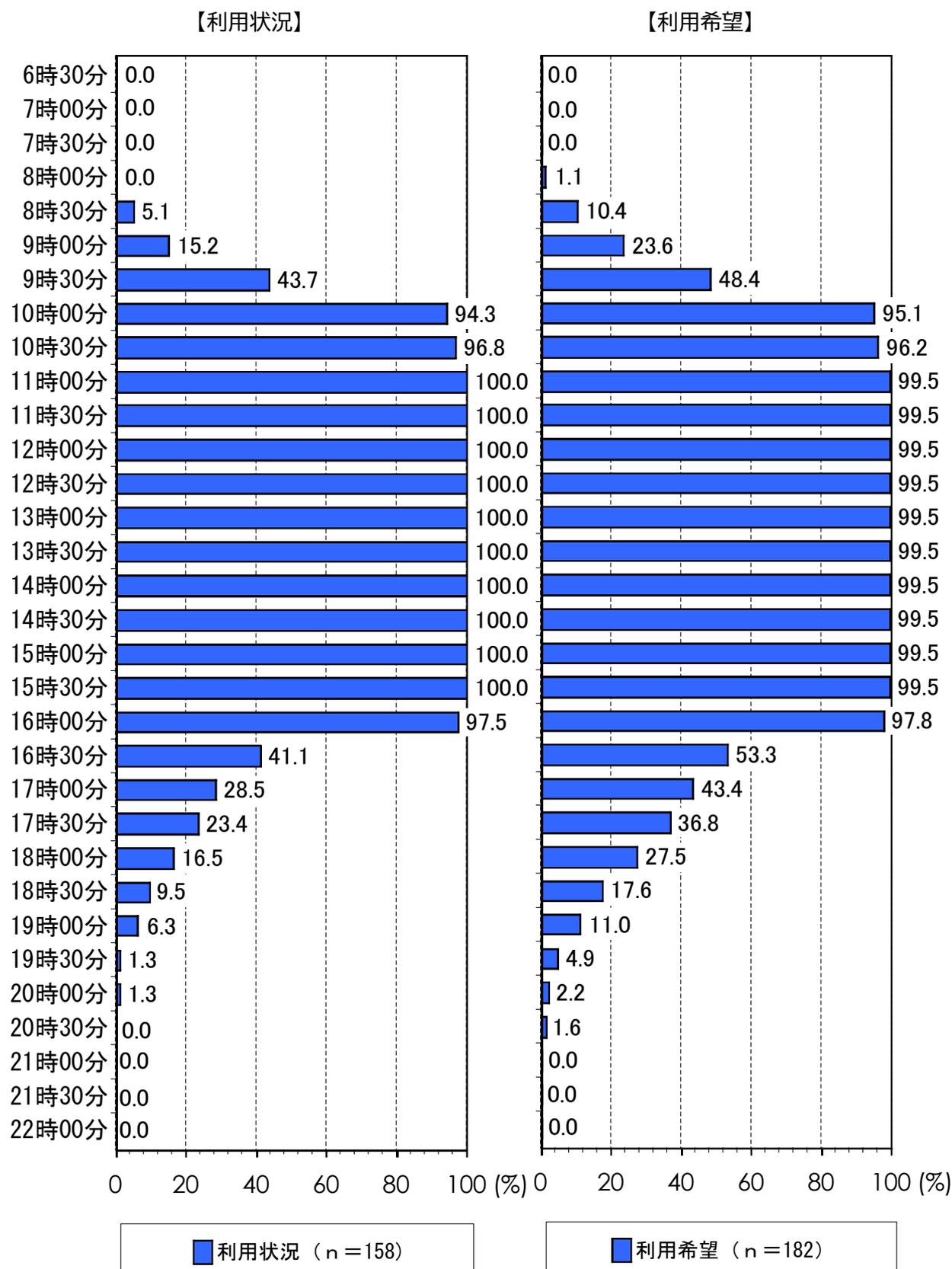
図表 2 - 65 市内の認定こども園の教育部の利用状況と利用希望の1週あたりの日数（日本人）



図表 2 - 66 市内の認定こども園の教育部の利用状況と利用希望の1日あたりの時間（日本人）



図表 2 - 67 市内の認定こども園の教育部の利用時間帯（日本人）

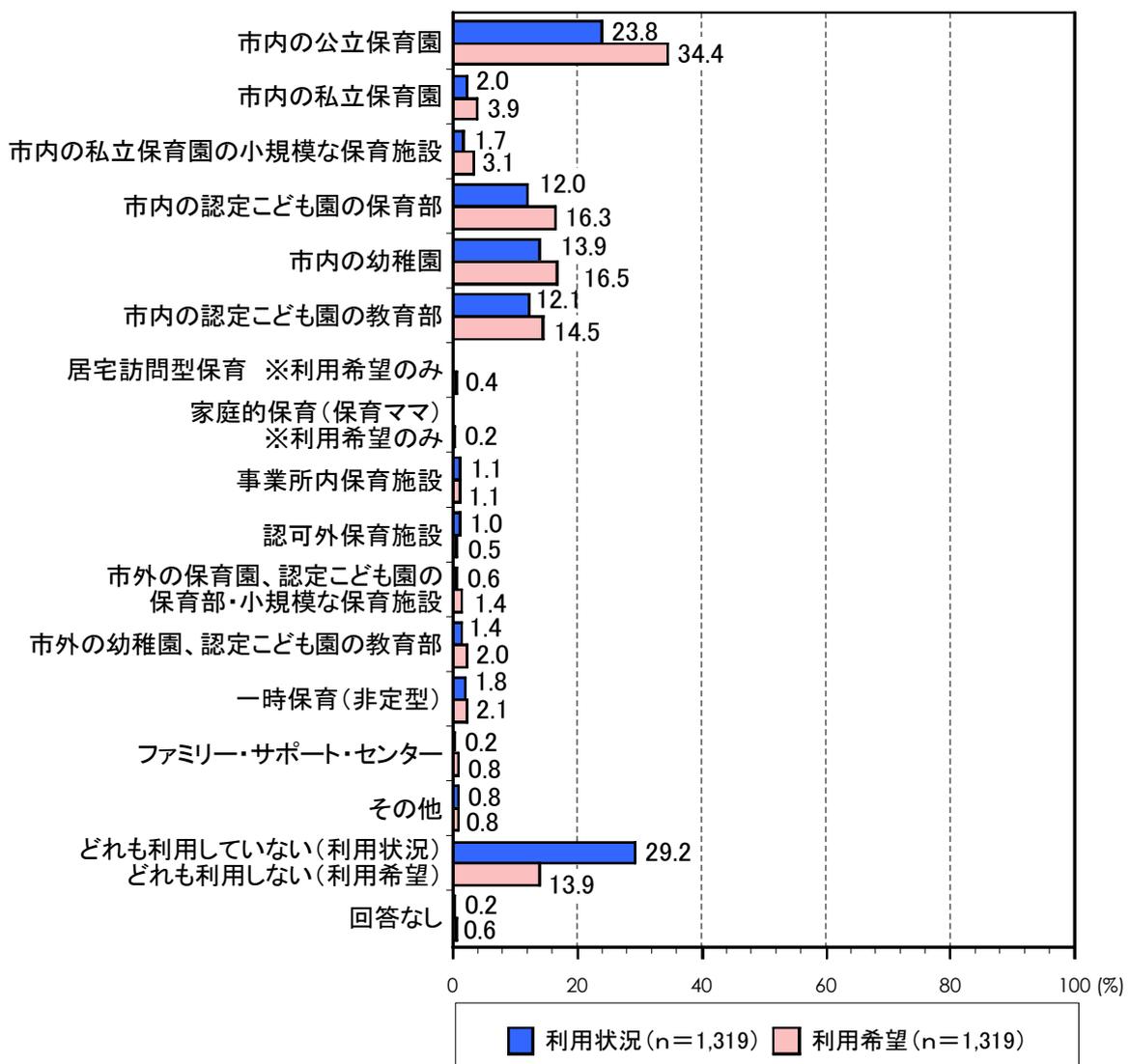


⑧その他の事業の利用状況と利用希望

【日本人】

- その他の事業の利用状況では、「一時保育（非定型）」1.8%、「市外の幼稚園、認定こども園の教育部」1.4%、「事業所内保育施設」1.1%となっています。一方、「どれも利用していない」が29.2%です。
- 利用希望で2%を超えているものは、「一時保育（非定型）」と「市外の幼稚園、認定こども園の教育部」です。一方、「どれも利用しない」が13.9%です。
- 事業所内保育施設、認可外保育施設、市外の保育園、認定こども園の保育部・小規模な保育施設、市外の幼稚園、認定こども園の教育部の1週間あたりの利用日数と利用希望日数を比較すると、利用日数・利用希望日数共に「5日」が最も高くなっています。
- 一時保育（非定型）の1か月あたりの利用日数は「1日」「2日」が20.8%と最も高くなっています。「7日以上」の内訳は、「9日」が1件、「10日」が3件、「12日」が2件です。利用希望日数は「3日」28.6%が最も高くなっています。
- ファミリー・サポート・センターの1週間あたりの利用回数は「1回」が100%ですが、利用希望回数は、「1回」が5件、「2回」が3件、「3回」が2件、「5回」が1件です。
- 預かり保育は、1週間あたりの利用日数・利用希望日数共に「5日」が最も高く、「3日」「4日」と続いています。

図表 2 - 48 定期的な教育・保育事業等の利用状況と利用希望（日本人）《P. 36 より再掲》



図表 2 - 68 その他の事業の利用日数・回数（日本人）

	事業所内 保育施設		認可外 保育施設		市外の保育園、認 定こども園の保 育部・小規模な保 育施設		市外の幼稚園、認 定こども園の 教育部		一時保育 (非定型) ※1か月あたり		ファミリー・ サポート・ センター		預かり保育	
	n=	%	n=	%	n=	%	n=	%	n=	%	n=	%	n=	%
全体	15	100.0	13	100.0	8	100.0	18	100.0	24	100.0	2	100.0	94	100.0
1日	0	0.0	1	7.7	1	12.5	1	5.6	5	20.8	2	100.0	11	11.7
2日	1	6.7	2	15.4	1	12.5	0	0.0	5	20.8	0	0.0	5	5.3
3日	3	20.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	12.5	0	0.0	15	16.0
4日	2	13.3	2	15.4	0	0.0	0	0.0	1	4.2	0	0.0	13	13.8
5日	6	40.0	8	61.5	6	75.0	16	88.9	1	4.2	0	0.0	48	51.1
6日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	2.1
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	25.0	0	0.0	0	0.0
回答なし	3	20.0	0	0.0	0	0.0	1	5.6	3	12.5	0	0.0	0	0.0

※ファミリー・サポート・センターは1週間あたりの利用回数、単位：回
※一時保育（非定型）の「7日」は7日以上の回答を含む

図表 2 - 69 その他の事業の利用希望日数・回数（日本人）

	居宅訪問型 保育		家庭的保育 (保育ママ)		事業所内 保育施設		認可外 保育施設		市外の保育園、認 定こども園の保 育部・小規模な保 育施設		市外の幼稚園、認 定こども園の 教育部		一時保育 (非定型) ※1か月あたり	
	n=	%	n=	%	n=	%	n=	%	n=	%	n=	%	n=	%
全体	5	100.0	2	100.0	14	100.0	6	100.0	19	100.0	26	100.0	28	100.0
1日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	16.7	0	0.0	0	0.0	1	3.6
2日	1	20.0	0	0.0	1	7.1	1	16.7	0	0.0	0	0.0	7	25.0
3日	1	20.0	0	0.0	1	7.1	0	0.0	1	5.3	1	3.8	8	28.6
4日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	4	14.3
5日	3	60.0	2	100.0	10	71.4	3	50.0	16	84.2	23	88.5	4	14.3
6日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.3	1	3.8	1	3.6
7日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
回答なし	0	0.0	0	0.0	2	14.3	1	16.7	1	5.3	1	3.8	3	10.7

	ファミリー・ サポート・ センター		預かり保育	
	n=	%	n=	%
全体	11	100.0	136	100.0
1日	5	45.5	10	7.4
2日	3	27.3	7	5.1
3日	2	18.2	16	11.8
4日	0	0.0	11	8.1
5日	1	9.1	87	64.0
6日	0	0.0	4	2.9
7日	0	0.0	1	0.7
回答なし	0	0.0	0	0.0

※ファミリー・サポート・センターは1週間あたりの利用回数、単位：回
※一時保育（非定型）の「7日」は7日以上の回答を含む

図表 2 - 70 その他の事業の利用時間数（日本人）

	事業所内 保育施設		認可外 保育施設		市外の保育園、認 定こども園の保 育部・小規模な保 育施設		市外の幼稚園、認 定こども園の 教育部		ファミリー・ サポート・ センター		預かり保育	
	n=	%	n=	%	n=	%	n=	%	n=	%	n=	%
全体	15	100.0	13	100.0	8	100.0	18	100.0	2	100.0	94	100.0
1時間以内	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.6	0	0.0	30	31.9
2時間	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	100.0	32	34.0
3時間	0	0.0	0	0.0	1	12.5	0	0.0	0	0.0	8	8.5
4時間	2	13.3	0	0.0	1	12.5	2	11.1	0	0.0	2	2.1
5時間	2	13.3	0	0.0	0	0.0	5	27.8	0	0.0	1	1.1
6時間	4	26.7	5	38.5	1	12.5	6	33.3	0	0.0	7	7.4
7時間	0	0.0	4	30.8	1	12.5	1	5.6	0	0.0	1	1.1
8時間	4	26.7	2	15.4	2	25.0	2	11.1	0	0.0	2	2.1
9時間	0	0.0	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	5	5.3
10時間	0	0.0	1	7.7	1	12.5	0	0.0	0	0.0	1	1.1
11時間	0	0.0	0	0.0	1	12.5	0	0.0	0	0.0	2	2.1
12時間以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
回答なし	3	20.0	0	0.0	0	0.0	1	5.6	0	0.0	3	3.2

図表 2 - 71 その他の事業の利用希望時間数（日本人）

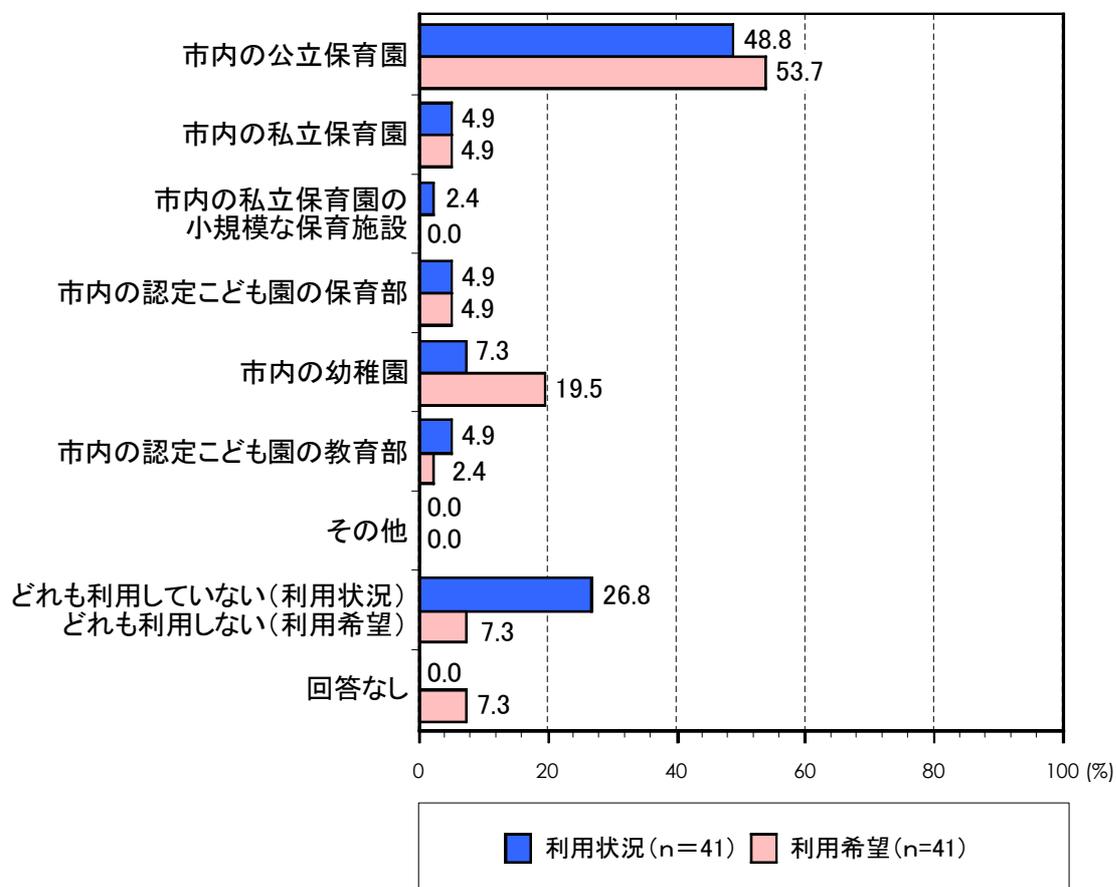
	居宅訪問型 保育		家庭的保育 (保育ママ)		事業所内 保育施設		認可外 保育施設		市外の保育園、認 定こども園の保 育部・小規模な保 育施設		市外の幼稚園、認 定こども園の 教育部	
	n=	%	n=	%	n=	%	n=	%	n=	%	n=	%
全体	5	100.0	2	100.0	14	100.0	6	100.0	19	100.0	26	100.0
1時間以内	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2時間	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3時間	2	40.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
4時間	0	0.0	0	0.0	1	7.1	0	0.0	1	5.3	2	7.7
5時間	0	0.0	0	0.0	1	7.1	0	0.0	1	5.3	4	15.4
6時間	0	0.0	0	0.0	2	14.3	2	33.3	3	15.8	9	34.6
7時間	1	20.0	0	0.0	0	0.0	2	33.3	1	5.3	5	19.2
8時間	0	0.0	0	0.0	5	35.7	0	0.0	4	21.1	3	11.5
9時間	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	15.8	1	3.8
10時間	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	5.3	1	3.8
11時間	2	40.0	2	100.0	3	21.4	1	16.7	4	21.1	0	0.0
12時間以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
回答なし	0	0.0	0	0.0	2	14.3	1	16.7	1	5.3	1	3.8

	ファミリー・ サポート・ センター		預かり保育	
	n=	%	n=	%
全体	11	100.0	136	100.0
1時間以内	1	9.1	33	24.3
2時間	4	36.4	46	33.8
3時間	3	27.3	16	11.8
4時間	3	27.3	4	2.9
5時間	0	0.0	5	3.7
6時間	0	0.0	12	8.8
7時間	0	0.0	3	2.2
8時間	0	0.0	5	3.7
9時間	0	0.0	8	5.9
10時間	0	0.0	1	0.7
11時間	0	0.0	1	0.7
12時間以上	0	0.0	0	0.0
回答なし	0	0.0	2	1.5

【外国籍】

- 「その他」は利用状況、利用希望ともに回答がありません。

図表 2 - 49 定期的な教育・保育事業等の利用状況と利用希望（外国籍）《P. 37 より再掲》



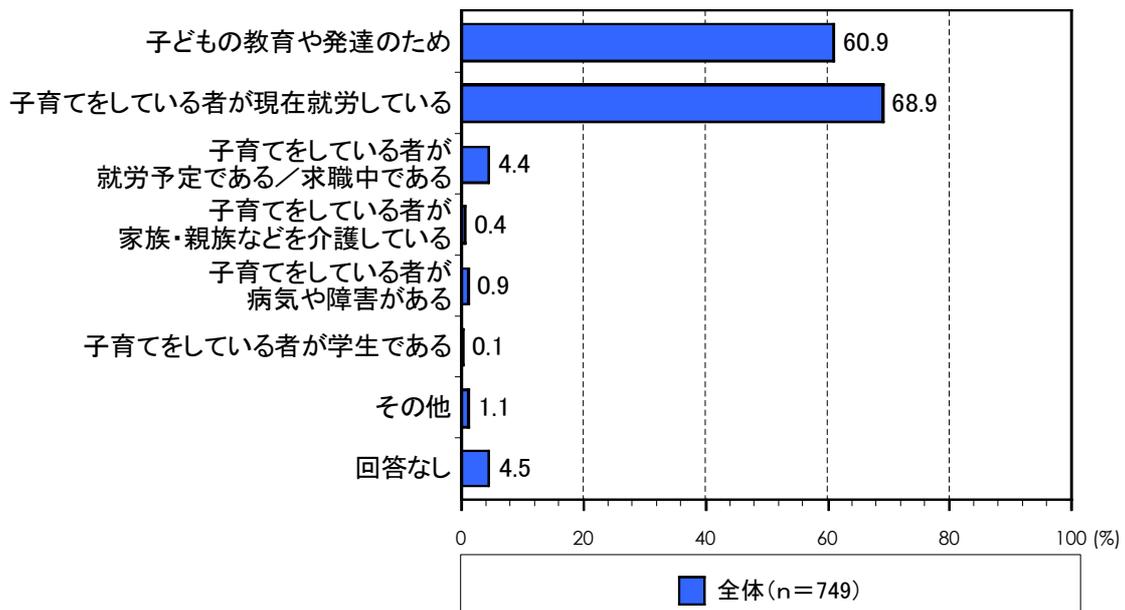
⑨平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由

【問 14（1）で「教育・保育の事業を利用している」と回答した方のみ対象】
 問 14-1 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか。
 （複数回答）

【日本人】

- 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は、「子育てをしている者が現在就労している」が 68.9%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 60.9%となっています。

図表 2 - 72 平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由(日本人)



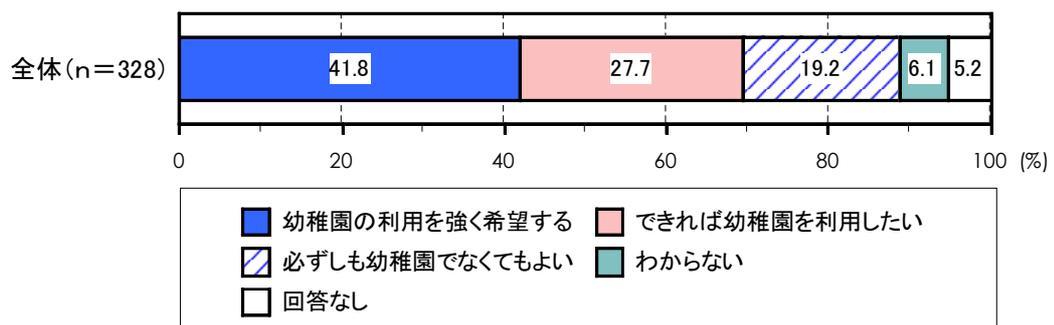
⑩幼稚園を希望する程度

【問 14（1）で幼稚園認定こども園の教育部を利用していると回答した方のみ対象】
 問 14-2 特に幼稚園等の利用をどの程度希望しますか。（単数回答）

【日本人】

- 「幼稚園の利用を強く希望する」が 41.8%と最も高く、「できれば幼稚園を利用したい」の 27.7%を合わせると、69.5%が幼稚園の利用を強く希望しています。一方、「必ずしも幼稚園でなくてもよい」は 19.2%です。

図表 2 - 73 幼稚園を希望する程度(日本人)



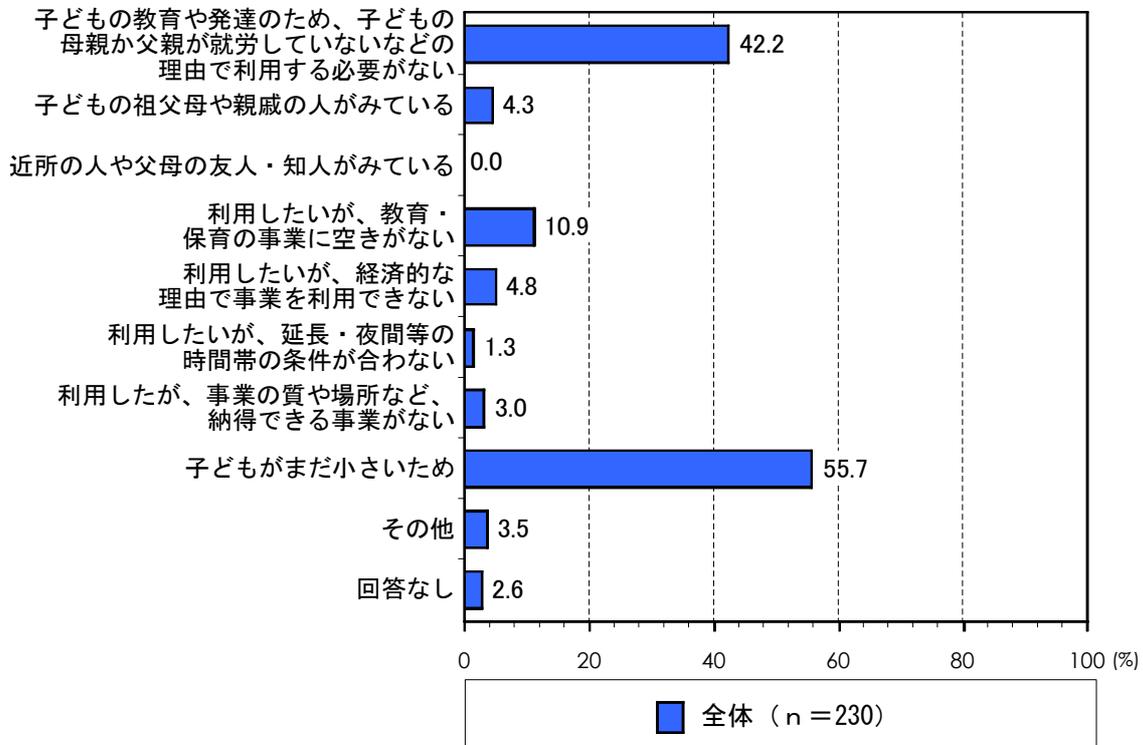
①平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由

【問 14（1）で教育・保育の事業を「どれも利用していない」と回答した方のみ対象】
 問 14-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか。（複数回答）

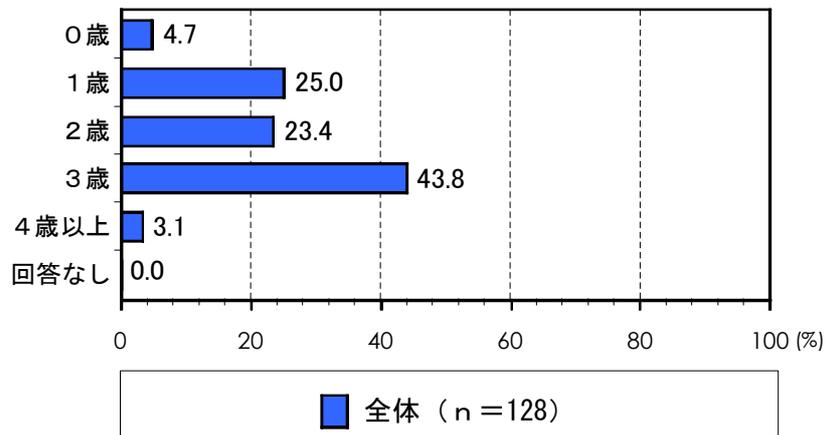
【日本人】

- 平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」が 55.7%と最も高く、「子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で利用する必要がない」が 42.2%、「利用したいが、教育・保育の事業に空きがない」が 10.9%です。
- 「子どもがまだ小さいため」と回答した人が定期的に教育・保育の事業を利用しようと考えている子どもの年齢は、「3歳」が 43.8%、「1歳」が 25.0%、「2歳」が 23.4%です。

図表 2 - 74 平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由（日本人）



図表 2 - 75 定期的に教育・保育の事業を利用しようと考えている子どもの年齢（日本人）



5. 子どもの病気の際の対応について

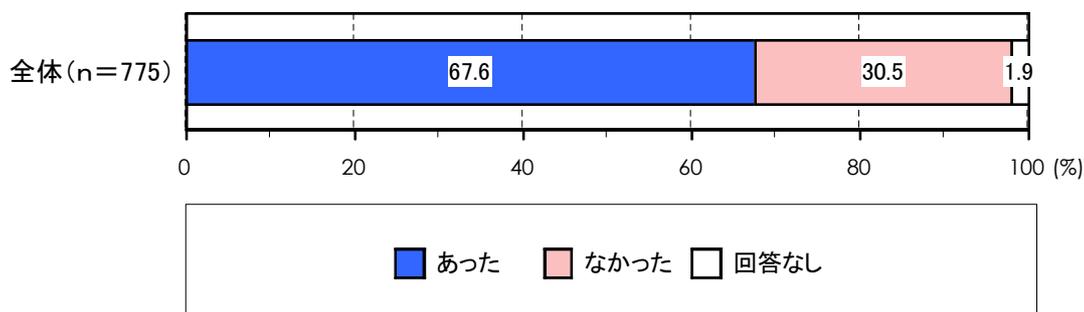
【問 14（1）で「教育・保育の事業を利用している」と回答した方のみ対象】

問 15 この1年間（2022年11月から2023年10月まで）に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（単数回答）

【日本人】

- 宛名の子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことは、「あった」が67.6%です。

図表 2 - 76 子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと（日本人）



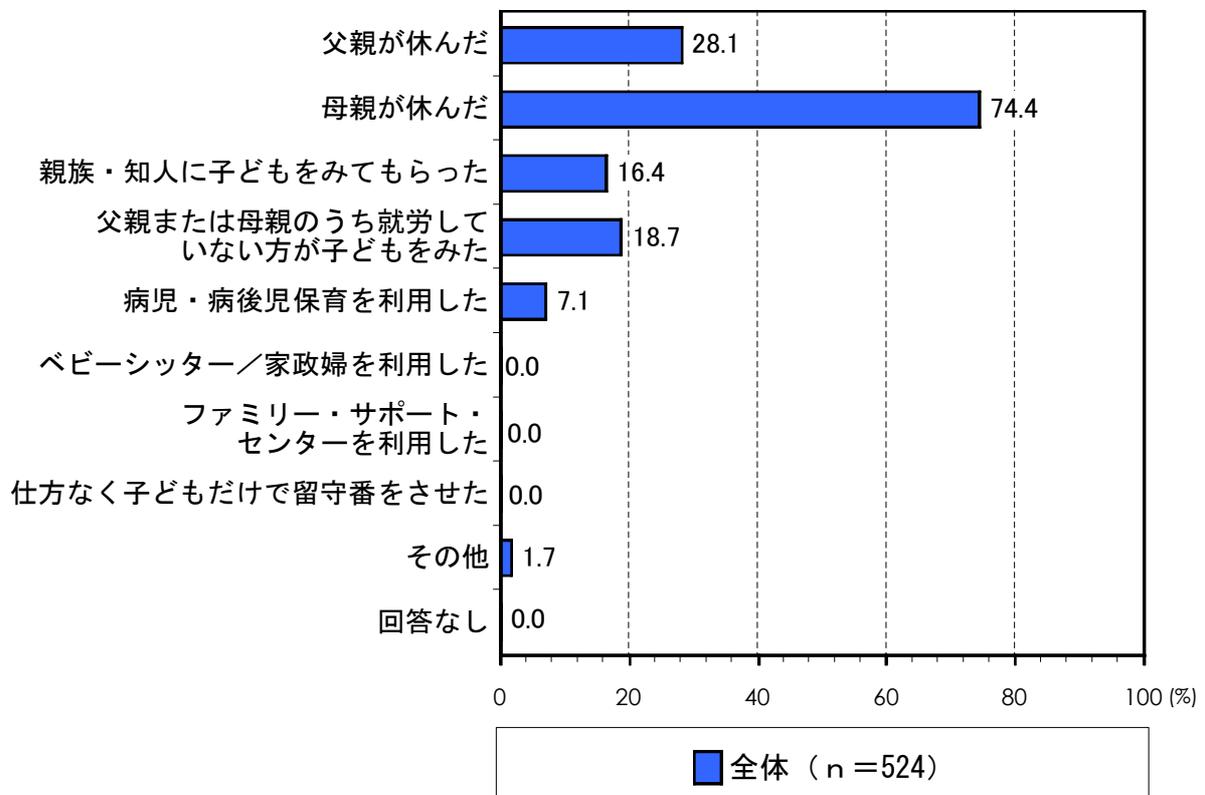
【問 15 で教育・保育の事業が利用できないことが「あった」と回答した方のみ対象】

問 15-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間（2022年11月から2023年10月まで）に行った対処方法を教えてください。（複数回答）

【日本人】

- 宛名の子どもが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかったことがあった人の対処方法は、「母親が休んだ」が74.4%、「父親が休んだ」が28.1%、「父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた」が18.7%です。

図表 2 - 77 子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法（日本人）



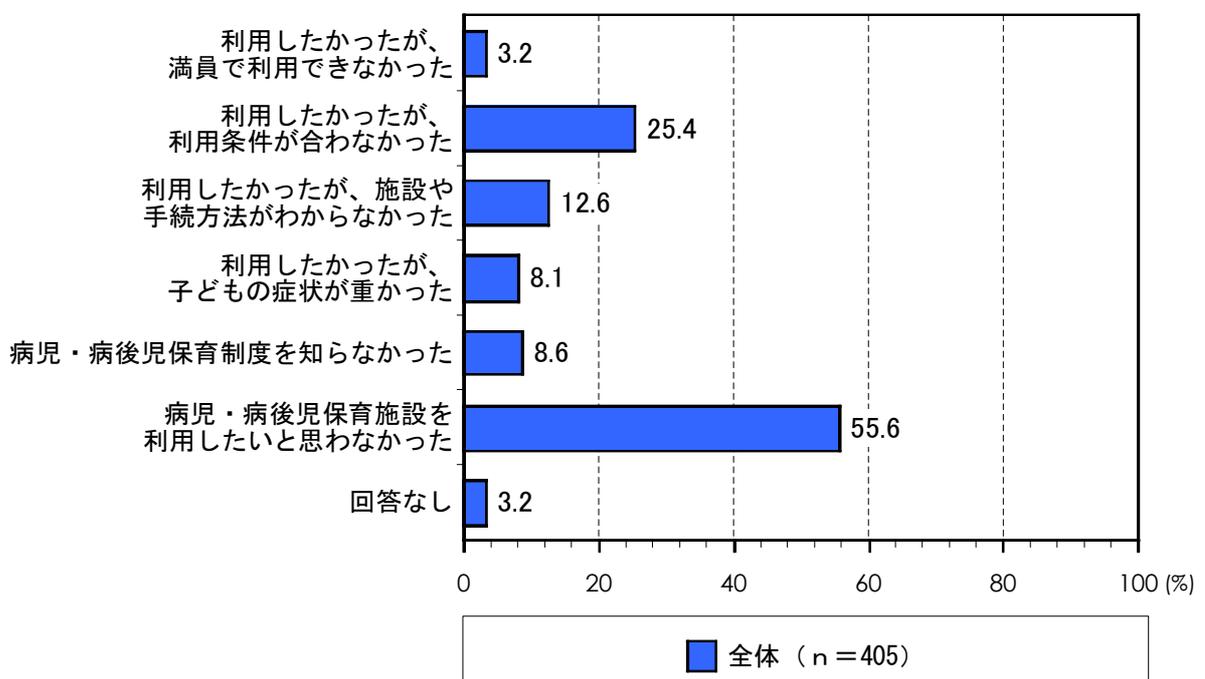
【問15-1で教育・保育の事業が利用できない場合に「父親が休んだ」「母親が休んだ」と回答した方のみ対象】

問15-2 お子さんが病気やけがのときに、病児・病後児のための保育施設等を利用しなかったのはなぜですか。(複数回答)

【日本人】

- 子どもが病気やケガで病児・病後児保育施設を利用しなかった理由は、「病児・病後児保育施設を利用したいと思わなかった」が55.6%と最も高く、「利用したかったが、利用条件が合わなかった」が25.4%、「利用したかったが、施設や手続き方法がわからなかった」が12.6%と続いています。

図表 2 - 78 病児・病後児保育施設を利用しなかった理由 (日本人)



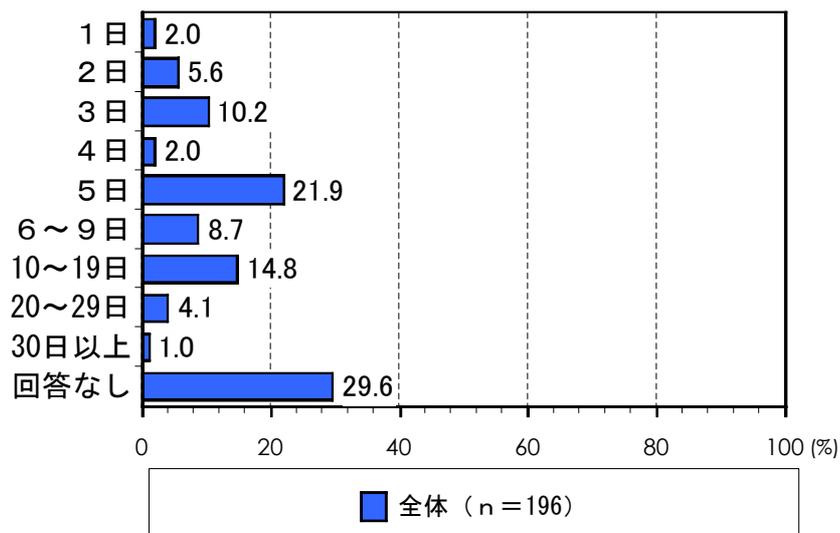
【問15-2で病児・病後児保育施設を利用したかったが「できなかった」、「知らなかった」と回答した方のみ対象】

問15-3 今後、病児・病後児のための保育施設等を利用する場合、どの程度の日数の利用が想定されますか。

【日本人】

- 病児・病後児のための保育施設等を利用したかった人の、今後の利用想定日数は、「5日」が21.9%、「10~19日」が14.8%、「3日」が10.2%です。

図表 2 - 79 今後の病児・病後児保育施設等の利用想定日数（日本人）



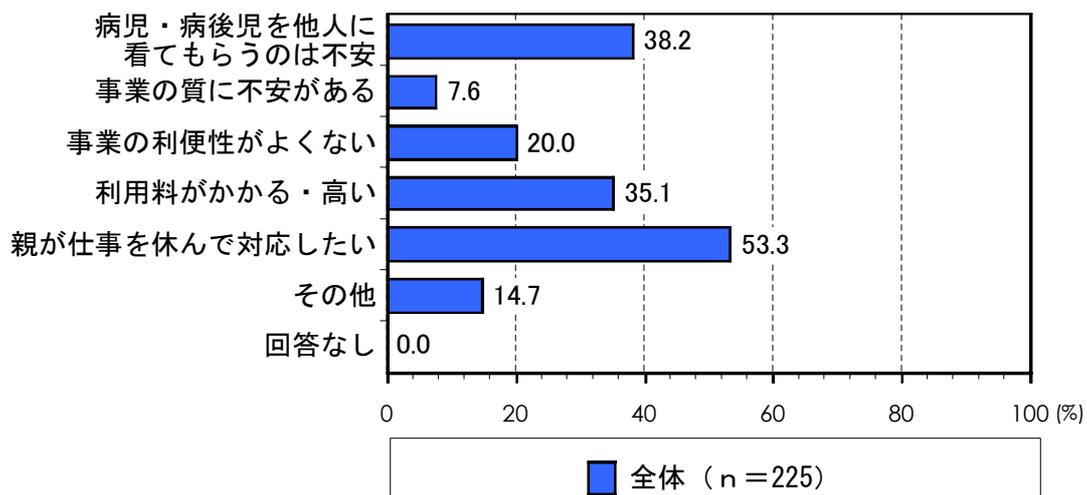
【問15-2で「病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わなかった」と回答した方のみ対象】

問15-4 あなたが、利用したいと思わなかった理由は何ですか。（複数回答）

【日本人】

- 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わなかった人の理由は、「親が仕事を休んで対応したい」が53.3%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が38.2%、「利用料がかかる・高い」が35.1%です。

図表 2 - 80 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わなかった理由（日本人）



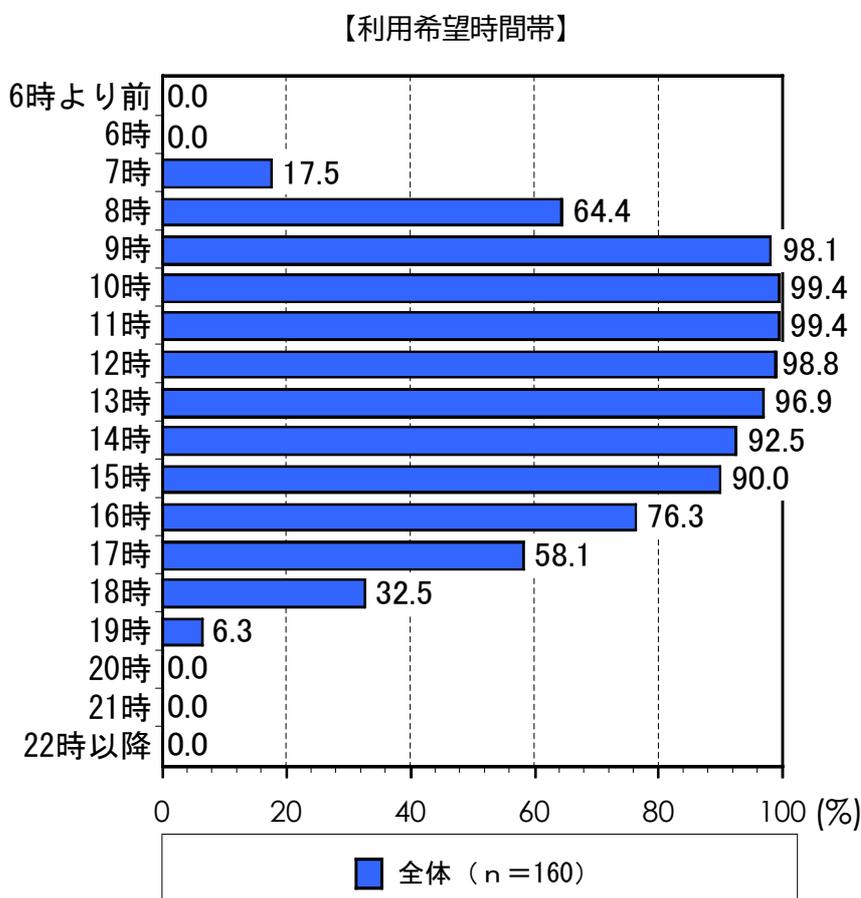
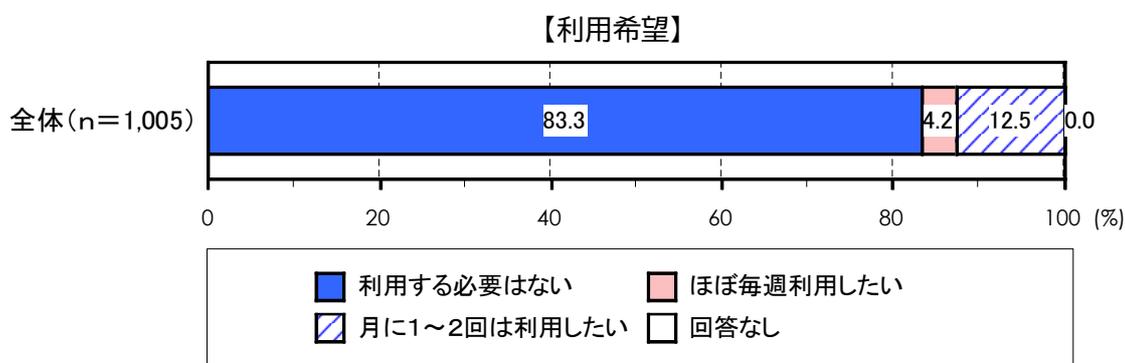
6. 土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 16 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。(単数回答)

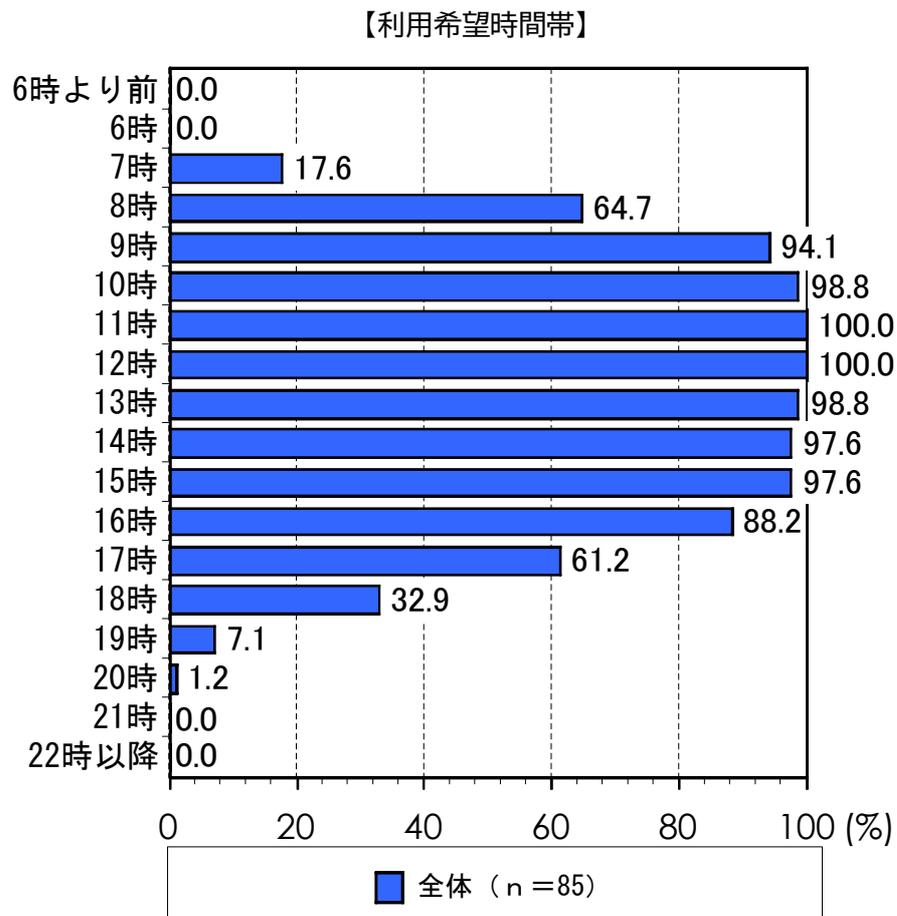
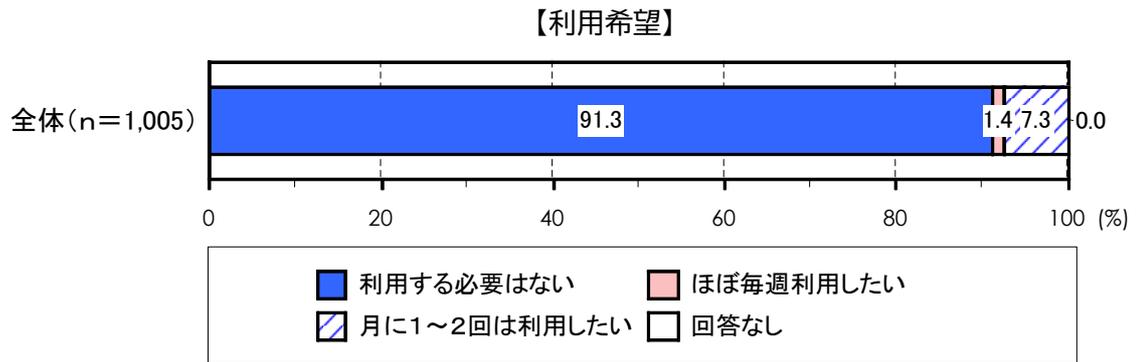
【日本人】

- 土曜日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が 4.2%、「月に1～2回は利用したい」が 12.5%です。利用希望時間帯は、「7時」から「19時」です。
- 日曜・祝日の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」が 1.4%、「月に1～2回は利用したい」が 7.3%です。利用希望時間帯は、「7時」から「20時」です。

図表 2 - 81 土曜日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望 (日本人)



図表 2 - 82 日曜・祝日の「定期的」な教育・保育事業の利用希望（日本人）

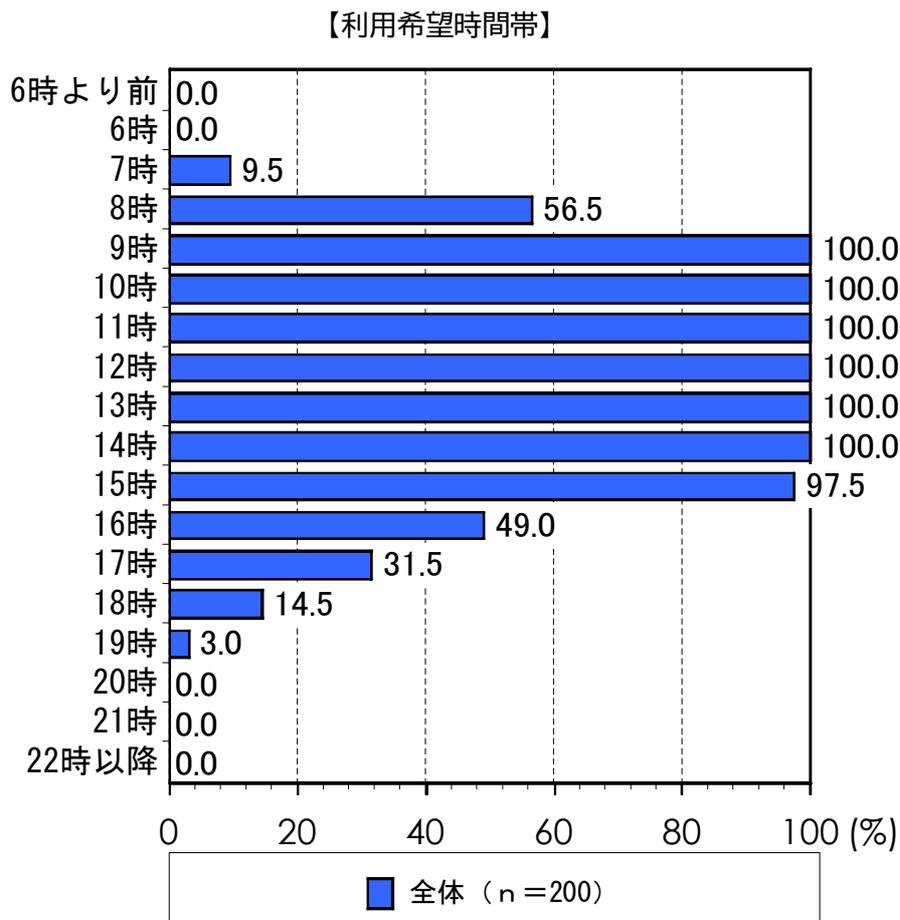
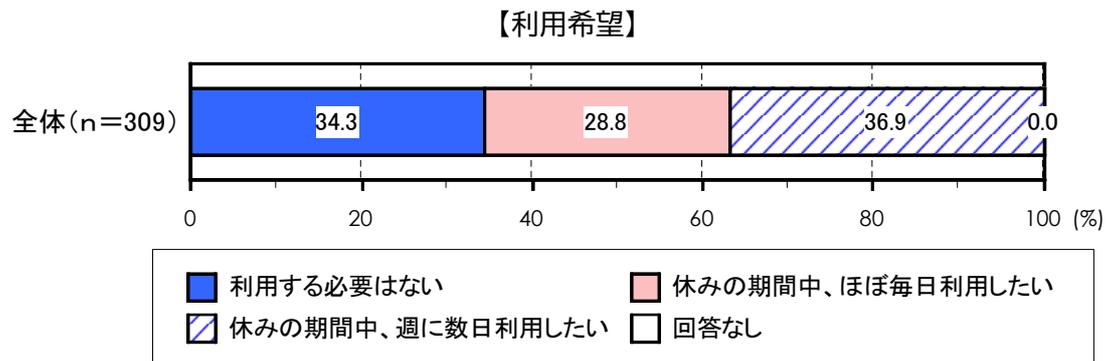


問 17 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(単数回答)

【日本人】

- 「休みの期間中、週に数日利用したい」が36.9%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が28.8%です。利用希望時間帯は、「7時」から「19時」です。

図表 2 - 83 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用希望 (日本人)



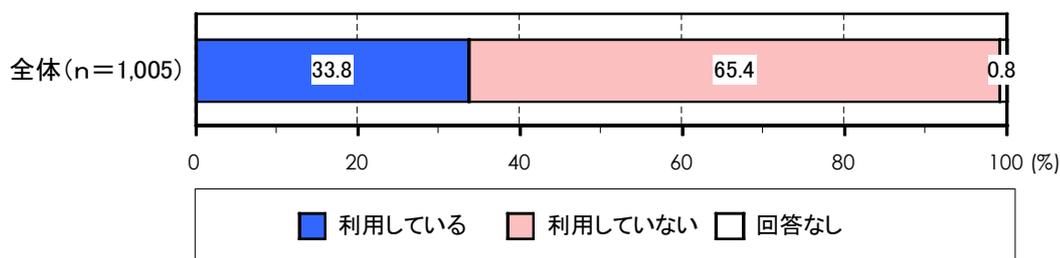
7. 地域の子育て支援事業の利用状況と利用希望について

問 18 宛名のお子さんは現在、地域子育て支援拠点事業などを利用していますか。(複数回答)

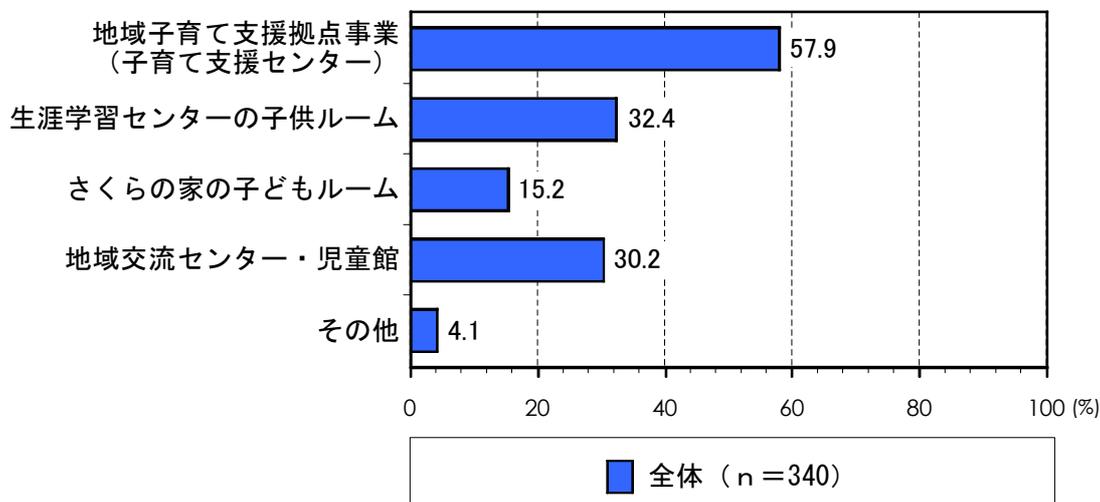
【日本人】

- 地域子育て支援拠点事業などの利用状況は、「利用している」が 33.8%です。
- 具体的には、「地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）」が 57.9%、「生涯学習センターの子供ルーム」が 32.4%、「地域交流センター・児童館」が 30.2%です。
- 1人あたりの年間平均利用回数は、「地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）」が 21.4回、「生涯学習センターの子供ルーム」が 19.5回、「地域交流センター・児童館」が 17.7回です。

図表 2 - 84 地域子育て支援拠点事業などの利用の有無(日本人)



図表 2 - 85 地域子育て支援拠点事業などの利用状況 (日本人)



図表 2 - 86 地域子育て支援拠点事業などの1人あたりの年間平均利用回数 (日本人)

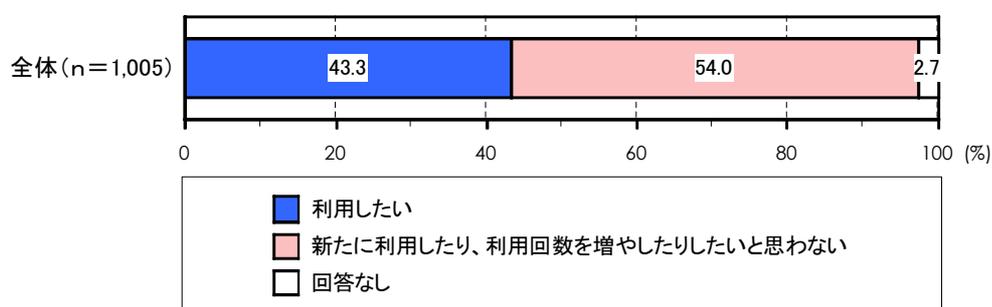
事業	回答数 (件)	回数を記入した回答数 (件)	1人あたりの年間平均利用回数 (回/年)
地域子育て支援拠点事業 (子育て支援センター)	197	194	21.4
生涯学習センターの子供ルーム	110	109	19.5
さくらの家の子どもルーム	53	53	11.5
地域交流センター・児童館	175	172	17.7
その他	14	13	15.7

問19 問18のような地域子育て支援拠点事業などを、今後は（または、今後も継続して）利用したいと思いますか。（複数回答）

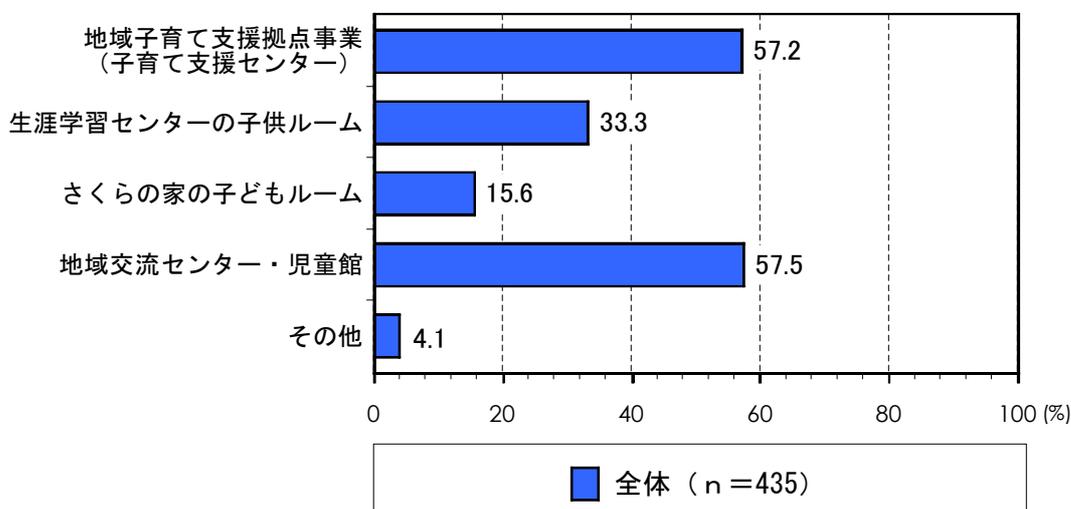
【日本人】

- 地域子育て支援拠点事業などの今後の利用希望は、「利用したい」が43.3%です。
- 利用したい施設は、「地域交流センター・児童館」が57.5%、「地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）」が57.2%、「生涯学習センターの子供ルーム」が33.3%です。
- 1人あたりの希望年間平均利用回数は、「地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）」が22.3回、「生涯学習センターの子供ルーム」が19.5回、「地域交流センター・児童館」が18.5回です。

図表 2 - 87 地域子育て支援拠点事業などの今後の利用希望の有無（日本人）



図表 2 - 88 地域子育て支援拠点事業などの利用希望（日本人）



図表 2 - 89 地域子育て支援拠点事業などの1人あたりの希望年間平均利用回数（日本人）

事業	回答数 (件)	回数を記入した回答数 (件)	1人あたりの年間平均利用回数 (回/年)
地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）	249	205	22.3
生涯学習センターの子供ルーム	145	122	19.5
さくらの家の子どもルーム	68	58	13.9
地域交流センター・児童館	250	210	18.5
その他	18	16	9.1

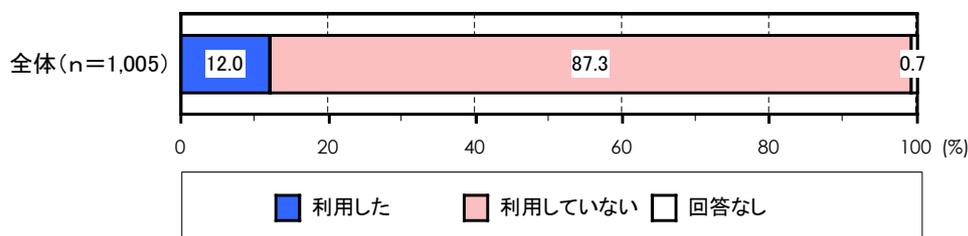
8. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問20 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用や親の通院、不定期就労等の目的で不定期に利用している教育・保育事業はありますか。
(複数回答)

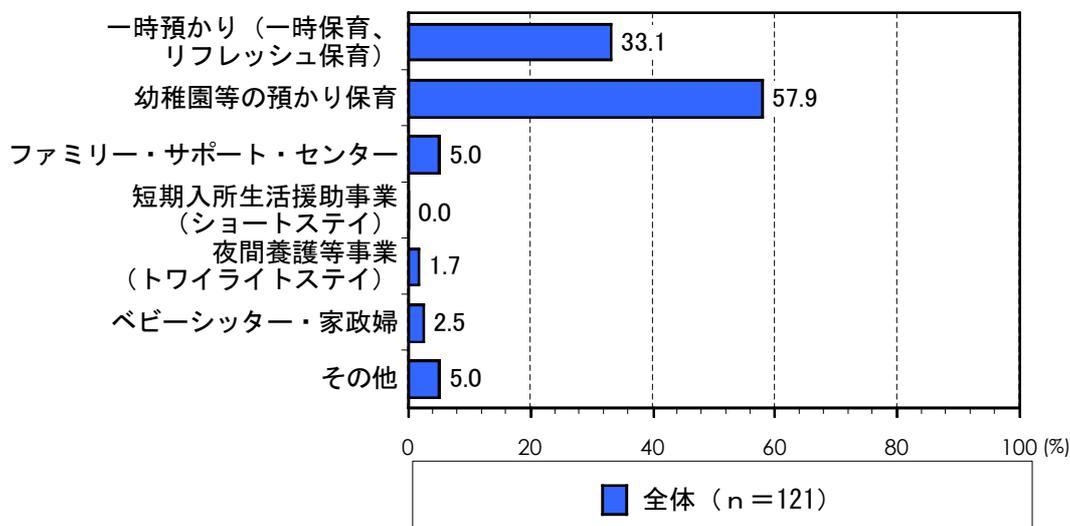
【日本人】

- 教育・保育事業の不定期の利用状況は、「利用した」が12.0%です。
- 利用している事業は、「幼稚園等の預かり保育」が57.9%、「一時預かり（一時保育、リフレッシュ保育）」が33.1%、「ファミリー・サポート・センター」が5.0%です。
- 1人あたりの年間平均利用日数は「幼稚園等の預かり保育」が34.6日、「一時預かり（一時保育、リフレッシュ保育）」が16.0日です。

図表 2 - 90 教育・保育事業の不定期の利用状況（日本人）



図表 2 - 91 不定期に利用している事業（日本人）



図表 2 - 92 教育・保育事業の不定期の利用状況の1人あたりの年間平均利用日数(日本人)

事業	回答数 (件)	日数を記入した回答数 (件)	1人あたりの年間平均利用日数 (日/年)
一時預かり（一時保育、リフレッシュ保育）	40	39	16.0
幼稚園等の預かり保育	70	66	34.6
ファミリー・サポート・センター	6	5	10.6
短期入所生活援助事業（ショートステイ）	0	-	-
夜間養護等事業（トワイライトステイ）	2	2	5.0
ベビーシッター・家政婦	3	3	6.3
その他	6	5	16.2

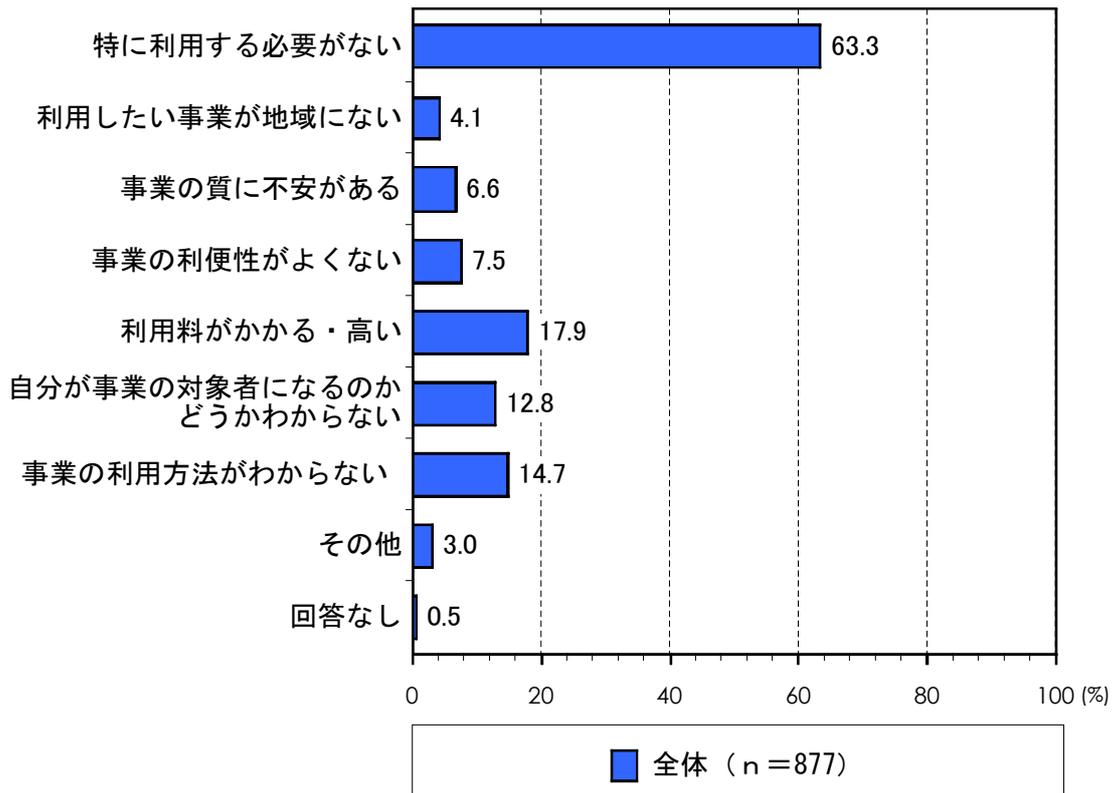
【問 20 で教育・保育事業を不定期に「利用していない」と回答した方のみ対象】

問 20-1 現在利用していない理由は何ですか。(複数回答)

【日本人】

- 「特に利用する必要がない」63.3%が最も高く、「利用料がかかる・高い」が17.9%、「事業の利用方法がわからない」が14.7%、「自分が事業の対象者になるのかわからない」が12.8%です。

図表 2 - 93 不定期の教育・保育事業を現在利用していない理由（日本人）

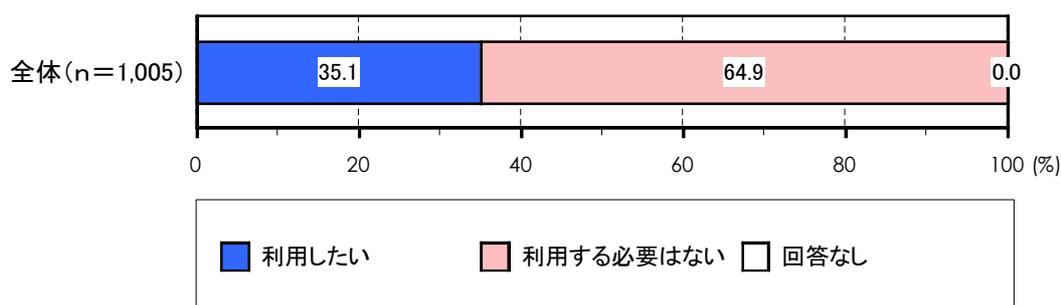


問21 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい不定期の教育・保育事業を利用する必要があると思いますか。(複数回答)

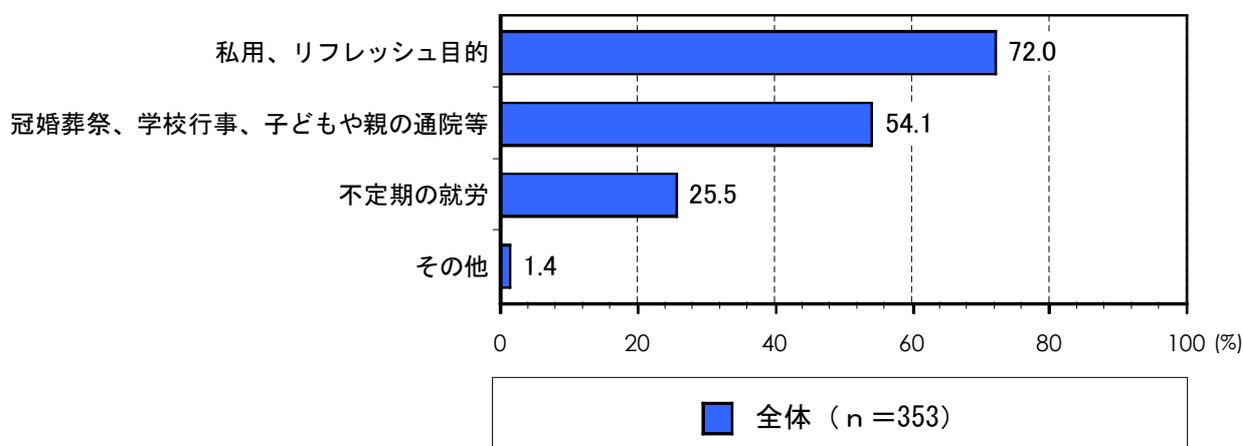
【日本人】

- 不定期の教育・保育事業の利用希望は、「利用したい」が35.1%です。
- 利用の目的は、「私用、リフレッシュ目的」が72.0%で最も高く、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が54.1%、「不定期の就労」が25.5%です。
- 1人あたりの希望年間平均利用日数は、「私用、リフレッシュ目的」が22.3日、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が19.5日、「不定期の就労」が13.9日です。

図表 2 - 94 不定期の教育・保育事業の利用希望（日本人）



図表 2 - 95 不定期の教育・保育事業の利用目的（日本人）



図表 2 - 96 不定期の教育・保育事業の利用希望の1人あたりの年間平均利用日数（日本人）

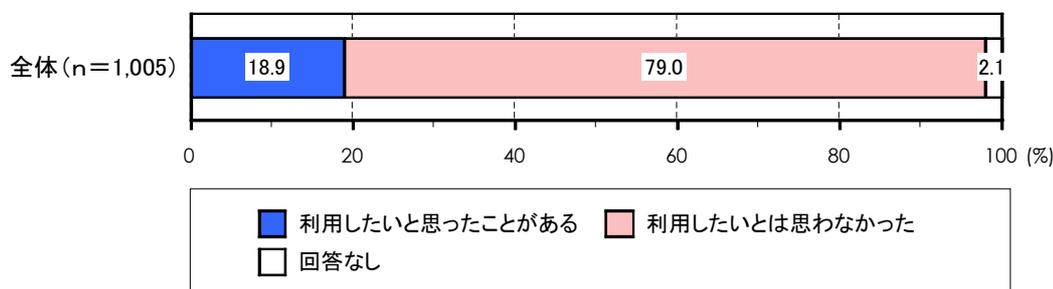
事業	回答数 (件)	日数を記入した 回答数 (件)	1人あたりの 年間平均利用日数 (日/年)
私用、リフレッシュ目的	254	244	22.3
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	191	187	19.5
不定期の就労	90	81	13.9
その他	5	5	18.5

問 22 この1年間（2022年11月から2023年10月まで）に、宛名のお子さんについて、次の「冠婚葬祭」、「保護者や家族の育児疲れ・不安」、「保護者や家族の病気」、「その他」の理由でショートステイ（短期入所生活援助事業：児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）を利用したいと思ったことがありますか。（複数回答）

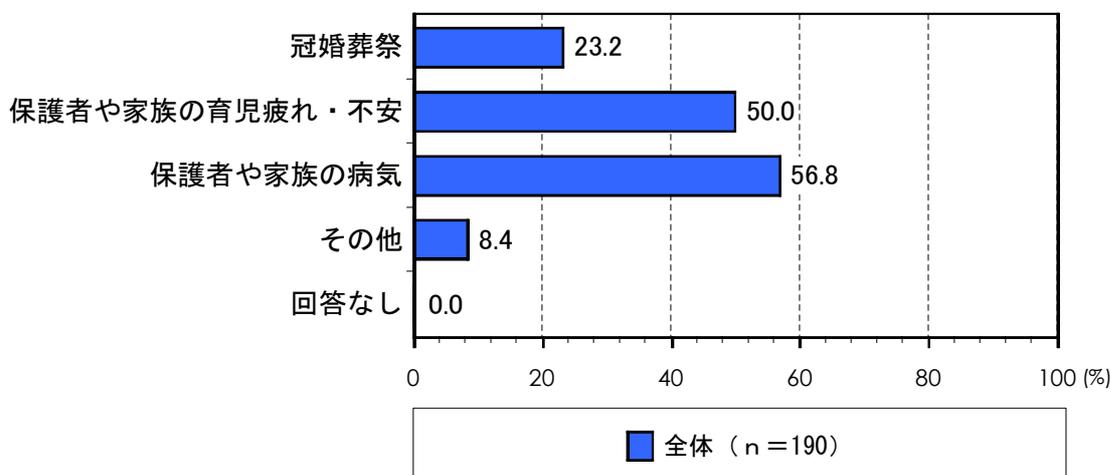
【日本人】

- ショートステイの利用について、「利用したいと思ったことがある」が18.9%です。
- 利用目的は、「保護者や家族の病気」が56.8%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が50.0%、「冠婚葬祭」が23.2%です。
- 1人あたりの希望年間平均利用泊数は「保護者や家族の育児疲れ・不安」が6.7泊、「保護者や家族の病気」が4.2泊、「冠婚葬祭」が2.0泊です。

図表 2 - 97 ショートステイの利用希望（日本人）



図表 2 - 98 ショートステイの利用目的（日本人）



図表 2 - 99 ショートステイの利用希望の1人あたりの年間平均利用泊数（日本人）

事業	回答数 (件)	泊数を記入した回答数 (件)	1人あたりの年間平均利用泊数 (泊/年)
冠婚葬祭	44	39	2.0
保護者や家族の育児疲れ・不安	95	79	6.7
保護者や家族の病気	108	94	4.2
その他	16	12	18.8
合計泊数	190	160	7.6

9. 小学校入学後の放課後の過ごし方について

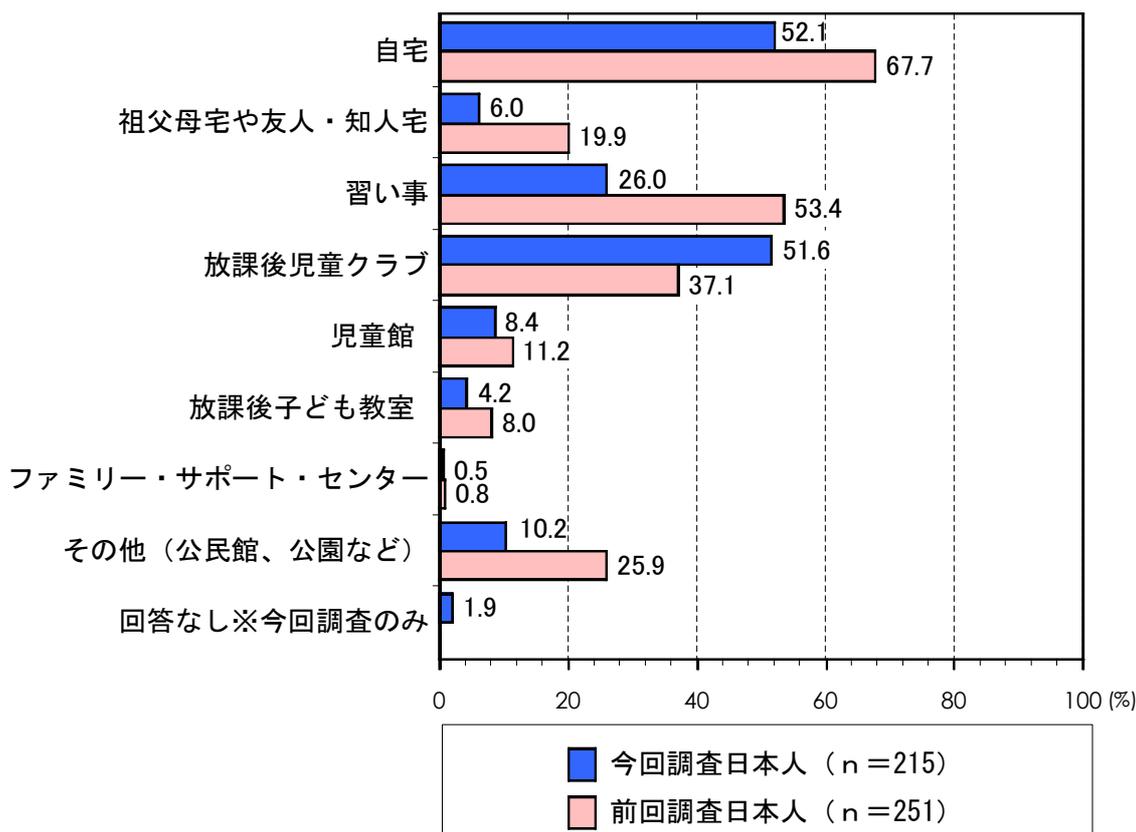
【宛名のお子さんが来年度（2024年4月）に小学校に入学する方のみ対象】

問23 宛名のお子さんについて、来年度（2024年4月）に小学校へ入学したら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごす予定ですか。（複数回答）

【日本人】

- 来年度小学校に入学する人の小学校入学後の放課後の過ごし方は、「自宅」が52.1%、「放課後児童クラブ」が51.6%、「習い事」が26.0%です。
- 「放課後児童クラブ」の利用希望日数は、1週あたり4.3日です。
- 「放課後児童クラブ」の利用希望時間帯は、下校時から「18時まで」が34.2%で最も高く、「17時まで」が31.5%、「19時以降まで」が16.2%と続いています。
- 前回調査と比較すると、「習い事」が27.4ポイント、「自宅」が15.6ポイント、「祖父母宅や友人・知人宅」が13.9ポイント低くなっています。一方、「放課後児童クラブ」は14.5ポイント高くなっています。

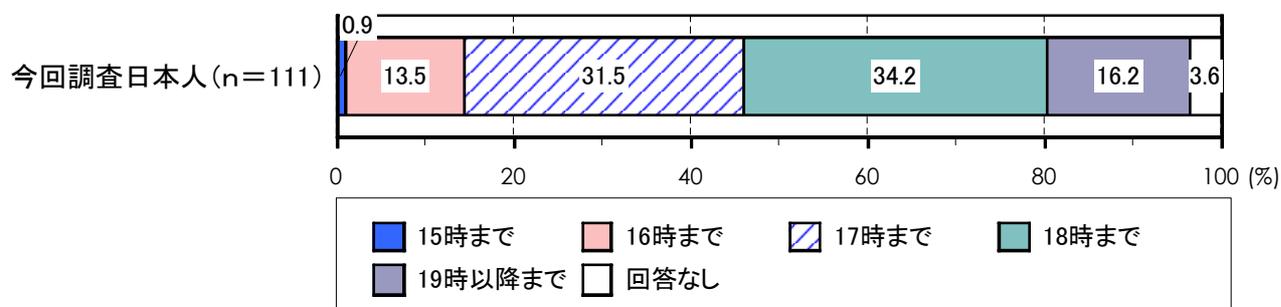
図表 2 - 100 小学校入学後の放課後の過ごし方（日本人・前回調査との比較）



図表 2 - 101 放課後児童クラブの利用希望日数（日本人）

事業	回答数 (件)	日数を記入 した回答数 (件)	1人あたりの 平均週間利用日数 (日/週)
自宅	112	104	3.8
祖父母宅や友人・知人宅	13	13	1.9
習い事	56	55	2.1
放課後児童クラブ	111	108	4.3
児童館	18	18	2.9
放課後子ども教室	9	8	2.9
ファミリー・サポート・センター	1	-	-
その他（公民館、公園など）	22	22	2.6

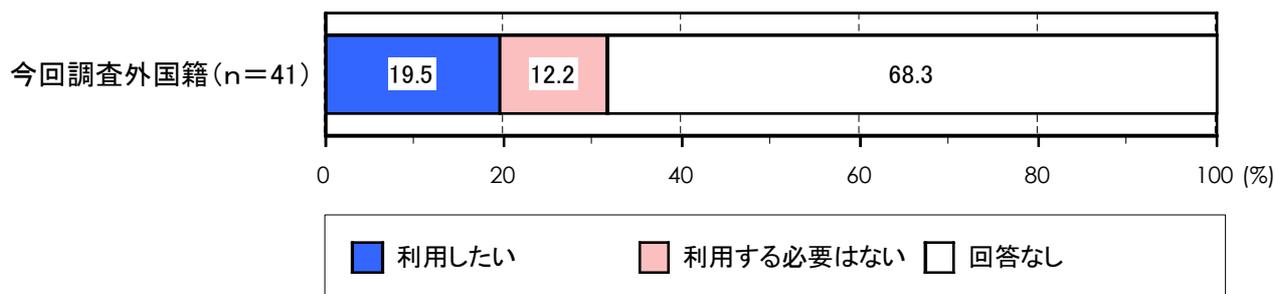
図表 2 - 102 放課後児童クラブの利用希望時間帯（日本人）



【外国籍】

- 放課後児童クラブの利用希望は、「利用したい」が19.5%です。ただし、「回答なし」が68.3%です。
- 放課後児童クラブの利用希望日数は、1週あたり平均5.1日です。
- 放課後児童クラブの利用希望時間帯は、「18時まで」が5件、「17時まで」「20時まで」がそれぞれ1件です。

図表 2 - 103 放課後児童クラブの利用希望（外国籍）



図表 2 - 104 放課後児童クラブの利用希望日数（外国籍）

	回答数 (件)	日数を記入した回答数 (件)	1人あたりの平均週間利用 日数 (日/週)
件数	8	8	5.1

図表 2 - 105 放課後児童クラブの利用希望時間帯（外国籍）

	回答数 (件)	17時まで	18時まで	19時まで	20時まで	回答なし
件数	8	1	5	0	1	1

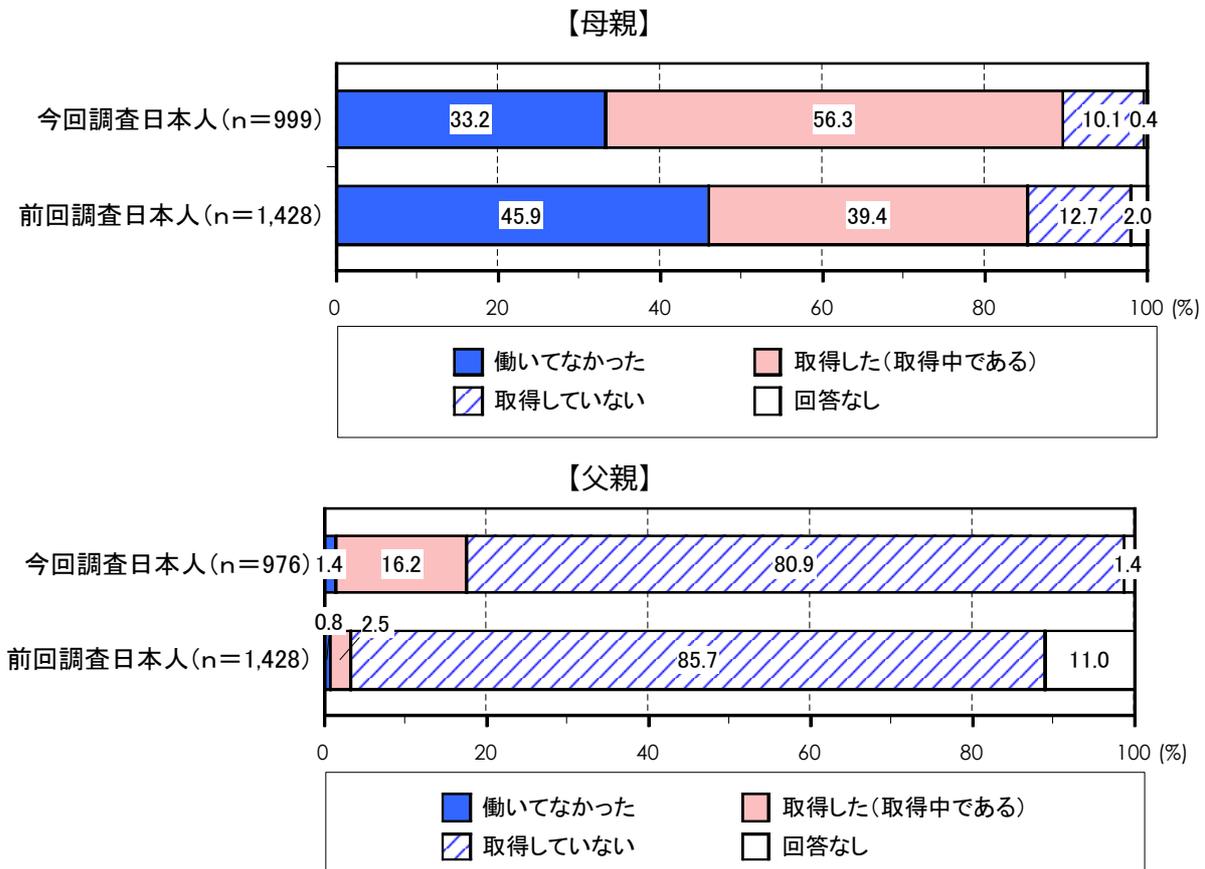
10. 育児休業など職場の両立支援制度について

問 24 宛名のお子さんが出産した時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。(単数回答)

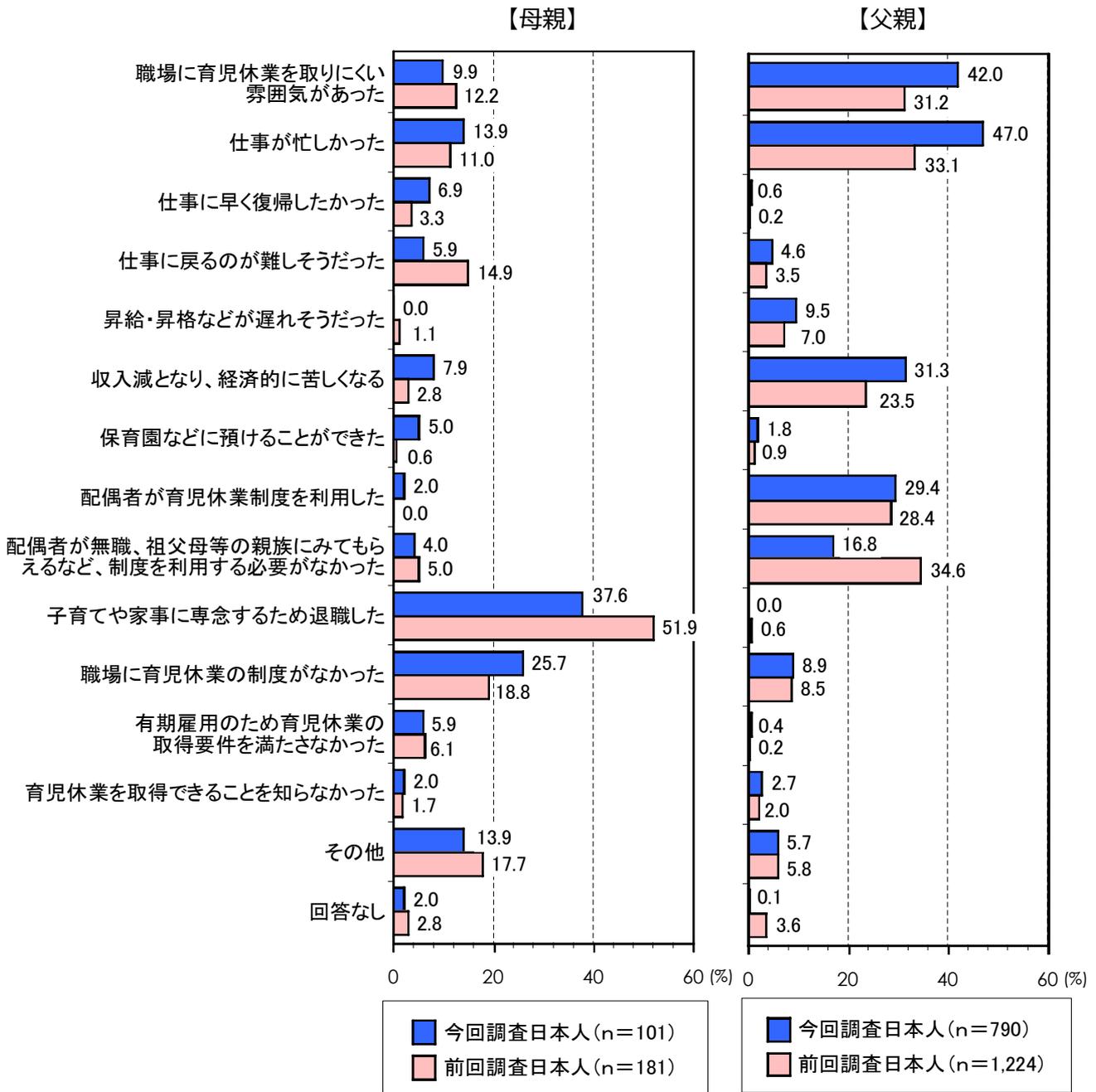
【日本人】

- 母親の育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」56.3%が最も高く、「働いてなかった」が33.2%、「取得していない」が10.1%です。
- 父親の育児休業の取得状況は、「取得していない」が80.9%と最も高く、「取得した（取得中である）」が16.2%です。
- 前回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」が、母親は16.9ポイント、父親も13.7ポイント高くなっています。
- 母親が育児休業を取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が37.6%、「職場に育児休業の制度がなかった」が25.7%、「仕事が忙しかった」が13.9%です。
- 父親が育児休業を取得していない理由は、「仕事が忙しかった」が47.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が42.0%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が31.3%です。
- 前回調査と比較すると、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」が低くなり、「職場に育児休業の制度がなかった」が高くなっています。父親は「配偶者が無職、祖母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が低くなり、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「仕事が忙しかった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」が高くなっています。

図表 2 - 106 育児休業の取得状況(日本人・前回調査との比較)



図表 2 - 107 育児休業を取得していない理由(日本人・前回調査との比較)



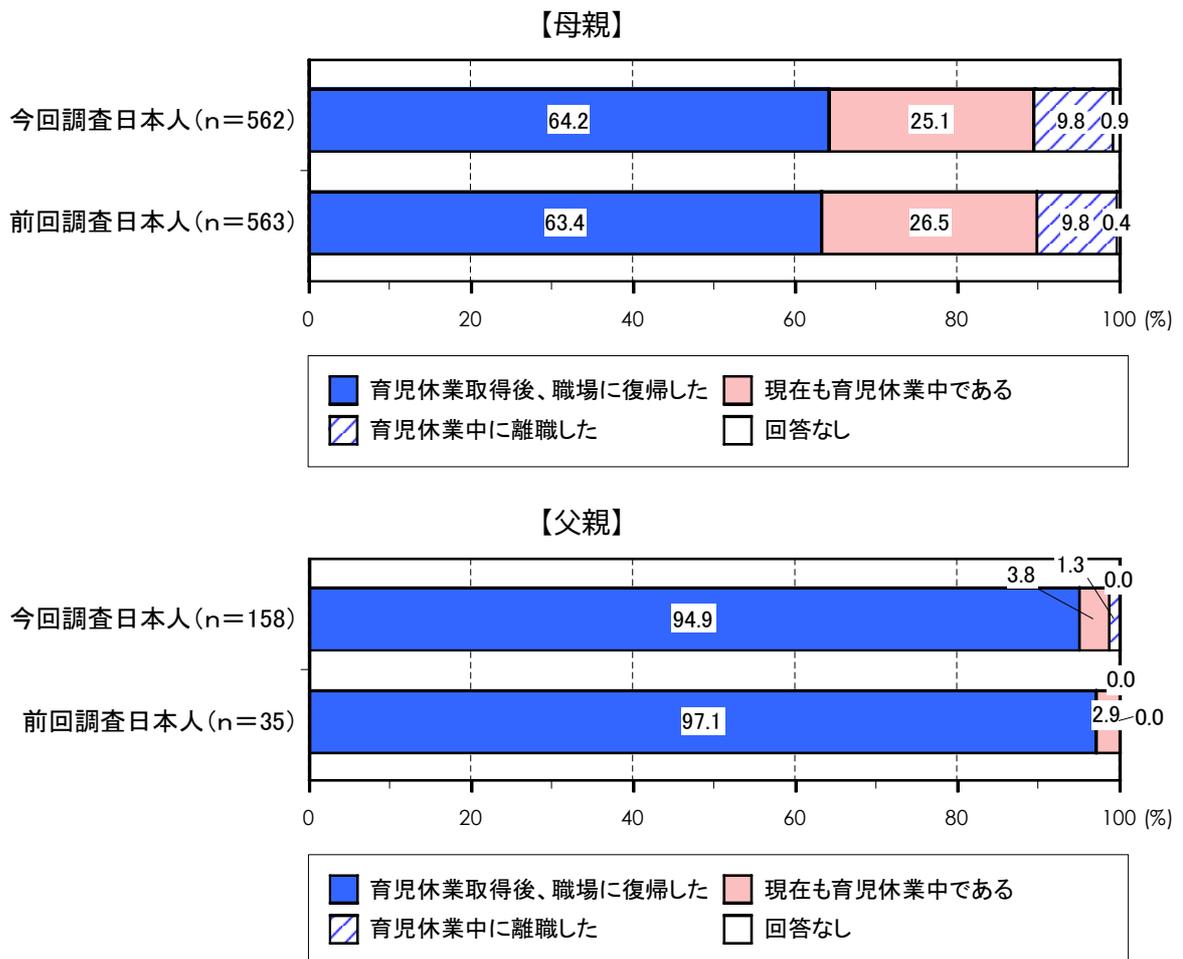
【問 24 で育児休業を「取得した（取得中である）」に回答した方のみ対象】

問 24-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（単数回答）

【日本人】

- 育児休業を取得した母親の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 64.2%、「現在も育児休業中である」が 25.1%、「育児休業中に離職した」が 9.8%です。
- 育児休業を取得した父親の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 94.9%、「現在も育児休業中である」が 3.8%、「育児休業中に離職した」が 1.3%です。
- 前回調査と比較すると、傾向に大きな違いはありません。

図表 2 - 108 育児休業後の職場復帰(日本人・前回調査との比較)



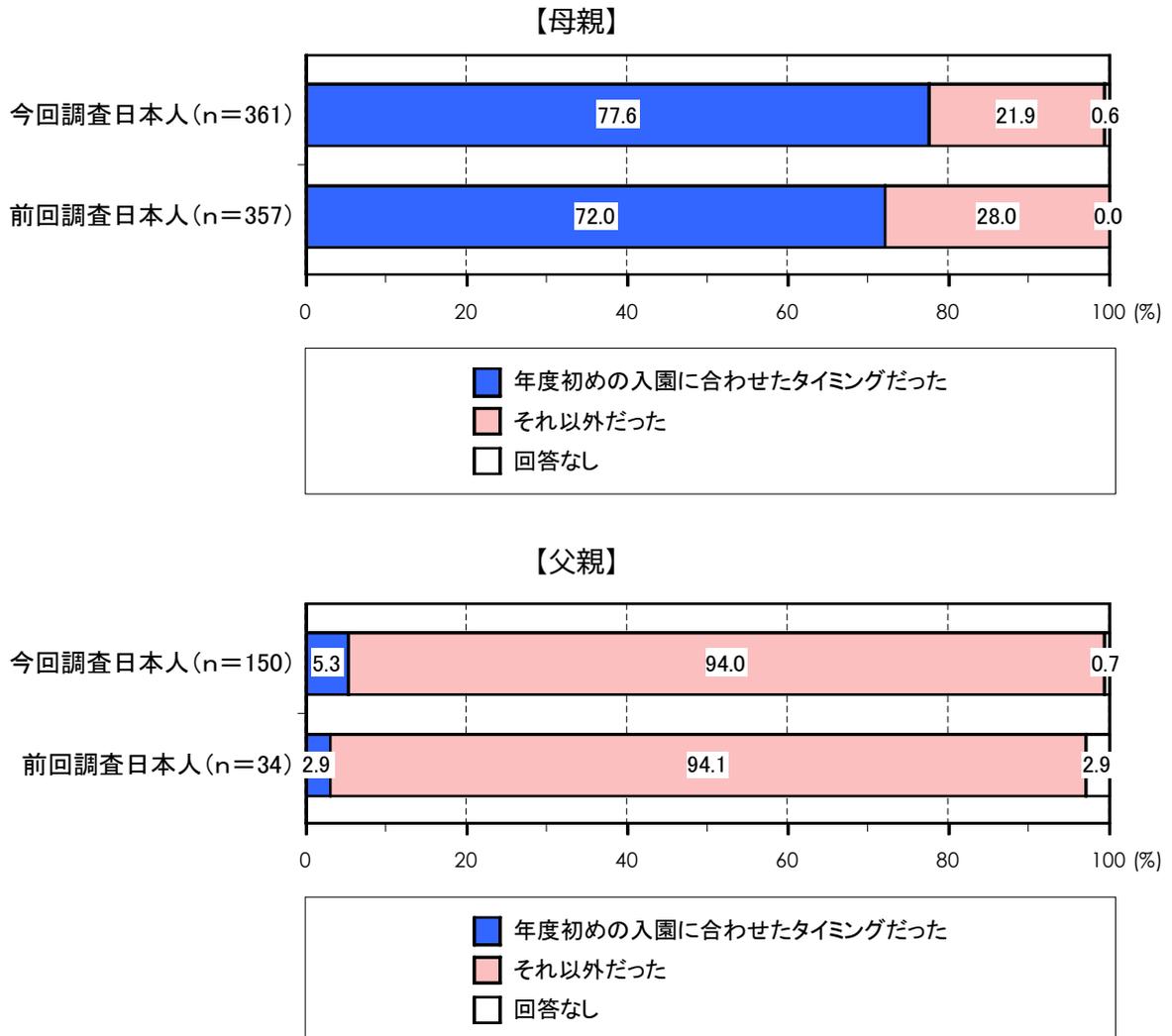
【問 24-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ対象】

問 24-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(単数回答)

【日本人】

- 育児休業を取得して職場復帰をした母親の職場復帰のタイミングは、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が 77.6%、「それ以外だった」が 21.9%です。
- 育児休業を取得して職場復帰をした父親の職場復帰のタイミングは、「それ以外だった」が 94.0%、「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が 5.3%です。
- 前回調査と比較すると、母親は「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が 5.6 ポイント高くなっています。

図表 2 - 109 育児休業後に職場復帰したタイミング(日本人・前回調査との比較)



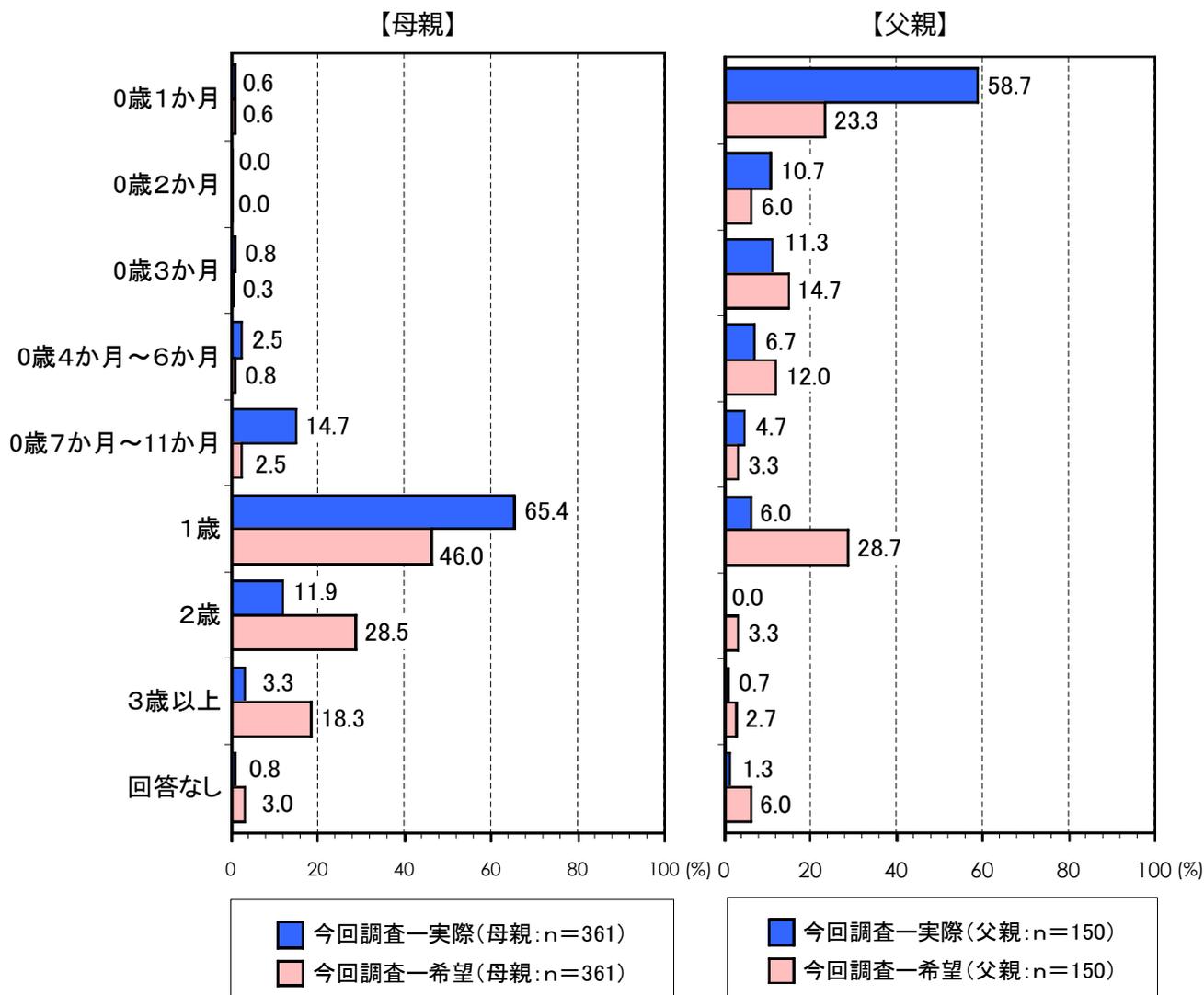
【問 24-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ対象】

問 24-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。(単数回答)

【日本人】

- 育児休業を取得して職場復帰をした母親の職場復帰時の子どもの月齢は、「1歳」が 65.4%、「0歳7か月～11か月」が 14.7%、「2歳」が 11.9%です。
- 育児休業を取得して職場復帰をした父親の職場復帰時の子どもの月齢は、「0歳1か月」が 58.7%、「0歳3か月」が 11.3%、「0歳2か月」が 10.7%です。
- 実際と希望を比較すると、母親は「2歳」「3歳」までを希望する人が実際よりも高く、合わせて 46.8%となっています。父親は「1歳」を希望する人が最も高くなっています。

図表 2 - 110 育児休業後に職場復帰したタイミング(日本人・年齢別・実際と希望の比較)

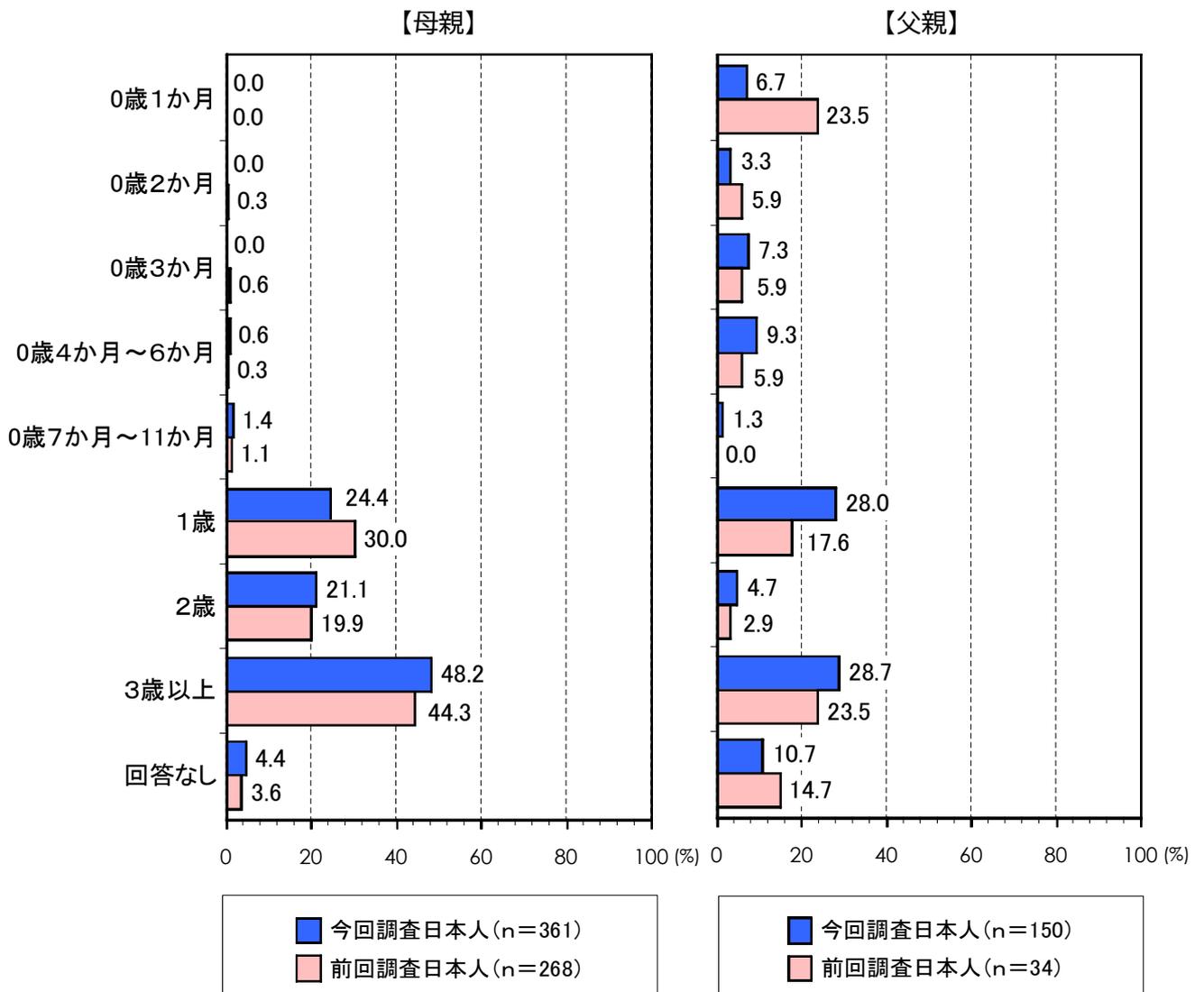


【問 24-1 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ対象】
 問 24-4 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。

【日本人】

- 育児休業を取得して職場復帰をした母親の希望する職場復帰のタイミングは、「3歳以上」が48.2%、「1歳」が24.4%、「2歳」が21.1%です。
- 育児休業を取得して職場復帰をした父親の希望する職場復帰のタイミングは、「3歳以上」が28.7%、「1歳」が28.0%、「0歳4か月～6か月」が9.3%です。
- 前回調査と比較すると、母親は「1歳」が5.6ポイント低くなり、「3歳以上」が3.9ポイント高くなっています。父親は「1歳」が10.4ポイント、「3歳以上」が5.2ポイント高くなっています。

図表 2 - 111 育児休業後の希望する職場復帰のタイミング
 (日本人・育児休業取得後に職場に復帰した方・前回調査との比較)



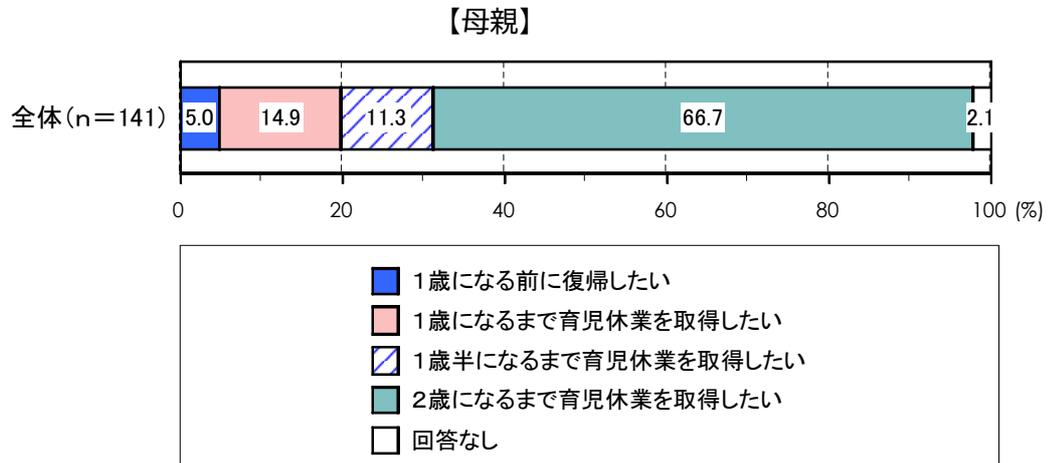
【問 24-1 で「現在も育児休業中である」と回答した方のみ対象】

問 24-5 復帰したいときに必ず利用できる事業があれば、宛名のお子さんが1歳・1歳半・2歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(単数回答)

【日本人】

- 育児休業中の母親の希望する職場復帰のタイミングは、「2歳になるまで育児休業を取得したい」が66.7%と最も高く、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が14.9%、「1歳半になるまで育児休業を取得したい」が11.3%です。
- 育児休業中の父親の希望する職場復帰のタイミングは、「1歳になる前に復帰したい」が3件、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が2件、「2歳になるまで育児休業を取得したい」が1件です。

図表 2 - 112 育児休業後の希望する職場復帰のタイミング（日本人・現在も育児休業中の方）



第3部 お子さんの放課後の過ごし方についてのアンケート調査

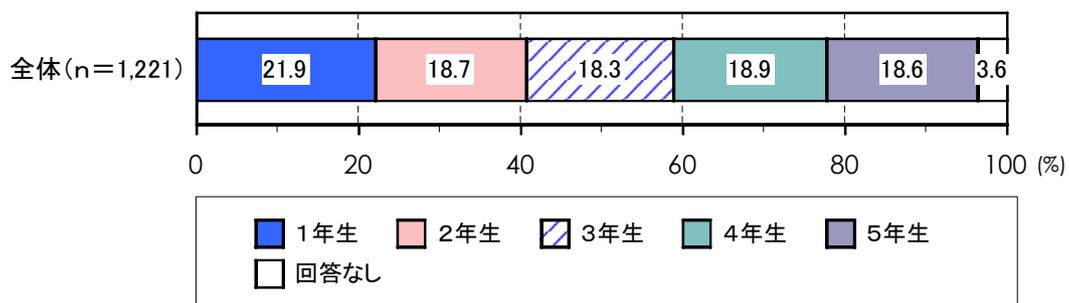
1. 子どもや家族について

(1) 子どもの学年

問8 お子さんの現在の学年についてご回答ください。(複数回答)

- 子どもの現在の学年は、「1年生」が21.9%とやや高くなっていますが、2年生以上の各学年がほぼ均等です。

図表 3 - 1 子どもの学年

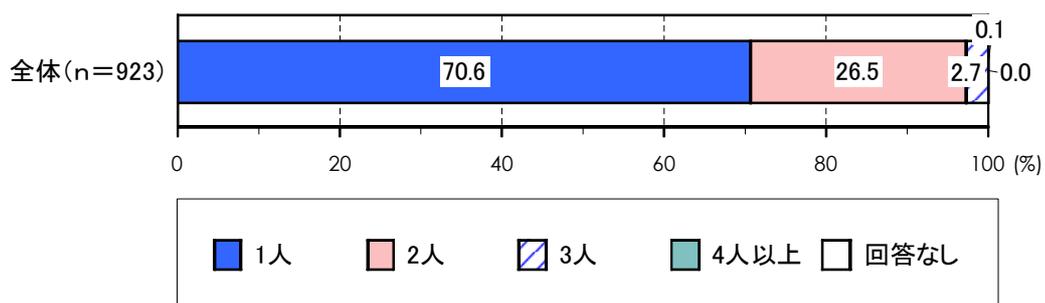


(2) 回答者の子どもの人数

問1 小学生のお子さんは何人いらっしゃいますか。(単数回答)

- 子どもの人数は、「1人」が70.6%、「2人」が26.5%、「3人」が2.7%です。

図表 3 - 2 子どもの人数

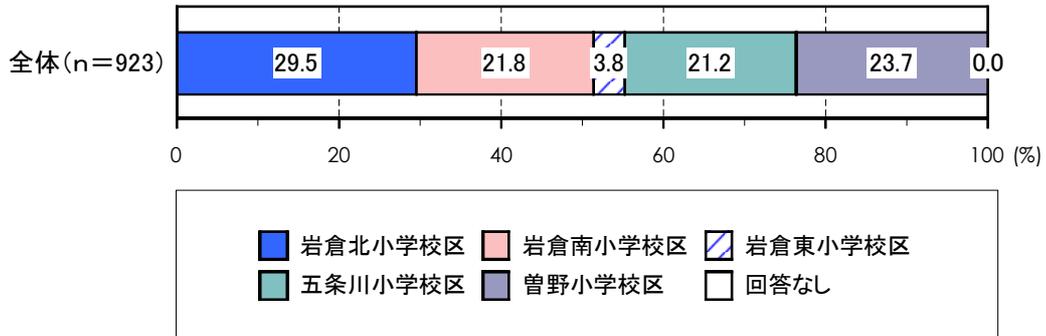


(3) 小学校区

問2 お子さんの通っている小学校はどこですか。(単数回答)

- 通っている小学校は、「岩倉北小学校区」29.5%が最も高く、「曾野小学校区」が23.7%、「岩倉南小学校区」が21.8%と続いています。

図表 3 - 3 小学校区

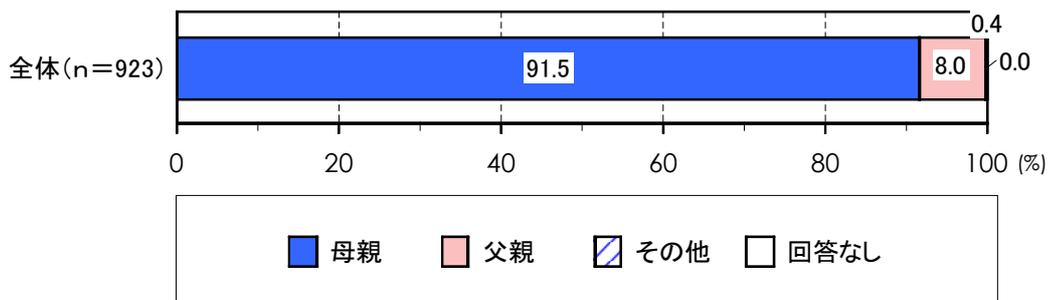


(4) 回答者

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(単数回答)

- 調査の回答者は、宛名の子どもからみて「母親」が91.5%、「父親」が8.0%、「その他」が0.4%です。

図表 3 - 4 回答者

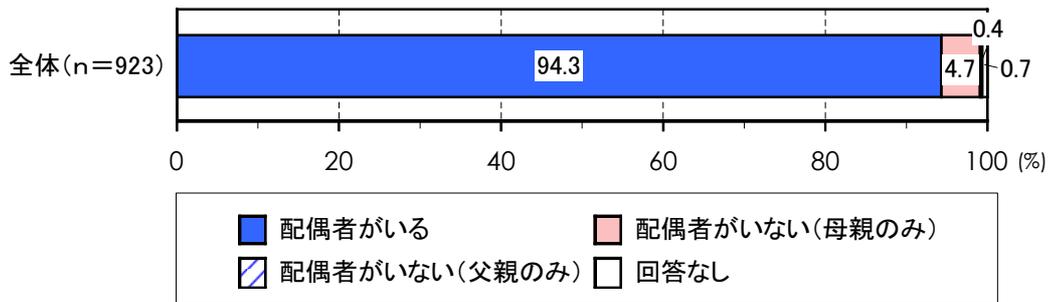


(5) 家族の状況

問4 宛名のお子さんの母親または父親に配偶者はいますか。(単数回答)

- 母親または父親に、「配偶者がいる」が94.3%です。
- 「配偶者がいない(母親のみ)」「配偶者がいない(父親のみ)」を合わせたひとり親世帯は5.1%です。

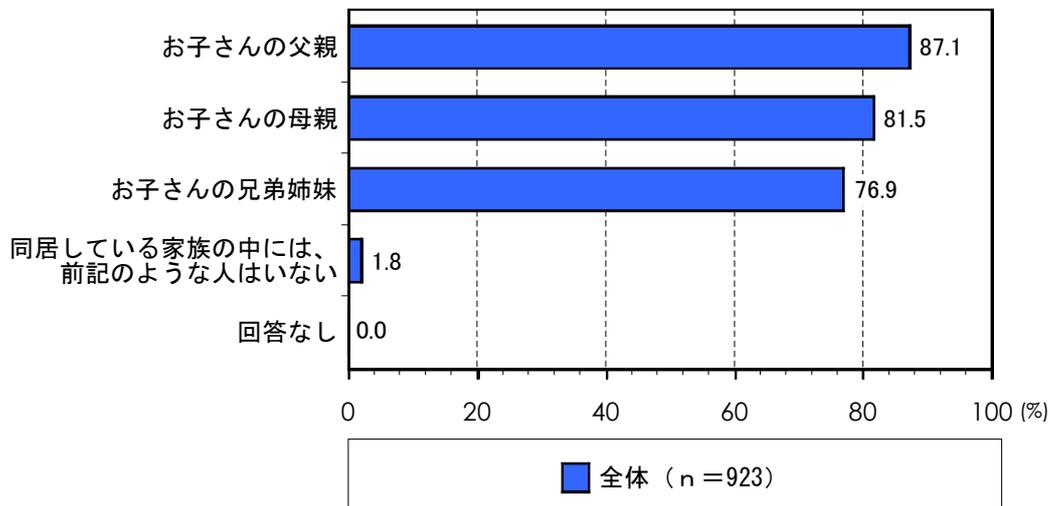
図表 3 - 5 家族の状況



問5 同居している家族の中には、以下のような方がいますか。(複数回答)

- 同居家族は、「お子さんの父親」が87.1%、「お子さんの母親」が81.5%、「お子さんの兄弟姉妹」が76.9%です。
- 同居家族に、父母、兄弟姉妹がいない世帯は1.8%です。

図表 3 - 6 同居家族



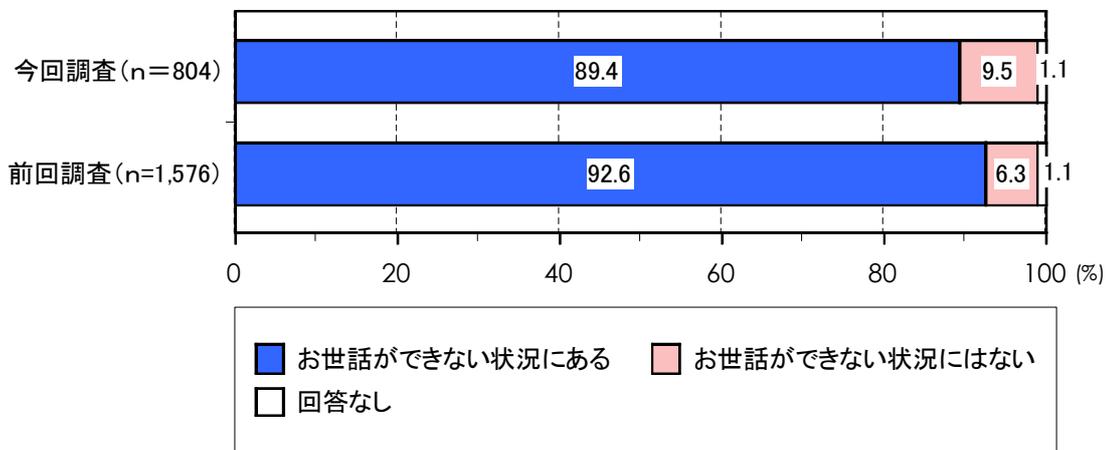
(6) 放課後の保護者の状況

【問5で「お子さんの父親」や「お子さんの母親」と同居していると回答した方のみ対象】

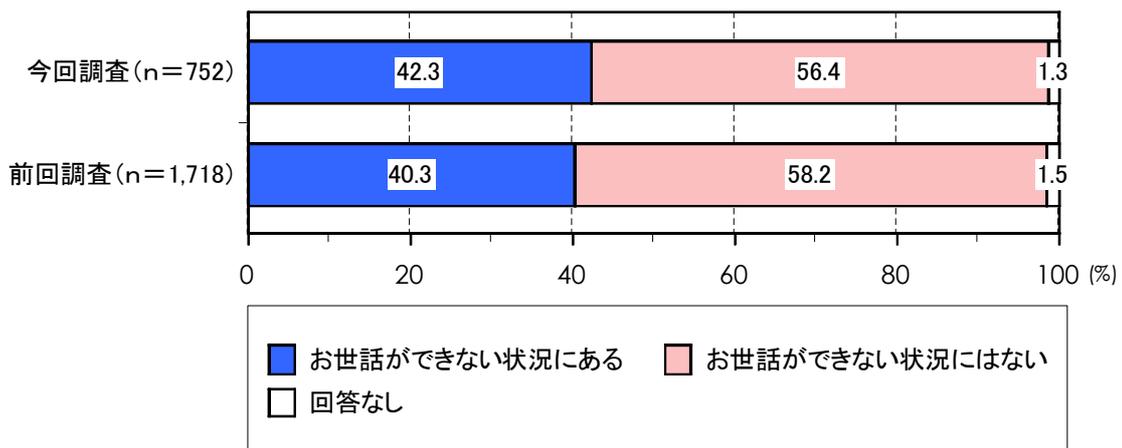
問5 お子さんの父親や母親は、平日の放課後（学校の授業が終わった後）の時間帯に仕事をしており、お子さんのお世話ができないような状況にありますか。（単数回答）

- 父親の放課後の状況は、「お世話ができない状況にある」が89.4%、「お世話ができない状況にはない」が9.5%です。前回調査と比較すると、「お世話ができない状況にある」が、3.2ポイント低くなっています。
- 母親の放課後の状況は、「お世話ができない状況にはない」が56.4%、「お世話ができない状況にある」が42.3%です。前回調査と比較すると、「お世話ができない状況にある」が、2.0ポイント高くなっています。

図表 3 - 7 父親の放課後の状況（前回調査との比較）



図表 3 - 8 母親の放課後の状況（前回調査との比較）

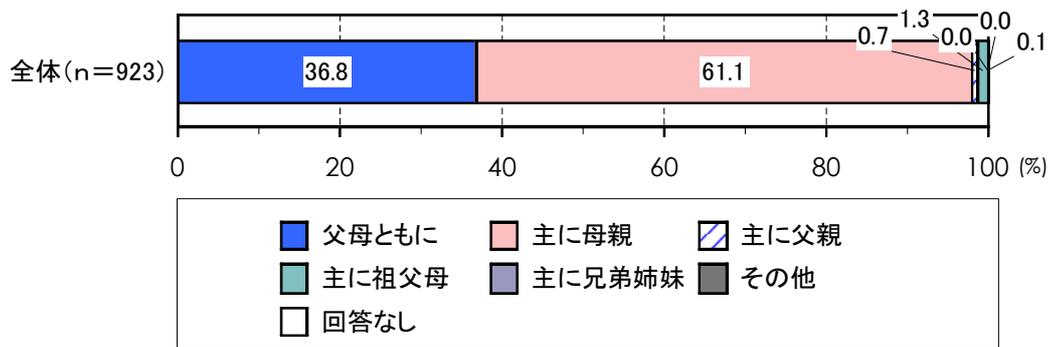


(7) 主に子育てをしている人

問6 宛名のお子さんの子育て（日常的な身の回りの世話や教育など）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。（単数回答）

- 主に子育てをしている人は、「主に母親」が61.1%、「父母ともに」が36.8%、「主に祖父母」が1.3%です。

図表 3 - 9 主に子育てをしている人



【問6で子育てを行っているのが「主に兄弟姉妹」と回答した方のみ対象】

問6-1 宛名のお子さんの子育てを主に行っている兄弟姉妹の年齢をお答えください。

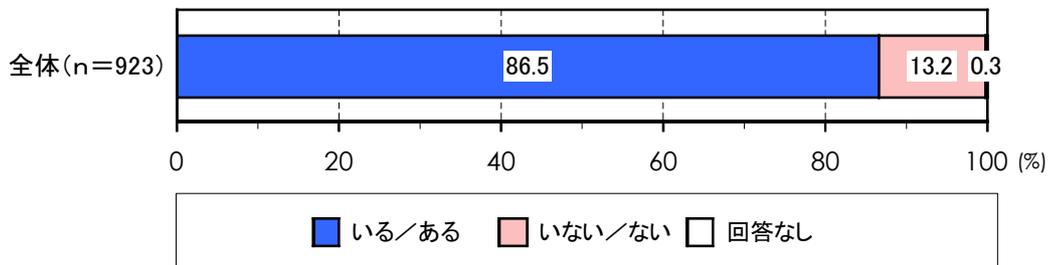
- 「主に兄弟姉妹」の回答はありませんでした。

(8) 子育てに関する相談先

問7 子育てをする上で気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。(単数回答)

- 子育てに関する相談先は、「いる/ある」が86.5%、「いない/ない」が13.2%です。

図表 3 - 10 子育てに関する相談先

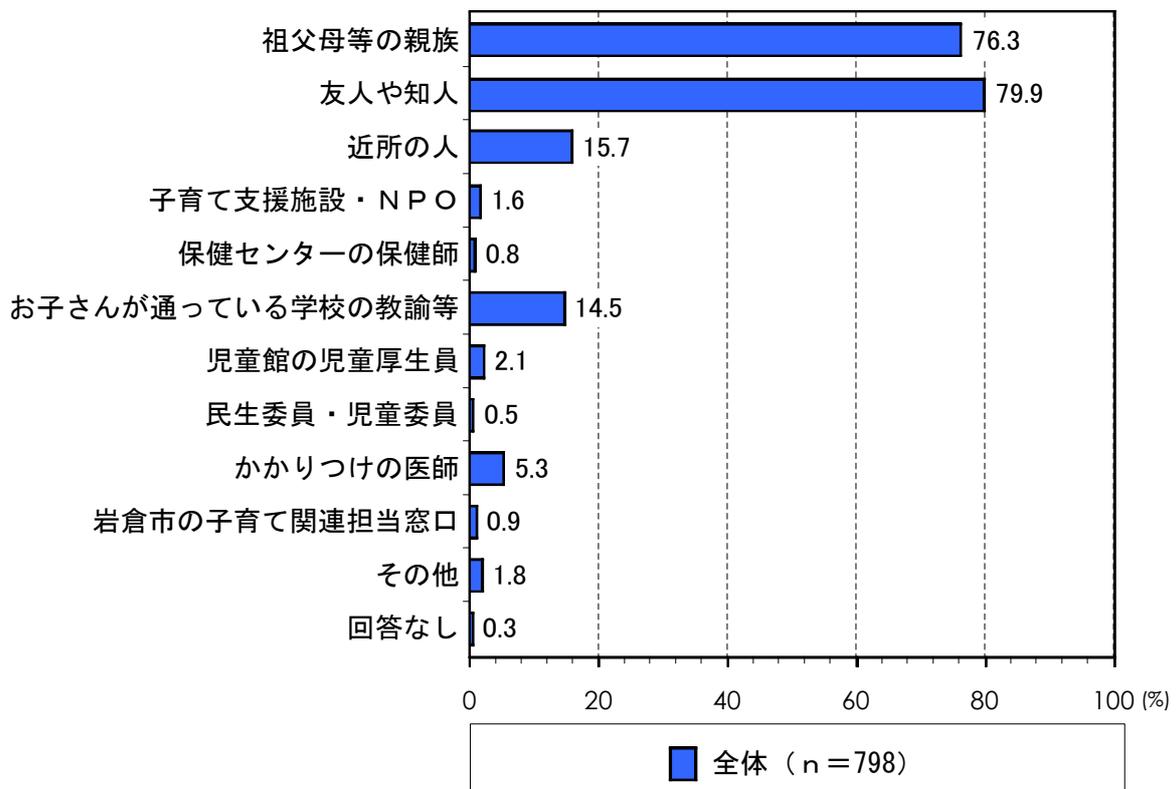


【問7で相談できる人や場所が「いる/ある」と回答した方のみ対象】

問7-1 子育てに関して気軽に相談できる先は誰(またはどこ)ですか。(複数回答)

- 子育ての相談先が「いる/ある」人の具体的な相談先は、「友人や知人」が79.9%、「祖父母等の親族」が76.3%、「近所の人」が15.7%と身近な人が高くなっています。

図表 3 - 11 子育てに関して気軽に相談できる先

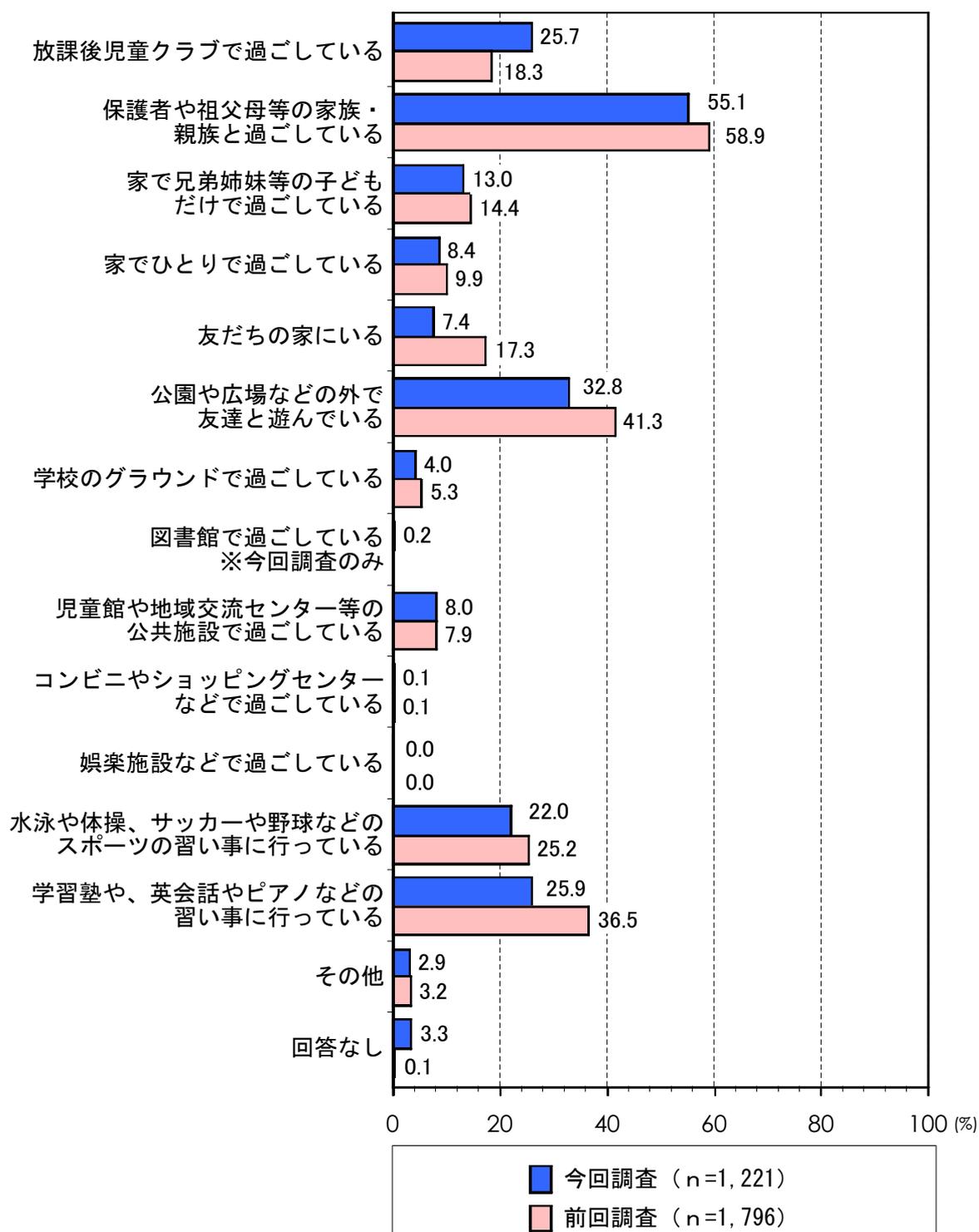


2. 平日の放課後の過ごし方について

問9 あなたのお子さんは、平日の放課後（学校の授業が終わった後）は、主にどのように過ごしていますか。（複数回答）

- 平日の放課後の過ごし方は、「保護者や祖父母等の家族・親族と過ごしている」が55.1%と最も高く、「公園や広場などの外で友達と遊んでいる」が32.8%、「学習塾や、英会話やピアノなどの習い事に行っている」が25.9%、「放課後児童クラブで過ごしている」が25.7%、「水泳や体操、サッカーや野球などのスポーツの習い事に行っている」が22.0%です。
- 前回調査と比較すると、「学習塾や、英会話やピアノなどの習い事に行っている」が10.6ポイント、「友だちの家にいる」が9.9ポイント、「公園や広場などの外で友達と遊んでいる」が8.5ポイント低くなっています。一方で、「放課後児童クラブで過ごしている」が7.4ポイント高くなっています。
- 学年別にみると、各学年とも「保護者や祖父母等の家族・親族と過ごしている」が最も高くなっています。1、2年生は次いで「放課後児童クラブで過ごしている」が高くなっています。学年が上がるにしたがって「公園や広場などの外で友達と遊んでいる」が高くなります。4、5年生は習い事の割合も高くなっています。
- 小学校区別にみると、どの小学校区も「保護者や祖父母等の家族・親族と過ごしている」が最も高くなっています。「放課後児童クラブで過ごしている」は岩倉東小学校区では2番目、岩倉南小学校区、五条川小学校区では3番目に高くなっています。また「児童館や地域交流センター等の公共施設で過ごしている」は、岩倉東小学校区が他の小学校区に比べてかなり高くなっています。

図表 3 - 12 平日の放課後の過ごし方（前回調査との比較）



図表 3 - 13 平日の放課後の過ごし方（学年別）

	回答数 (n=)	放課後児童クラブで過ごしている	保護者や祖父母等の家族・親族と過ごしている	家で兄弟姉妹等の子どもだけで過ごしている	家でひとりで過ごしている	友だちの家にいる	公園や広場などの外で友達と遊んでいる
全体	1,221	25.7	55.1	13.0	8.4	7.4	32.8
1年生	268	39.2	54.1	4.5	1.9	3.4	21.6
2年生	228	36.0	63.2	10.5	4.4	7.9	28.5
3年生	223	30.0	57.0	16.1	7.2	6.3	30.9
4年生	231	17.3	56.7	16.9	13.0	9.5	44.6
5年生	227	8.8	53.7	20.7	17.6	11.5	45.8

	回答数 (n=)	学校のグラウンドで過ごしている	図書館で過ごしている	児童館や地域交流センター等の公共施設で過ごしている	コンビニやショッピングセンターなどで過ごしている	娯楽施設などで過ごしている	水泳や体操、サッカーや野球などのスポーツの習い事に行っている
全体	1,221	4.0	0.2	8.0	0.1	0.0	22.0
1年生	268	1.9	0.0	11.6	0.0	0.0	25.7
2年生	228	2.6	0.0	4.8	0.0	0.0	24.1
3年生	223	2.7	0.0	5.8	0.0	0.0	22.0
4年生	231	8.7	0.9	7.8	0.0	0.0	24.7
5年生	227	5.3	0.4	11.0	0.4	0.0	16.7

	回答数 (n=)	学習塾や、英会話やピアノなどの習い事に行っている	その他	回答なし
全体	1,221	25.9	2.9	3.3
1年生	268	21.6	5.2	0.0
2年生	228	21.1	1.3	0.0
3年生	223	26.0	3.1	0.4
4年生	231	30.3	2.2	0.0
5年生	227	35.2	2.6	0.4

図表 3 - 14 平日の放課後の過ごし方（小学校区別）

	回答数 (n=)	放課後児童クラブで過ごしている	保護者や祖父母等の家族・親族と過ごしている	家で兄弟姉妹等の子どもだけで過ごしている	家でひとりで過ごしている	友だちの家にいる	公園や広場などの外で友達と遊んでいる
全体	1,221	25.7	55.1	13.0	8.4	7.4	32.8
岩倉北小学校区	356	26.7	55.3	11.5	9.3	5.3	31.7
岩倉南小学校区	269	28.6	50.2	16.0	9.3	8.9	34.2
岩倉東小学校区	43	32.6	41.9	16.3	11.6	4.7	18.6
五条川小学校区	260	25.4	56.9	10.4	5.8	9.6	37.3
曾野小学校区	293	21.2	59.7	14.0	8.2	6.8	30.7

	回答数 (n=)	学校のグラウンドで過ごしている	図書館で過ごしている	児童館や地域交流センター等の公共施設で過ごしている	コンビニやショッピングセンターなどで過ごしている	娯楽施設などで過ごしている	水泳や体操、サッカーや野球などのスポーツの習い事に行っている
全体	1,221	4.0	0.2	8.0	0.1	0.0	22.0
岩倉北小学校区	356	0.6	0.0	10.7	0.0	0.0	29.8
岩倉南小学校区	269	4.8	0.4	5.6	0.0	0.0	19.7
岩倉東小学校区	43	11.6	2.3	30.2	0.0	0.0	16.3
五条川小学校区	260	9.2	0.0	5.8	0.4	0.0	18.1
曾野小学校区	293	1.7	0.3	5.8	0.0	0.0	19.1

	回答数 (n=)	学習塾や、英会話やピアノなどの習い事に行っている	その他	回答なし
全体	1,221	25.9	2.9	3.3
岩倉北小学校区	356	28.7	4.2	2.2
岩倉南小学校区	269	26.4	2.6	2.6
岩倉東小学校区	43	16.3	0.0	4.7
五条川小学校区	260	23.8	3.1	3.1
曾野小学校区	293	25.3	1.7	5.1

3. 放課後児童クラブの利用状況と利用希望等について

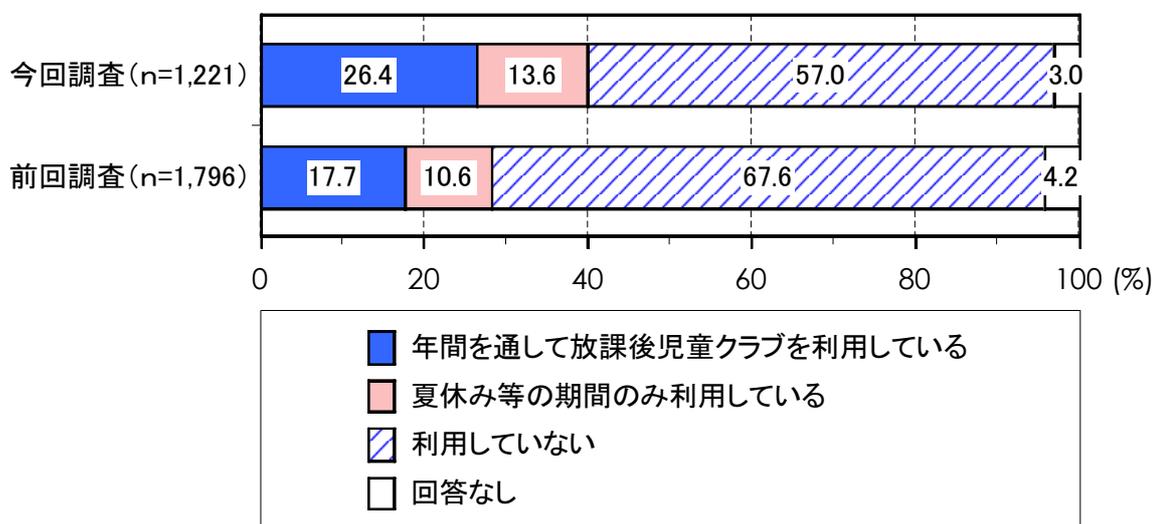
(1) 利用状況

問 10 あなたのお子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。また、どの程度利用していますか。(単数回答)

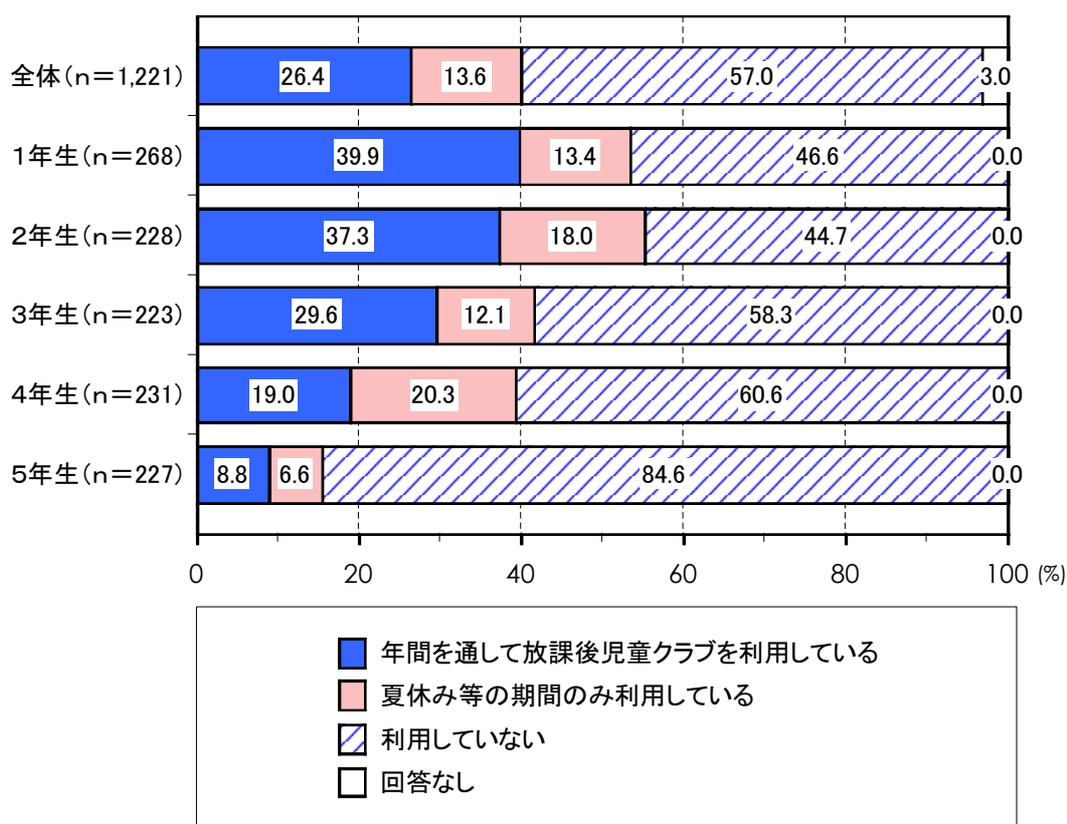
①利用状況

- 「年間を通して放課後児童クラブを利用している」が26.4%、「夏休み等の期間のみ利用している」が13.6%です。
- 前回調査と比較すると、「年間を通して放課後児童クラブを利用している」が8.7ポイント、「夏休み等の期間のみ利用している」が3.0ポイント高くなっています。
- 学年別では、「年間を通して放課後児童クラブを利用している」が1年生は39.9%と最も高く、学年が上がるにしたがって低くなります。「夏休み等の期間のみ利用している」は学年によってばらつきがありますが、4年生が最も高くなっています。5年生になるとかなり低くなっています。
- 小学校区別にみると、「年間を通して放課後児童クラブを利用している」は岩倉東小学校区が32.6%と他の小学校区に比べて高く、曾野小学校区は21.8%と低くなっています。曾野小学校区は、「夏休み等の期間のみ利用している」も他の小学校区に比べてやや低くなっています。

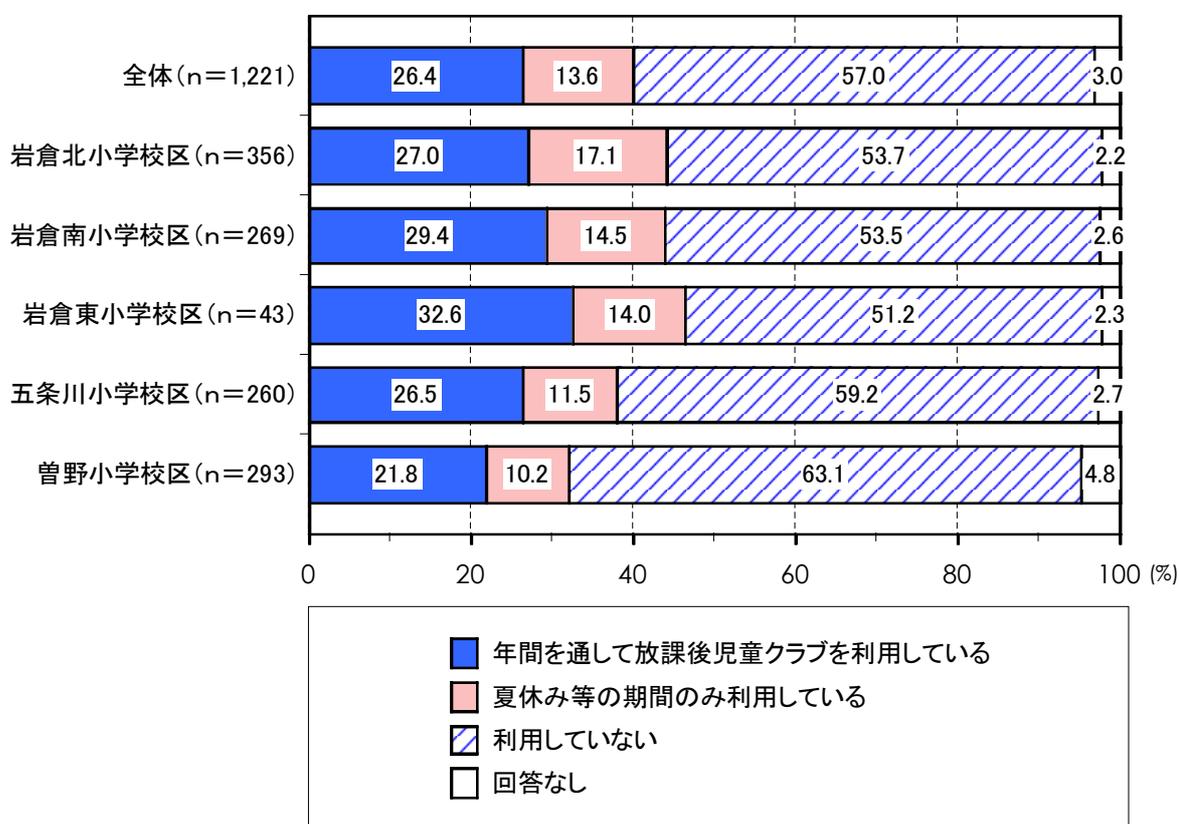
図表 3 - 15 放課後児童クラブの利用状況 (前回調査との比較)



図表 3 - 16 放課後児童クラブの利用状況（学年別）



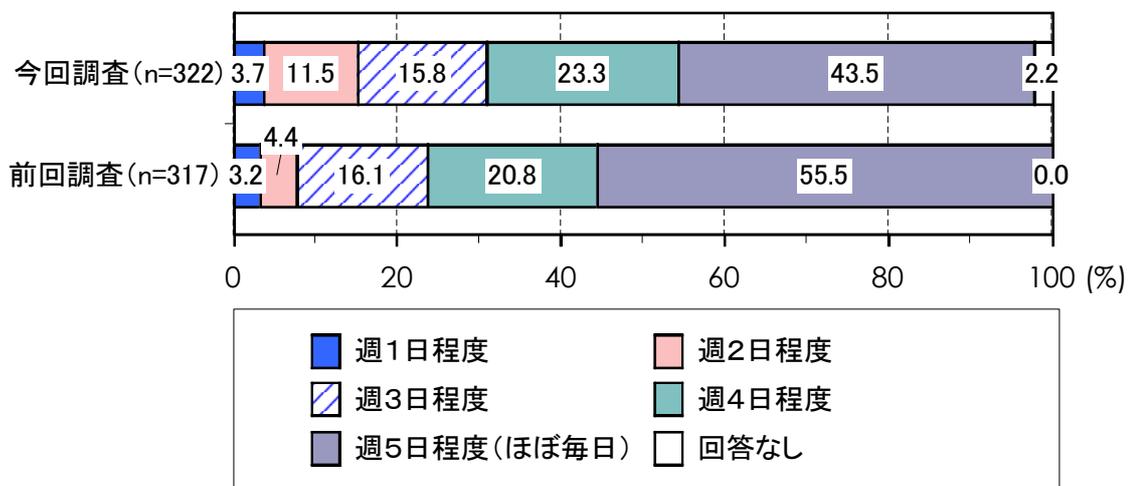
図表 3 - 17 放課後児童クラブの利用状況（小学校区別）



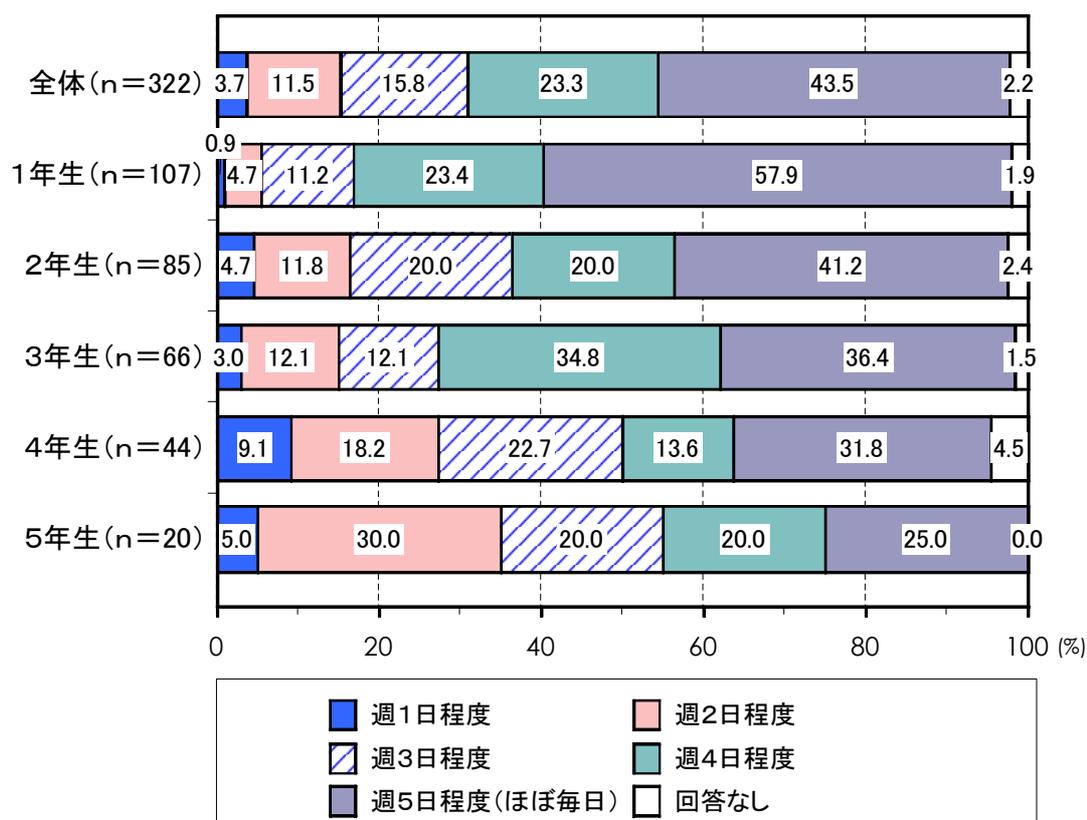
②平日の利用日数

- 年間を通して利用をしている人の平日の利用日数は、「週5日程度（ほぼ毎日）」が43.5%、「週4日程度」が23.3%、「週3日程度」が15.8%です。
- 前回調査と比較すると、「週5日程度（ほぼ毎日）」が12.0ポイント低くなり、「週2日程度」が7.1ポイント高くなっています。
- 学年別にみると、「週5日程度（ほぼ毎日）」は1年生が57.9%と最も高く、学年が上がるにしたがって低くなっています。
- 小学校区別にみると、ほとんどの小学校区で「週3日程度」以上が80%以上を占めています。

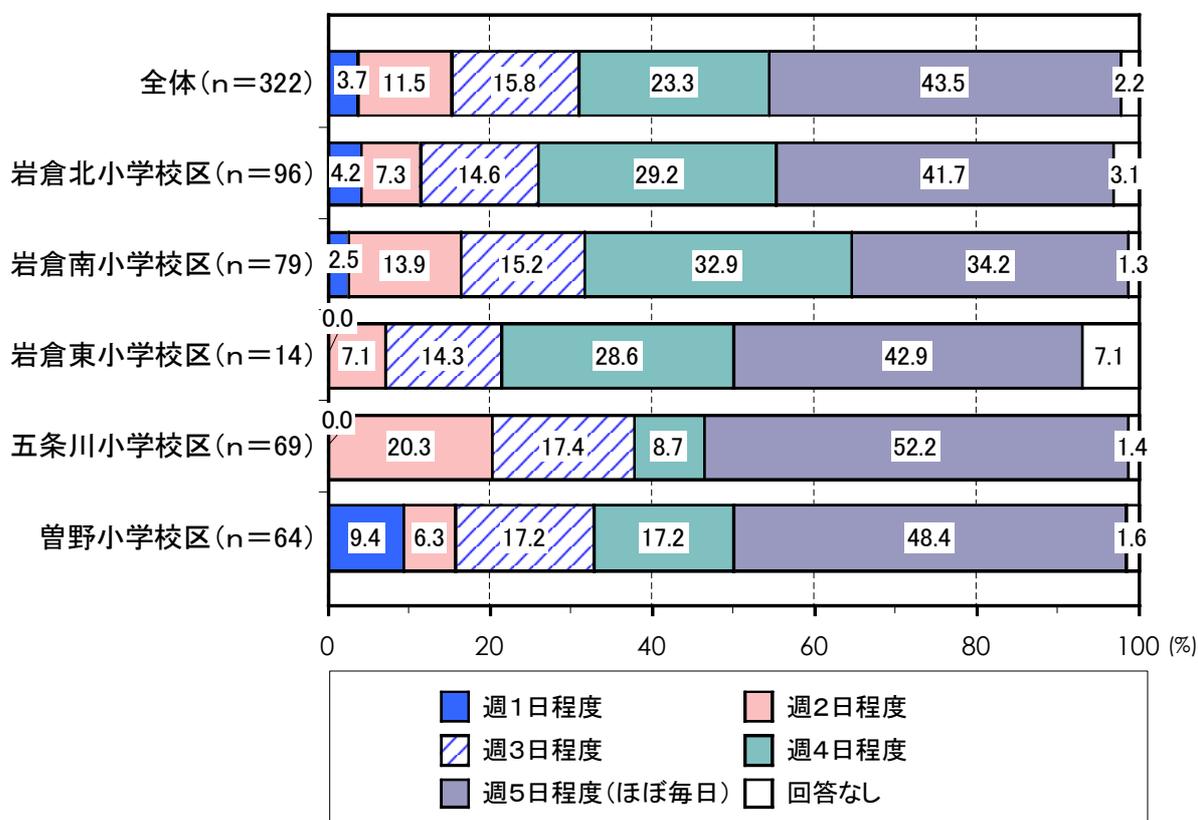
図表 3 - 18 放課後児童クラブの平日の利用日数（前回調査との比較）



図表 3 - 19 放課後児童クラブの平日の利用日数（学年別）



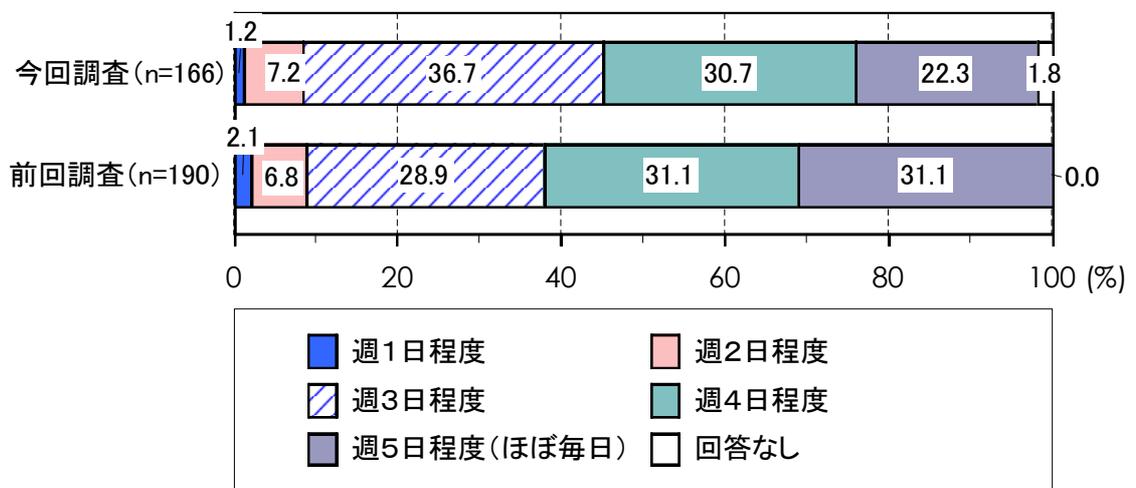
図表 3 - 20 放課後児童クラブの平日の利用日数（小学校区別）



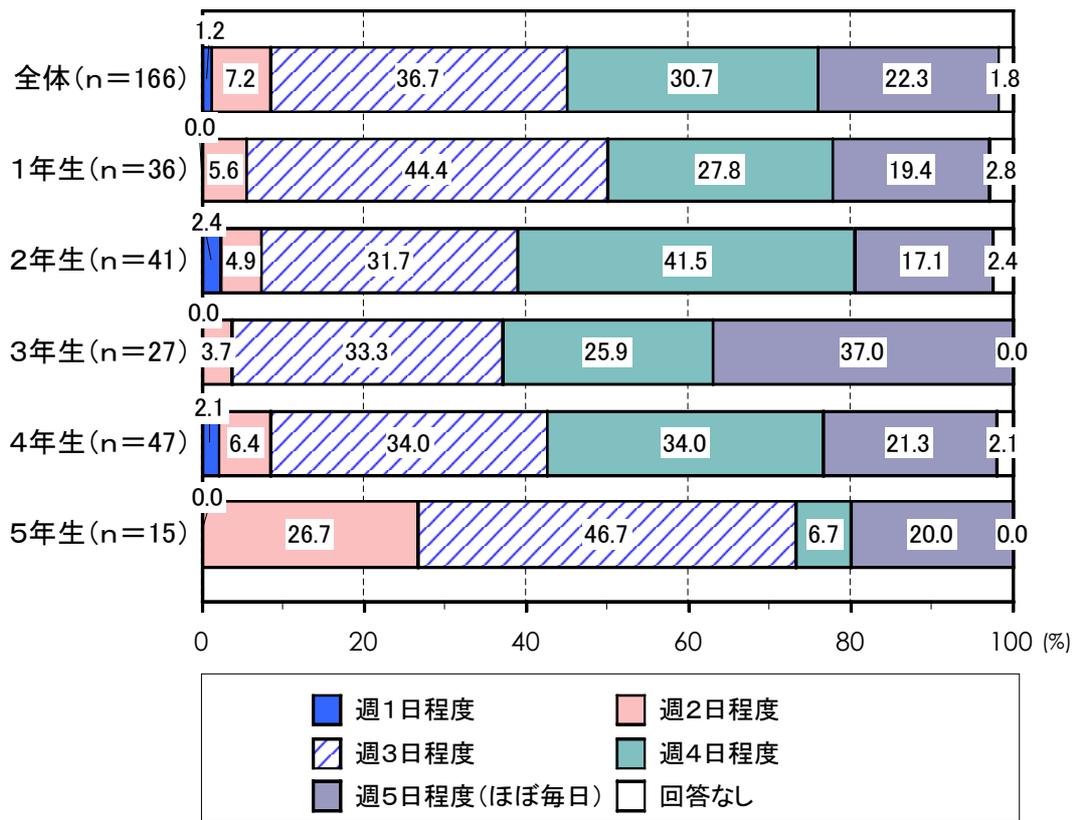
③夏休み等の利用日数

- 夏休み等の期間のみ利用している人の利用日数は、「週3日程度」が36.7%と最も高く、「週4日程度」が30.7%、「週5日程度（ほぼ毎日）」が22.3%です。
- 前回調査と比較すると、「週5日程度（ほぼ毎日）」は8.8ポイント低くなり、「週3日程度」が7.8ポイント高くなっています。
- 学年別にみると、3年生は「週5日程度（ほぼ毎日）」が最も高く、それ以外の学年は「週3日程度」または「週4日程度」の利用が最も高くなっています。
- 小学校区別にみると、岩倉南小学校区は「週4日程度」が、それ以外の小学校区は「週3日程度」が最も高くなっています。

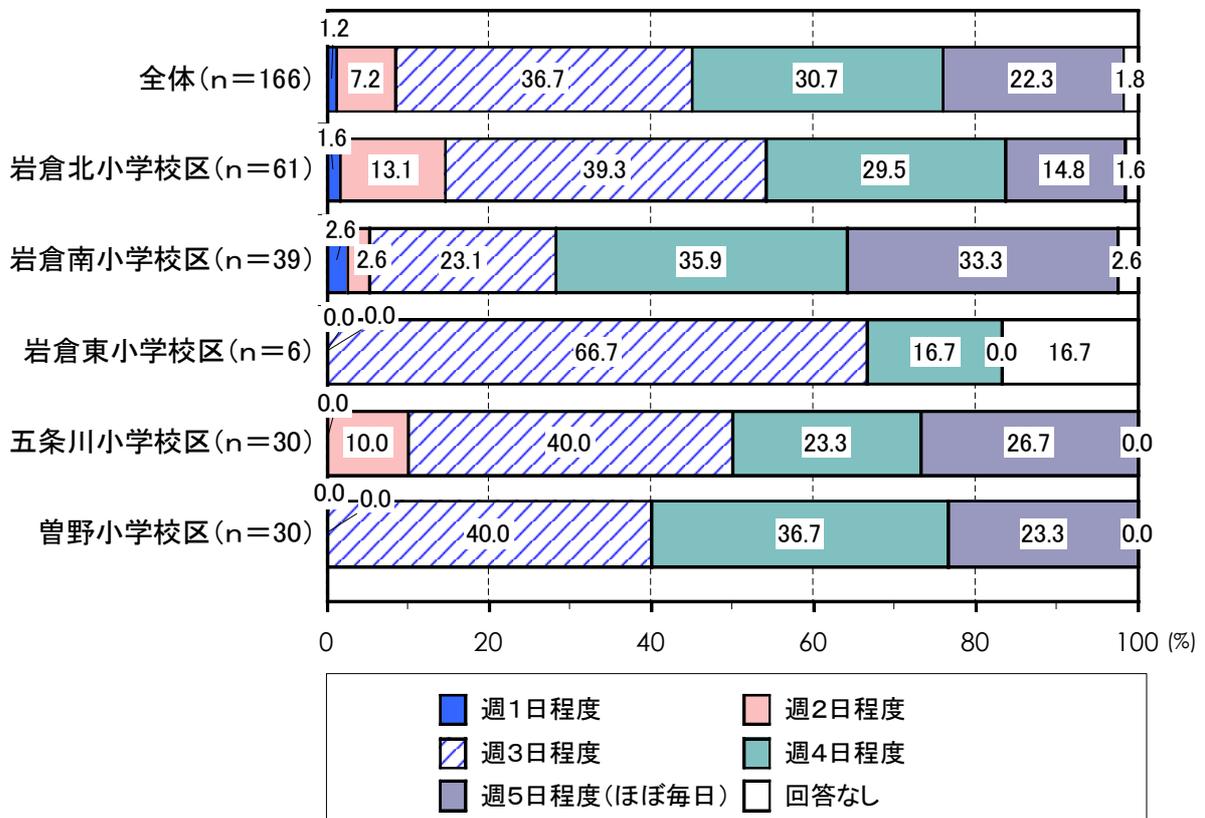
図表 3 - 21 放課後児童クラブの夏休み等の利用日数（前回調査との比較）



図表 3 - 22 放課後児童クラブの夏休み等の利用日数（学年別）



図表 3 - 23 放課後児童クラブの夏休み等の利用日数（小学校区別）



(2) 利用希望

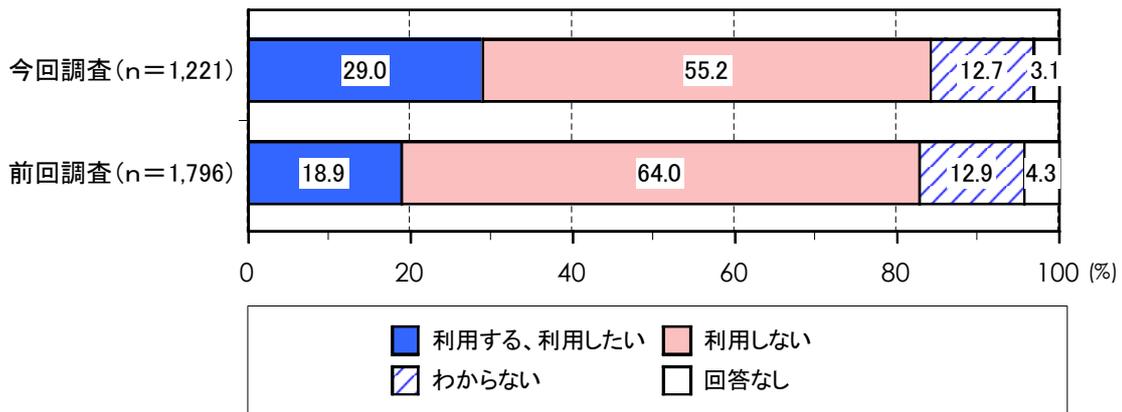
①利用希望の有無

問 11 あなたのお子さんは、2024 年 4 月以降に、放課後児童クラブの利用を希望しますか。平日と土曜日と夏休み等のそれぞれの利用希望と平日と夏休み等の利用頻度の希望をご回答ください。

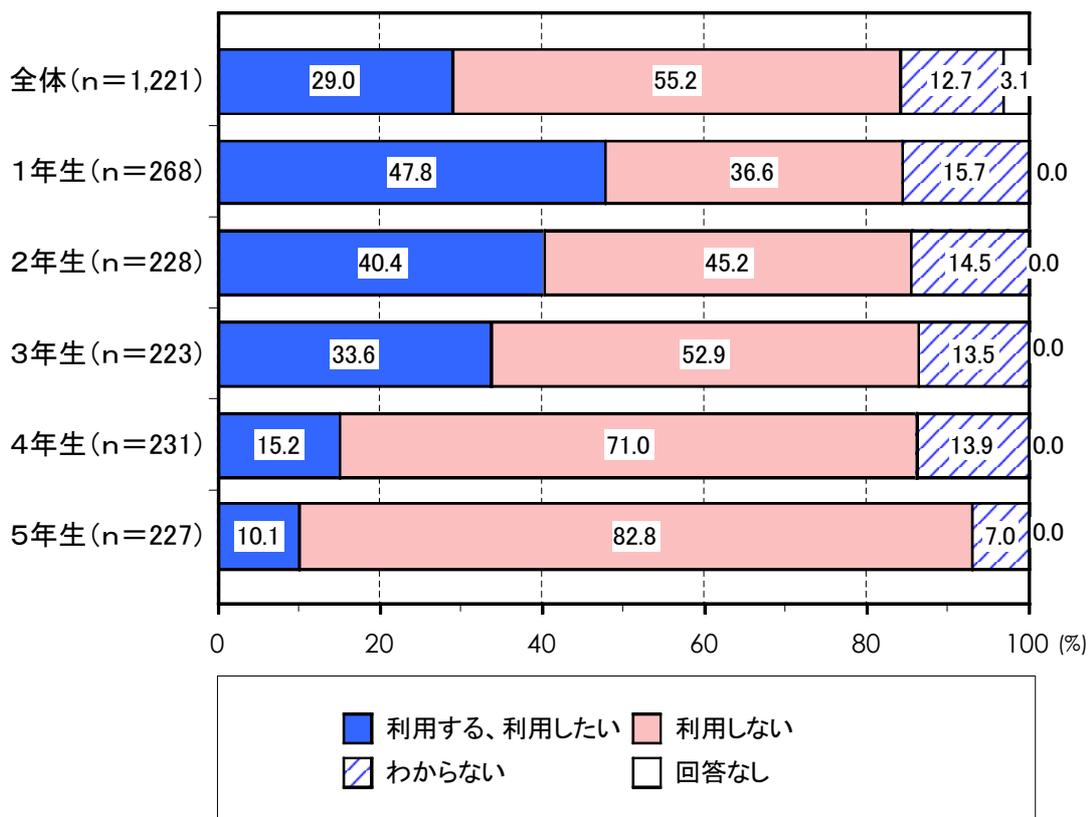
(ア) 平日

- 来年度以降の放課後児童クラブの平日の利用希望については、「利用する、利用したい」が 29.0%です。
- 前回調査と比較すると、「利用する、利用したい」は 10.1 ポイント高くなっています。
- 各学年別にみると、「利用する、利用したい」が 1 年生は 47.8%と最も高く、学年が上がるにしたがって低くなっています。特に 4 年生以上ではかなり低くなります。
- 小学校区別にみると、「利用する、利用したい」が、岩倉東小学校区は 39.5%と最も高く、岩倉北小学校区、岩倉南小学校区、五条川小学校区は 30%程度、曾野小学校区は 23.5%と他の地域に比べてやや低くなっています。

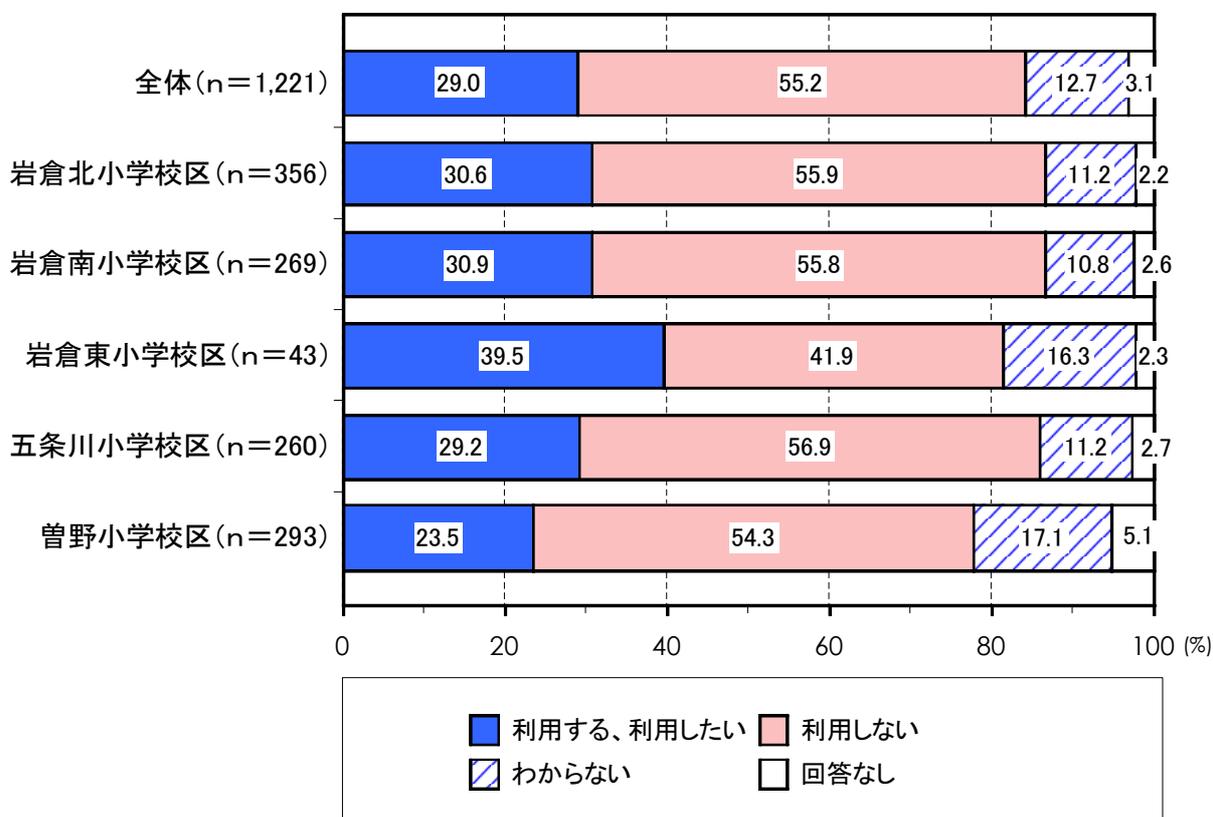
図表 3 - 24 放課後児童クラブの今後の平日の利用希望（前回調査との比較）



図表 3 - 25 放課後児童クラブの今後の平日の利用希望（学年別）



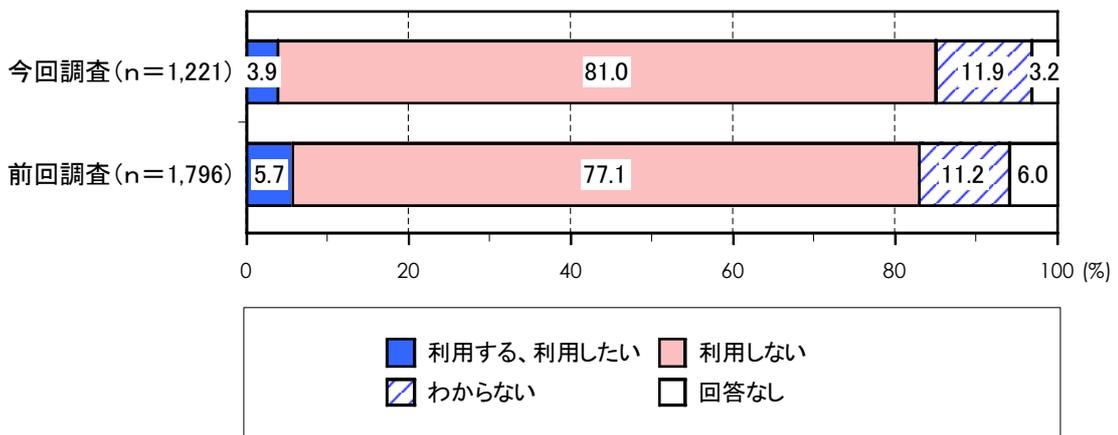
図表 3 - 26 放課後児童クラブの今後の平日の利用希望（小学校区別）



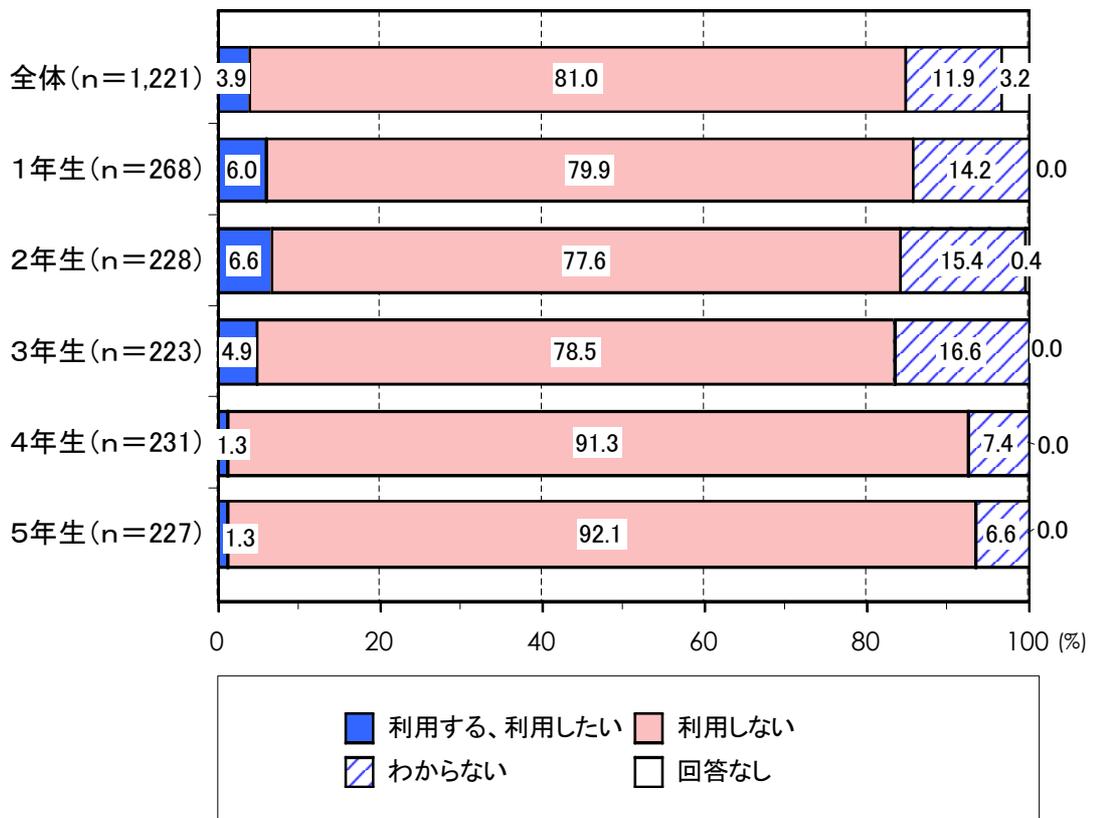
(イ) 土曜日

- 今後の土曜日の利用希望については、「利用する、利用したい」が3.9%です。
- 前回調査と比較すると、傾向に大きな違いはありません。
- 学年別では、3年生までは5%程度の利用希望があります。
- 小学校区別では、地域により傾向に大きな違いはありません。

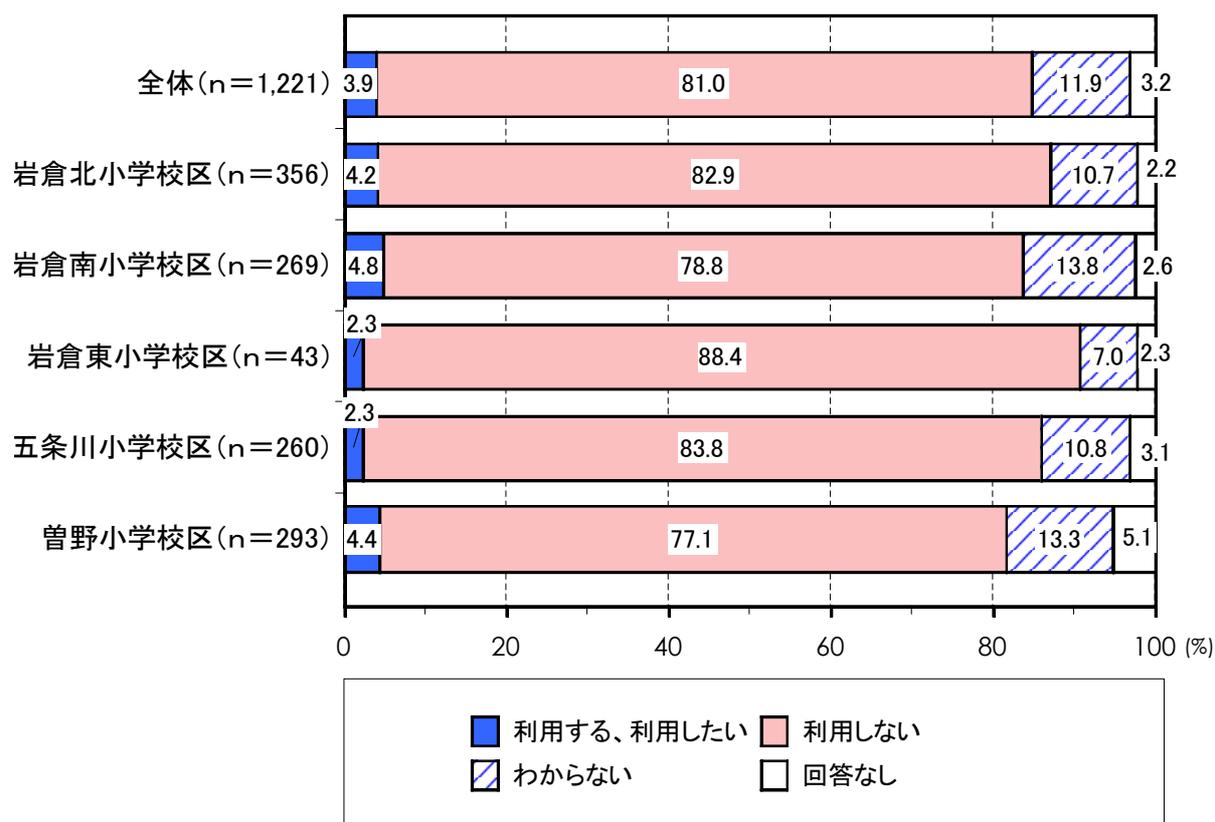
図表 3 - 27 放課後児童クラブの今後の土曜日の利用希望（前回調査との比較）



図表 3 - 28 放課後児童クラブの今後の土曜日の利用希望（学年別）



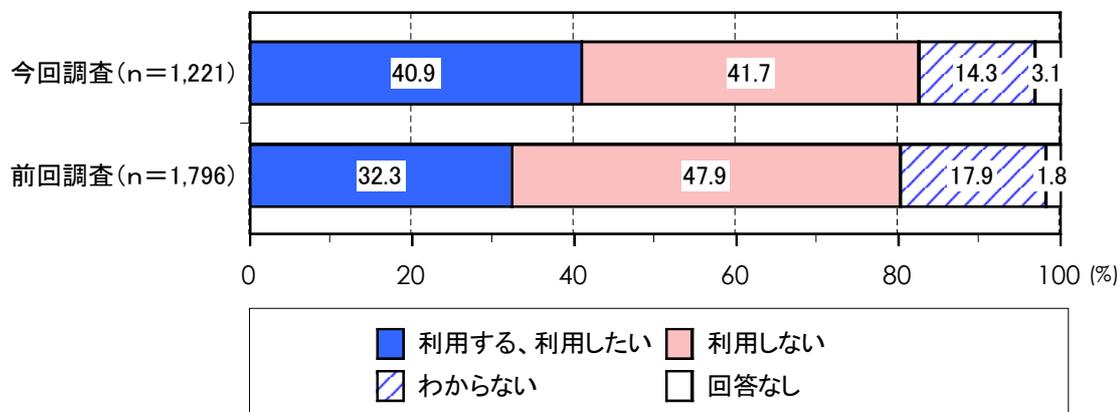
図表 3 - 29 放課後児童クラブの今後の土曜日の利用希望（小学校区別）



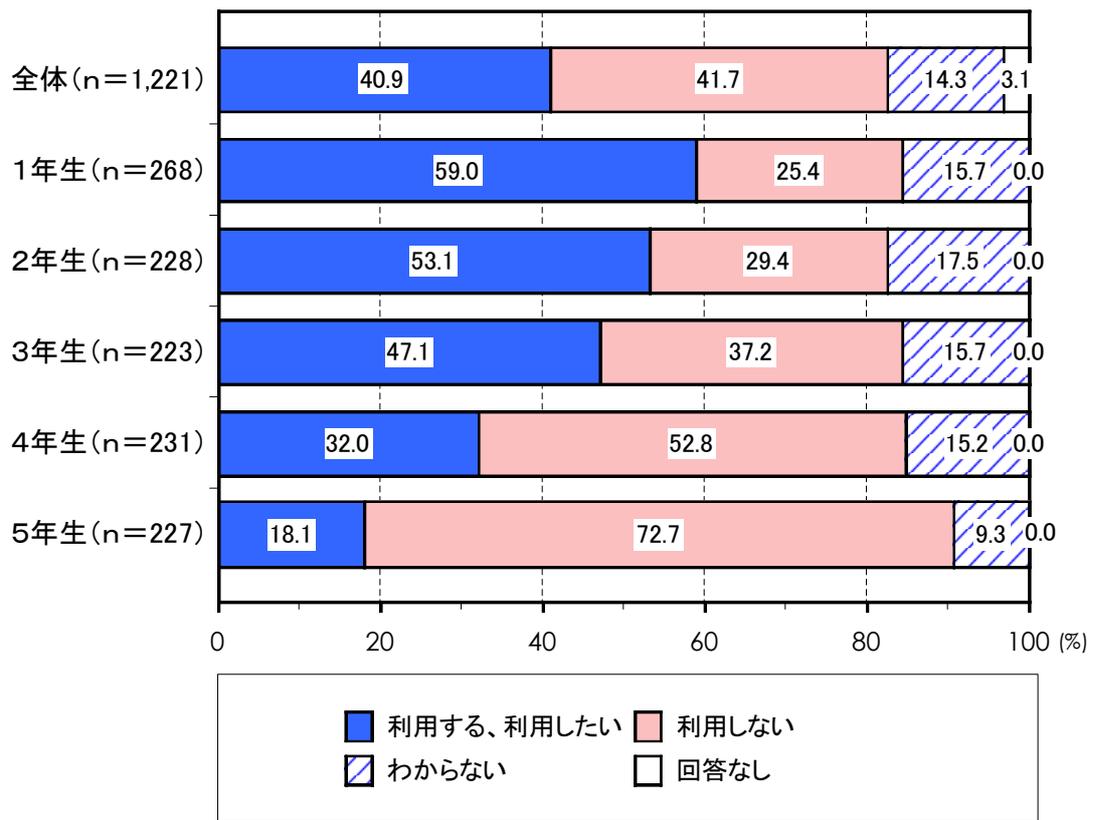
(ウ) 夏休み等

- 今後の夏休み等の利用希望については、「利用する、利用したい」が40.9%です。
- 前回調査と比較すると、「利用する、利用したい」が8.6ポイント高くなっています。
- 学年別にみると、1年生が59.0%と最も高く、学年が上がるにしたがって低くなります。3年生までは50%程度の利用希望があります。
- 小学校区別にみると、平日と同様に岩倉東小学校区の希望が46.5%と最も高く、他の小学校区も40%程度の利用希望があります。

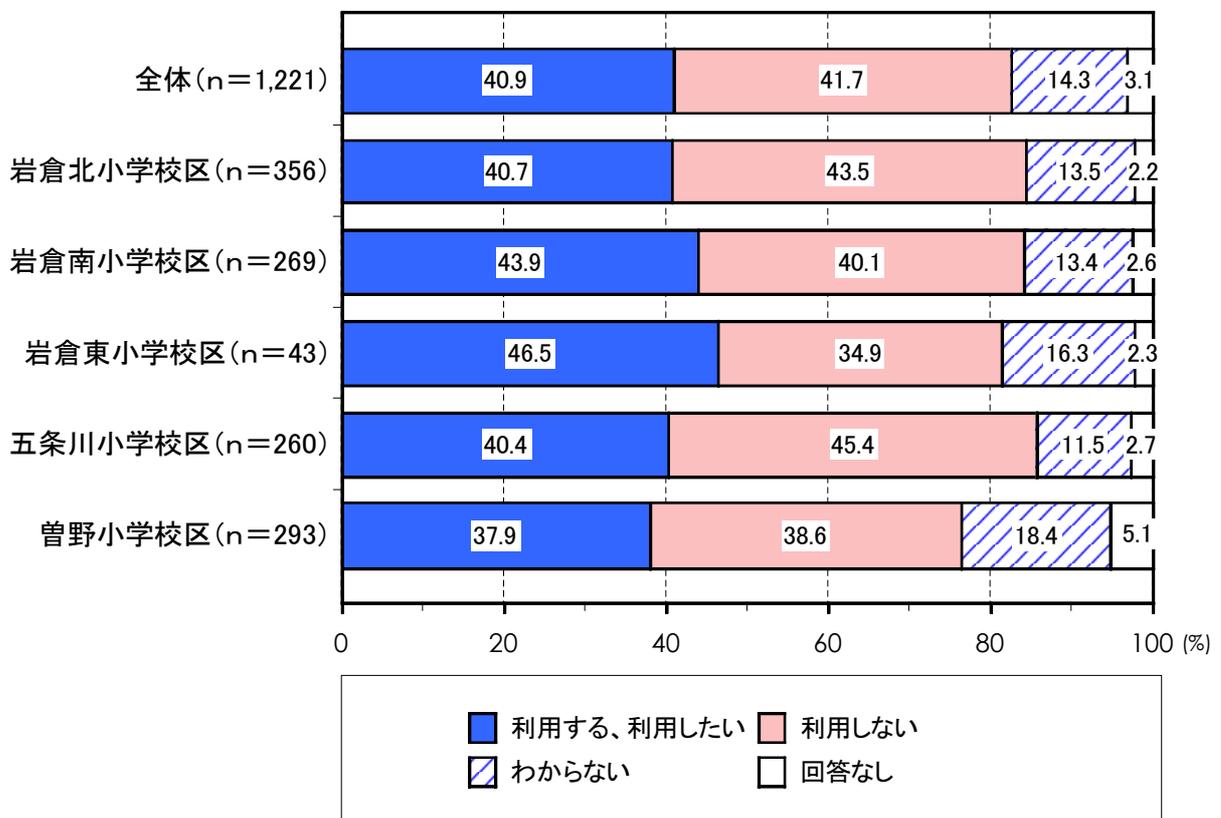
図表 3 - 30 放課後児童クラブの今後の夏休み等の利用希望（前回調査との比較）



図表 3 - 31 放課後児童クラブの今後の夏休み等の利用希望（学年別）



図表 3 - 32 放課後児童クラブの今後の夏休み等の利用希望（小学校区別）

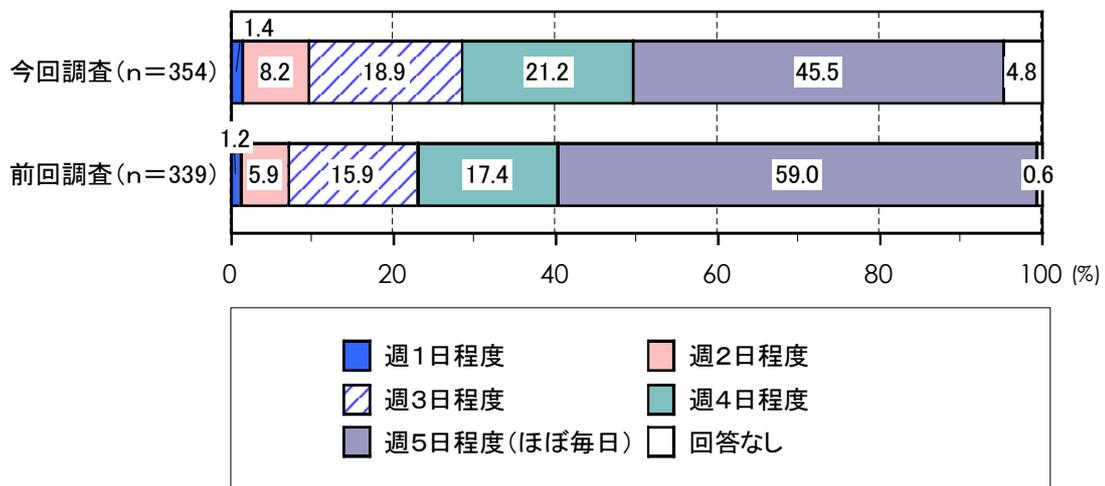


②利用頻度の希望

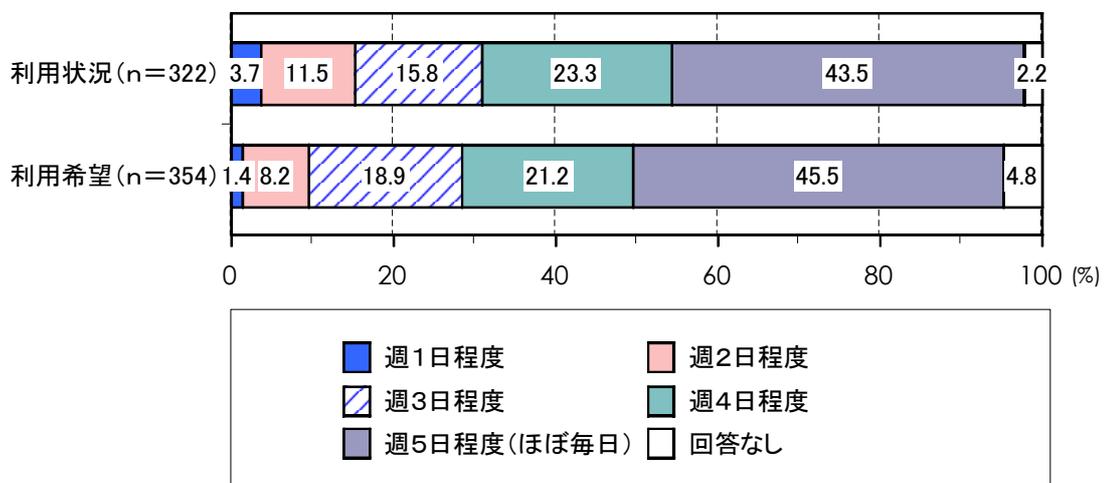
(ア) 平日

- 平日の利用希望がある人の平日の利用頻度の希望については、「週5日程度（ほぼ毎日）」が45.5%、「週4日程度」が21.2%、「週3日程度」が18.9%です。
- 前回調査と比較すると、「週5日程度（ほぼ毎日）」が13.5ポイント低くなり、「週3日程度」「週4日程度」がやや高くなっています。
- 利用状況と利用希望に傾向に大きな違いはありません。
- 学年別にみると、1年生は「週5日程度（ほぼ毎日）」が59.4%と最も高くなっています。「週5日程度（ほぼ毎日）」は、学年が上がるにしたがって低くなる傾向があります。
- 小学校区別にみると、「週5日程度（ほぼ毎日）」は曾野小学校区が58.0%と最も高く、五条川小学校区が48.7%、それ以外の小学校区が40%程度となっています。

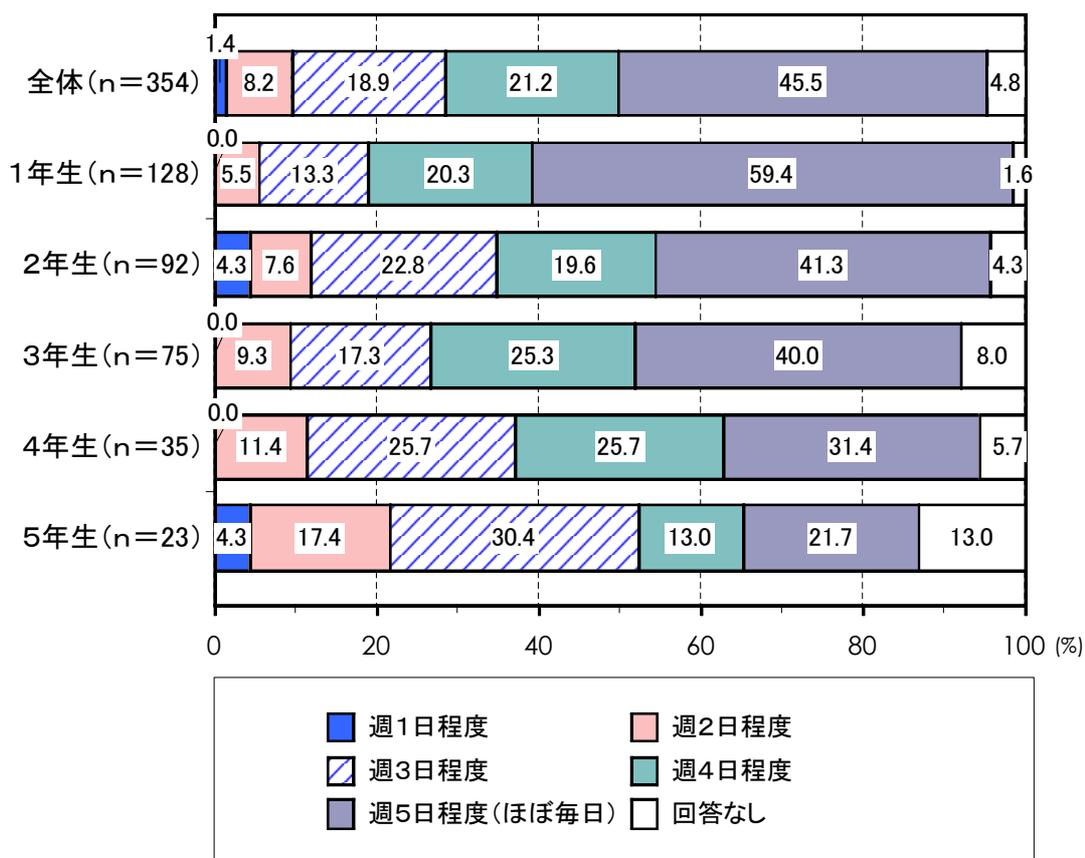
図表 3 - 33 放課後児童クラブの今後の平日の利用頻度の希望(前回調査との比較)



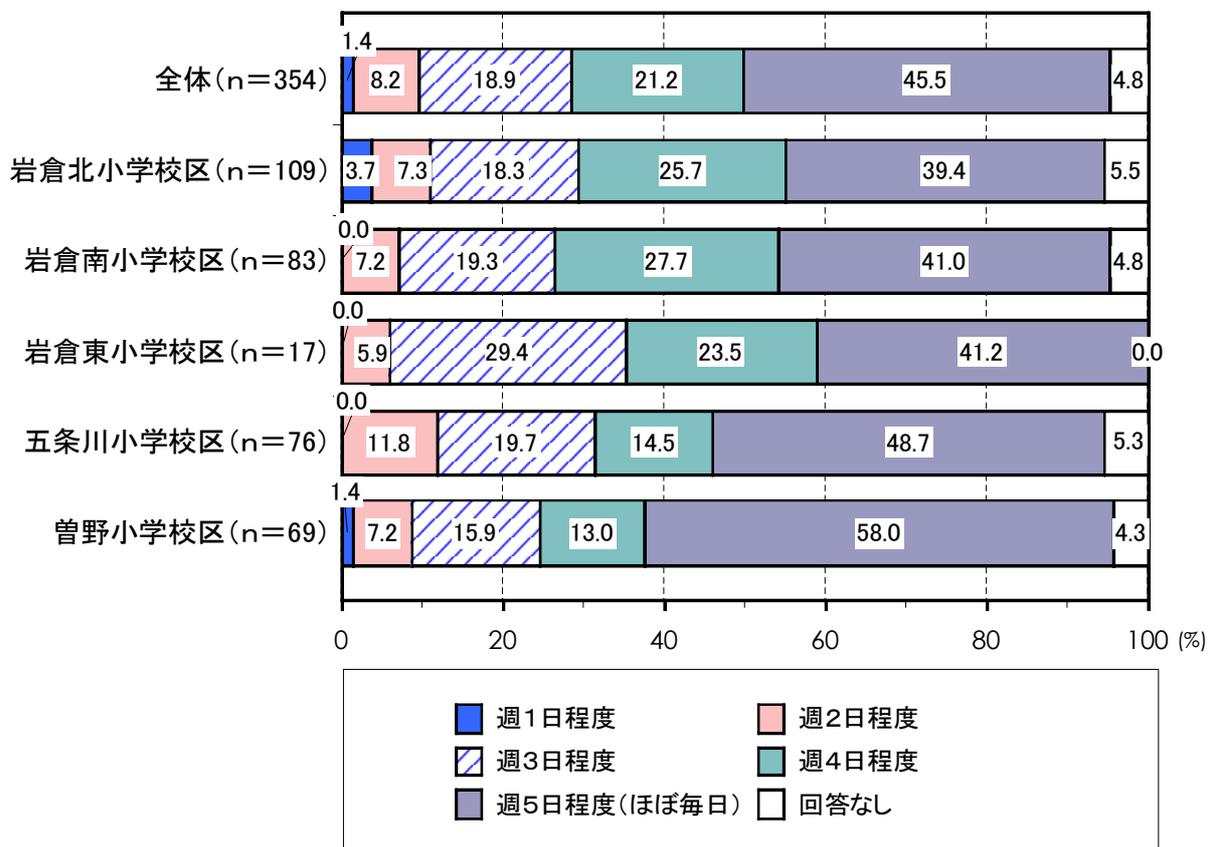
図表 3 - 34 放課後児童クラブの今後の平日の利用頻度の希望 (利用状況と利用希望の比較)



図表 3 - 35 放課後児童クラブの今後の平日の利用頻度の希望 (学年別)



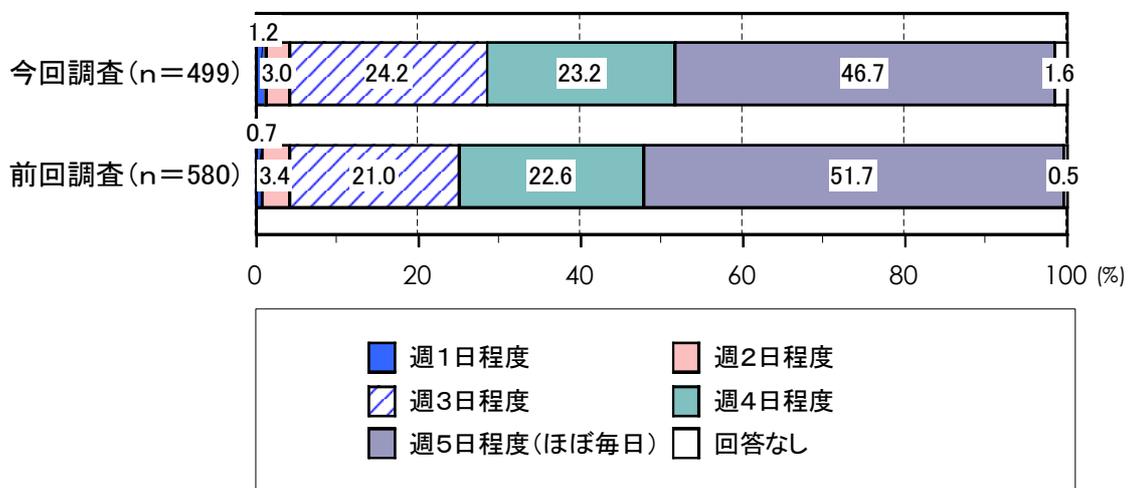
図表 3 - 36 放課後児童クラブの今後の平日の利用頻度の希望 (小学校区別)



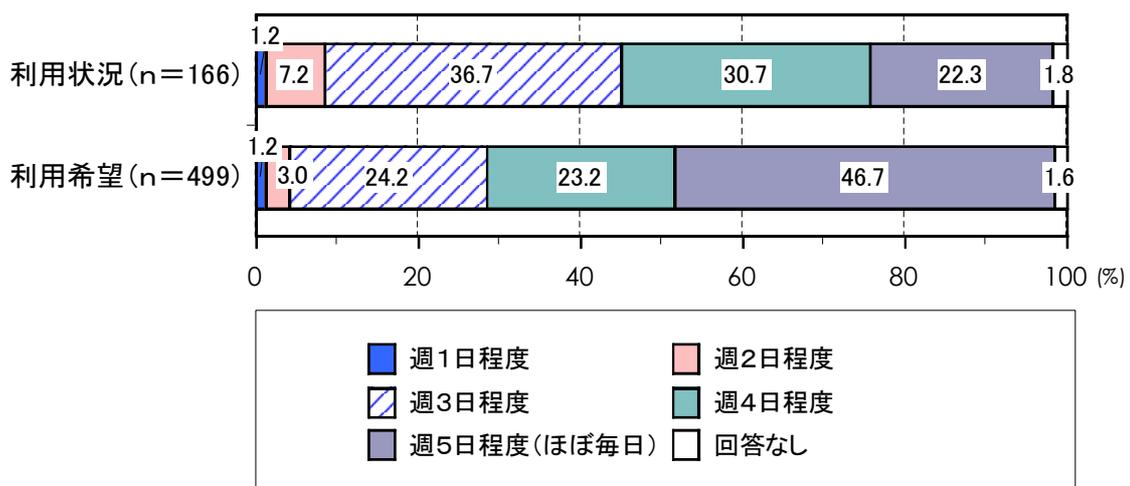
(イ) 夏休み等

- 夏休み等の利用頻度の希望については、「週5日程度（ほぼ毎日）」が46.7%、「週3日程度」が24.2%、「週4日程度」が23.2%です。
- 前回調査と比較すると、「週5日程度（ほぼ毎日）」が5.0ポイント低くなっています。
- 利用状況と利用希望を比較すると、「週5日程度（ほぼ毎日）」は利用希望が利用状況に比べてかなり高くなっています。
- 学年別にみると、「週5日程度（ほぼ毎日）」は、1年生が56.3%と最も高く、2年生と3年生は50%程度、4年生以上では30%程度となっています。
- 小学校区別にみると、岩倉南小学校区の「週4日程度」、岩倉東小学校区の「週3日程度」の割合が、他の小学校区と比べて高くなっています。

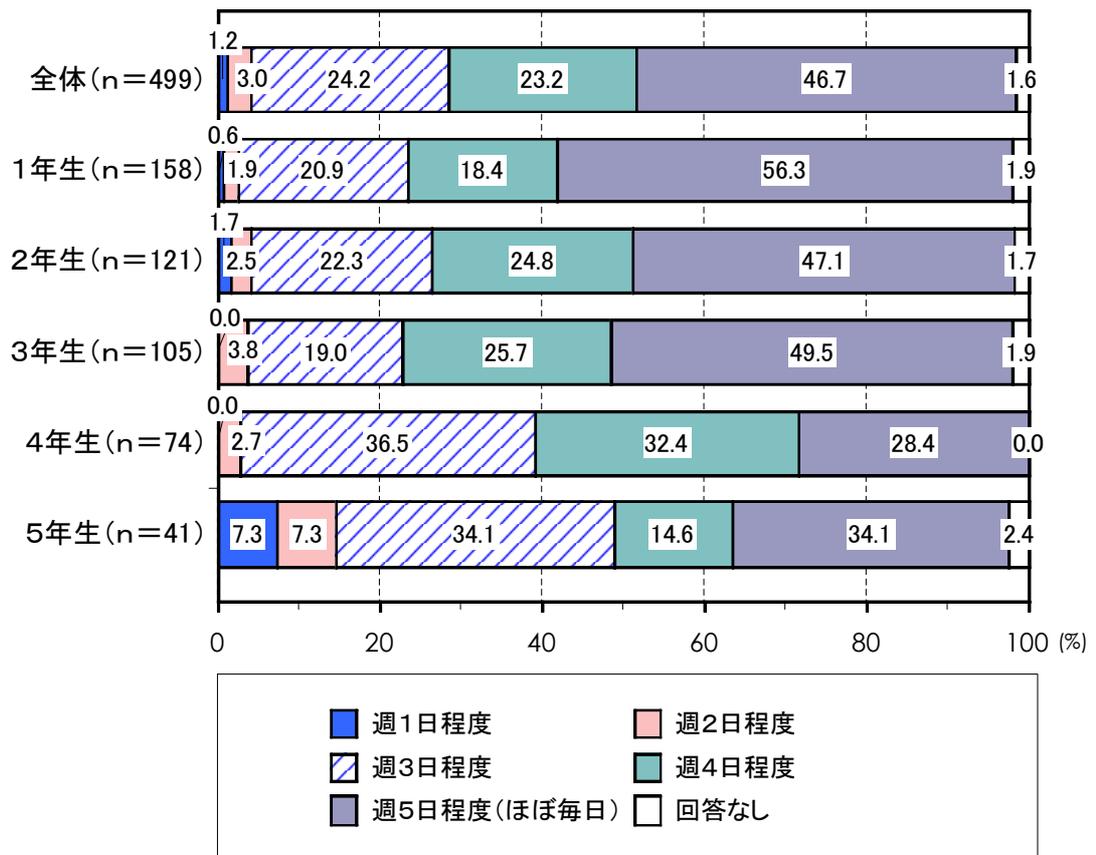
図表 3 - 37 放課後児童クラブの今後の夏休み等の利用頻度の希望(前回調査との比較)



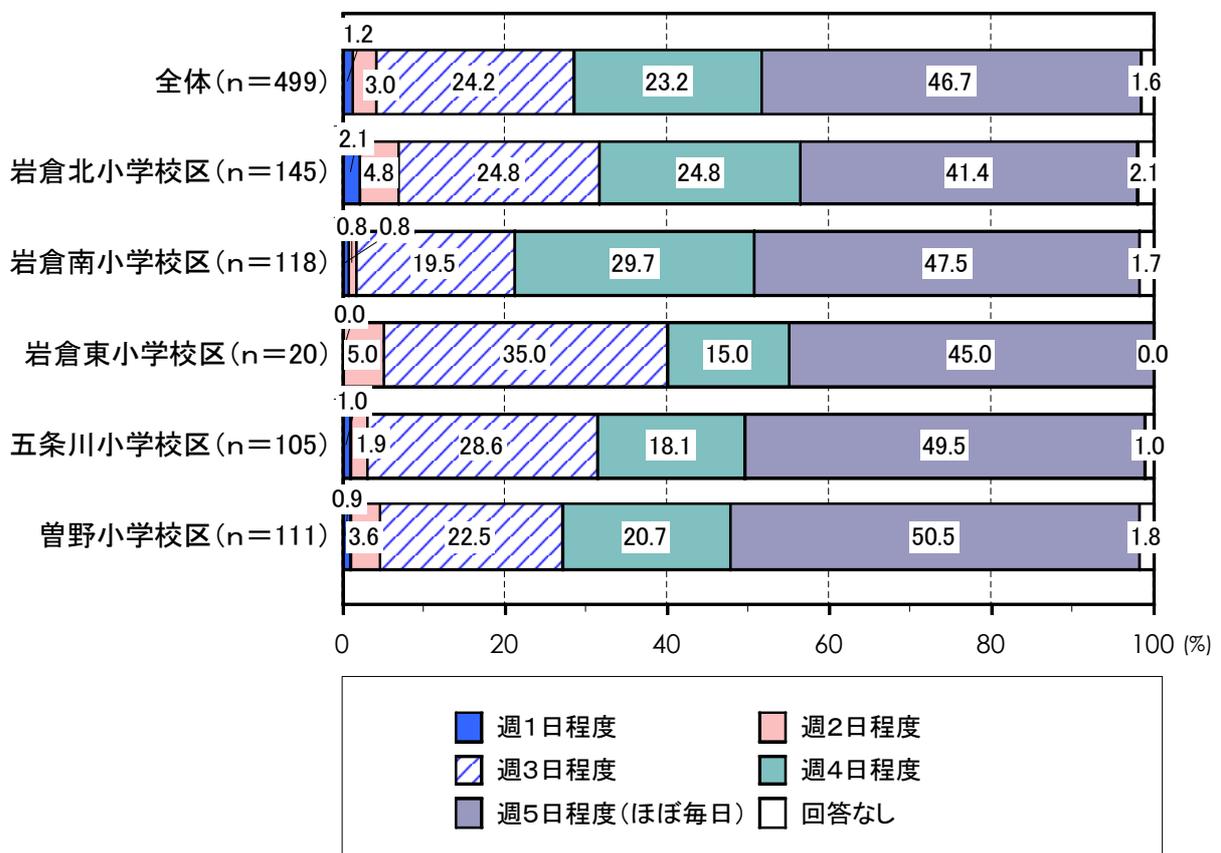
図表 3 - 38 放課後児童クラブの今後の夏休み等の利用頻度の希望 (利用状況と利用希望の比較)



図表 3 - 39 放課後児童クラブの今後の夏休み等の利用頻度の希望（学年別）



図表 3 - 40 放課後児童クラブの今後の夏休み等の利用頻度の希望（小学校区別）



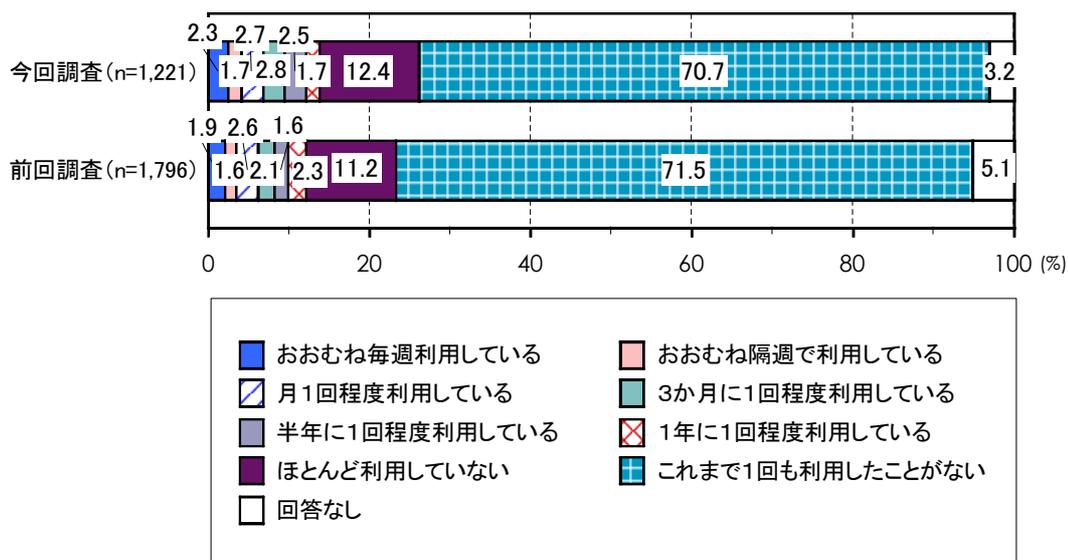
4. 放課後子ども教室の利用状況と今後の利用希望について

(1) 利用状況

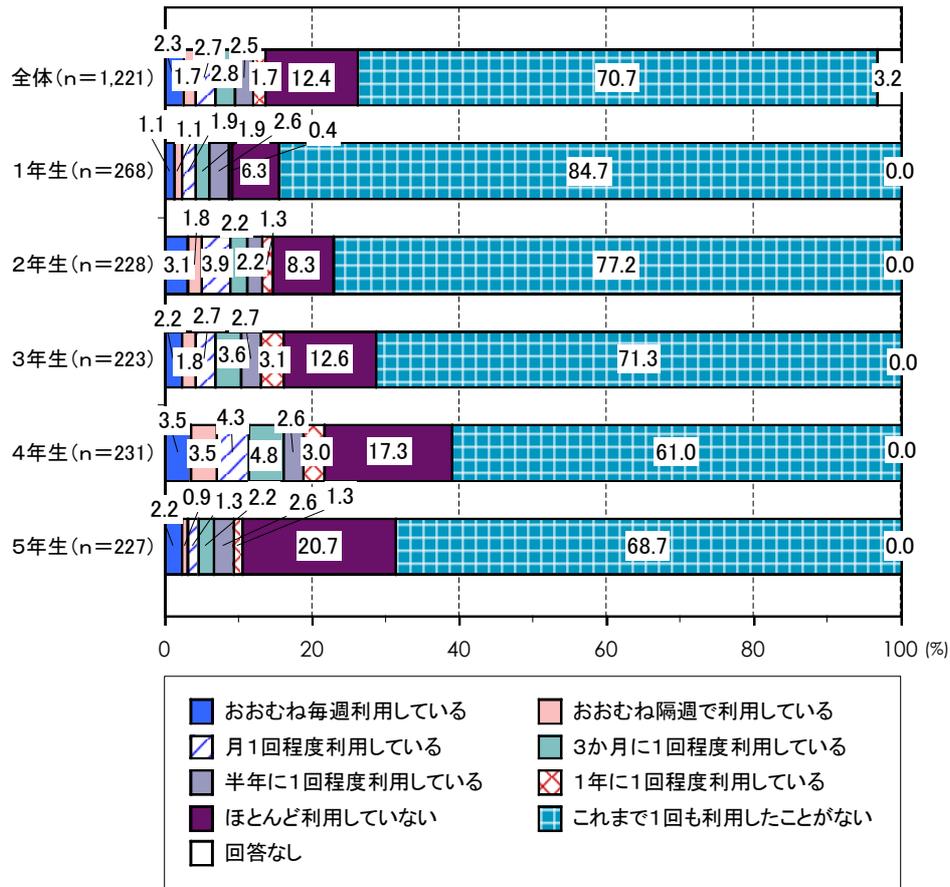
問12 あなたのお子さんは、毎週土曜日の午前中に開催している「放課後子ども教室」を利用していますか。(単数回答)

- 「おおむね毎週利用している」から「1年に1回程度利用している」を合わせた“利用している”は13.7%で、そのうち「おおむね毎週利用している」は2.3%です。また、「これまで1回も利用したことがない」、「ほとんど利用していない」を合わせた“利用していない”が83.1%となっています。
- 前回調査と比較すると、傾向に大きな違いはありません。
- 学年別にみると、“利用している”は、4年生が21.7%と最も高く、1年生から4年生までは、学年が上がるにしたがって利用している割合が高くなっています。
- 小学校区別にみると、岩倉東小学校区は“利用している”が25.5%と、他の小学校区に比べてかなり高くなっています。

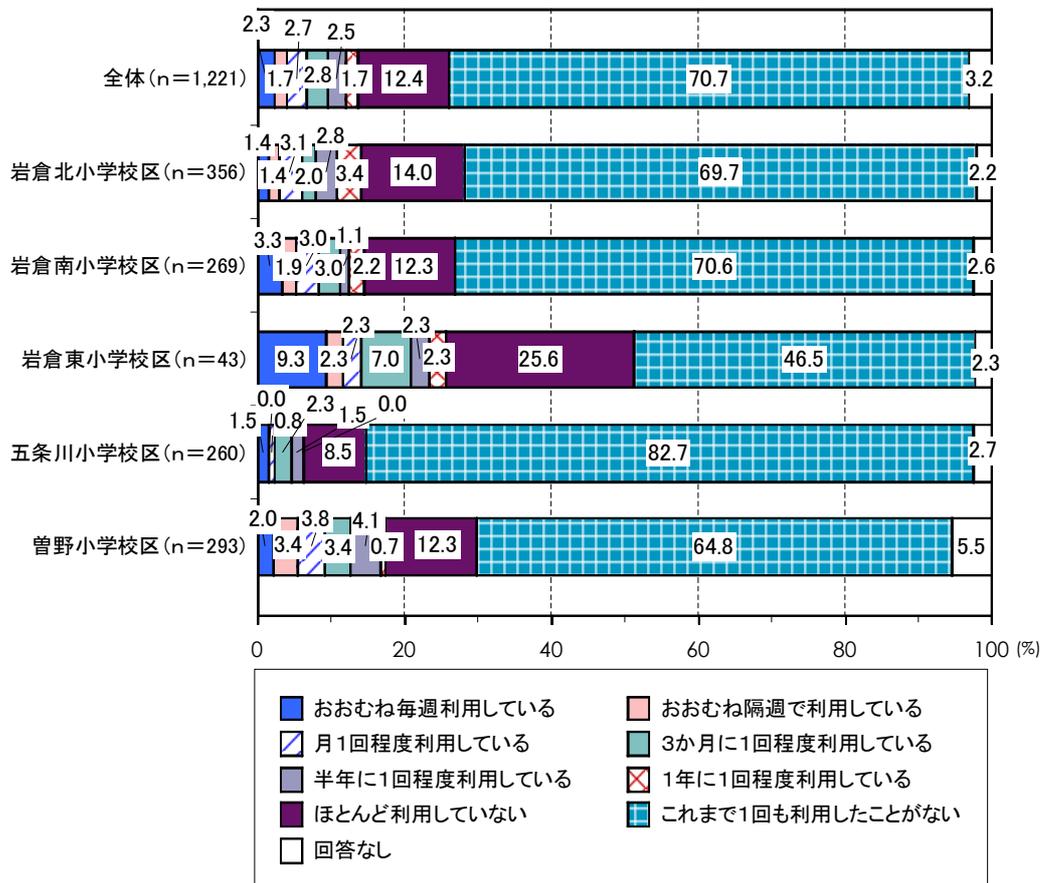
図表 3 - 41 放課後子ども教室の利用状況(前回調査との比較)



図表 3 - 42 放課後子ども教室の利用状況 (学年別)



図表 3 - 43 放課後子ども教室の利用状況 (小学校区別)



(2) 利用希望

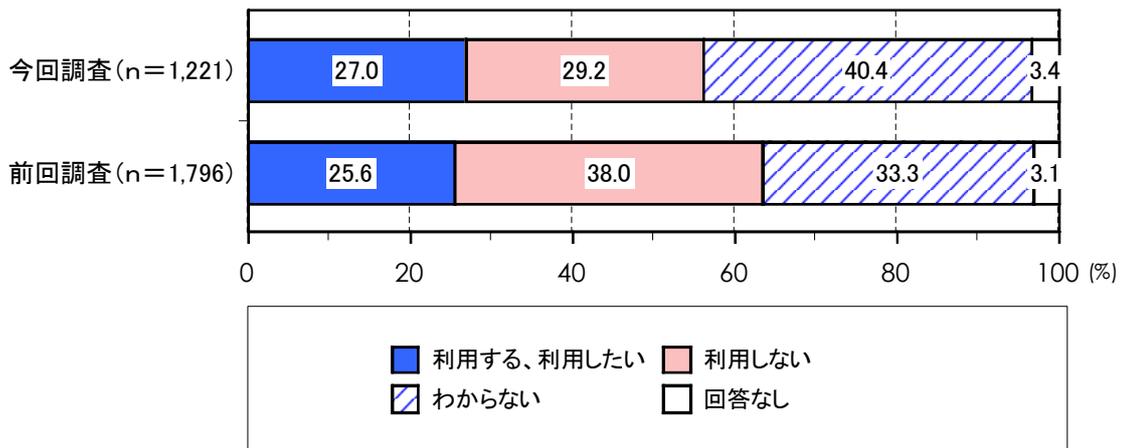
問 13 放課後等の子どもたちの遊び場の提供や居場所として「放課後子ども教室」が平日や夏休み等にも開設されるようになった場合、あなたのお子さんは、それを利用しようと思いますか。平日と土曜日と夏休み等のそれぞれの利用希望と平日と夏休み等の利用頻度の希望をご回答ください。

①利用希望の有無

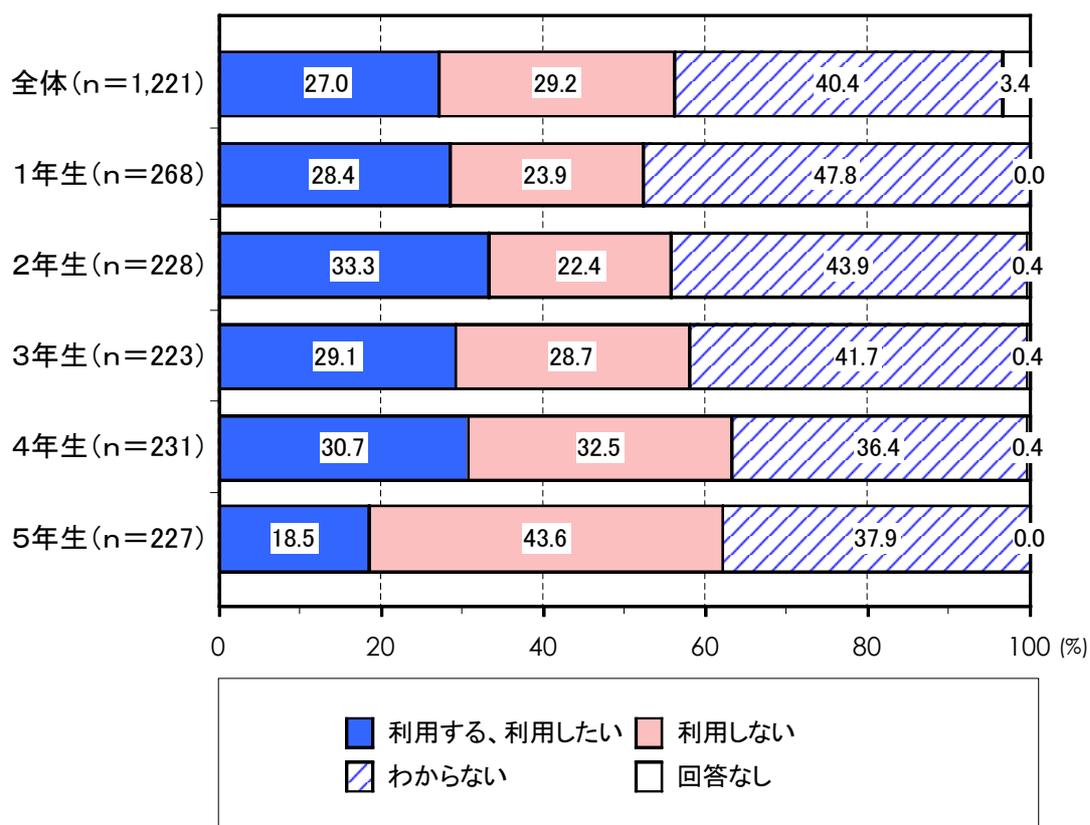
(ア) 平日

- 平日の利用希望については、「利用する、利用したい」が27.0%です。
- 前回調査と比較すると、「利用する、利用したい」はほぼ変わりません。一方、「わからない」が高くなっています。
- 学年別にみると、1年生から4年生までは「利用する、利用したい」が30%程度となっています。学年が低いほど「わからない」の割合が高くなっています。
- 小学校区による傾向に大きな違いはありません。

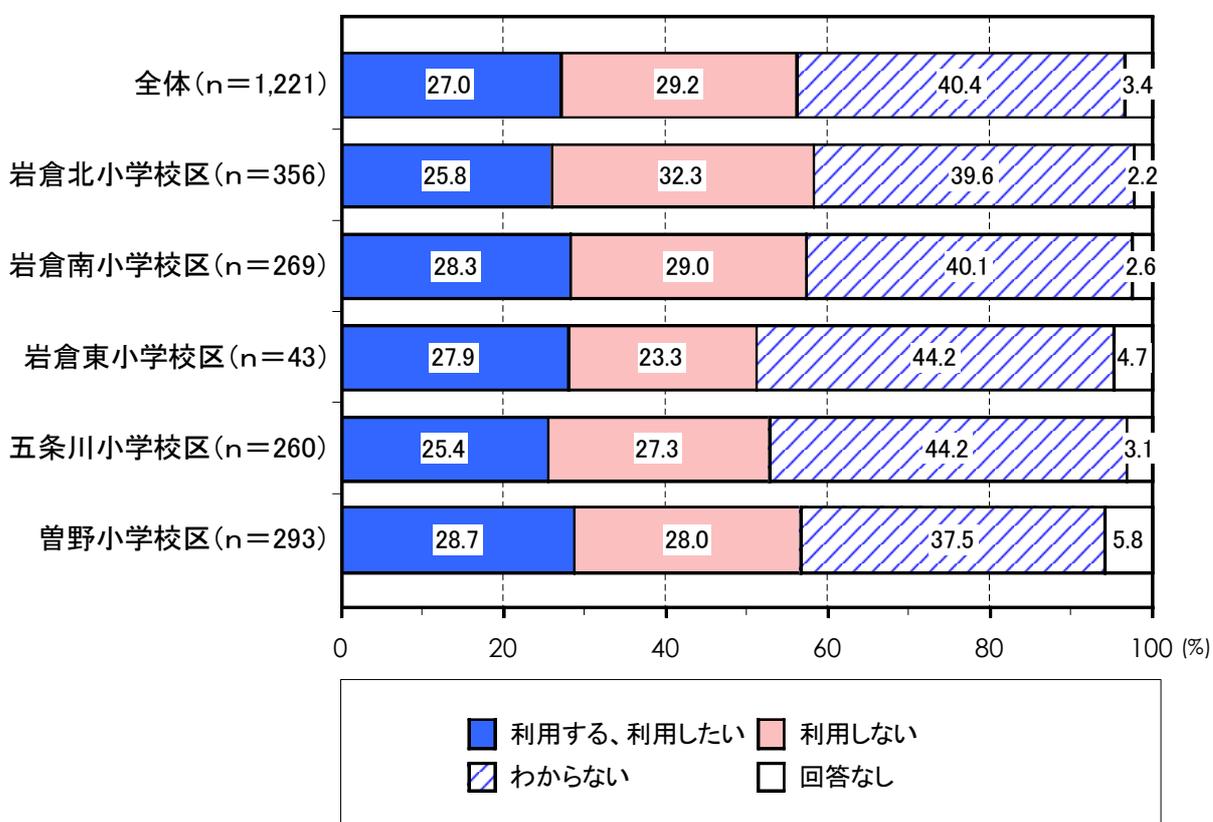
図表 3 - 44 放課後子ども教室の平日の利用希望（前回調査との比較）



図表 3 - 45 放課後子ども教室の平日の利用希望（学年別）



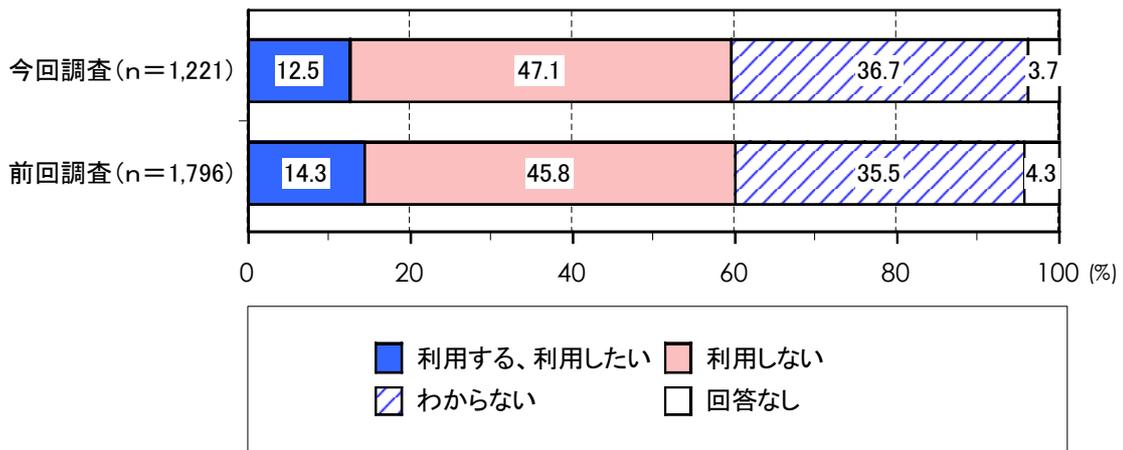
図表 3 - 46 放課後子ども教室の平日の利用希望（小学校区別）



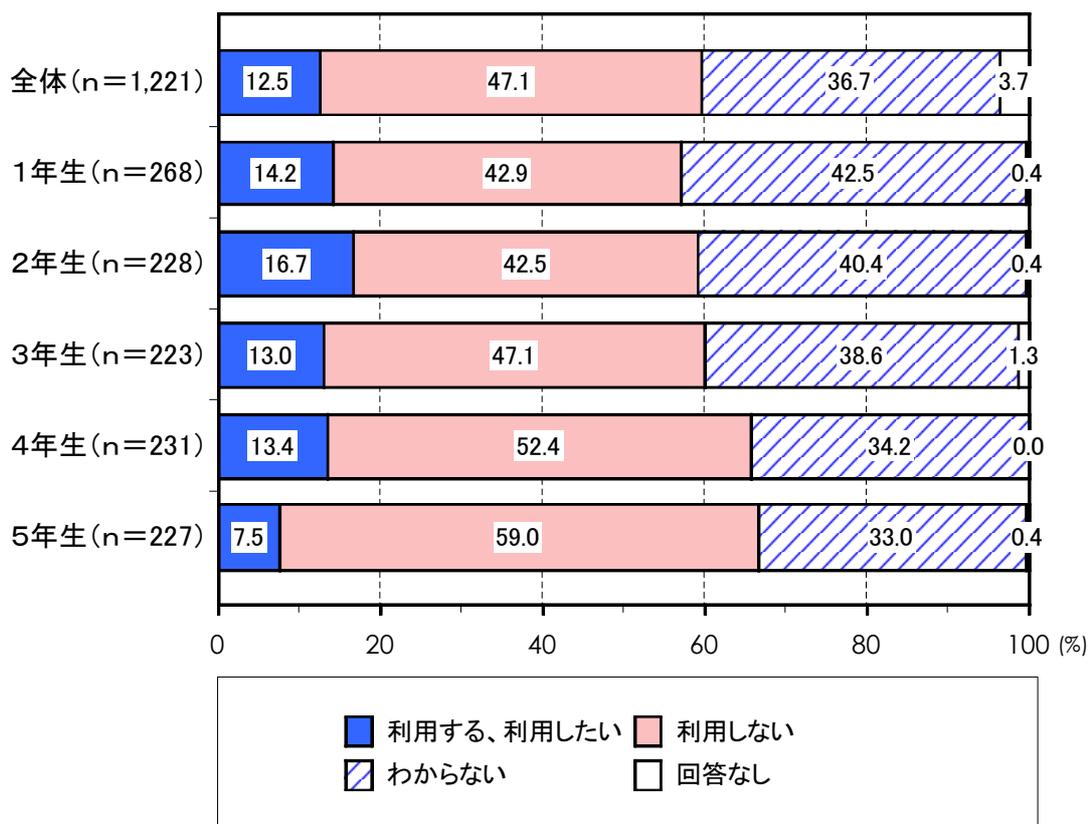
(イ) 土曜日

- 土曜日の利用希望については、「利用する、利用したい」が12.5%です。
- 前回調査と比較すると、傾向に大きな違いはありません。
- 学年別にみると、1年生から4年生までは「利用する、利用したい」が15%程度あります。学年が低いほど「わからない」の割合が高くなっています。
- 小学校区別にみると、「利用する、利用したい」は曾野小学校区がやや高く、五条川小学校区が他の小学校区に比べてやや低くなっています。

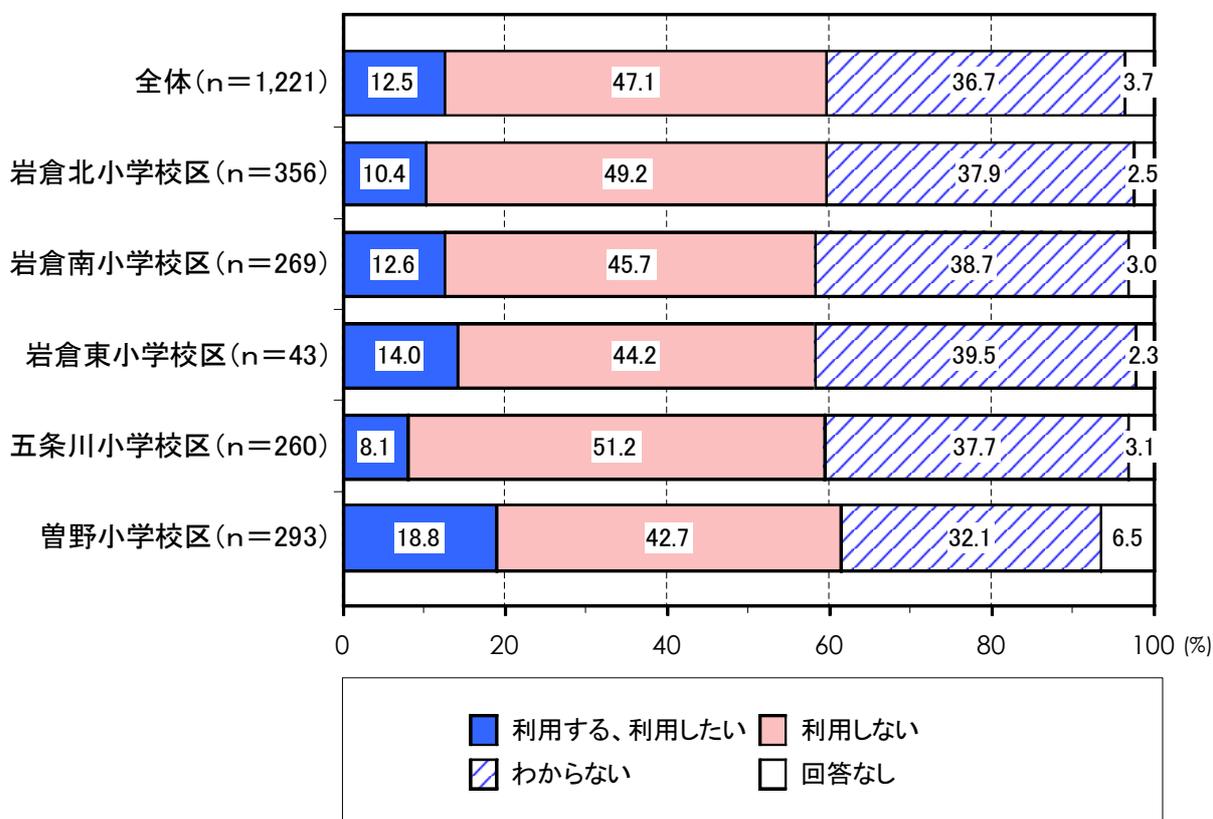
図表 3 - 47 放課後子ども教室の土曜日の利用希望（前回調査との比較）



図表 3 - 48 放課後子ども教室の土曜日の利用希望（学年別）



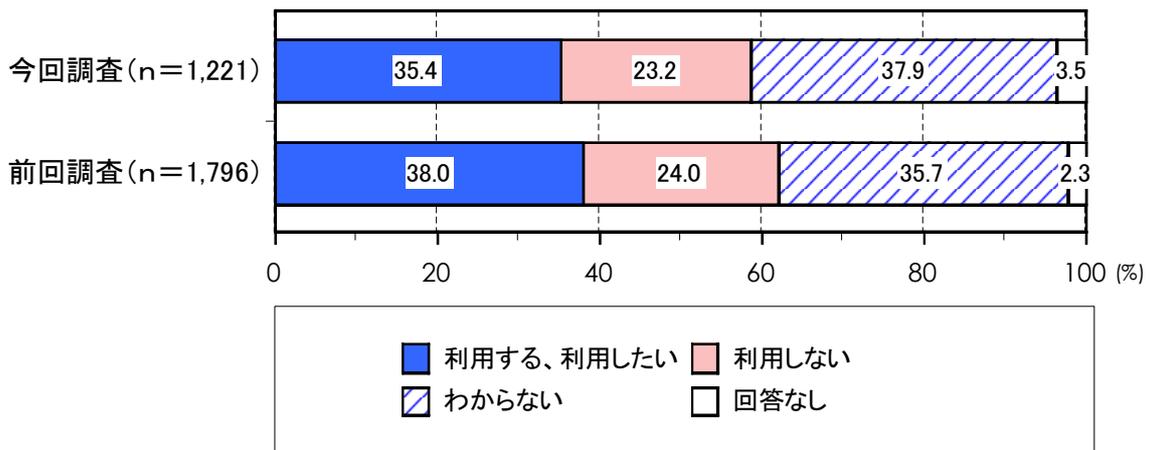
図表 3 - 49 放課後子ども教室の土曜日の利用希望（小学校区別）



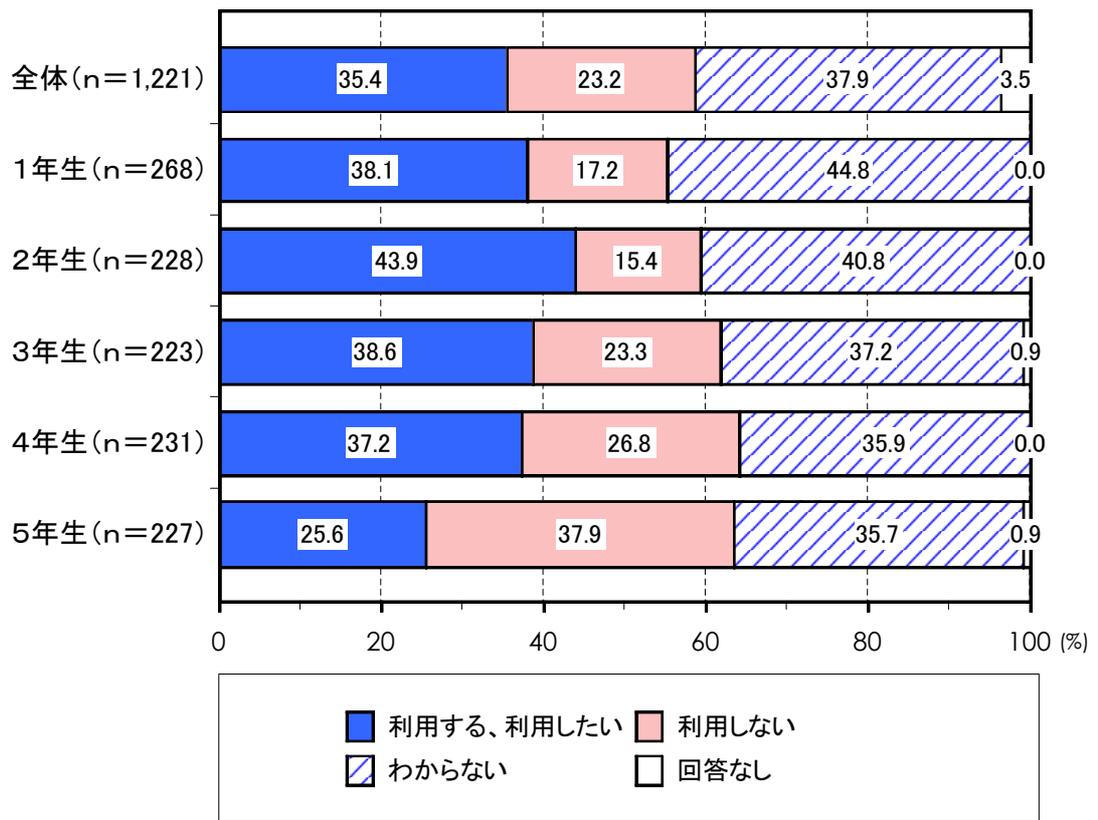
(ウ) 夏休み等

- 夏休み等の利用希望については、「利用する、利用したい」が 35.4%です。
- 前回調査と比較すると、傾向に大きな違いはありません。
- 学年別にみると、「利用する、利用したい」は2年生が 43.9%と他の学年に比べて高くなっています。1年生、3年生、4年生は 38%程度となっています。
- 小学校区別にみると、「利用する、利用したい」は曾野小学校区が 39.6%と最も高く、岩倉南小学校区が 37.9%と続いています。

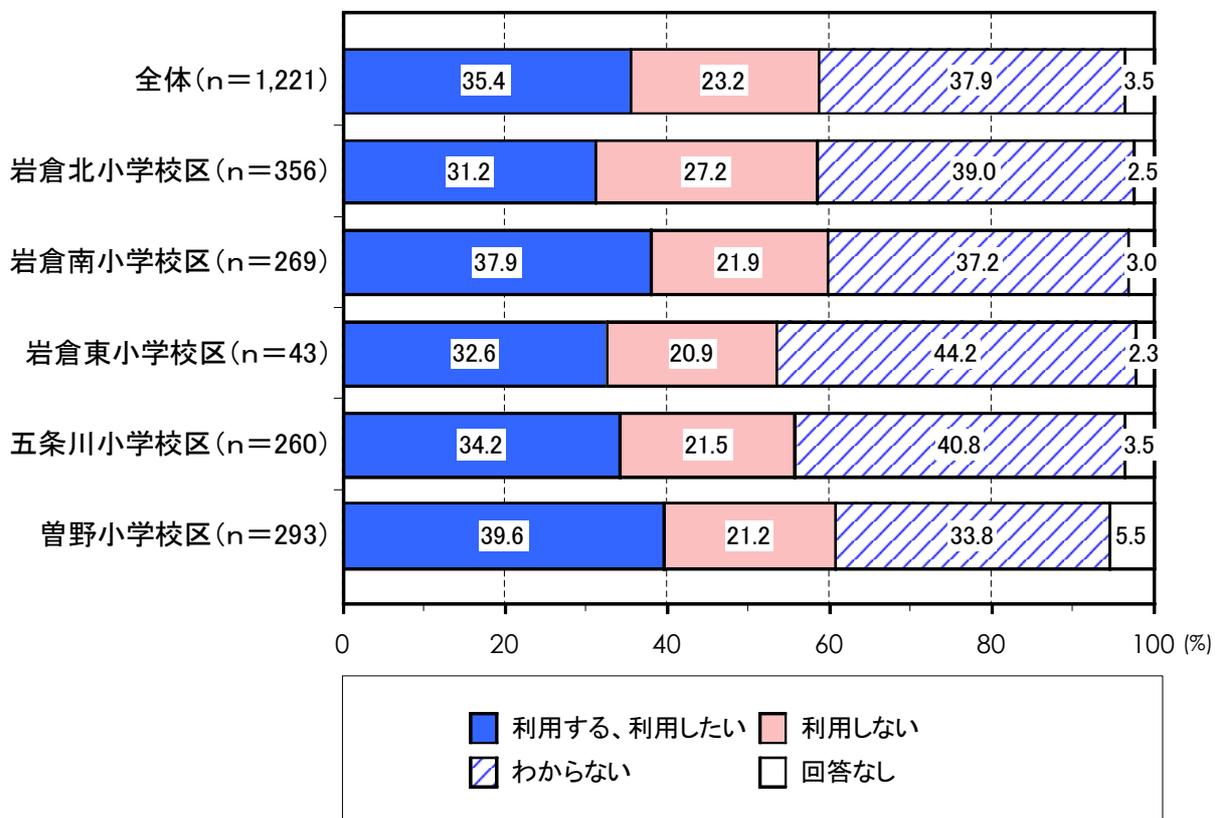
図表 3 - 50 放課後子ども教室の夏休み等の利用希望（前回調査との比較）



図表 3 - 51 放課後子ども教室の夏休み等の利用希望（学年別）



図表 3 - 52 放課後子ども教室の夏休み等の利用希望（小学校区別）

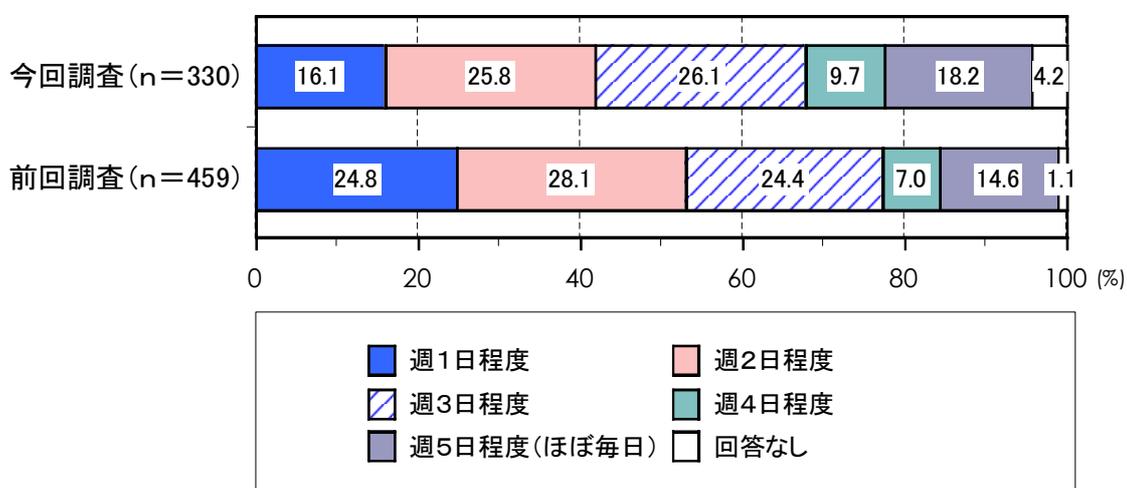


②利用頻度の希望

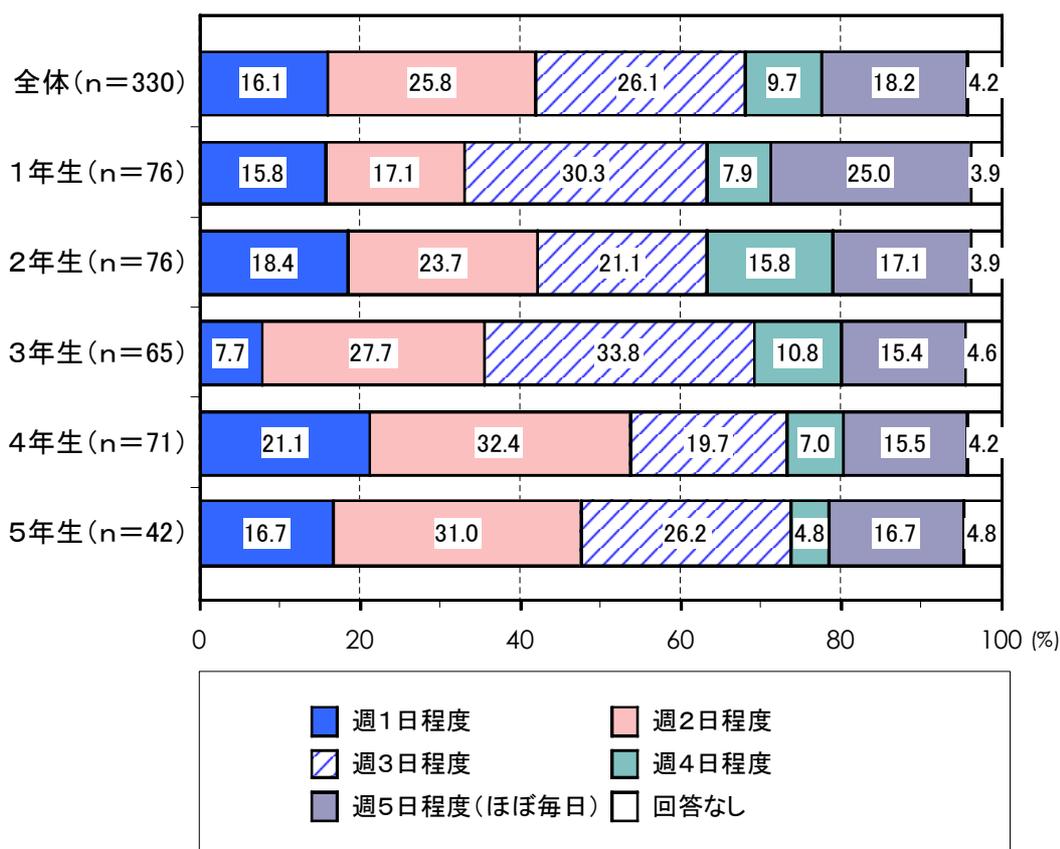
(ア) 平日

- 平日の利用頻度の希望は、「週3日程度」が26.1%、「週2日程度」が25.8%、「週5日程度（ほぼ毎日）」が18.2%です。
- 前回調査と比較すると、「週1日程度」、「週2日程度」の割合が低くなり、「週3日程度」以上の割合が高くなっています。
- 学年別にみると、「週5日程度（ほぼ毎日）」は1年生が25.0%と最も高く、2年生から5年生までは16%程度となっています。
- 小学校区別にみると、岩倉東小学校区以外の小学校区は「週2日程度」または「週3日程度」が最も高くなっています。

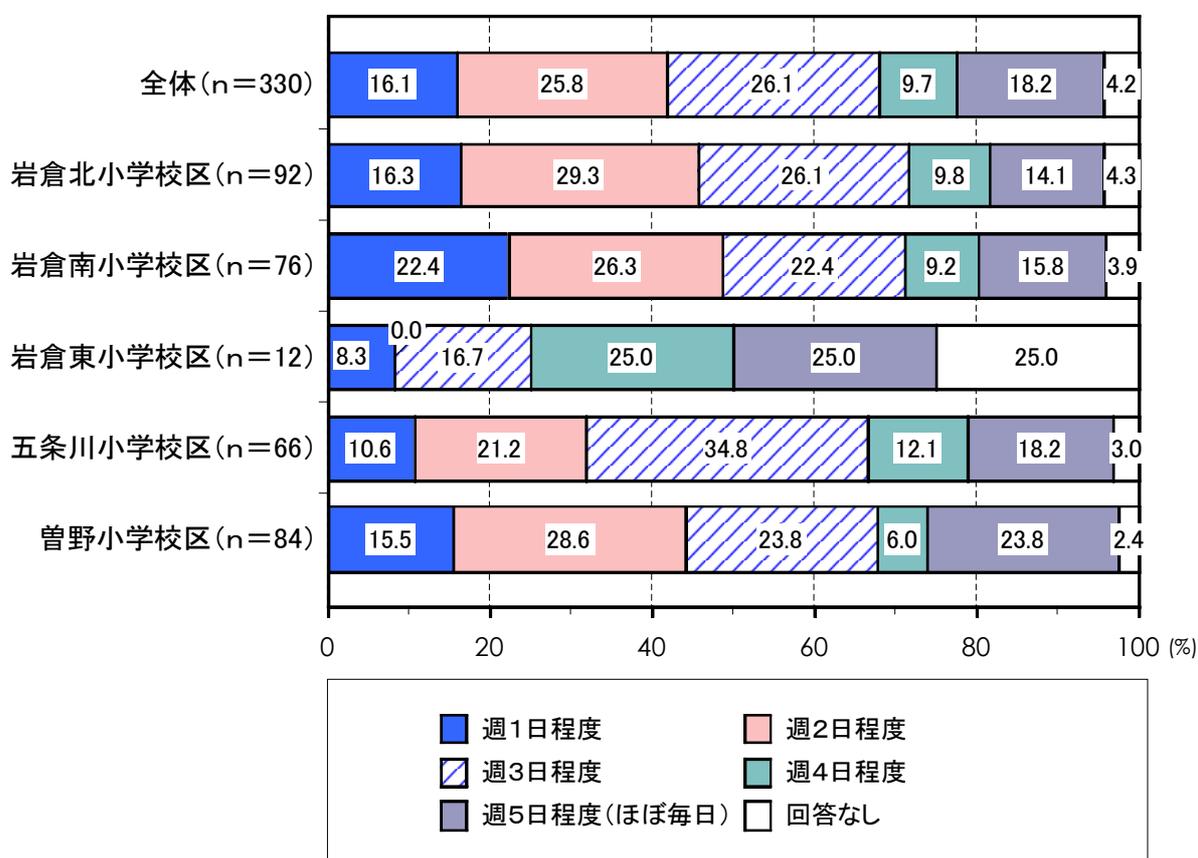
図表 3 - 53 放課後子ども教室の平日の利用頻度の希望（前回調査との比較）



図表 3 - 54 放課後子ども教室の平日の利用頻度の希望（学年別）



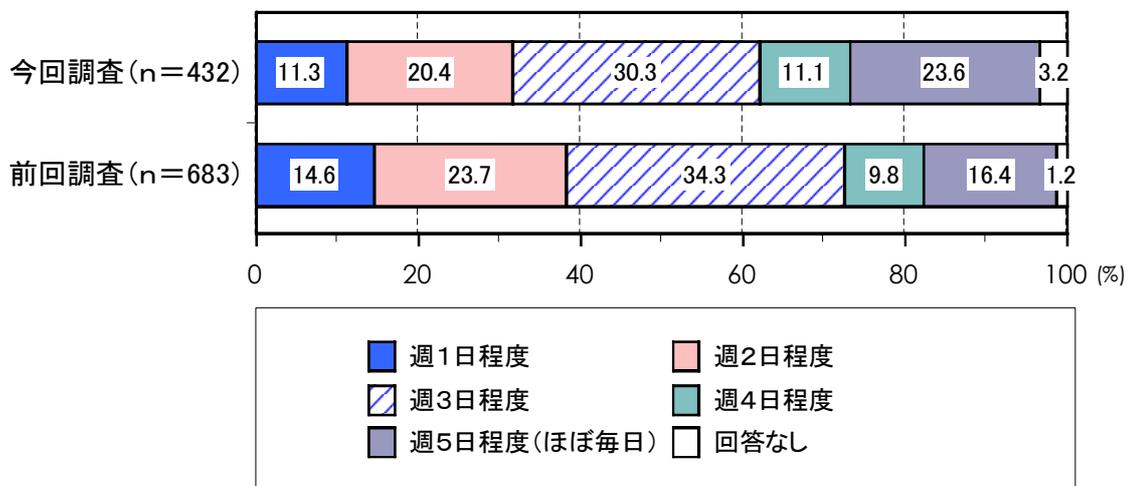
図表 3 - 55 放課後子ども教室の平日の利用頻度の希望（小学校区別）



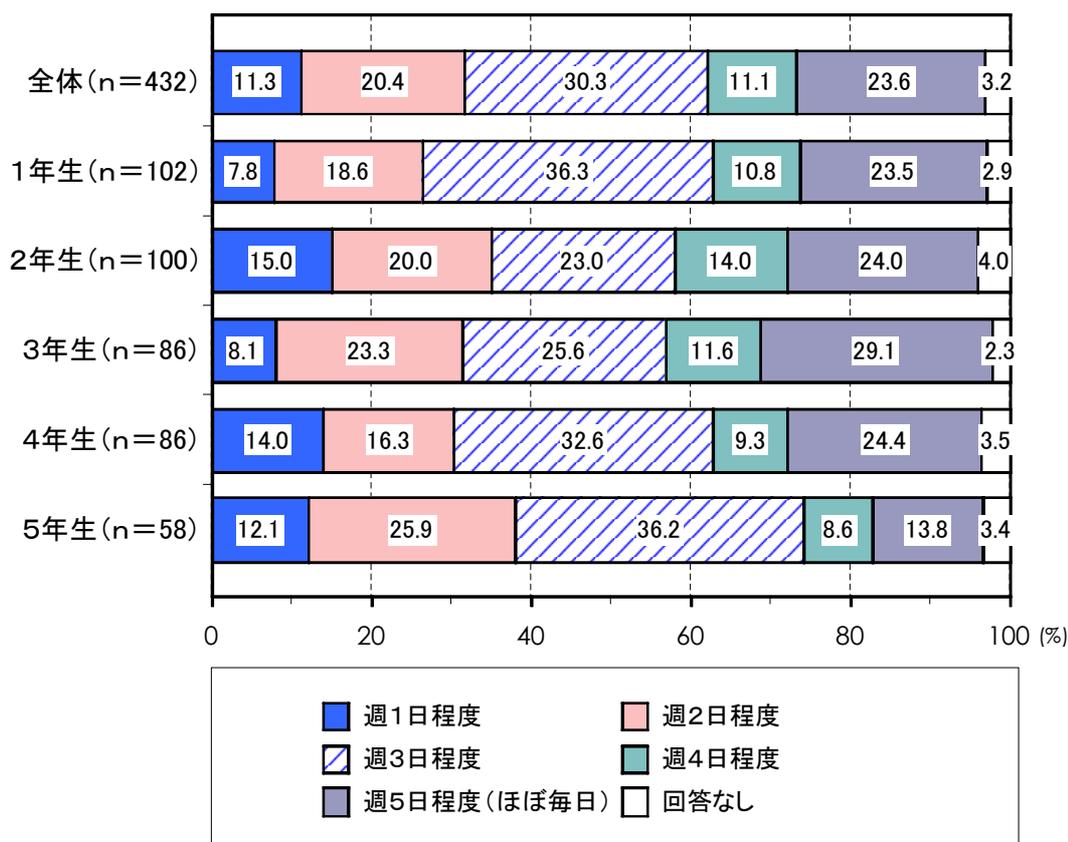
(イ) 夏休み等

- 夏休み等の利用頻度の希望については、「週3日程度」が30.3%、「週5日程度（ほぼ毎日）」が23.6%、「週2日程度」が20.4%です。
- 前回調査と比較すると、「週5日程度（ほぼ毎日）」が高くなり、「週3日程度」以下が低くなっています。
- 学年別にみると、5年生の「週5日程度」は他の学年と比べるとかなり低くなっています。
- 小学校区別にみると、どの小学校区も「週5日程度（ほぼ毎日）」は25%程度、「週2日程度」と「週3日程度」を合わせた割合は、50%程度となっています。

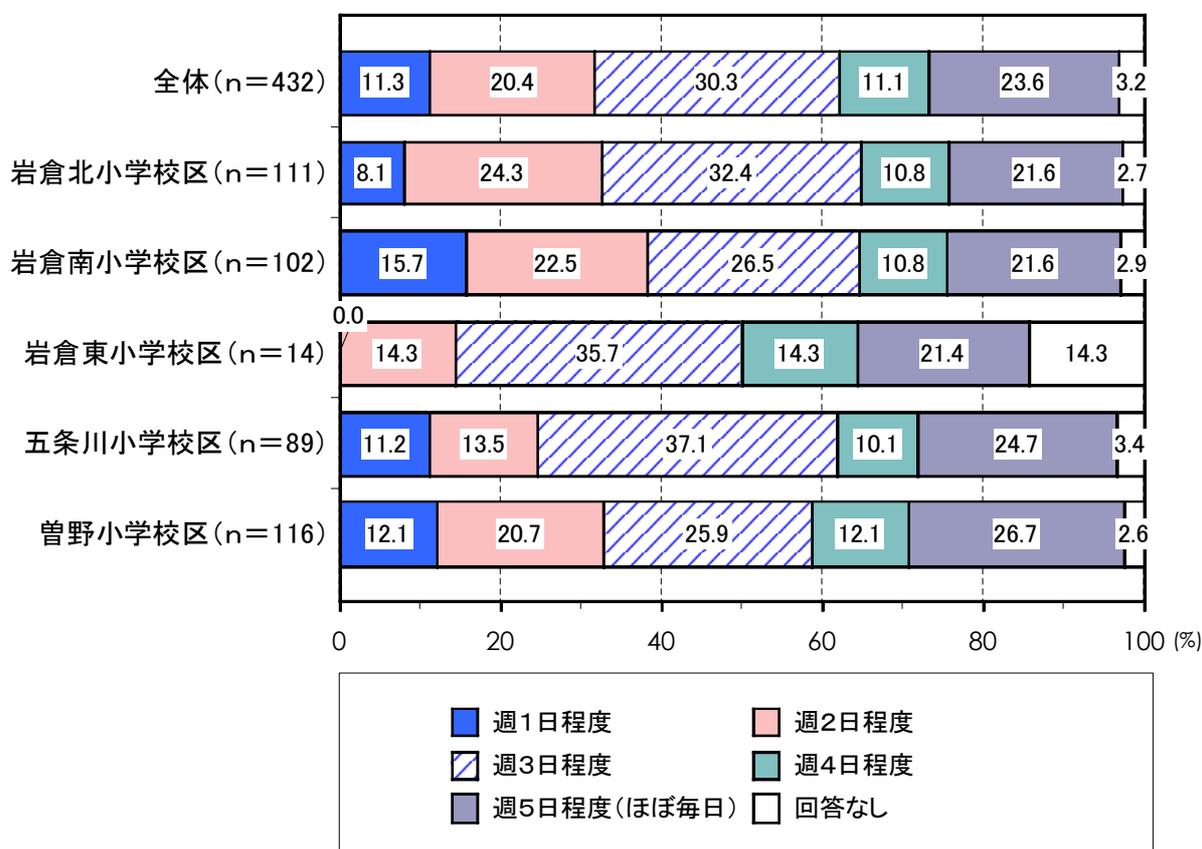
図表 3 - 56 放課後子ども教室の夏休み等の利用頻度の希望(前回調査との比較)



図表 3 - 57 放課後子ども教室の夏休み等の利用頻度の希望(学年別)



図表 3 - 58 放課後子ども教室の夏休み等の利用頻度の希望(小学校区別)



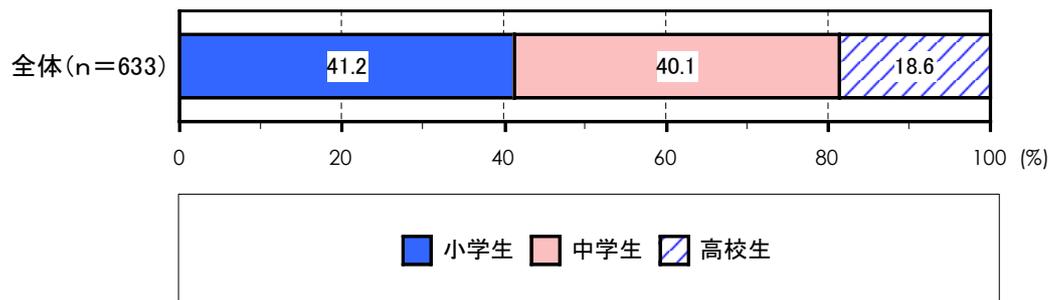
第4部 子どもの権利についてのアンケート調査（子ども用）

1. 回答者の学年について

問7 あなたの学年をお答えください。（単数回答）

- 回答者の学年は、「小学生」が41.2%、「中学生」が40.1%、「高校生」が18.6%です。

図表 4 - 1 回答者の学年



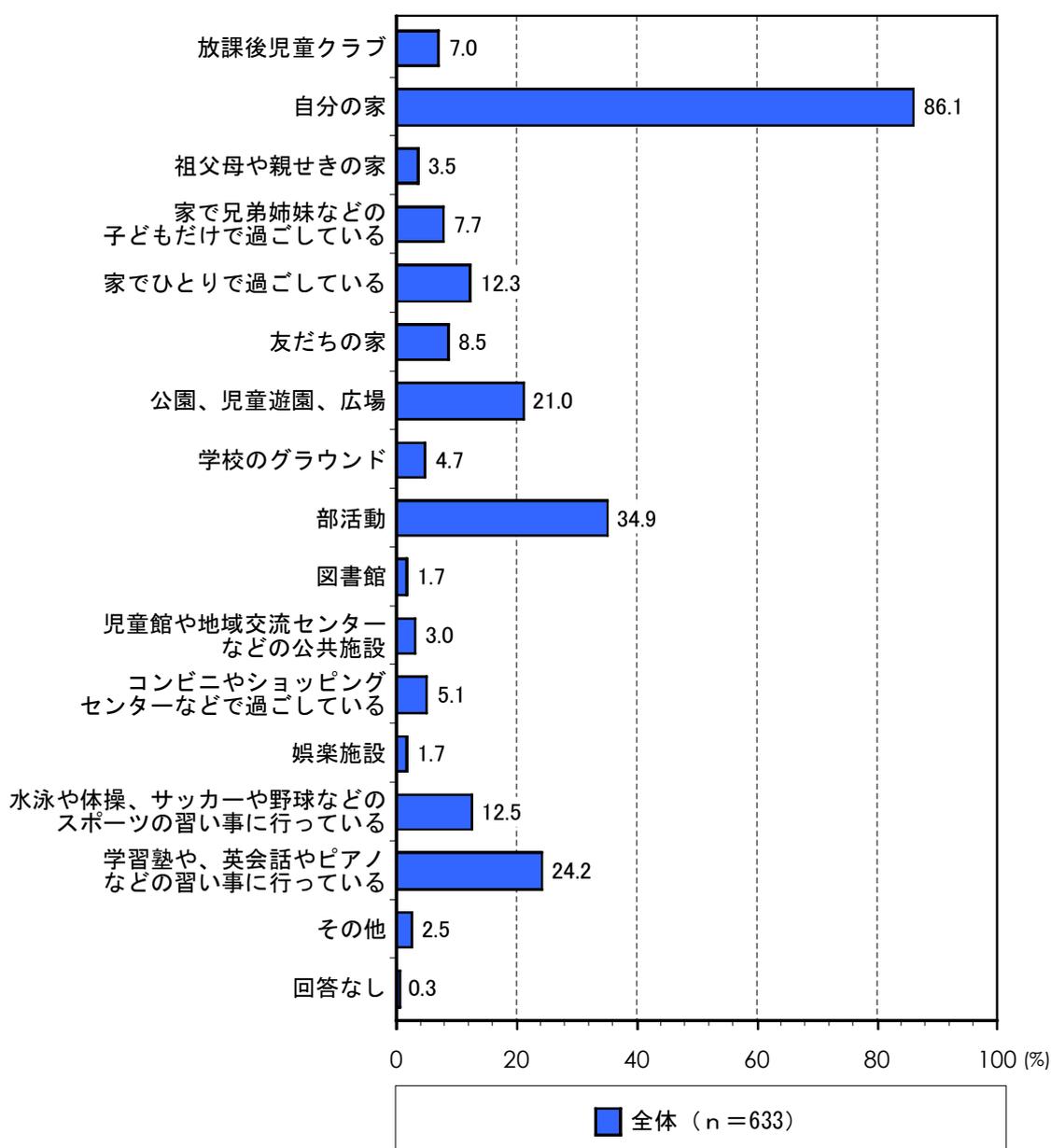
2. 日ごろの生活や過ごし方について

(1) 平日の放課後の過ごし方

問1 あなたは平日の放課後、主にどこで過ごしていますか。(複数回答)

- 放課後の過ごし方は、「自分の家」86.1%が最も高く、「部活動」が34.9%、「学習塾や、英会話やピアノなどの習い事に行っている」が24.2%、「公園、児童遊園、広場」が21.0%と続いています。
- また、「家でひとりで過ごしている」が12.3%、「家で兄弟姉妹などの子どもだけで過ごしている」が7.7%です。

図表 4 - 2 平日の放課後の過ごし方



(2) 自由な時間の過ごし方

問2 (1) あなたは、自分の自由な時間に、何をして過ごしていることが多いですか。
(複数回答)

- 自分の自由な時間の過ごし方は、「テレビ・YouTube などを見る」82.0%が最も高く、「ひとりでゲームをしたりマンガを読む」が49.1%、「音楽をきく」が37.6%、「友だちと遊ぶ(屋外で)」31.3%が続いています。
- 学年別にみると、各学年ともに「テレビ・YouTube などを見る」が最も高くなっており、特に中学生、高校生が高くなっています。次いで、小学生、中学生は「ひとりでゲームをしたりマンガを読む」、高校生は「音楽をきく」となっています。続いて、小学生は「友だちと遊ぶ(屋外で)」、中学生は「音楽をきく」、高校生は「ひとりでゲームをしたりマンガを読む」です。
- 「ひとりでゲームをしたりマンガを読む」「友だちと遊ぶ(屋内で・屋外で)」「本や新聞を読む」「スポーツをする」は小学生が最も高く、年齢が上がるにしたがって低くなっています。
- 一方、「音楽をきく」「SNS やインターネットで人とやりとりする」「電話で話をする」は高校生が最も高く、年齢が上がるにつれて高くなっています。

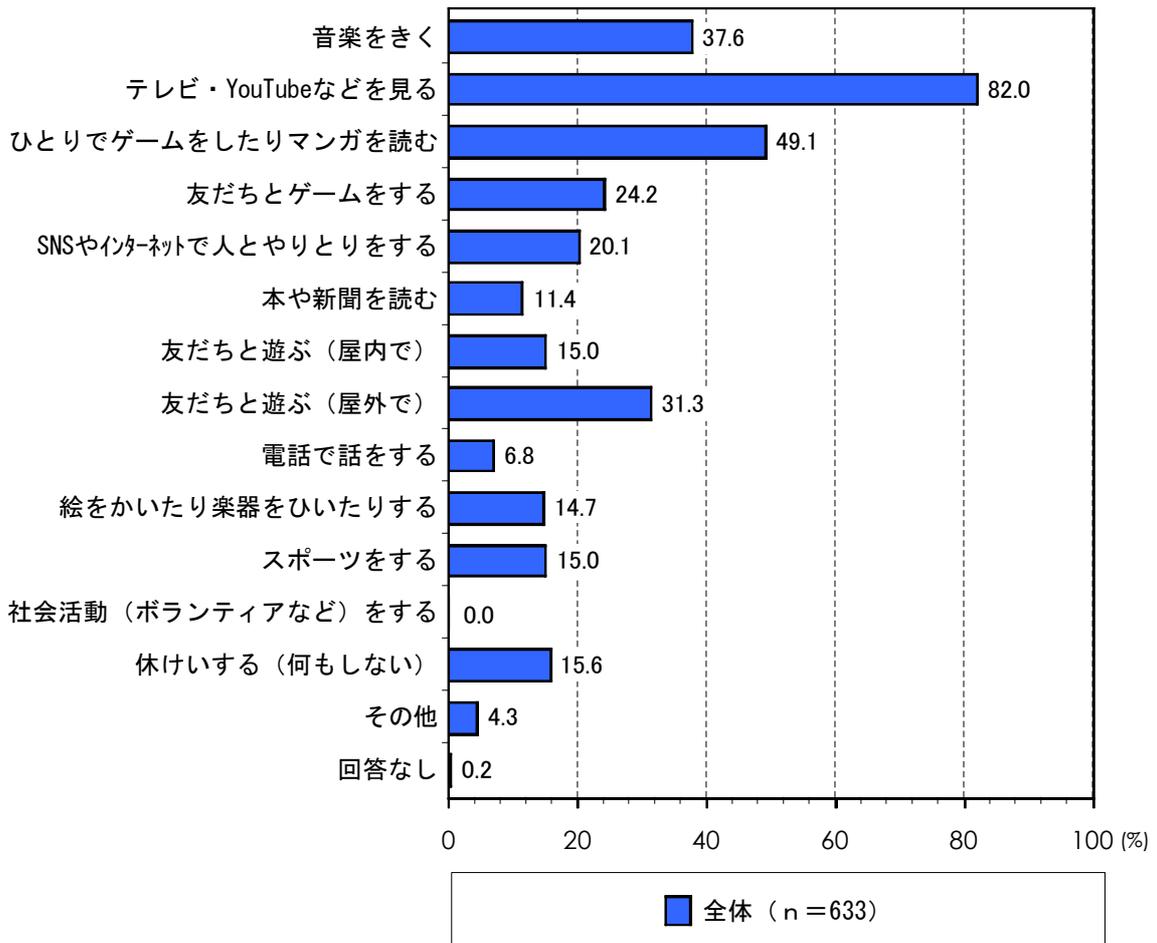
問2 (2) 問2 (1) で選んだもののうち、一番よくしているのはどれですか。(単数回答)

- 自分の自由な時間の過ごし方のうち、一番よくしているのは、「テレビ・YouTube などを見る」42.5%が最も高く、「ひとりでゲームをしたりマンガを読む」が14.5%、「音楽をきく」が8.2%、「友だちと遊ぶ(屋外で)」7.0%と続いています。

問2 (3) 問2 (2) で選んだものを、1日にどのくらいしていますか。(単数回答)

- 平日の自由な時間の過ごし方で、一番よくしていると答えたものをどのくらいしているのかは、「2時間」28.8%が最も高く、「1時間以内」26.1%、「3時間」21.8%が続いています。土日では、「5時間」16.1%が最も高く、「3時間」14.8%、「4時間」13.4%、「2時間」13.3%が続いています。

図表 4 - 3 自由な時間の過ごし方

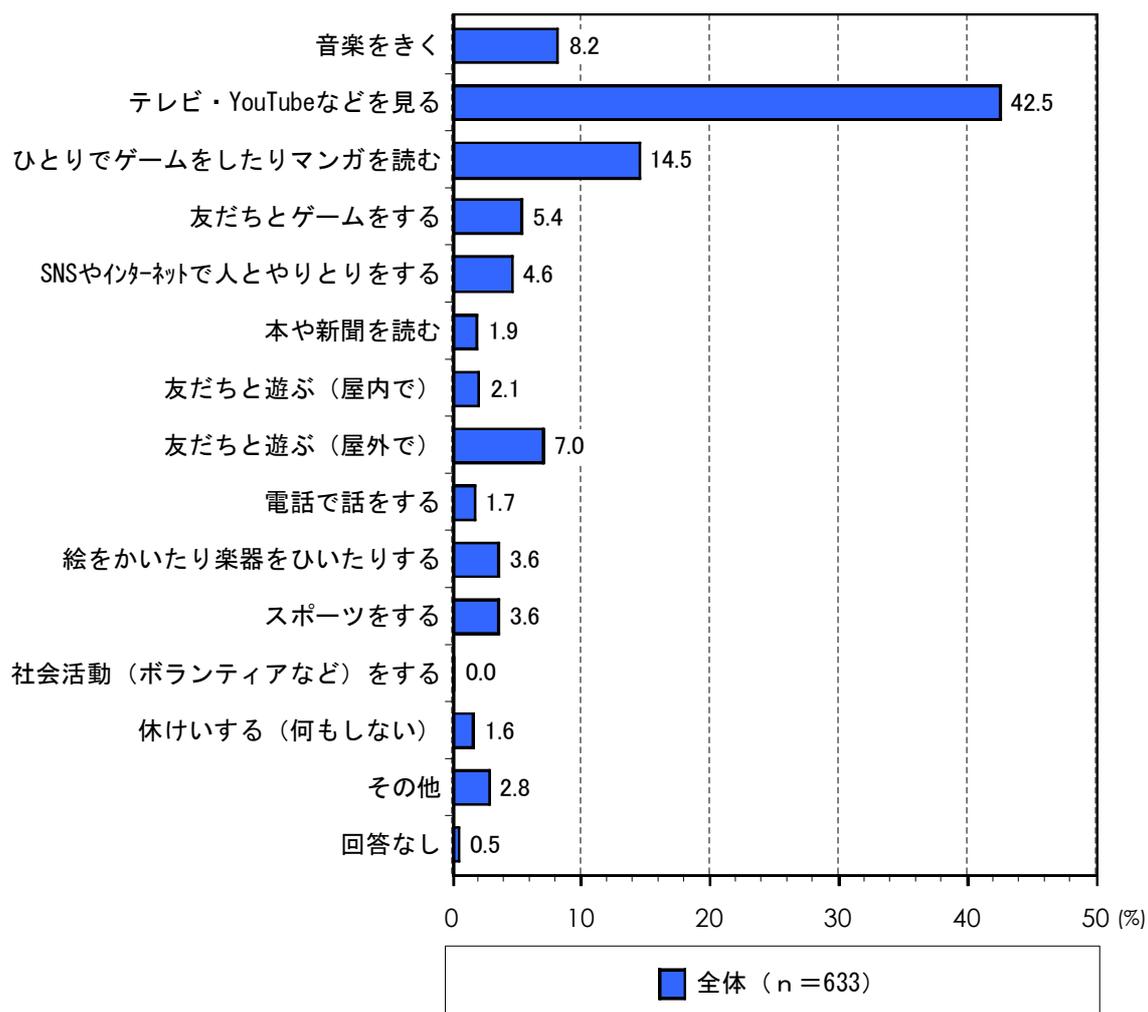


図表 4 - 4 自由な時間の過ごし方（学年別）

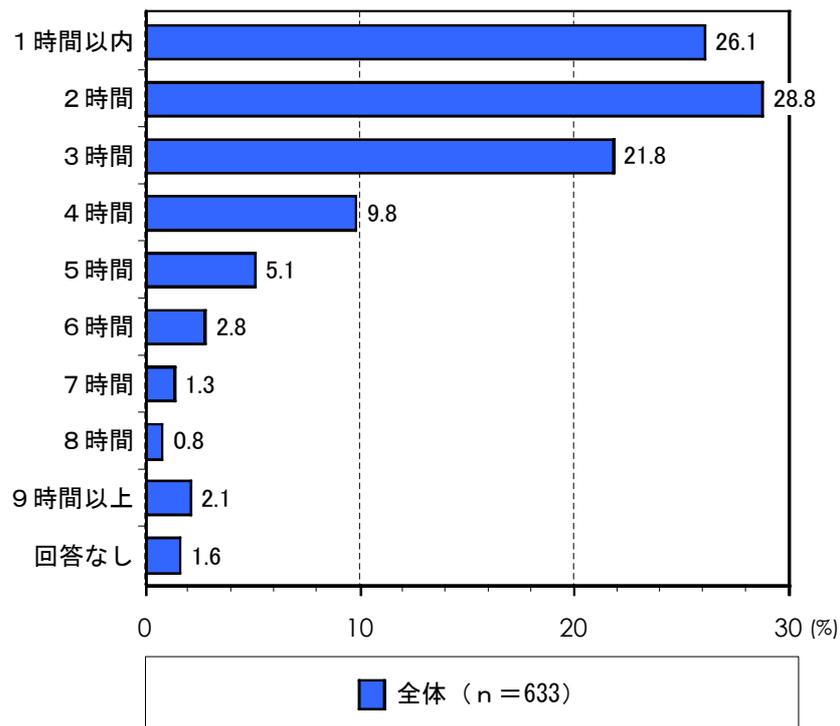
	回答数 (n=)	音楽をきく	テレビ・YouTubeなどを見る	ひとりでゲームをしたりマンガを読む	友だちとゲームをする	SNSやインターネットで人とやりとりをする	本や新聞を読む	友だちと遊ぶ（屋内で）	友だちと遊ぶ（屋外で）
全体	633	37.6	82.0	49.1	24.2	20.1	11.4	15.0	31.3
小学生	261	20.3	77.4	54.8	22.2	5.0	17.2	17.6	36.0
中学生	254	44.5	85.4	46.5	28.7	29.5	8.3	15.7	33.1
高校生	118	61.0	84.7	42.4	18.6	33.1	5.1	7.6	16.9

	回答数 (n=)	電話で話をする	絵をかいたり楽器をひいたりする	スポーツをする	社会活動（ボランティアなど）をする	休けいする（何もしない）	その他	回答なし
全体	633	6.8	14.7	15.0	0.0	15.6	4.3	0.2
小学生	261	2.7	16.9	19.9	0.0	16.1	5.7	0.4
中学生	254	7.9	12.6	12.6	0.0	14.2	3.1	0.0
高校生	118	13.6	14.4	9.3	0.0	17.8	3.4	0.0

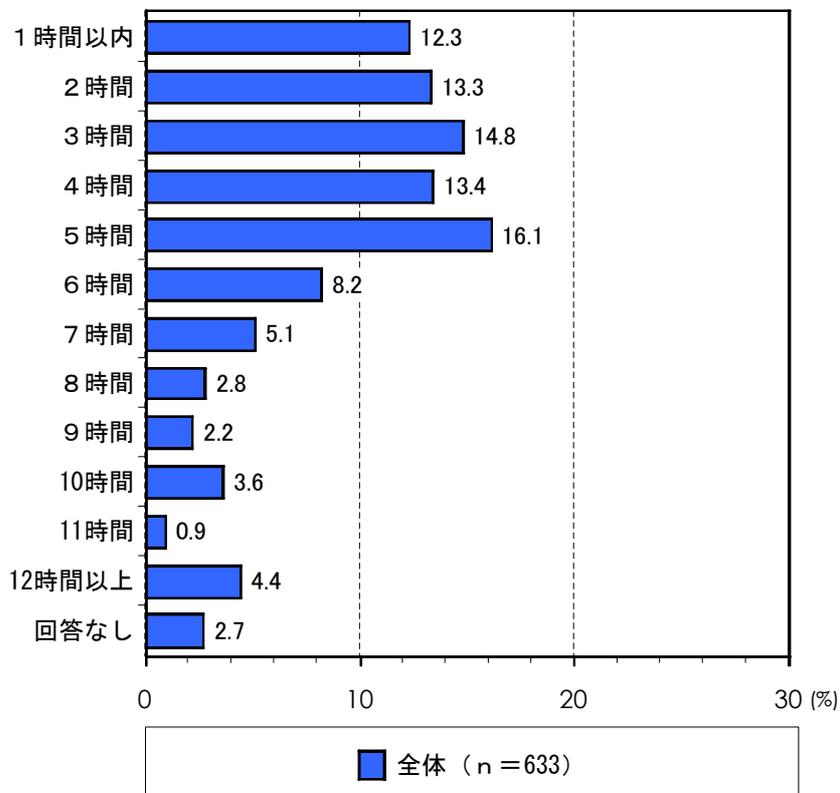
図表 4 - 5 自由な時間の過ごし方のうち一番よくしていること



図表 4 - 6 平日の自由な時間の過ごし方のうち一番よくしていること（時間）



図表 4 - 7 土日の自由な時間の過ごし方のうち一番よくしていること（時間）

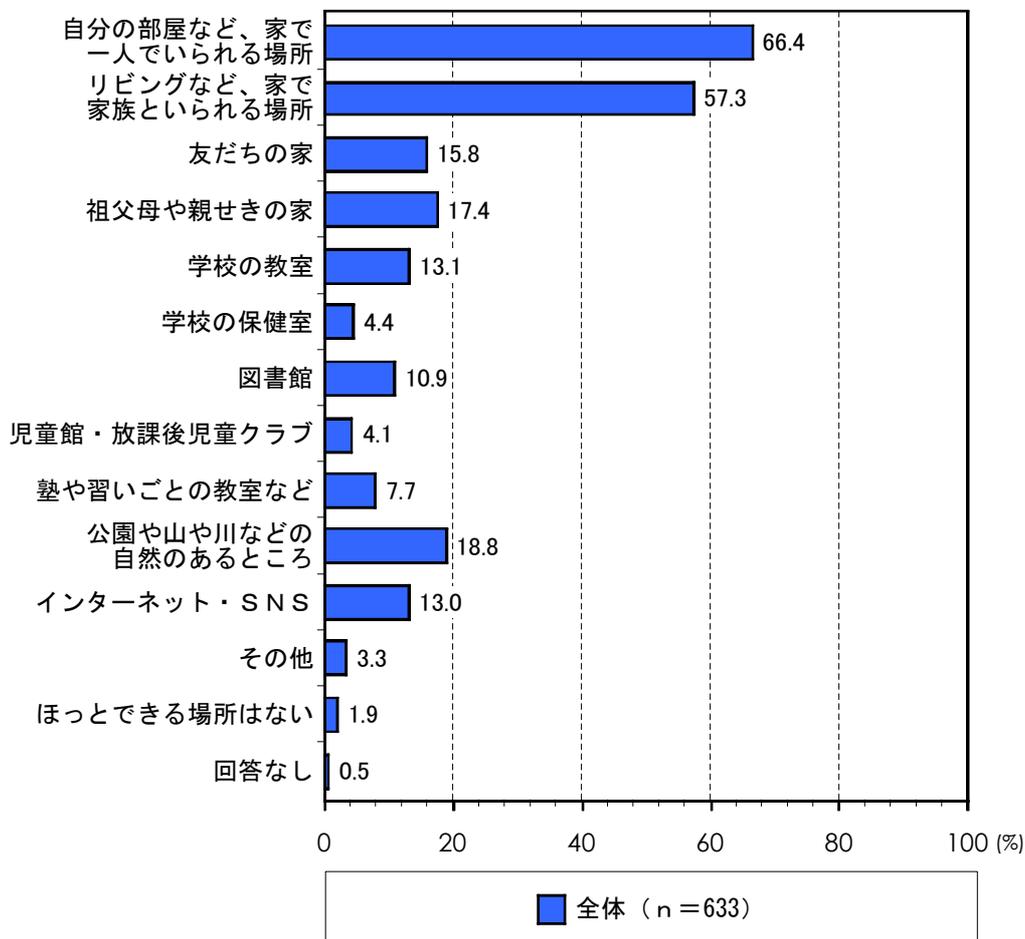


(3) ほっとできる場所

問3 あなたには、ほっとできる場所がありますか。(複数回答)

- ほっとできる場所は、「自分の部屋など、家で一人でいられる場所」66.4%が最も高く、「リビングなど、家で家族といられる場所」が57.3%、「公園や山や川などの自然のあるところ」が18.8%です。
- 学年別にみると、小学生は「リビングなど、家で家族といられる場所」、中学生、高校生は「自分の部屋など、家で一人でいられる場所」が最も高くなっています。「自分の部屋など、家で一人でいられる場所」は小学生が最も低く、学年が上がるにつれて高くなり、高校生で最も高くなっています。それ以外の項目については、「インターネット・SNS」以外の項目が小学生が最も高く、学年が上がるにつれて低くなっています。
- また、「ほっとできる場所はない」は小学生2.3%、中学生2.0%、高校生0.8%です。

図表 4 - 8 ほっとできる場所



図表 4 - 9 ほっとできる場所（学年別）

	回答数 (n=)	自分の部屋など、家で一人で いられる場所	リビングなど、 家で家族と いられる場所	友だちの家	祖父母や 親せきの家	学校の教室	学校の保健室	図書館
全体	633	66.4	57.3	15.8	17.4	13.1	4.4	10.9
小学生	261	46.7	69.0	18.8	26.1	14.9	7.7	18.4
中学生	254	78.0	49.6	15.7	11.8	12.2	2.8	5.9
高校生	118	84.7	48.3	9.3	10.2	11.0	0.8	5.1

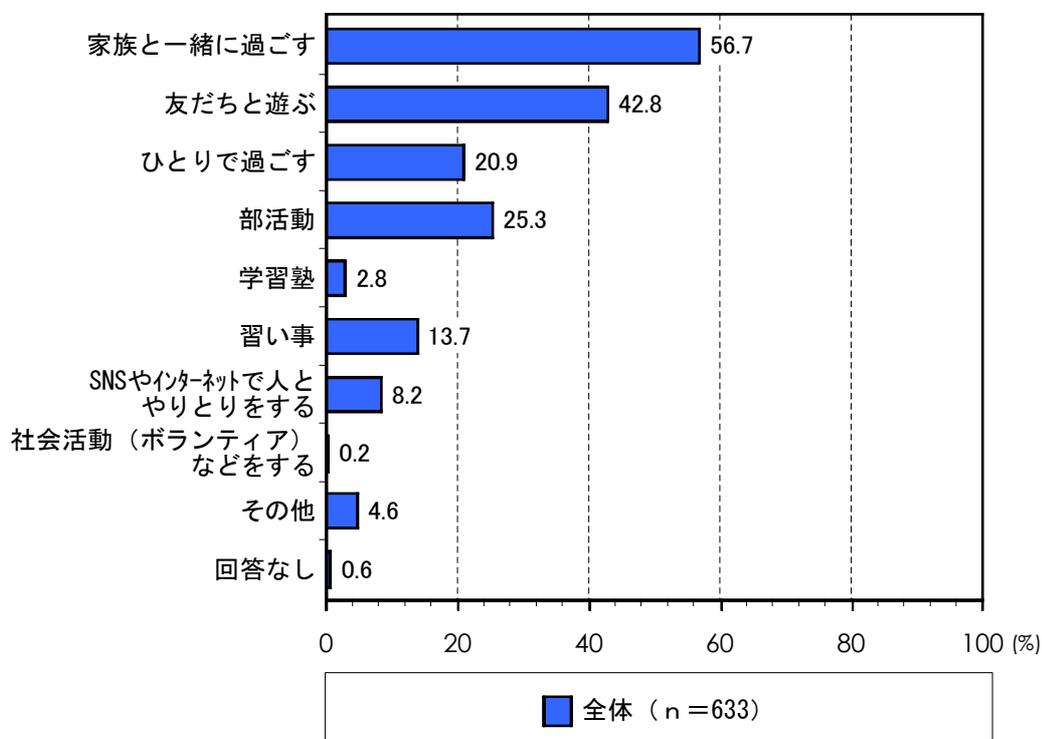
	回答数 (n=)	児童館・放課後 児童クラブ	塾や習いごとの 教室など	公園や山や川 などの自然の あるところ	インターネット ・SNS	その他	ほっとできる 場所はない	回答なし
全体	633	4.1	7.7	18.8	13.0	3.3	1.9	0.5
小学生	261	9.6	12.3	24.5	5.7	4.2	2.3	1.1
中学生	254	0.4	5.1	15.7	18.9	3.1	2.0	0.0
高校生	118	0.0	3.4	12.7	16.1	1.7	0.8	0.0

(4) 休日の過ごし方

問4 あなたは休日、主にどのように過ごしていますか。(複数回答)

- 休日の過ごし方は、「家族と一緒に過ごす」の56.7%が最も高く、「友だちと遊ぶ」が42.8%、「部活動」が25.3%、「ひとりで過ごす」20.9%が続いています。

図表 4 - 10 休日の過ごし方



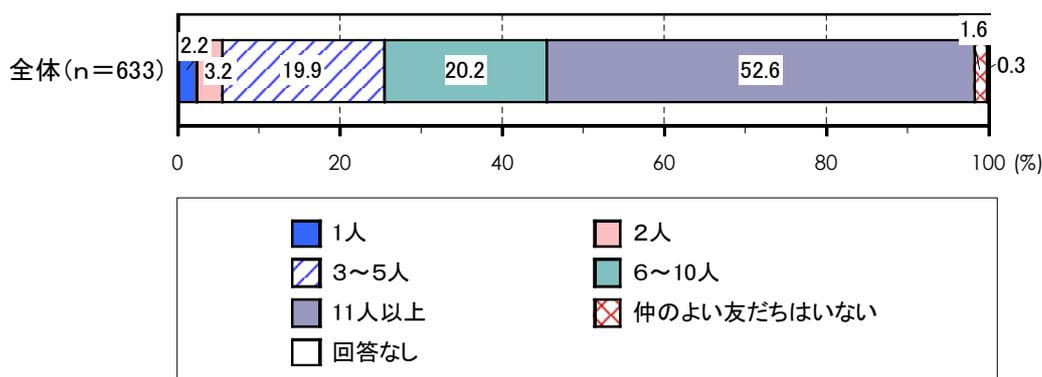
3. 友だちについて

(1) 仲のよい友だち

問5 (1) 仲のよい友だちは何人いますか。(単数回答)

- 仲のよい友だちの人数は、「11人以上」が52.6%と最も高く、「6～10人」が20.2%、「3～5人」が19.9%と続いています。
- 一方、「仲のよい友だちはいない」が1.6%あります。

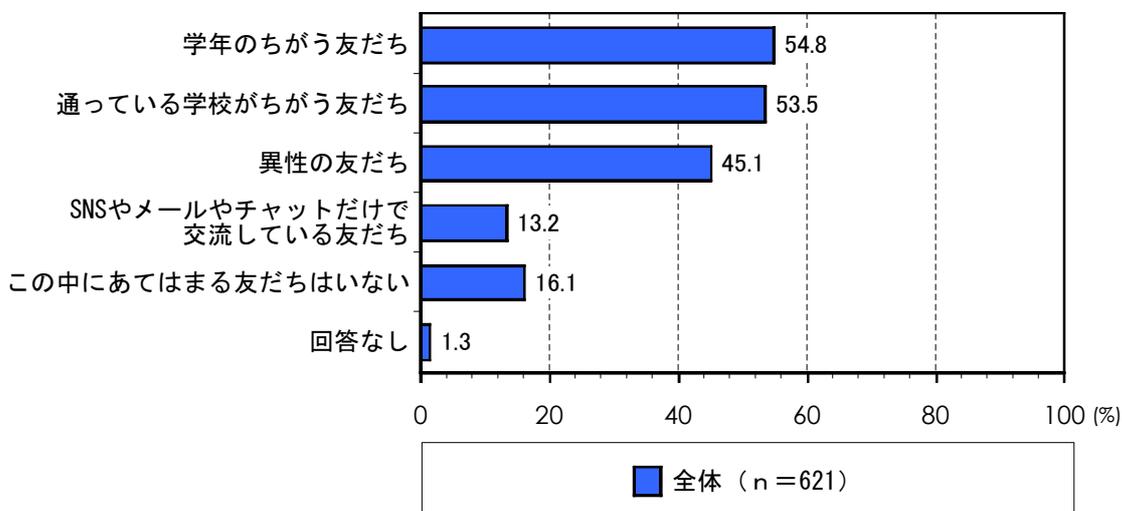
図表 4 - 11 仲のよい友だち



【問5(1)で1～11人以上に回答した方のみ対象】
問5 (2) 仲のよい友だちの中に、次のような人はいますか。(複数回答)

- 仲のよい友だちの種類は、「学年のちがう友だち」が54.8%、「通っている学校がちがう友だち」が53.5%とそれぞれ半数を超えて高く、「異性の友だち」45.1%が続いています。また、「SNSやメールやチャットだけで交流している友だち」は13.2%となっています。

図表 4 - 12 仲のよい友だちの種類

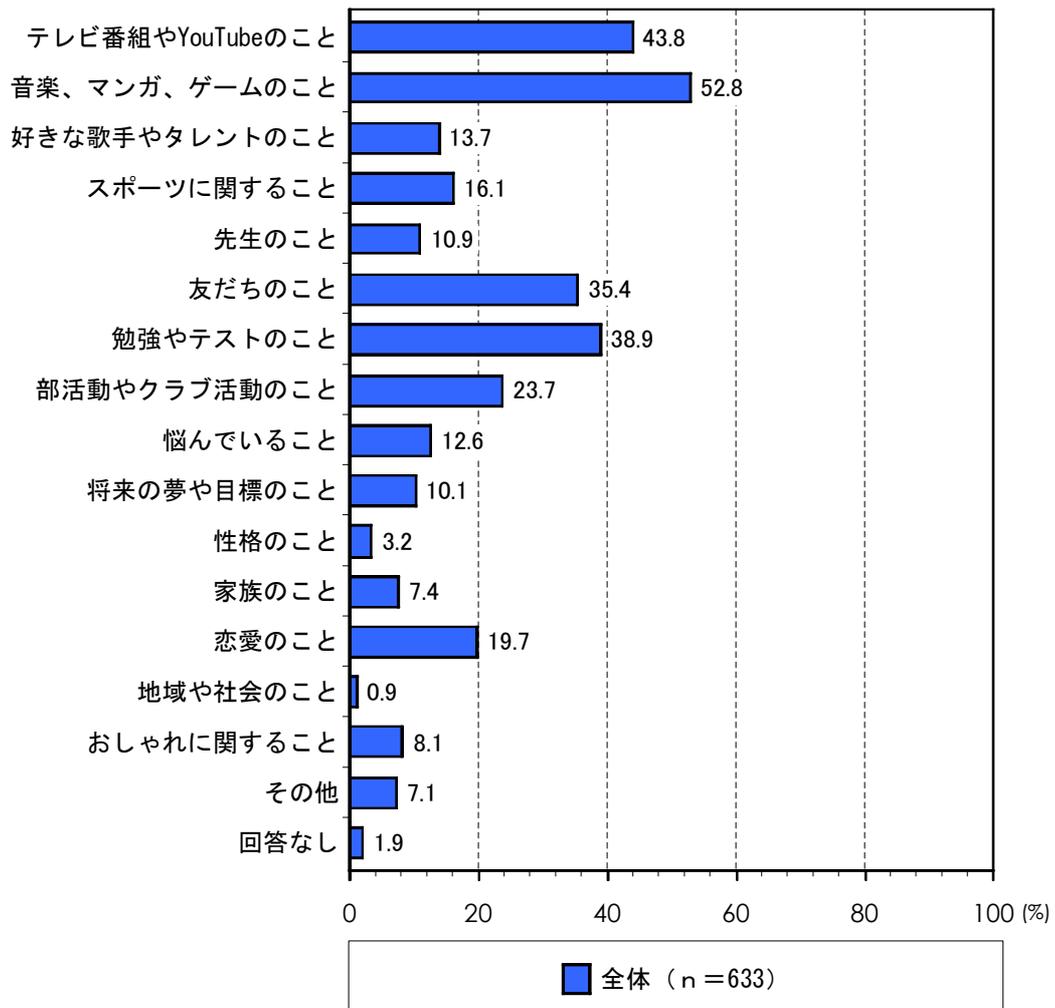


(2) 友だちとの話題

問6 あなたは友だちやクラスメイトとどのような話をしていますか。(複数回答)

- 友だちやクラスメイトと話すことは、「音楽、マンガ、ゲームのこと」52.8%が最も高く、「テレビ番組やYouTubeのこと」が43.8%、「勉強やテストのこと」が38.9%、「友だちのこと」35.4%が続いています。

図表 4 - 13 友だちとの話題



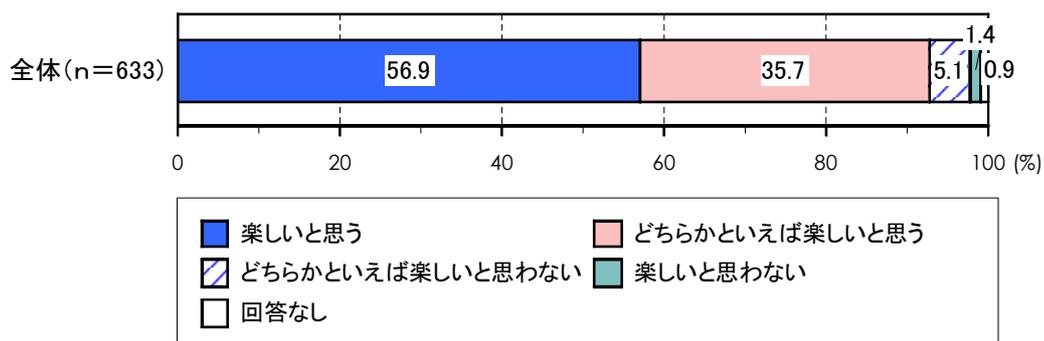
4. あなた自身が感じること

(1) 生活全般

問8 今の生活は楽しいですか。(単数回答)

- 「楽しいと思う」56.9%と「どちらかといえば楽しいと思う」35.7%を合わせた92.6%が“楽しい”と感じています、一方、「どちらかといえば楽しいとは思わない」5.1%と「楽しいと思わない」1.4%を合わせた6.5%が“楽しくない”と感じています。

図表 4 - 14 生活全般

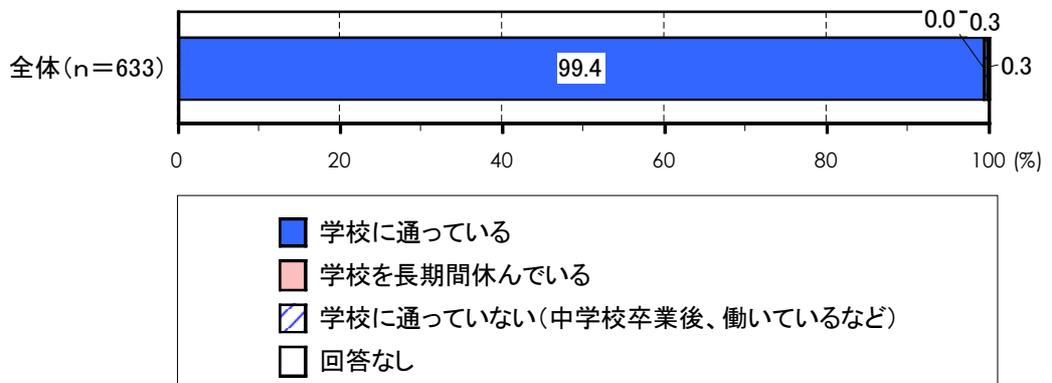


(2) 学校生活

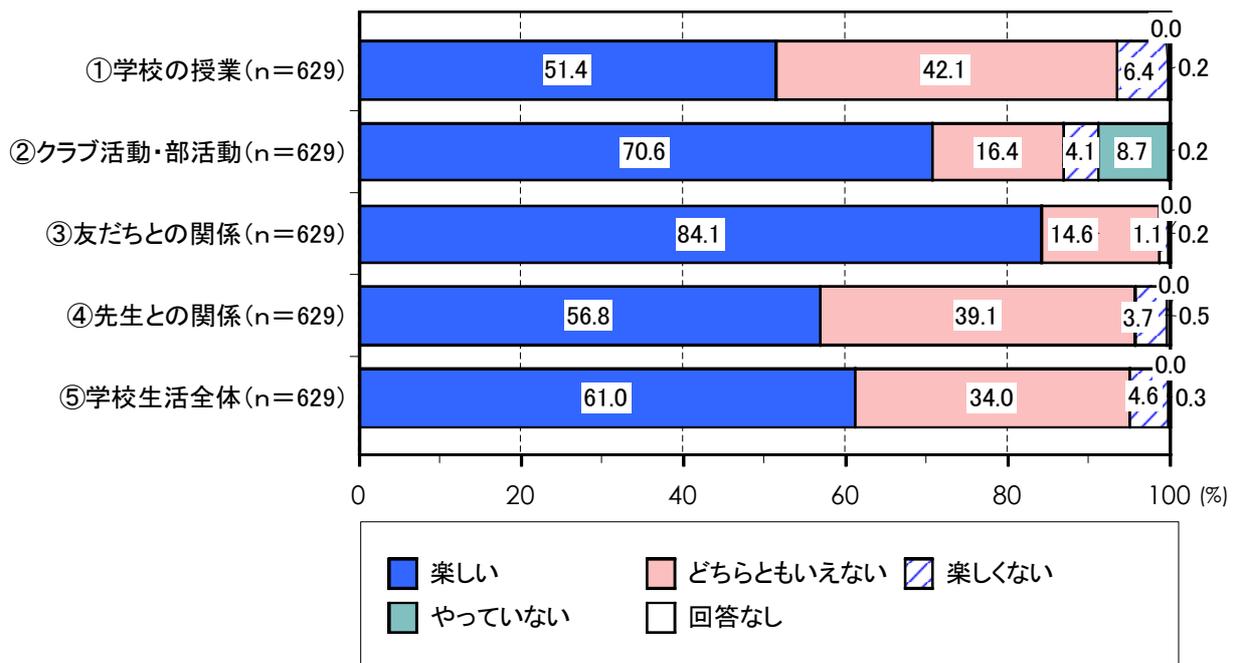
問9 いま通っている学校での生活は楽しいですか。(単数回答)

- 学校生活における5つの場面のうち「楽しい」は、「③友だちとの関係」が84.1%と最も高く、「②クラブ活動・部活動」の70.6%が続いています。そのほかの項目も半数以上が楽しいと回答しています。
- 一方で、「楽しくない」は「①学校の授業」6.4%が最も高く、「⑤学校生活全体」が4.6%、「②クラブ活動・部活動」4.1%、「④先生との関係」3.7%が続いています。
- 「②クラブ活動・部活動」は、8.7%が「やっていない」と回答しています。
- 「⑤学校生活全体」は、「楽しい」が61.0%、「どちらともいえない」が34.0%、「楽しくない」が4.6%です。

図表 4 - 15 学校への通学状況



図表 4 - 16 学校生活 (場面別)

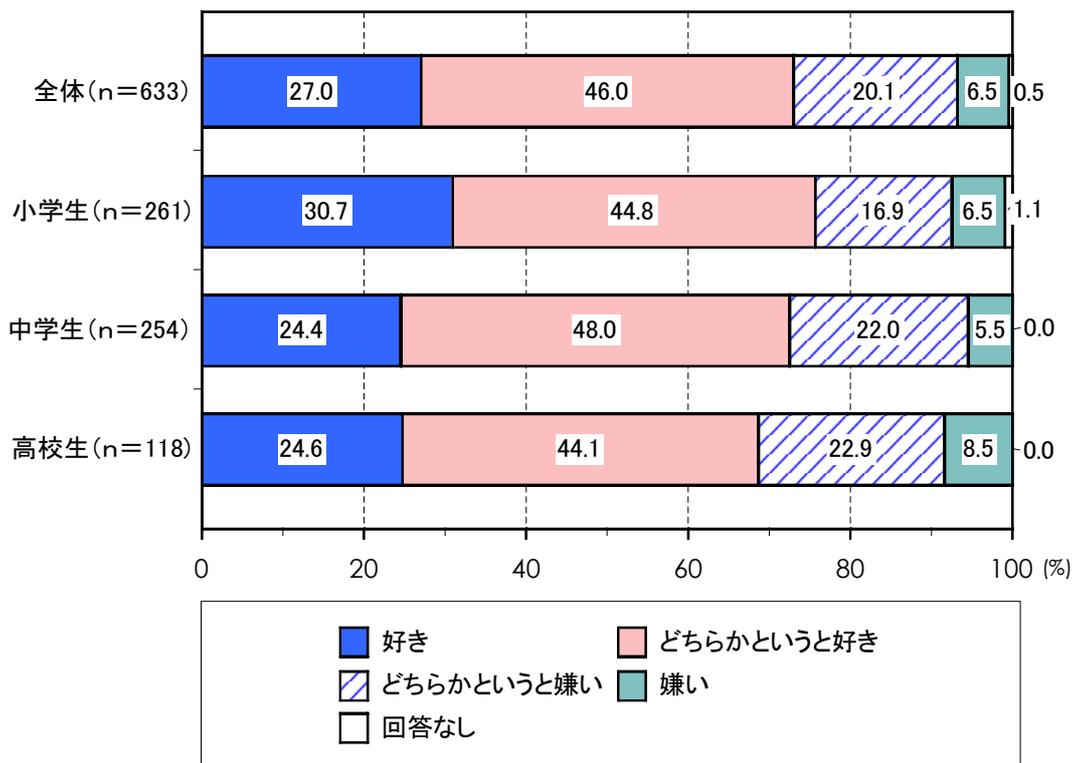


(3) 自分のことが好きか

問10 あなたは自分のことが好きですか。(単数回答)

- 自分のことが好きかは、「好き」27.0%と「どちらかという好き」46.0%を合わせた“好き”は73.0%です。また、「嫌い」6.5%と「どちらかという嫌い」20.1%を合わせた“嫌い”は26.6%です。
- 学年別にみると、“好き”は小学生が75.5%と最も高く、学年が上がるにしたがって低くなります。

図表 4 - 17 自分のことが好きか

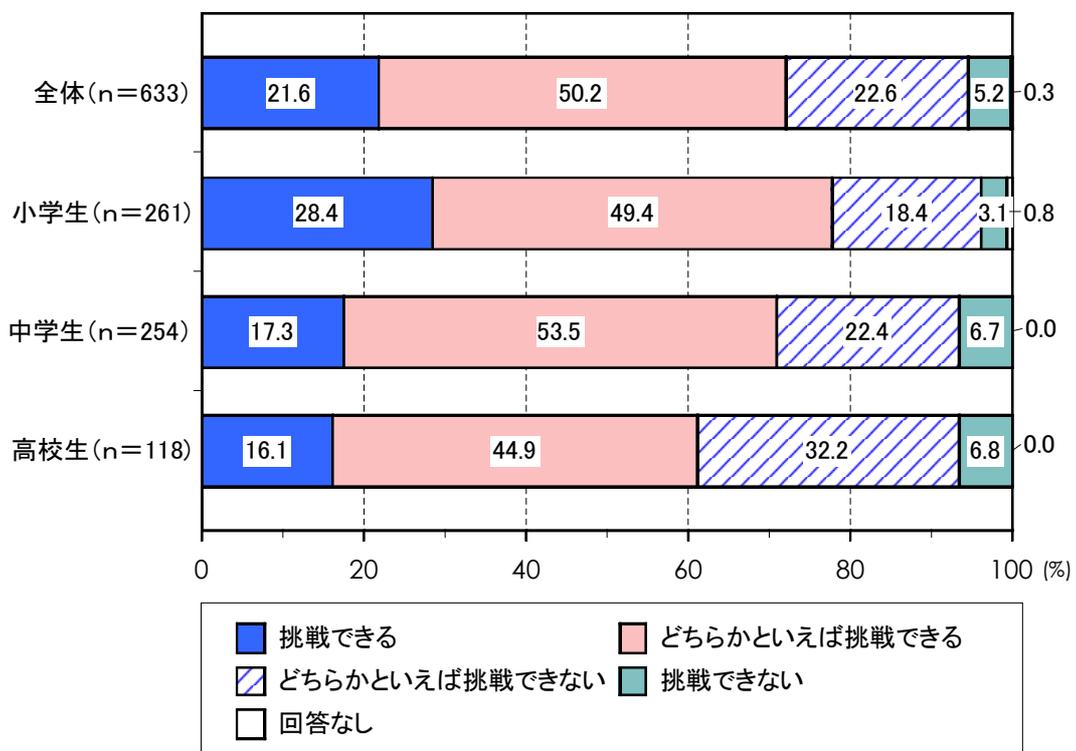


(4) 積極的に挑戦できるか

問 11 あなたは色々なことに積極的に挑戦できますか。(単数回答)

- 色々なことに積極的に挑戦できるかは、「挑戦できる」21.6%と「どちらかといえば挑戦できる」50.2%を合わせた71.8%は“挑戦できる”と回答しています。「どちらかといえば挑戦できない」22.6%、「挑戦できない」5.2%を合わせた“挑戦できない”は27.8%となっています。
- 学年別にみると、“挑戦できる”は小学生の77.8%が最も高く、学年が上がるにしたがって低くなり、高校生では61.0%となっています。

図表 4 - 18 積極的に挑戦できるか

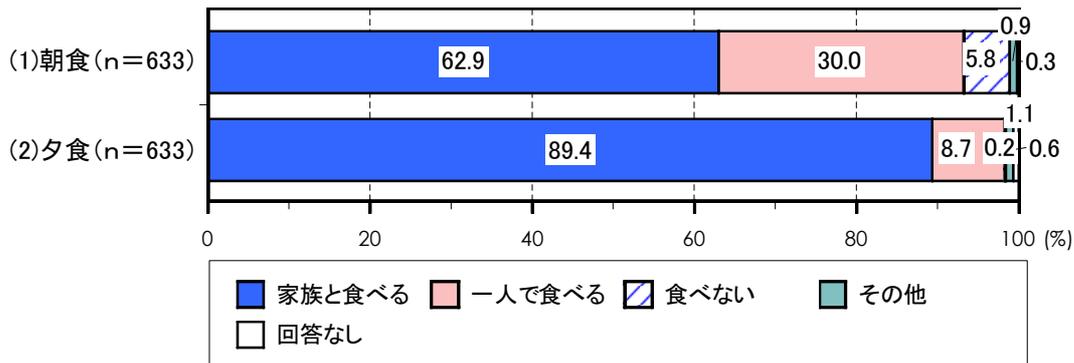


(5) 食事

問 12 平日は主にだれと食事をしていますか。(単数回答)

- 朝食は、「家族と食べる」が 62.9%、「一人で食べる」が 30.0%、「食べない」が 5.8%です。
- 夕食は、「家族と食べる」が 89.4%、「一人で食べる」が 8.7%、「食べない」が 0.2%です。

図表 4 - 19 食事

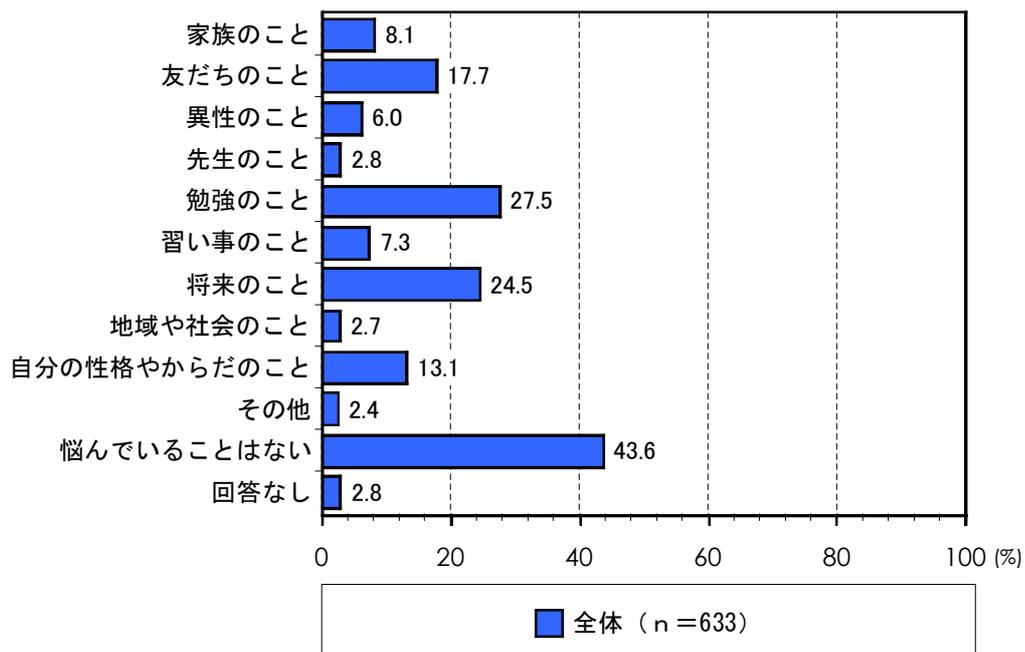


(6) 悩みや困りごと

問 13 今、あなたが悩んだり困ったりしていることはありますか。(複数回答)

- 悩みや困りごとは、「勉強のこと」が 27.5%、「将来のこと」が 24.5%、「友だちのこと」が 17.7%、「自分の性格やからだのこと」が 13.1%と高くなっています。
- 一方、「悩んでいることはない」が 43.6%で最も高くなっています。

図表 4 - 20 悩みや困りごと

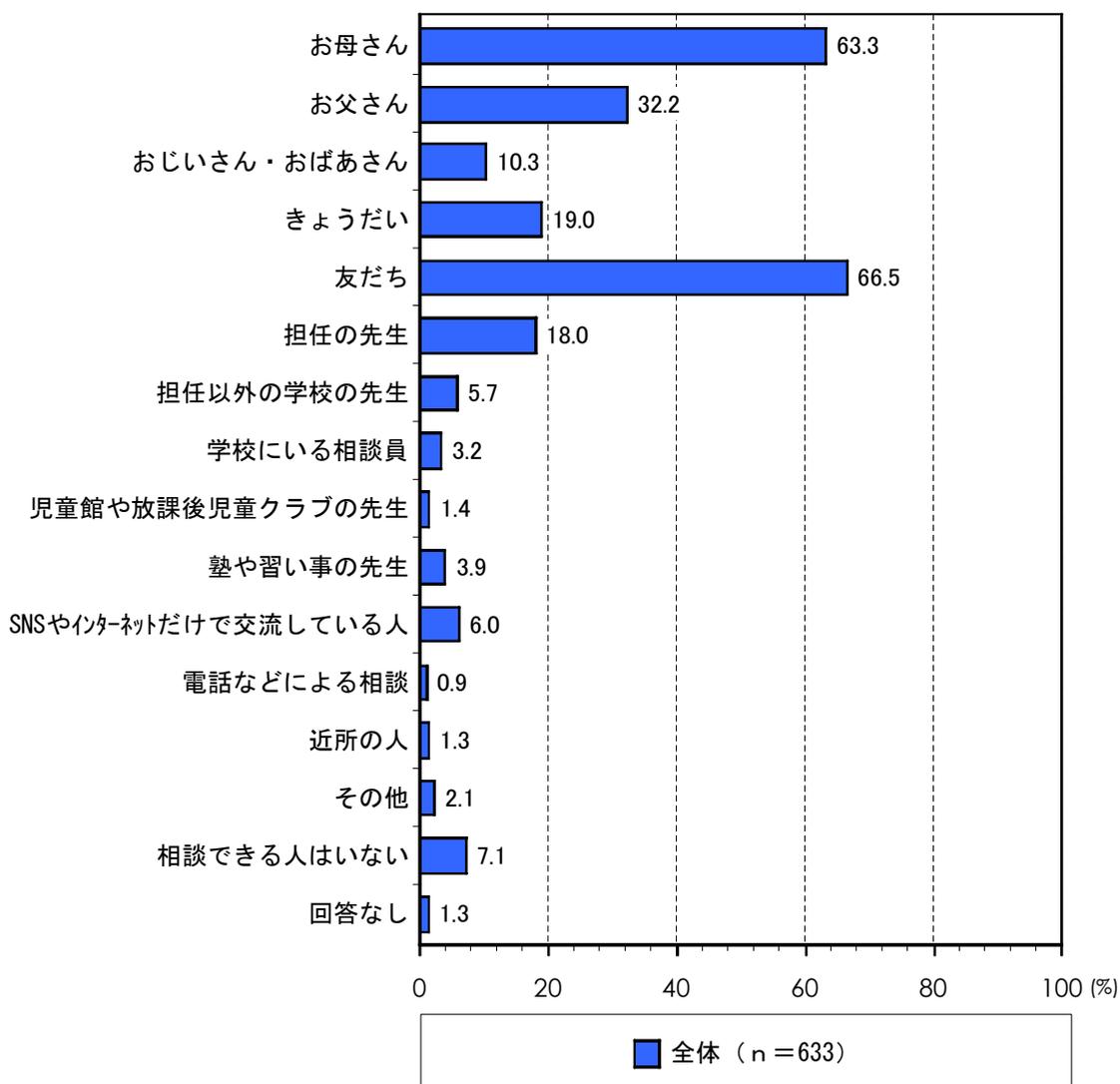


(7) 相談相手

問 14 悩みや困ったことがあるときに、あなたが相談するのはだれですか。(複数回答)

- 悩みや困りごとの相談相手は、「友だち」が 66.5%、「お母さん」が 63.3%、「お父さん」が 32.2%で、身近な人が高くなっています。
- 「SNS やインターネットだけで交流している人」が 6.0%います。
- また、「相談できる人はいない」が 7.1%です。

図表 4 - 21 相談相手

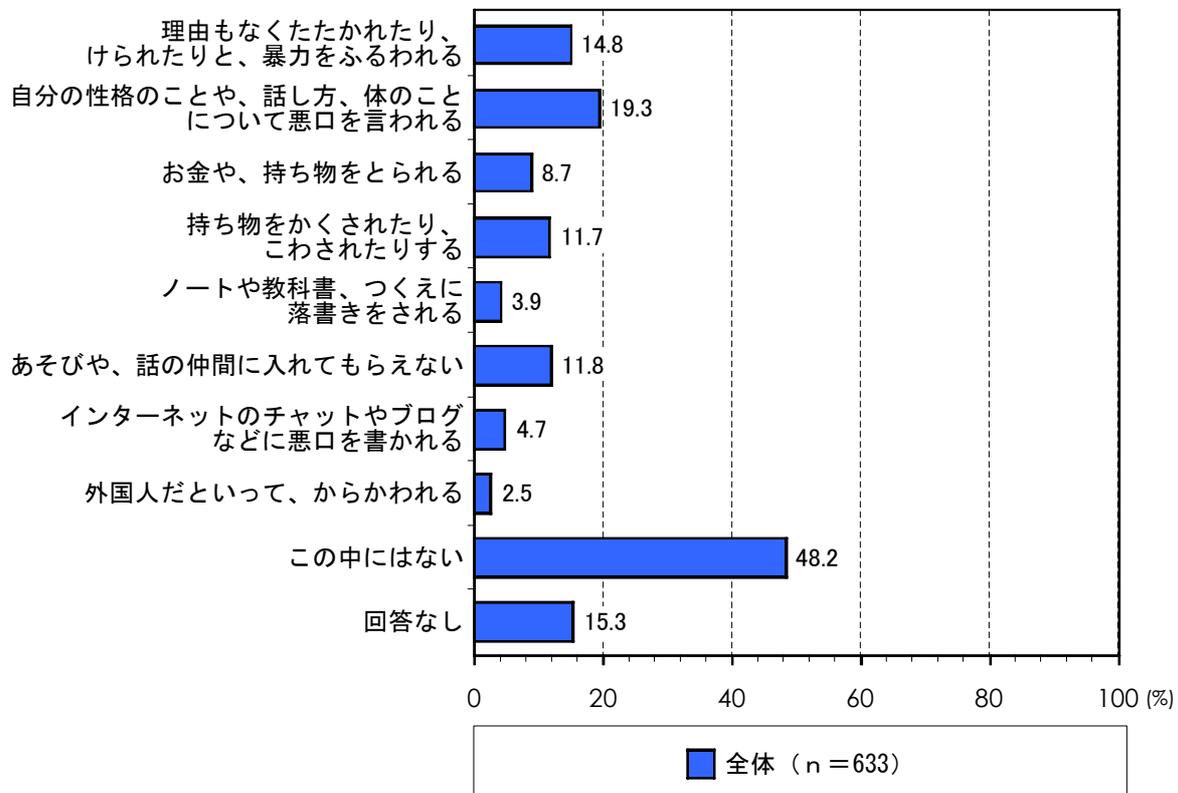


(8) 他の人からされて嫌な思いをしたこと

問 15 この中で、あなたが他の人からされて嫌な思いをしたことを選んでください。
(複数回答)

- 他の人からされて嫌な思いをしたことは、「自分の性格のことや、話し方、体のことについて悪口を言われる」が 19.3%、「理由もなくたたかれたり、けられたりと、暴力をふるわれる」が 14.8%、「あそびや、話の仲間に入れてもらえない」が 11.8%、「持ち物をかくされたり、こわされたりする」11.7%が続いています。
- 「外国人だといって、からかわれる」が 2.5%あり、外国にルーツを持つことで嫌な思いをしたことがある子どももいます。
- 「この中にはない」が 48.2%で最も高くなっています。

図表 4 - 22 他の人からされて嫌な思いをしたこと

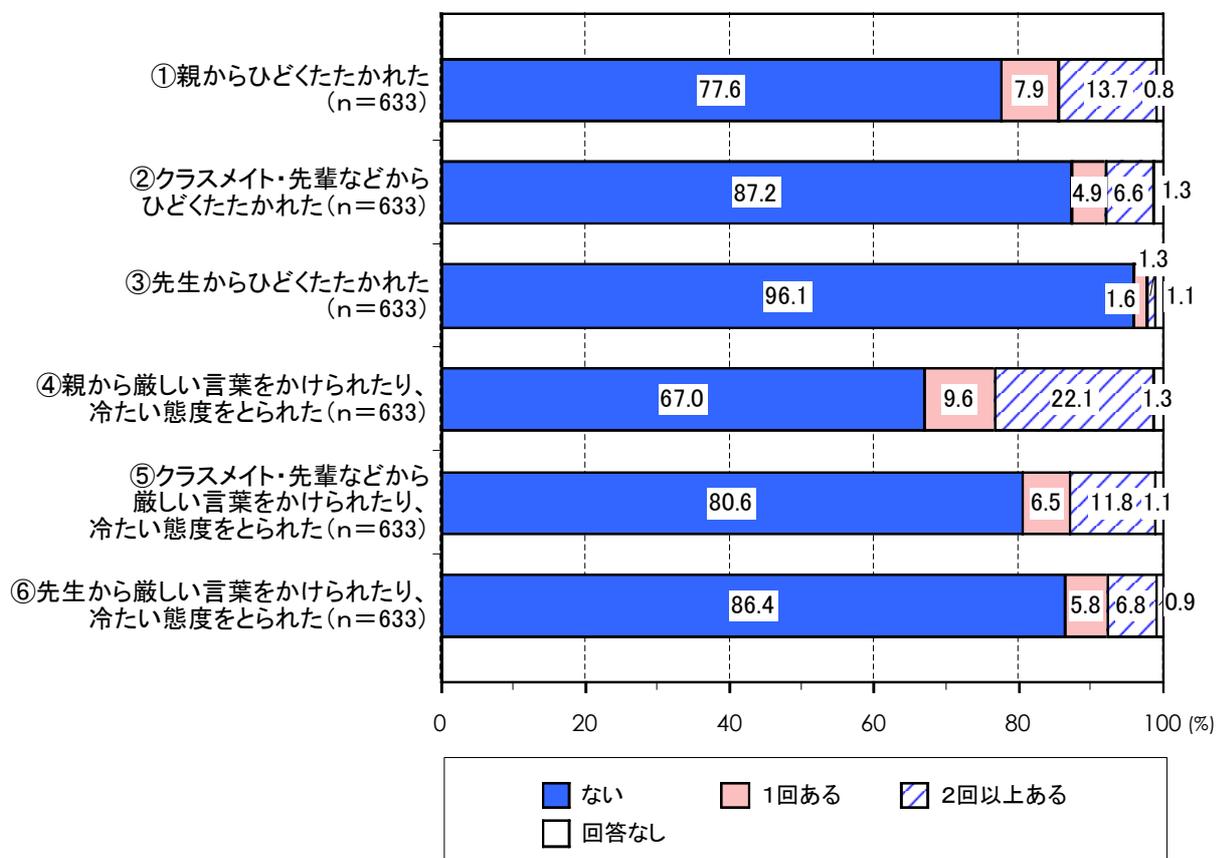


(9) 傷つけられた経験

問 16 あなたはこれまでに、だれかからひどくたたかれたり、言葉や態度でひどく傷つけられたりしたことがありますか。(単数回答)

- これまでに、だれかからひどくたたかれたり、言葉や態度でひどく傷つけられたりした経験を6項目について聞いたところ、多くが「ない」と回答する中で、「1回ある」「2回以上ある」を合わせた“ある”については、「④親から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた」が31.7%と最も高く、次いで「①親からひどくたたかれた」21.6%、「⑤クラスメイト・先輩などから厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた」18.3%となっています。

図表 4 - 23 傷つけられた経験

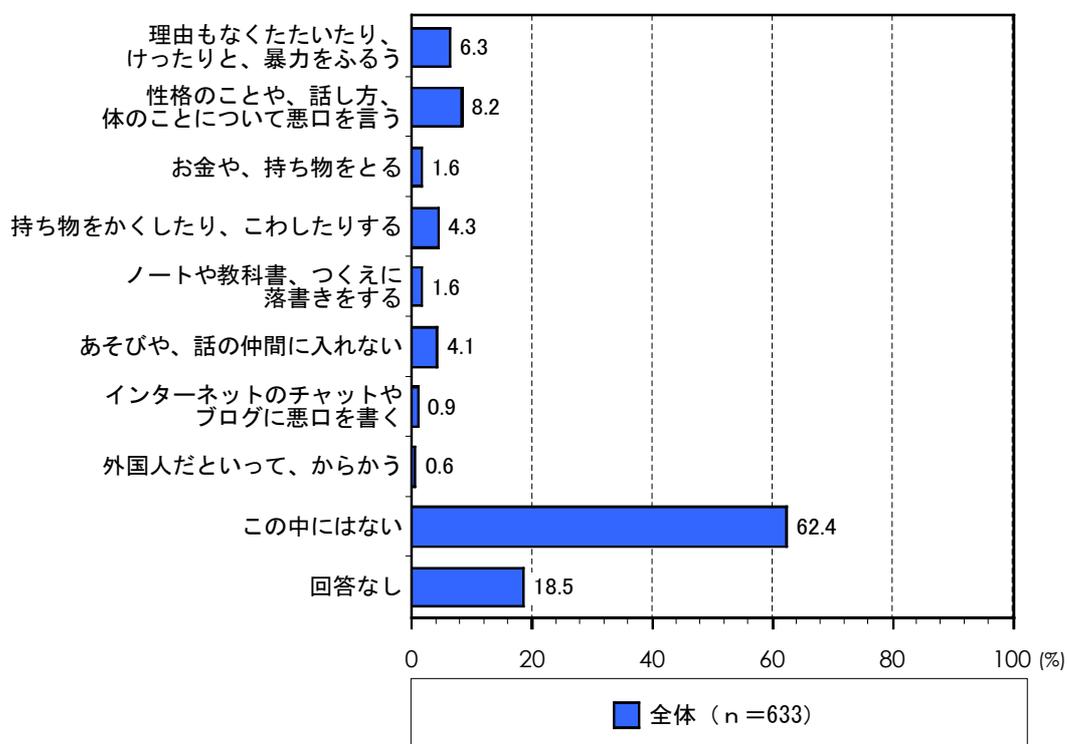


(10) 他人を傷つけた経験

問 17 この中で、あなたが他人にしたことがあるものを選んでください。(複数回答)

- 他人を傷つけた経験は、「この中にはない」62.4%と「回答なし」18.5%を除くと、19.1%が他人を傷つけたことがあると回答しています。そのうち「性格のことや、話し方、体のことについて悪口を言う」8.2%が最も高く、「理由もなくたたいたり、けったりと、暴力をふるう」が6.3%、「持ち物をかくしたり、こわしたりする」が4.3%、「あそびや、話の仲間に入れない」が4.1%です。
- 「インターネットのチャットやブログに悪口を書く」「外国人だといって、からかう」もわずかですがあります。

図表 4 - 24 他人を傷つけた経験

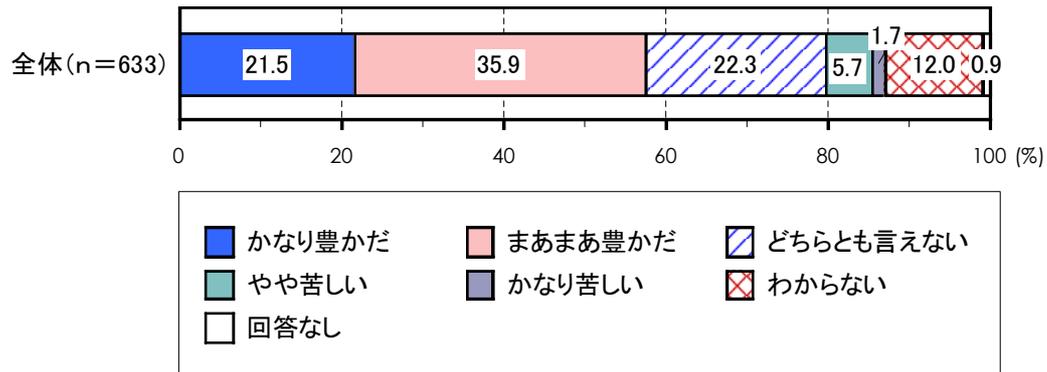


(11) 経済的な生活レベル

問 18 あなたのお家の「経済的な生活レベル」について、あなたはごどう思いますか。
(単数回答)

- 自分の家の経済的な生活レベルは、「かなり豊かだ」21.5%、「まあまあ豊かだ」35.9%を合わせた57.4%が“豊かだ”と回答しています。一方、「かなり苦しい」1.7%、「やや苦しい」5.7%を合わせた7.4%は“苦しい”と回答しています。

図表 4 - 25 経済的な生活レベル



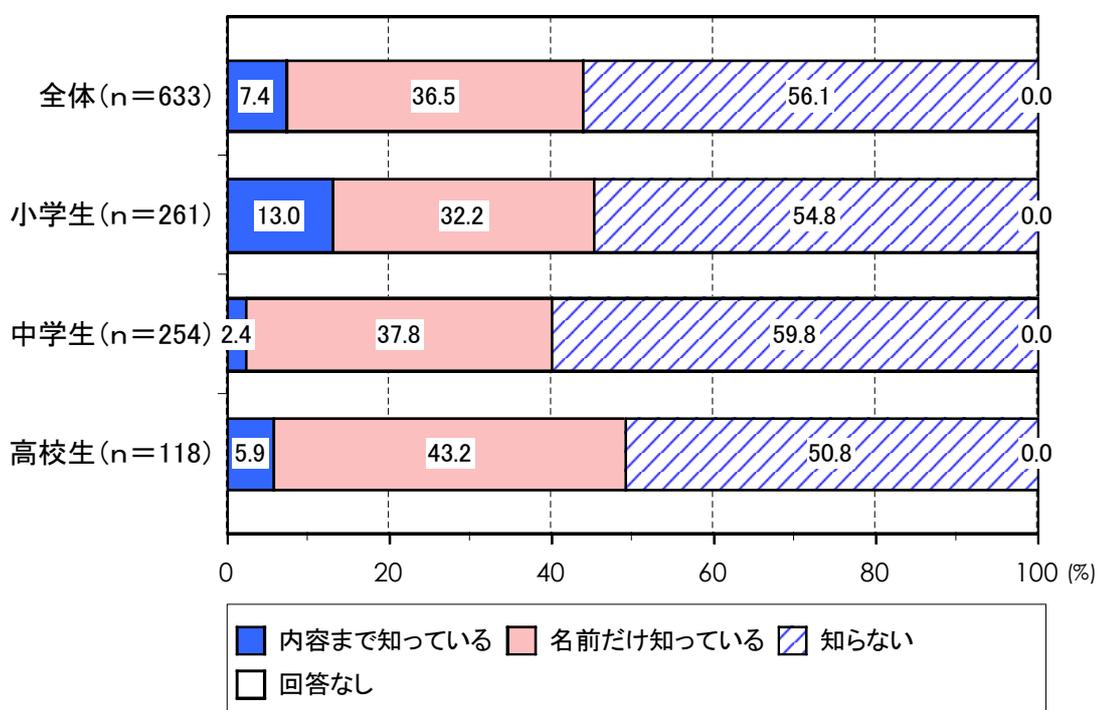
5. 子どもの権利・参加について

(1) 岩倉市子ども条例の認知度

問 19 「岩倉市子ども条例」を知っていますか。(単数回答)

- 岩倉市子ども条例の認知度は、「内容まで知っている」が7.4%、「名前だけ知っている」が36.5%となっています。
- 学年別にみると、「内容まで知っている」は小学生の13.0%が最も高くなっています。「名前だけ知っている」は学年が上がるにしたがって高くなり、高校生では43.2%となっています。どの学年も「知らない」が半数を超えています。

図表 4 - 26 岩倉市子ども条例の認知度

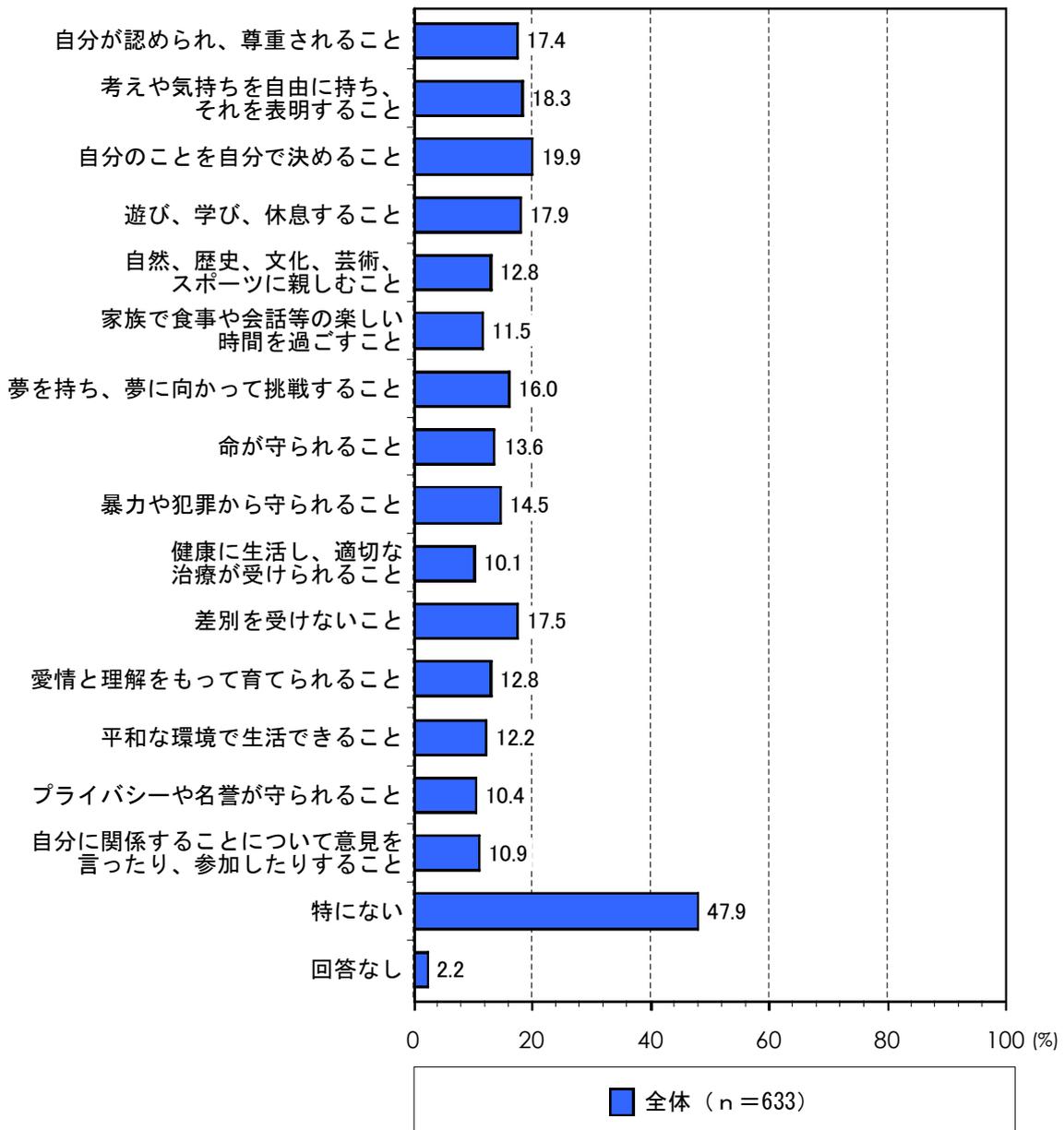


(2) 守られていない、満たされていない子どもの権利

問 20 子どもが幸せに暮らすために守らなければならないことを「子どもの権利」と言います。あなたは、いつもの生活の中で守られていない、満たされていない権利は何だと思えますか。(複数回答)

- 守られていない、満たされていない子どもの権利は、「特にない」が47.9%と最も高くなっています。
- 一方で、「特にない」と「回答なし」を除くと49.9%は満たされていない子どもの権利があると回答しています。具体的には、「自分のことを自分で決めること」の19.9%、「考えや気持ちを自由に持ち、それを表明すること」の18.3%をはじめとして、全ての項目で10%以上の回答があります。
- 学年別にみると、小学生は「自分のことを自分で決めること」「遊び、学び、休息すること」「差別を受けないこと」が最も高くなっています。中学生は、「自分のことを自分で決めること」が最も高く、他の学年と比較しても高くなっています。次いで「考えや気持ちを自由に持ち、それを表明すること」が高くなっています。高校生は、「自分が認められ、尊重されること」が24.6%と最も高く、「考えや気持ちを自由に持ち、それを表明すること」が続いています。
- 「特にない」は小学生の55.2%が最も高く、学年が上がるにしたがって低くなり、高校生では39.8%となっています。
- 次の項目は、学年が上がるにつれて高くなり、高校生が最も高くなっています。
 - ・「考えや気持ちを自由に持ち、それを表明すること」
 - ・「自分が認められ、尊重されること」
 - ・「暴力や犯罪から守られること」
 - ・「愛情と理解をもって育てられること」
 - ・「プライバシーや名誉が守られること」
- 次の項目は、中学生が最も高くなっています。
 - ・「自分のことを自分で決めること」
 - ・「遊び、学び、休息すること」
 - ・「夢を持ち、夢に向かって挑戦すること」
 - ・「命が守られること」
- 「家族で食事や会話等の楽しい時間を過ごすこと」は小学生が最も高く、学年が上がるにしたがって低くなっています。

図表 4 - 27 守られていない、満たされていない子どもの権利



図表 4 - 28 守られていない、満たされていない子どもの権利 (学年別)

	回答数 (n=)	自分が認められ、 尊重されること	考えや気持ちを自 由に持ち、それを 表明すること	自分のことを自分 で決めること	遊び、学び、休息 すること	自然、歴史、文 化、芸術、スポー ツに親しむこと	家族で食事や会話 等の楽しい時間を 過ごすこと	夢を持ち、夢に向 かって挑戦するこ と
全体	633	17.4	18.3	19.9	17.9	12.8	11.5	16.0
小学生	261	12.3	13.0	17.6	17.6	13.4	12.6	15.3
中学生	254	19.3	21.3	24.0	18.1	11.4	11.0	17.7
高校生	118	24.6	23.7	16.1	17.8	14.4	10.2	13.6

	回答数 (n=)	命が守られること	暴力や犯罪から 守られること	健康に生活し、適 切な治療が受けら れること	差別を受けない こと	愛情と理解をもっ て育てられること	平和な環境で 生活できること	プライバシーや名 誉が守られること
全体	633	13.6	14.5	10.1	17.5	12.8	12.2	10.4
小学生	261	13.0	13.8	10.3	17.6	10.7	13.8	8.4
中学生	254	15.0	15.0	8.7	16.9	13.4	10.6	11.8
高校生	118	11.9	15.3	12.7	18.6	16.1	11.9	11.9

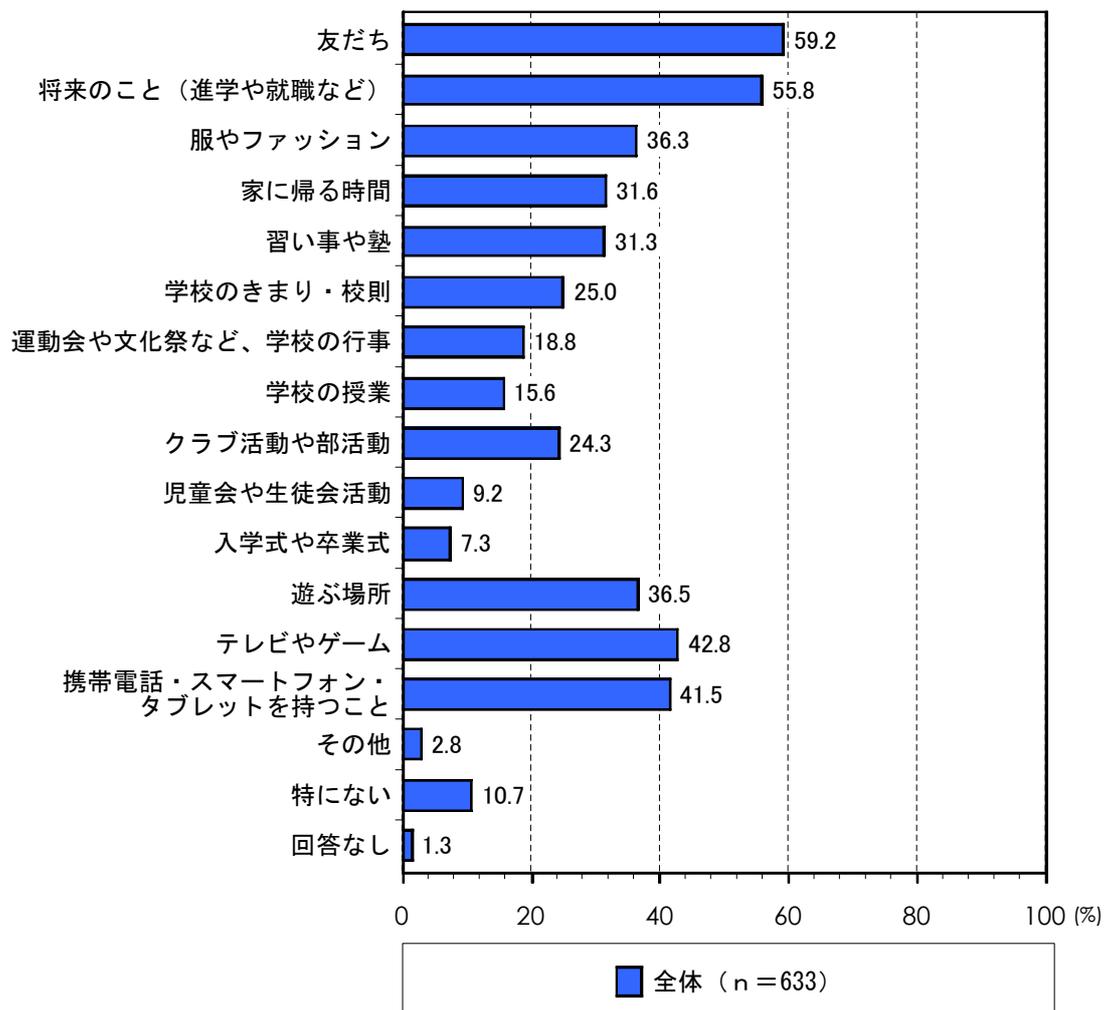
	回答数 (n=)	自分に関係するこ とについて意見を 言ったり、参加し たりすること	特になし	回答なし
全体	633	10.9	47.9	2.2
小学生	261	11.9	55.2	2.3
中学生	254	9.8	44.1	1.2
高校生	118	11.0	39.8	4.2

(3) 子ども自身が決めたいこと

問 21 親や先生といった大人に決められるのではなく、自分で決めたいと思うことは、どのようなことですか。(複数回答)

- 自分で決めたいことは、「友だち」が 59.2%、「将来のこと（進学や就職など）」が 55.8%、「テレビやゲーム」が 42.8%、「携帯電話・スマートフォン・タブレットを持つこと」が 41.5%です。
- 一方、「特にない」は 10.7%で、子どもたちは多くのことを自分で決めたいと考えています。

図表 4 - 29 子ども自身が決めたいこと



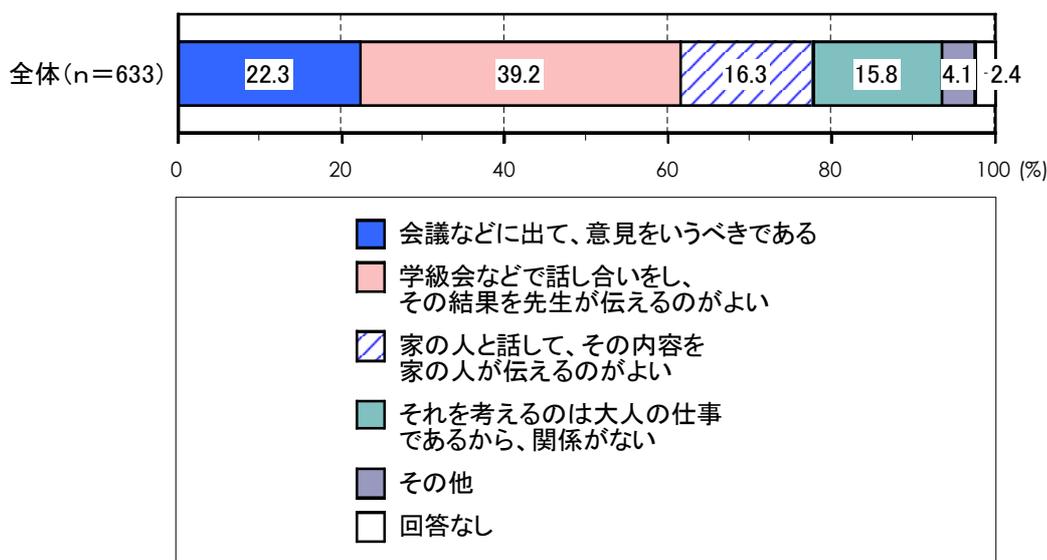
6. 岩倉のまちづくりへの参加について

(1) まちづくりへの参加の方法

問 22 岩倉市がまちづくり(市民にとって、住みやすいまちにすること)を話し合うときに、子どもはどうするべきだと思いますか。(単数回答)

- まちづくりへの参加の方法は、「学級会などで話し合いをし、その結果を先生が伝えるのがよい」が 39.2%、「会議などに出て、意見をいうべきである」が 22.3%、「家の人と話して、その内容を家の人が伝えるのがよい」が 16.3%です。

図表 4 - 30 まちづくりへの参加の方法

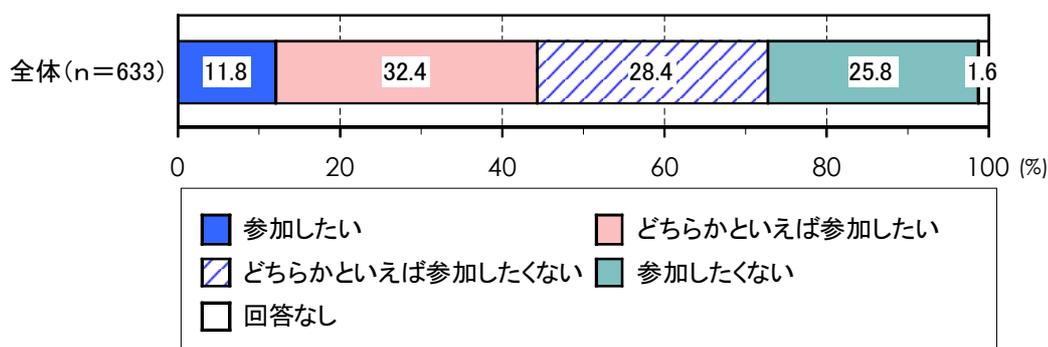


(2) 学校や地域の活動への参加希望

問 23 (1) 子どもが学校や地域の活動について、自分の意見を言える場があれば、参加してみたいと思いますか。(単数回答)

- 学校や地域の活動への参加については、「参加したい」11.8%と「どちらかといえば参加したい」の 32.4%を合わせた“参加したい”が 44.2%です。

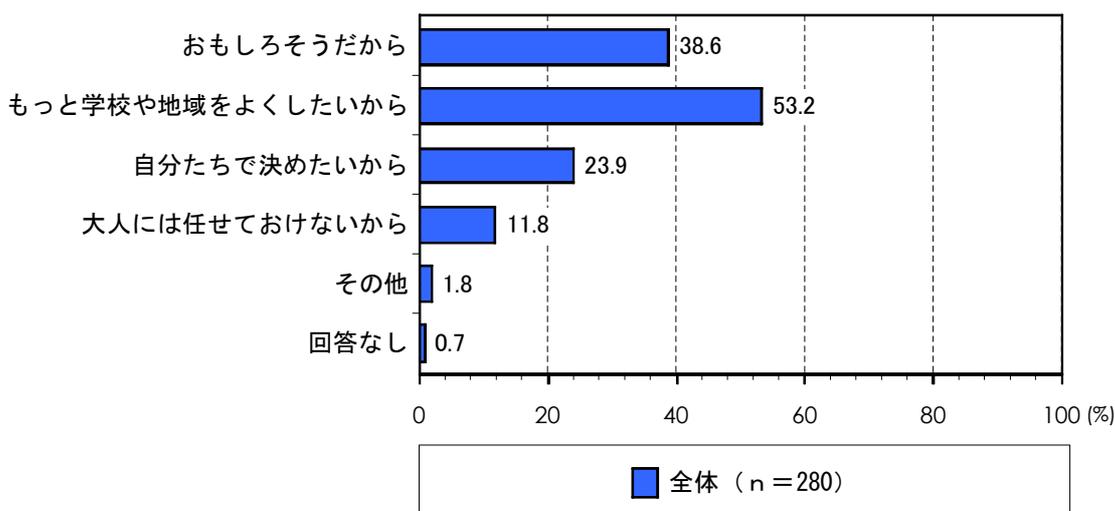
図表 4 - 31 学校や地域の活動への参加希望



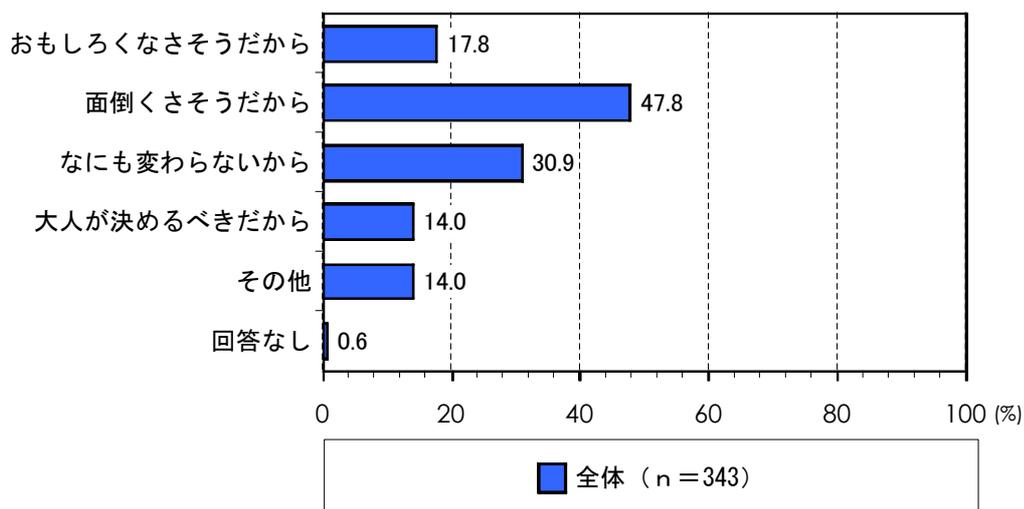
問 23 (2) そのように思う理由は何ですか。(複数回答)

- 学校や地域の活動に“参加したい”理由は、「もっと学校や地域をよくしたいから」が 53.2%で最も高く、「おもしろそうだから」が 38.6%、「自分たちで決めたいから」が 23.9%と続いています。
- 学校や地域の活動に“参加したくない”理由は、「面倒くさそうだから」が 47.8%で最も高く、「なんにも変わらないから」が 30.9%、「おもしろくなさそうだから」が 17.8%と続いています。

図表 4 - 32 学校や地域の活動に“参加したい”理由



図表 4 - 33 学校や地域の活動に“参加したくない”理由



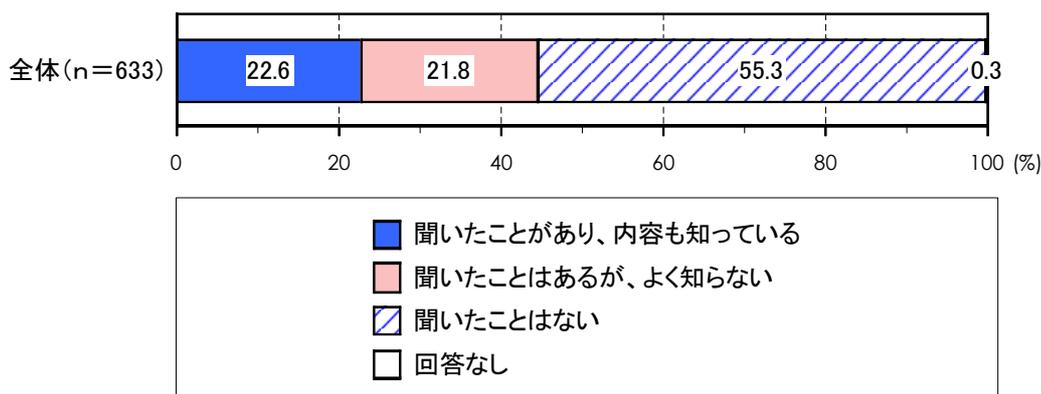
7. ヤングケアラーについて

(1) ヤングケアラーの言葉の認知度

問 24 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか。(単数回答)

- ヤングケアラーの言葉の認知度は、「聞いたことがあり、内容も知っている」22.6%と「聞いたことはあるが、よく知らない」21.8%を合わせた“聞いたことがある”が44.4%です。一方、「聞いたことはない」は55.3%です。

図表 4 - 34 ヤングケアラーの言葉の認知度

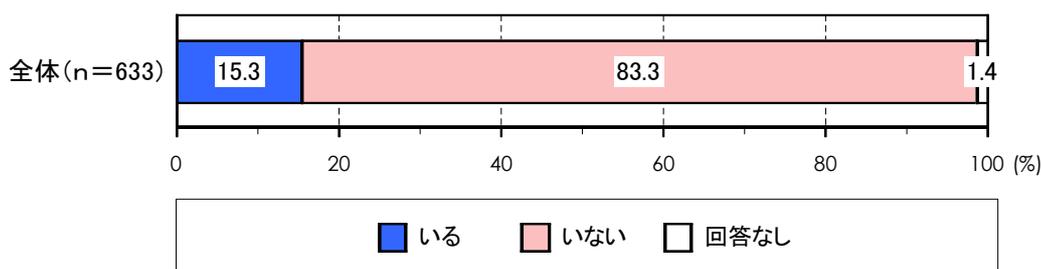


(2) 世話の対象者

問 25 (1) 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(単数回答)

- 家族の中に自分が世話をしている人が「いる」が15.3%です。

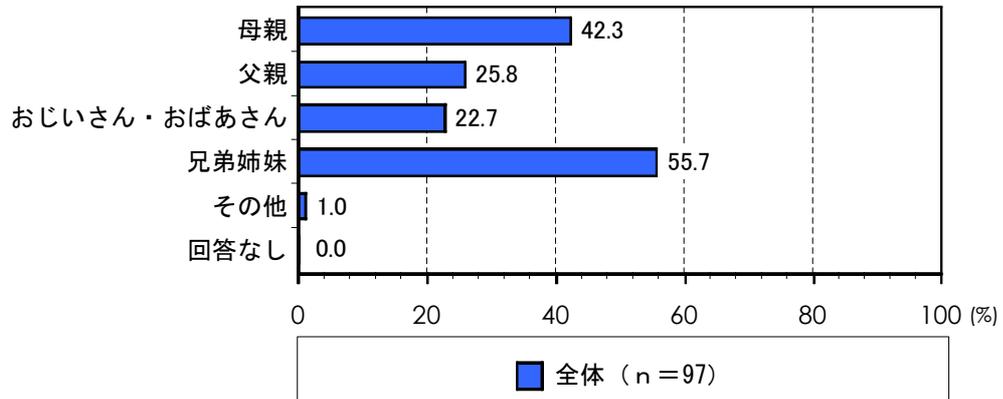
図表 4 - 35 世話の対象者の有無



【問 25（1）で家族の中にお世話をしている人が「いる」と回答した方のみ対象】
 問 25（2） だれのお世話をしていますか。（複数回答）

- 世話の対象者は、「兄弟姉妹」が 55.7%、「母親」が 42.3%、「父親」が 25.8%、「おじいさん・おばあさん」 22.7%です。

図表 4 - 36 世話の対象者

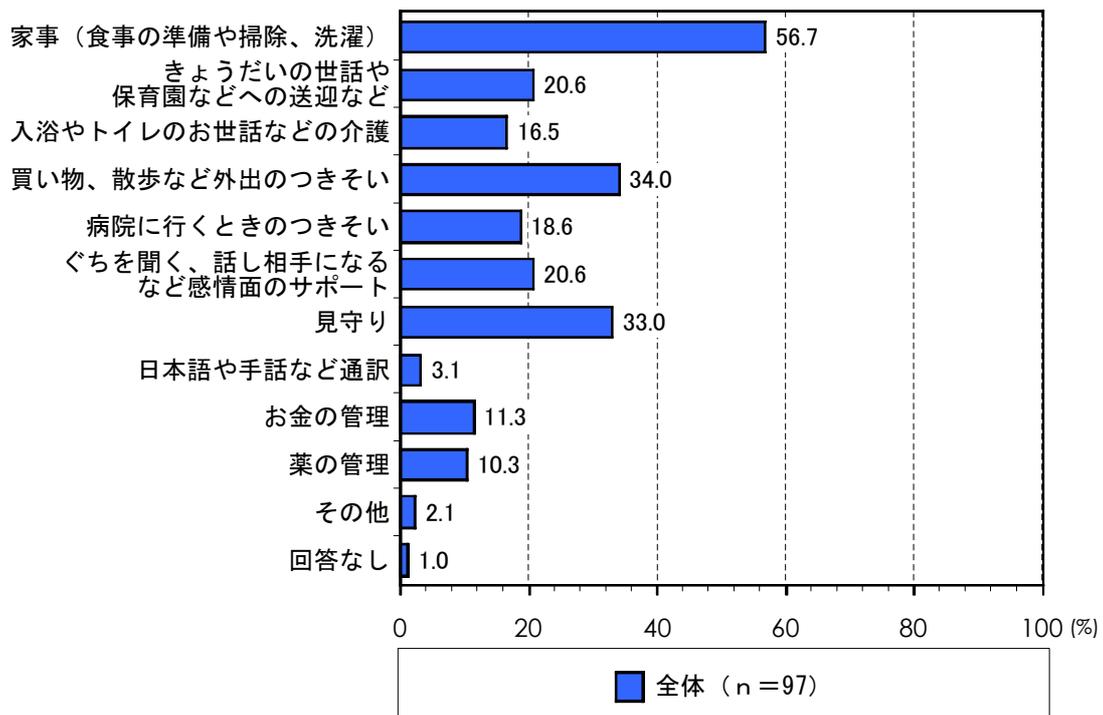


(3) 世話の内容

【問 25（1）で家族の中にお世話をしている人が「いる」と回答した方のみ対象】
 問 25（3） どんなことをしていますか。（複数回答）

- 世話の内容は、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が 56.7%、「買い物、散歩など外出のつきそい」が 34.0%、「見守り」が 33.0%です。

図表 4 - 37 世話の内容

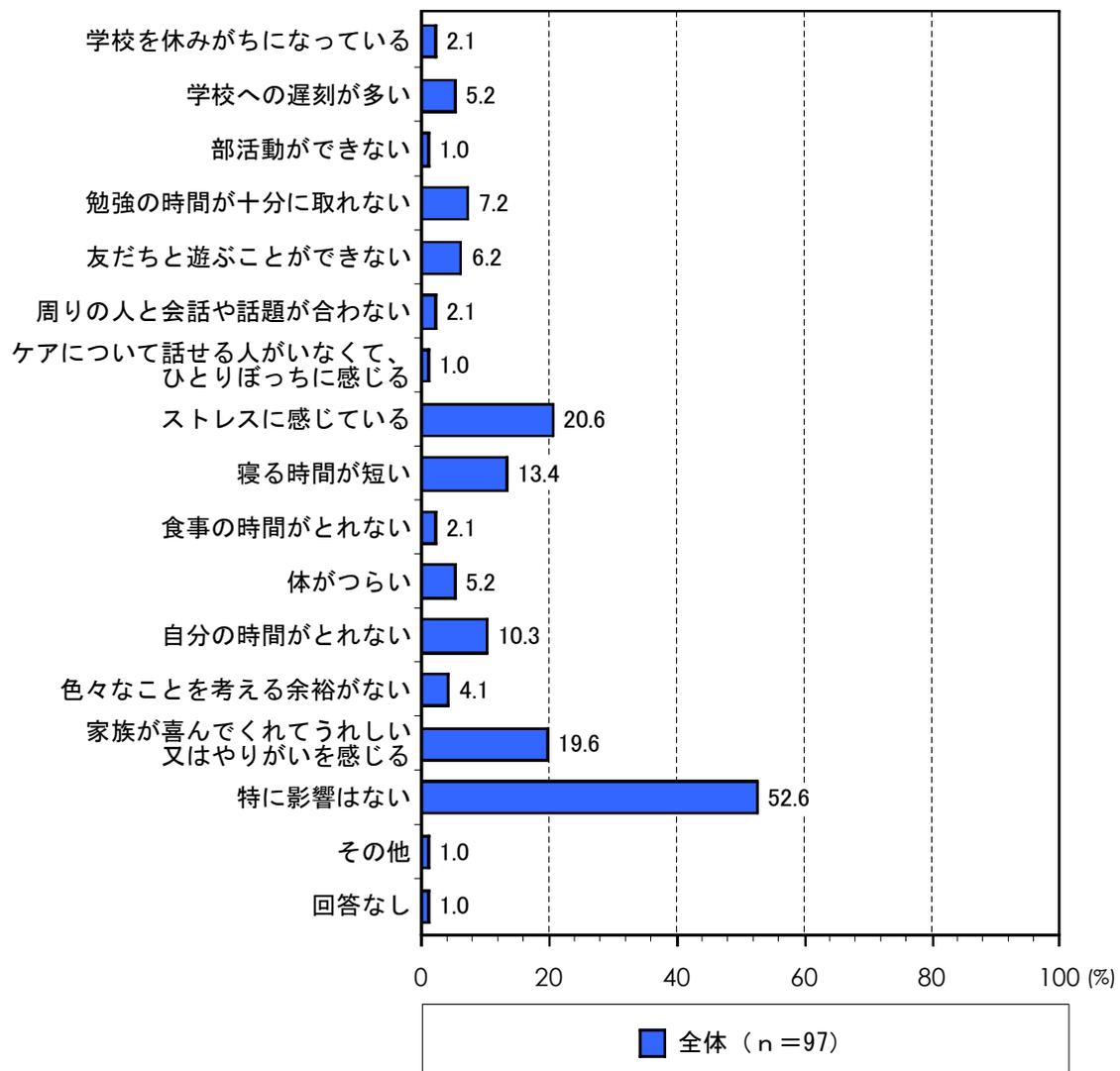


(4) 世話をしていることでの影響

【問 25 (1) で家族の中にお世話をしている人が「いる」と回答した方のみ対象】
 問 25 (4) あなたは、お世話をしていることで、次のようなことがありますか。
 (複数回答)

- 世話をしていることでの影響は、「特に影響はない」が 52.6%と最も高くなっています。さらに「家族が喜んでくれてうれしい又はやりがいを感じる」が 19.6%です。
- 一方、「ストレスに感じている」が 20.6%、「寝る時間が短い」が 13.4%、「自分の時間がとれない」が 10.3%と高くなっています。そのほかにも「学校を休みがちになっている」「体がつらい」「ケアについて話せる人がいなくて、ひとりぼっちに感じる」といった深刻な状況にいる子どもたちもわずかですがいます。

図表 4 - 38 世話をしていることでの影響



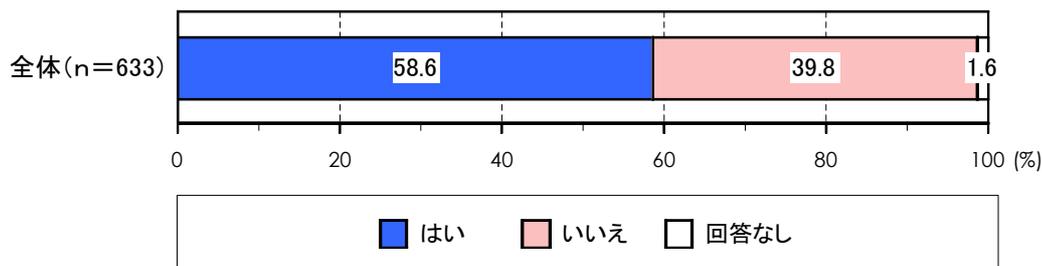
8. 児童館・地域交流センターについて

(1) 児童館・地域交流センターの利用経験

問 26 (1) 放課後児童クラブ以外で児童館・地域交流センター（みどりの家・くすのきの家・ポプラの家）に行ったことはありますか。（単数回答）

- 児童館・地域交流センターに行ったことがあるかは、「はい」が 58.6%です。

図表 4 - 39 児童館・地域交流センターの利用経験

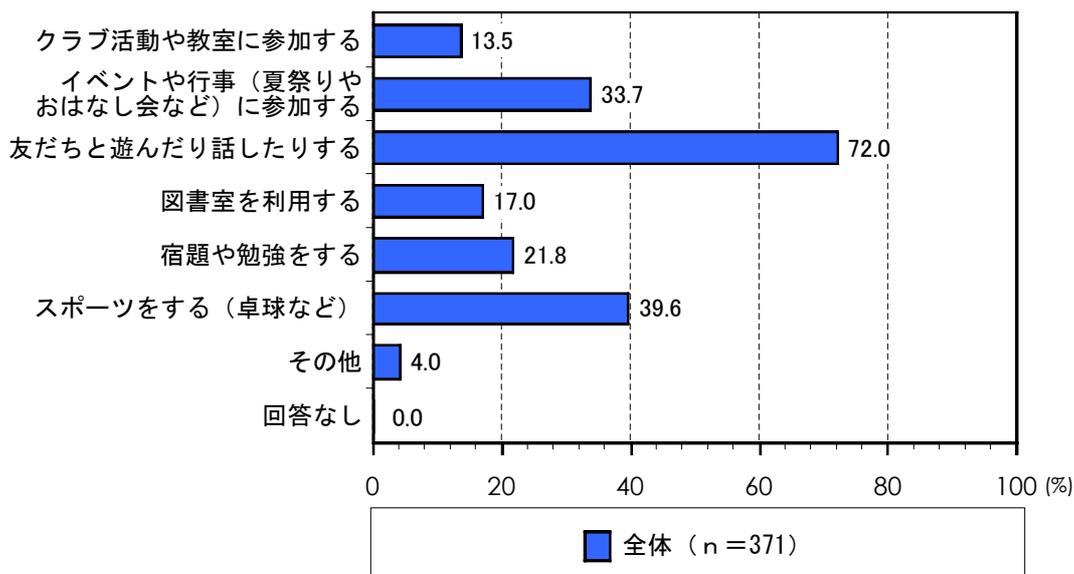


【問 26 (1) で児童館・地域交流センターに行ったことがあると回答した方のみ対象】

問 26 (2) 児童館・地域交流センター（みどりの家・くすのきの家・ポプラの家）へは何をしに行きましたか。（複数回答）

- 児童館・地域交流センターの利用目的は、「友だちと遊んだり話したりする」が 72.0%と最も高く、「スポーツをする（卓球など）」が 39.6%、「イベントや行事（夏祭りやおはなし会など）に参加する」が 33.7%と続いています。

図表 4 - 40 児童館・地域交流センターの利用目的

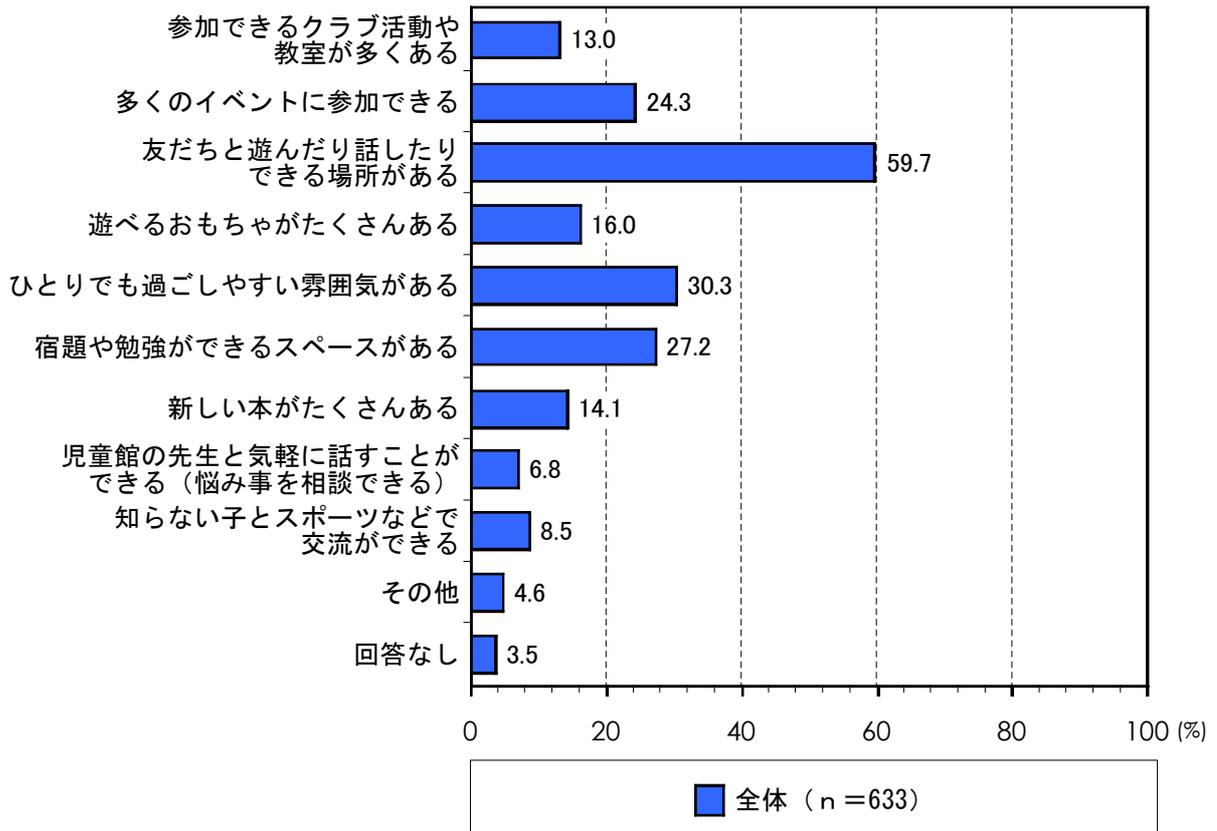


(2) 行きたい児童館・地域交流センター

問 27 どんな児童館・地域交流センター（みどりの家・くすのきの家・ポプラの家）なら行きたいですか。（複数回答）

- 行きたい児童館・地域交流センターは、「友だちと遊んだり話したりできる場所がある」が 59.7%、「ひとりでも過ごしやすい雰囲気がある」が 30.3%、「宿題や勉強ができるスペースがある」が 27.2%、「多くのイベントに参加できる」が 24.3%と続いています。

図表 4 - 41 行きたい児童館・地域交流センター



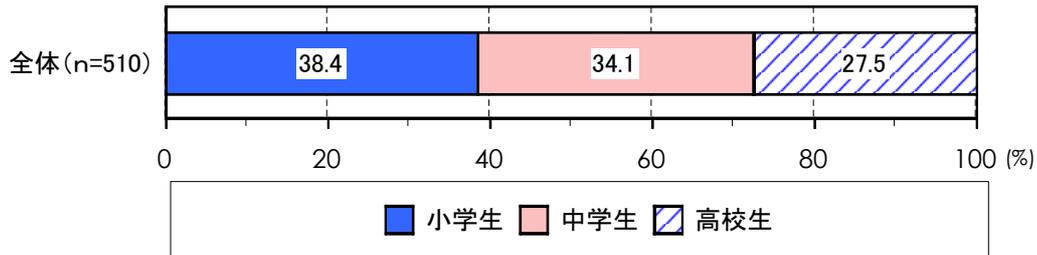
第5部 子どもの権利についてのアンケート調査（保護者用）

1. 回答者の属性について

問9 お子さんの学年をお答えください。（単数回答）

- 「小学生」が38.4%、「中学生」が34.1%、「高校生」が27.5%です。

図表 5 - 1 回答者のお子さんの学年（保護者）



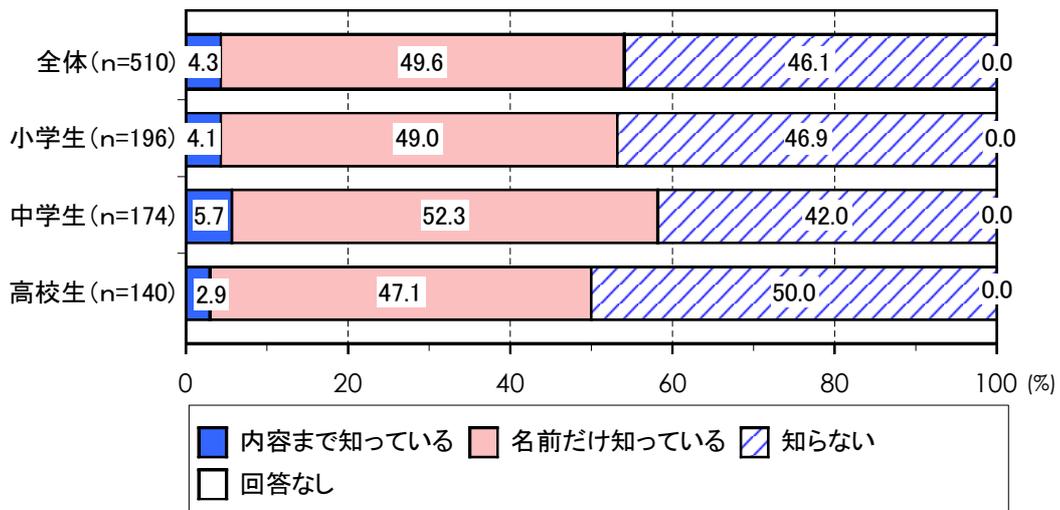
2. 子どもの権利について

（1）岩倉市子ども条例の認知度

問1 「岩倉市子ども条例」を知っていますか。（単数回答）

- 保護者の岩倉市子ども条例の認知度は、「名前だけ知っている」が49.6%、「内容まで知っている」が4.3%となっています。
- 子どもの学年別にみると、中学生の認知度が最も高くなっていますが、大きな傾向の違いはありません。

図表 5 - 2 岩倉市子ども条例の認知度（保護者・学年別）

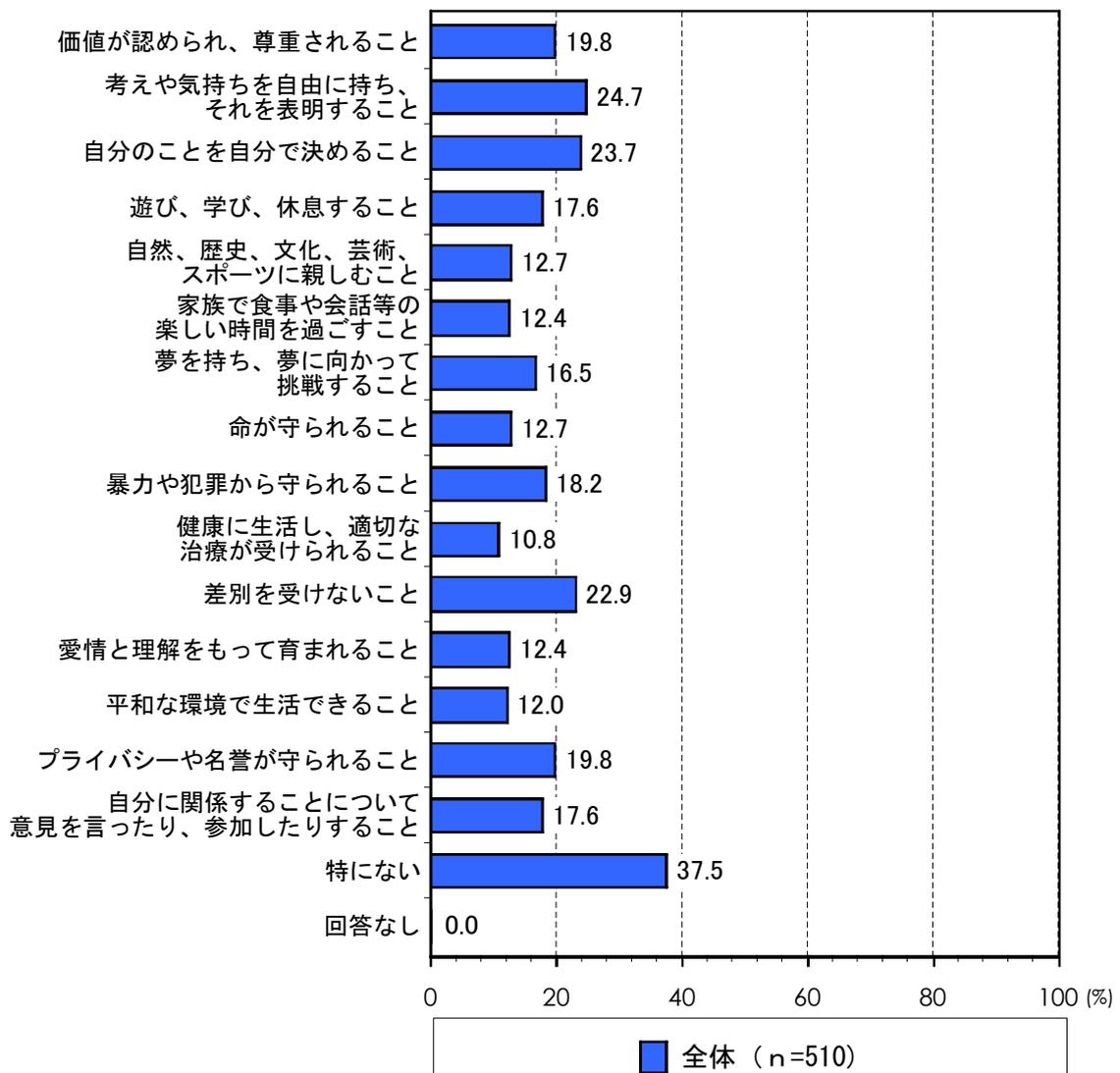


(2) 守られていない、満たされていない子どもの権利

問2 普段の生活の中で「守られていない」、「満たされていない」子どもの権利は何だと思えますか。(複数回答)

- 守られていない、満たされていない子どもの権利は、「考えや気持ちを自由に持ち、それを表明すること」が24.7%と最も高く、次いで「自分のことを自分で決めること」が23.7%、「差別を受けないこと」22.9%などが続いています。
- 子どもの学年別にみると、「考えや気持ちを自由に持ち、それを表明すること」はどの学年でも最も高い項目であり、学年が上がるにしたがって高くなっています。
- それ以外にも、小学生は「差別を受けないこと」、高校生は「自分のことを自分で決めること」が同率で最も高くなっています。
- 「価値が認められ、尊重されること」「自分のことを自分で決めること」「命が守られること」「暴力や犯罪から守られること」「健康に生活し、適切な治療が受けられること」「プライバシーや名誉が守られること」「自分に関係することについて意見を言ったり、参加したりすること」は学年が上がるにしたがって高くなっています。
- 一方、「特にない」は学年が上がるにしたがって低くなります。

図表 5 - 3 守られていない、満たされていない子どもの権利（保護者）



図表 5 - 4 守られていない、満たされていない子どもの権利（保護者・学年別）

	回答数 (n=)	価値が認められ、 尊重されること	考えや気持ちを自 由に持ち、それを 表明すること	自分のことを自分 で決めること	遊び、学び、休息 すること	自然、歴史、文 化、芸術、スポー ツに親しむこと	家族で食事や会話 等の楽しい時間を 過ごすこと
全体	510	19.8	24.7	23.7	17.6	12.7	12.4
小学生	196	16.8	20.4	19.9	14.8	9.7	8.7
中学生	174	20.7	26.4	24.1	22.4	17.8	15.5
高校生	140	22.9	28.6	28.6	15.7	10.7	13.6

	回答数 (n=)	夢を持ち、 夢に向かって挑戦 すること	命が守られること	暴力や犯罪から守 られること	健康に生活し、適 切な治療が受けら れること	差別を 受けないこと	愛情と理解をもっ て育まれること
全体	510	16.5	12.7	18.2	10.8	22.9	12.4
小学生	196	14.8	10.2	15.8	7.7	20.4	11.2
中学生	174	18.4	13.8	18.4	12.6	25.3	13.2
高校生	140	16.4	15.0	21.4	12.9	23.6	12.9

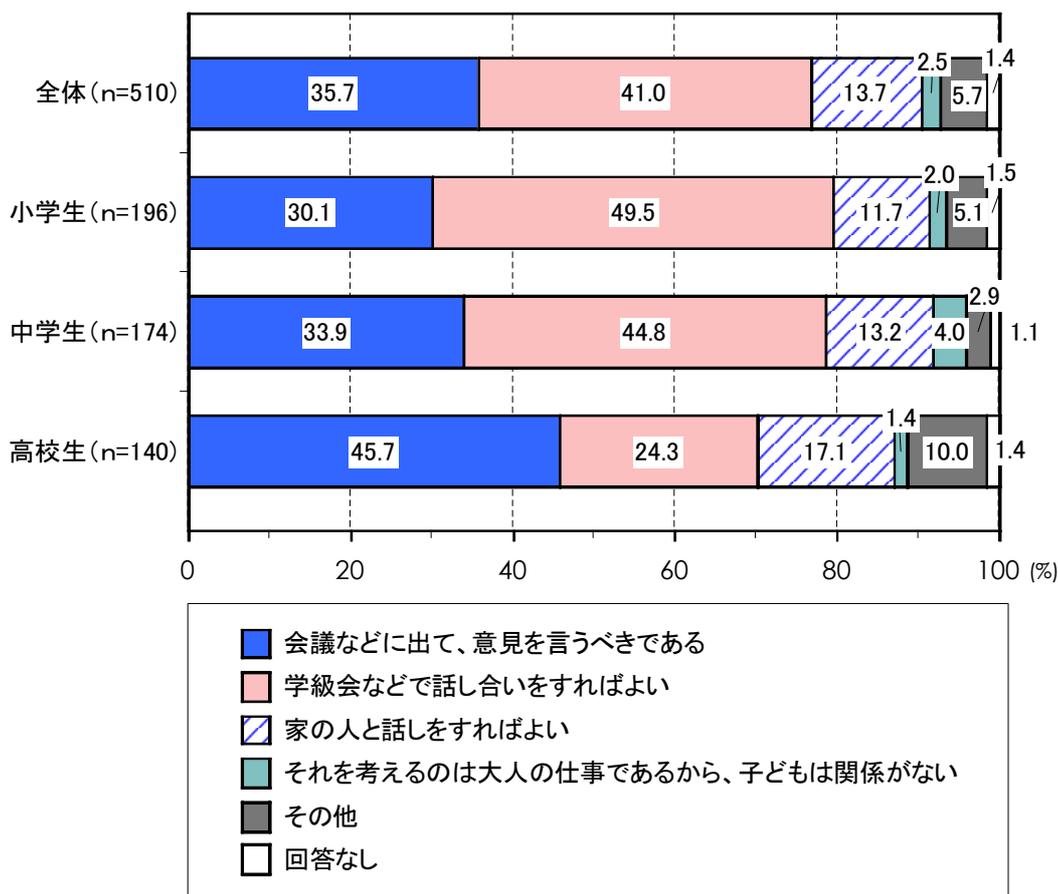
	回答数 (n=)	平和な環境で 生活できること	プライバシーや名 誉が守られること	自分に関係するこ とについて意見を 言ったり、参加し たりすること	特になし	回答なし
全体	510	12.0	19.8	17.6	37.5	0.0
小学生	196	12.2	15.3	13.3	45.4	0.0
中学生	174	13.2	20.7	19.5	34.5	0.0
高校生	140	10.0	25.0	21.4	30.0	0.0

3. 岩倉のまちづくりへの参加について

問3 岩倉市がまちづくりを行うときに、子どもはどうするべきだと思いますか。
(単数回答)

- まちづくりへの子どもの参加は、「学級会などで話し合いをすればよい」41.0%が最も高く、「会議などに出て、意見を言うべきである」が35.7%、「家の人と話しをすればよい」が13.7%です。「それを考えるのは大人の仕事であるから、子どもは関係がない」は2.5%とわずかです。
- 子どもの学年別にみると、小学生、中学生は「学級会などで話し合いをすればよい」、高校生は「会議などに出て、意見を言うべきである」が高くなり、学年が上がるにしたがって「会議などに出て、意見を言うべきである」と回答した人の割合が高くなっていきます。

図表 5 - 5 岩倉のまちづくりへの子どもの参加について (保護者・学年別)



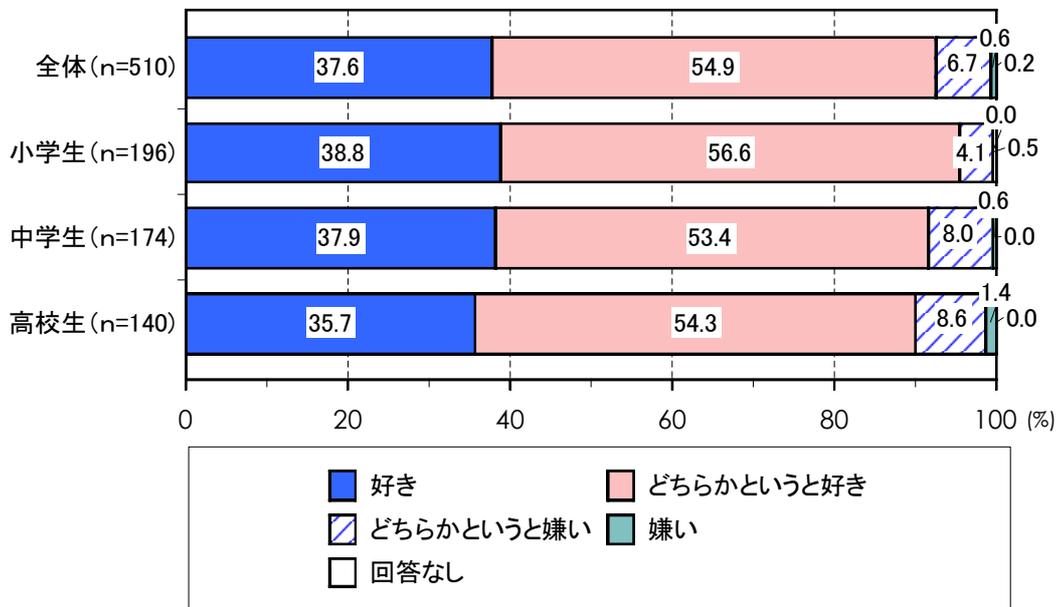
4. 子どものことについて

(1) 子ども自身は自分が好きだと思うか

問4 おうちの方からごらんになる限り、お子さんは、お子さん自身のことが好きだと思えますか。(単数回答)

- 保護者からみて、子ども自身が自分が好きだと思うかは、「好き」37.6%と「どちらか」というと好き」54.9%を合わせた“好き”が92.5%となっています。「嫌い」0.6%と「どちらか」というと嫌い」6.7%を合わせた“嫌い”は7.3%です。
- 子どもの学年別にみると、“好き”は小学生が最も高く、学年が上がるにしたがってやや低くなります。
- ほとんどの保護者が子どもが自分のことを“好き”だと思っていると回答しています。

図表 5 - 6 子ども自身は自分が好きだと思うか (保護者・学年別)



(2) 期待する子どもの居場所

問5 お子さんが、友だちと遊んだり話したりする場所として、「もっとこのような場所があれば」とか、「もっと使いやすくなればいいな」と思う場所はどんなところですか。(自由記述)

- 大きい公園、芝生のある公園
 - 制限のない、ワイワイできる場所
 - スポーツができる場所 (サッカー、バスケット、卓球、野球など)
 - 図書館、児童館
 - 学生がお金を使わずに過ごせる場所
- 等

(3) 子どもとの関わり

問6 「岩倉市子ども条例」第8条では、保護者の責務と役割について、子どもがすこやかに育つよう、愛情を持って全力で援助や指導をしていくよう努める必要があること、としています。

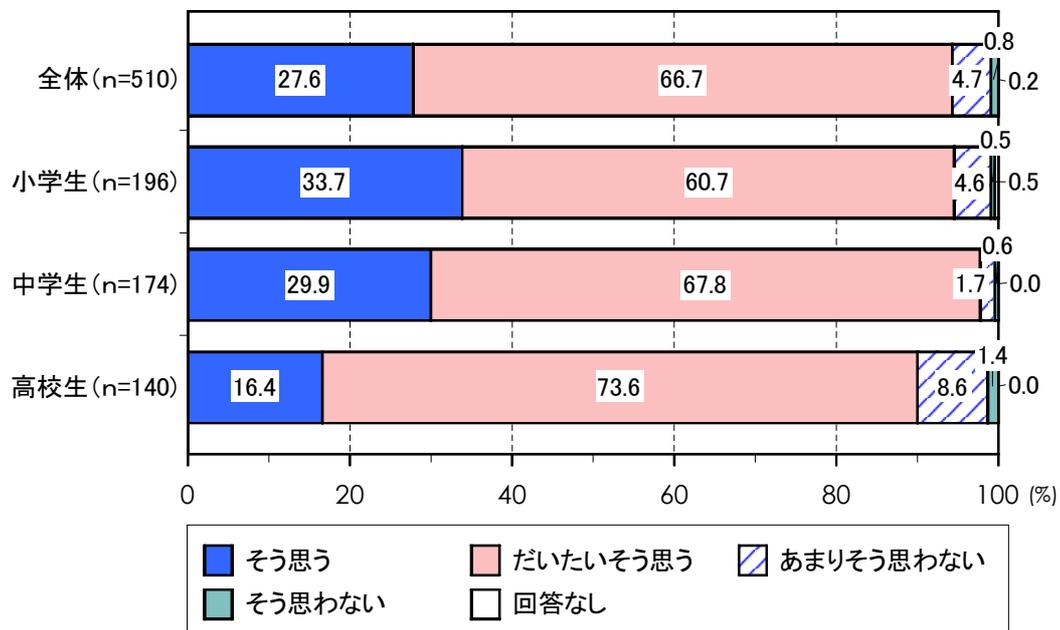
お子さんとの関係に関する8項目それぞれについて、あなたはどのように思われますか。(項目ごとに単数回答)

- 子どもとの関係に関する8項目のうち多くの項目で、「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせた“そう思う”がかなり高くなっています。
- 特に、⑦子どもの健康状態を把握しているは“そう思う”が99.5%と最も高く、⑧子ども自身のことを決めるとき、子どもの意見をきいている95.3%、①子どもの好きなことをよくわかっている94.3%と続いています。

①子どもの好きなことをよくわかっている

- 「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせた“そう思う”は94.3%で高くなっています。
- 子どもの学年別にみると、“そう思う”は中学生が97.7%と最も高くなっています。「そう思う」は小学生が最も高く、学年が上がるにしたがって低くなっています。

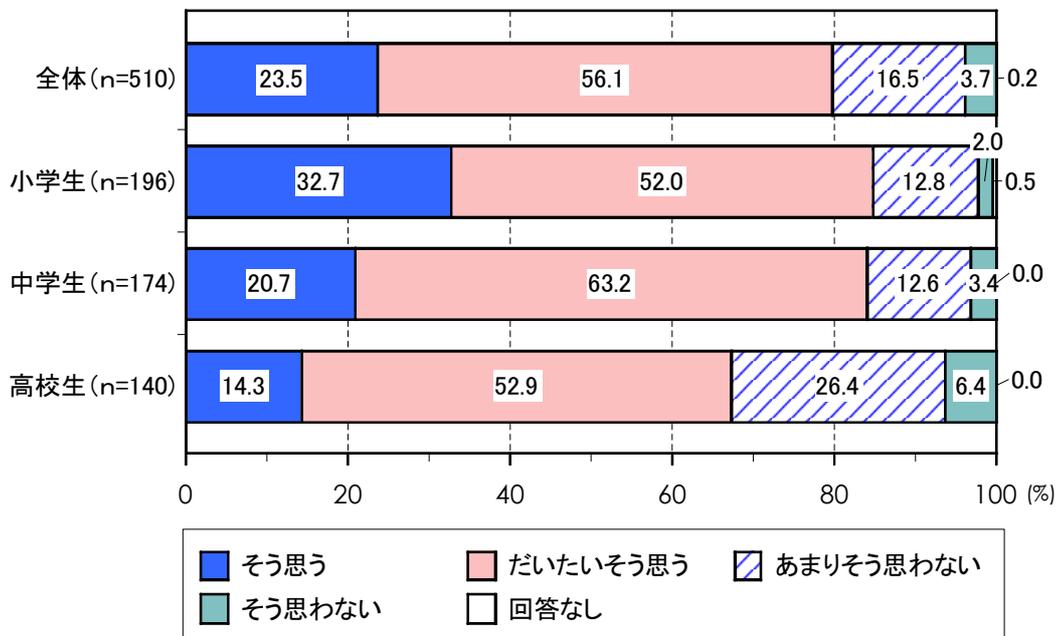
図表 5 - 7 子ども好きなことをよくわかっている (保護者・学年別)



②子どもと仲の良い友達の名前をほとんど知っている

- 「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせた“そう思う”は79.6%です。
- 子どもの学年別にみると、小学生の“そう思う”が84.7%で最も高く、学年が上がるにしたがって低くなり、高校生では67.2%です。

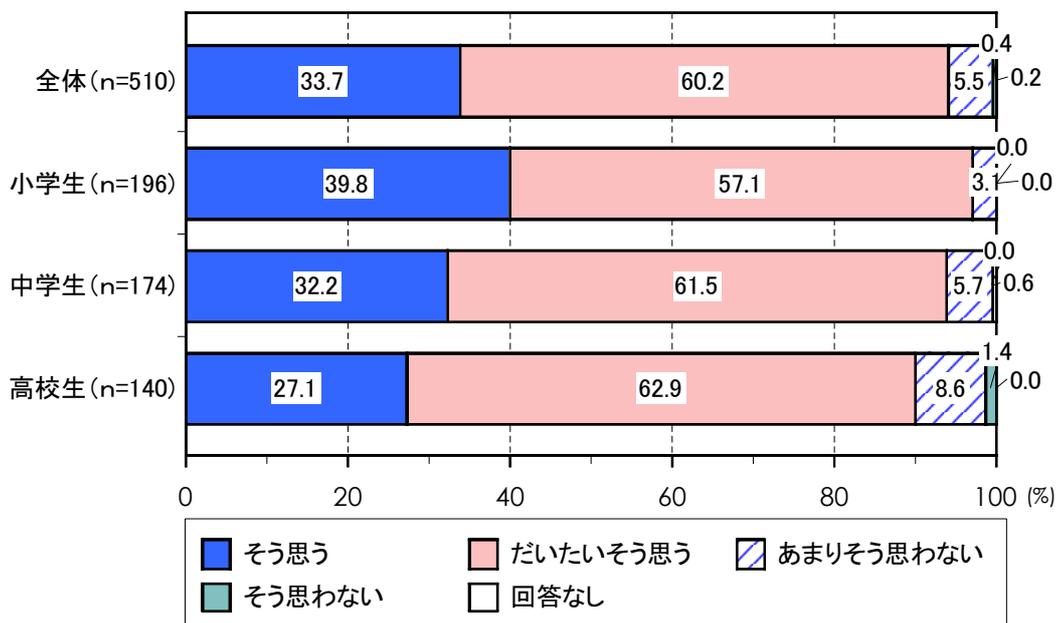
図表 5 - 8 子どもと仲の良い友達の名前をほとんど知っている（保護者・学年別）



③子どもに信頼されている

- 「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせた“そう思う”は93.9%と高くなっています。
- 子どもの学年別にみると、小学生の“そう思う”が96.9%で最も高く、学年が上がるにしたがって低くなりますが、高校生でも90.0%が“そう思う”と回答しています。

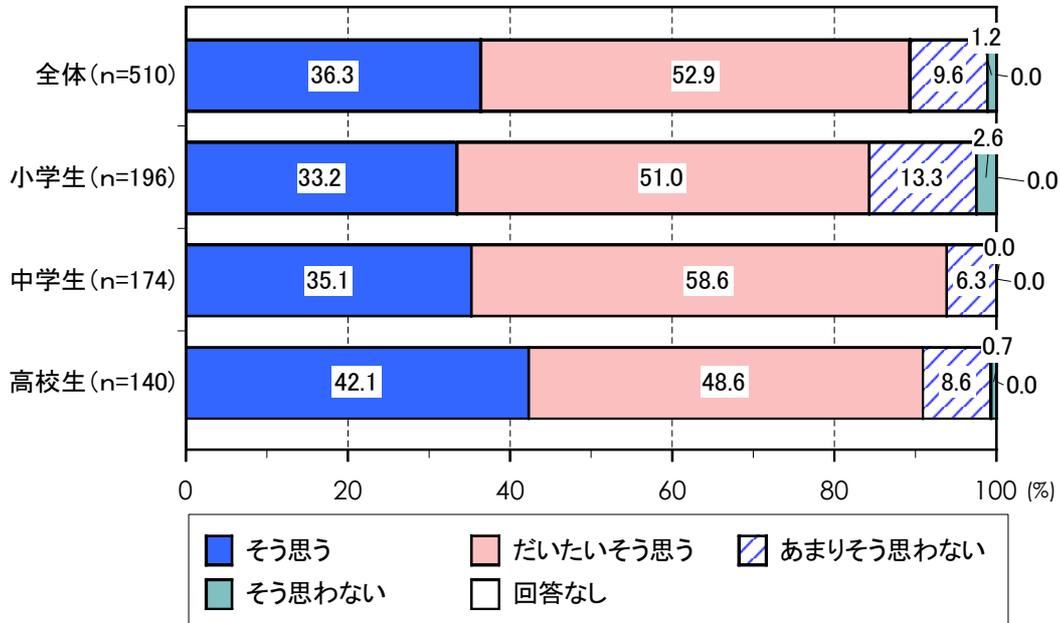
図表 5 - 9 子どもに信頼されている（保護者・学年別）



④子どもの将来の夢がかなうよう、手助けしている

- 「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせた“そう思う”は89.2%です。
- 子どもの学年別にみると、“そう思う”は中学生が最も高く、高校生、小学生と続いています。

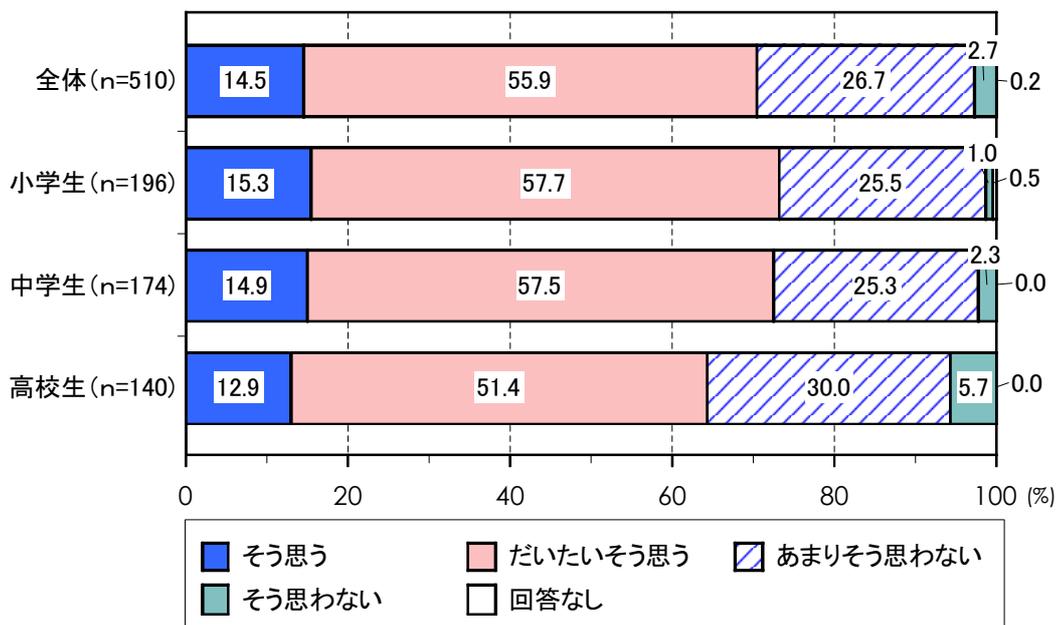
図表 5 - 10 子どもの将来の夢がかなうよう、手助けしている（保護者・学年別）



⑤子どもの学校での様子や出来事をよく知っている

- 「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせた“そう思う”は70.4%です。
- 子どもの学年別にみると、“そう思う”は小学生、中学生は同程度ですが、高校生になると低くなります。

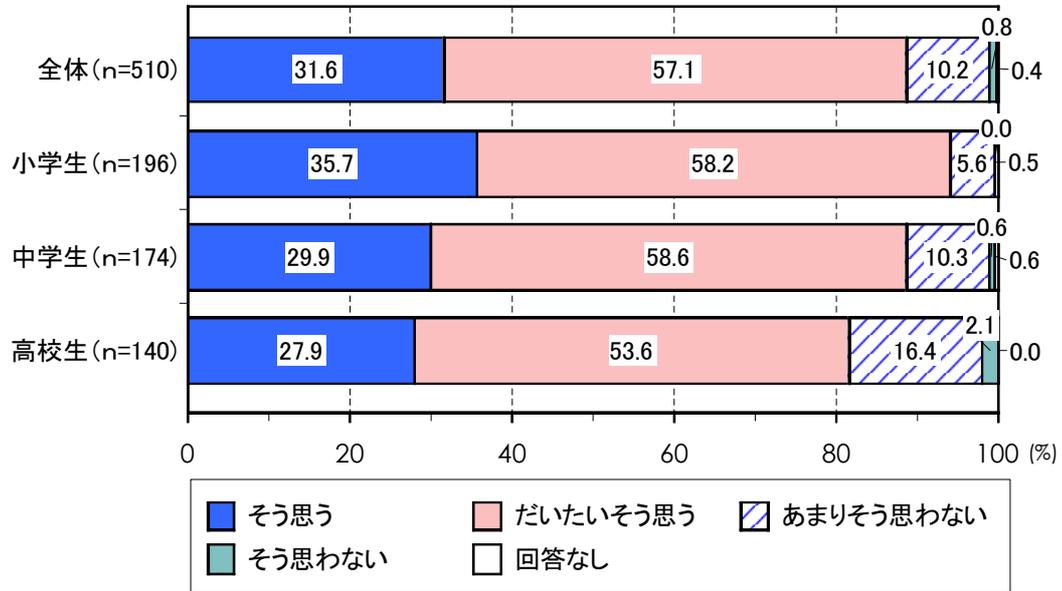
図表 5 - 11 子どもの学校での様子や出来事をよく知っている（保護者・学年別）



⑥子どもに悩み事がある場合は、話を聞いている

- 「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせた“そう思う”は88.7%です。
- 子どもの学年別にみると、“そう思う”が小学生は93.9%と最も高く、学年が上がるにしたがって低くなり、高校生では81.5%です。

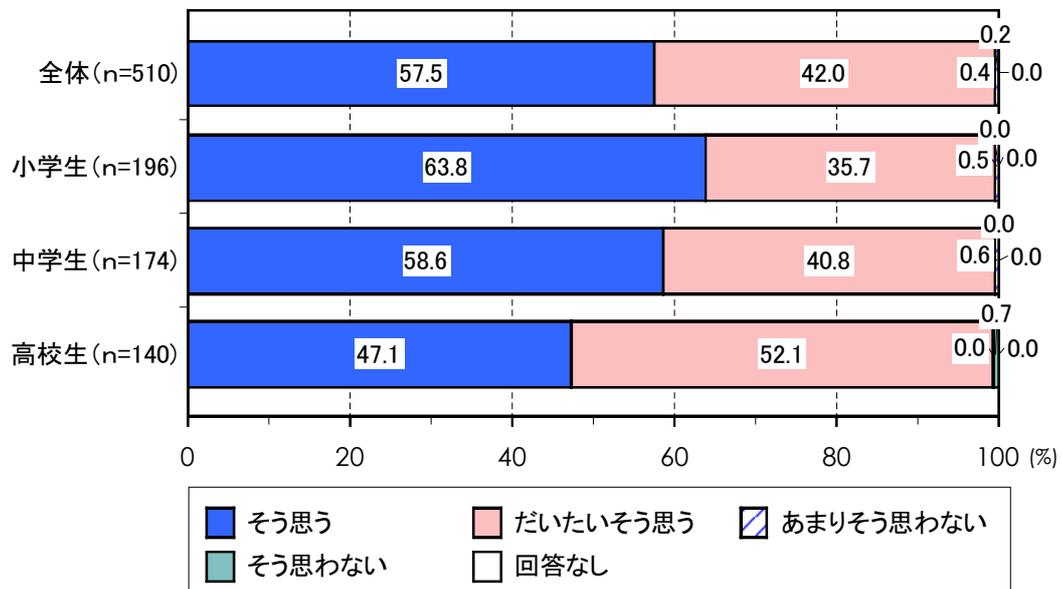
図表 5 - 12 子どもに悩み事がある場合は、話を聞いている（保護者・学年別）



⑦子どもの健康状態を把握している

- 「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせた“そう思う”は99.5%と高くなっています。
- 子どもの学年別にみると、“そう思う”は学年に関わらず高い状況ですが、「そう思う」は学年が上がると低くなっています。「そう思わない」は高校生のみ0.7%とわずかです。

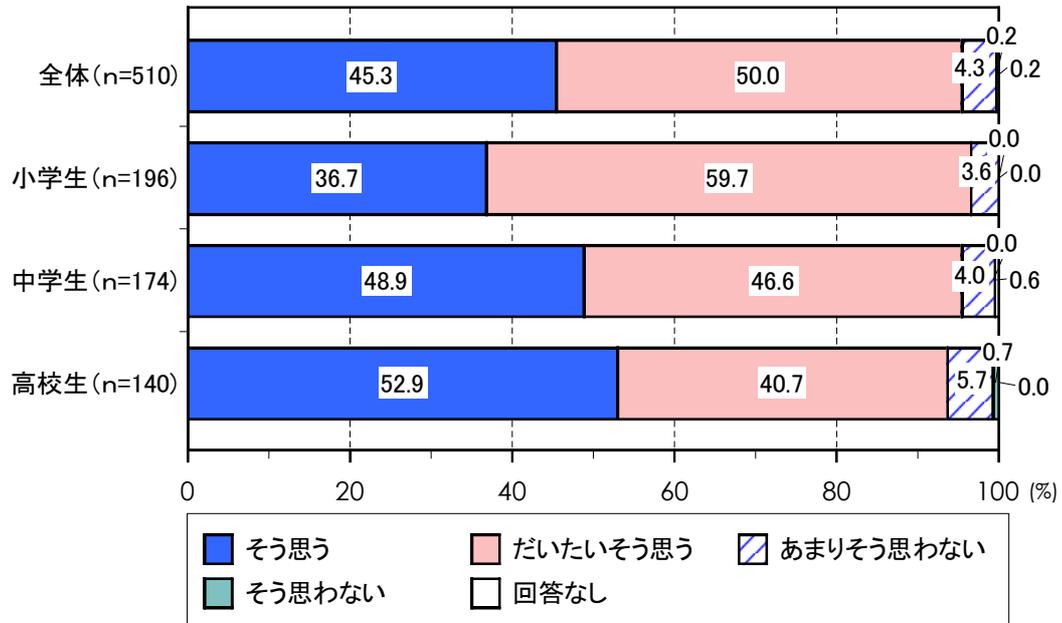
図表 5 - 13 子どもの健康状態を把握している（保護者・学年別）



⑧子ども自身のことを決めるとき、子どもの意見をきいている

- 「そう思う」と「だいたいそう思う」を合わせた“そう思う”は95.3%と高くなっています。
- 子どもの学年別にみると、“そう思う”は学年に関わらず高い状況ですが、「そう思う」は学年が上がるにしたがって高くなっています。

図表 5 - 14 子ども自身のことを決めるとき、子どもの意見をきいている（保護者・学年別）



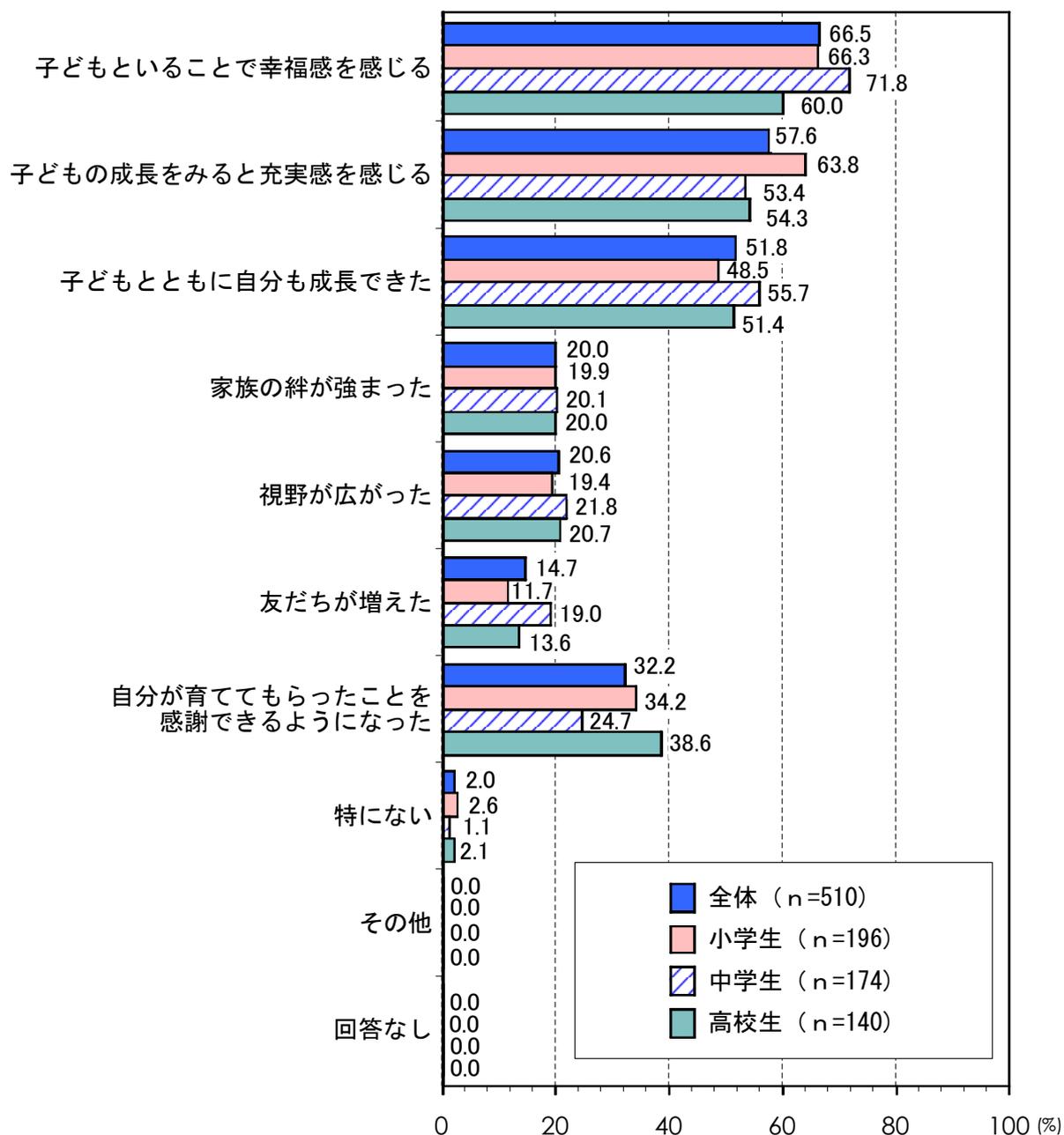
5. あなた自身について

(1) 子育てをされていて良かったと感じたこと

問7 子育てをされていて良かったと感じたことは何ですか。(複数回答)

- 子育てをされていて良かったと感じたことは、「子どもといることで幸福感を感じる」の66.5%が最も高く、「子どもの成長をみると充実感を感じる」が57.6%、「子どもとともに自分も成長できた」が51.8%と続いています。
- 子どもの学年別にみると、全体と比較して、小学生は「子どもの成長をみると充実感を感じる」、中学生は「子どもといることで幸福感を感じる」、高校生は「自分が育ててもらったことを感謝できるようになった」が高くなっています。
- 一方で、「特にない」も2.0%です。

図表 5 - 15 子育てをされていて良かったと感じたこと (保護者・学年別)

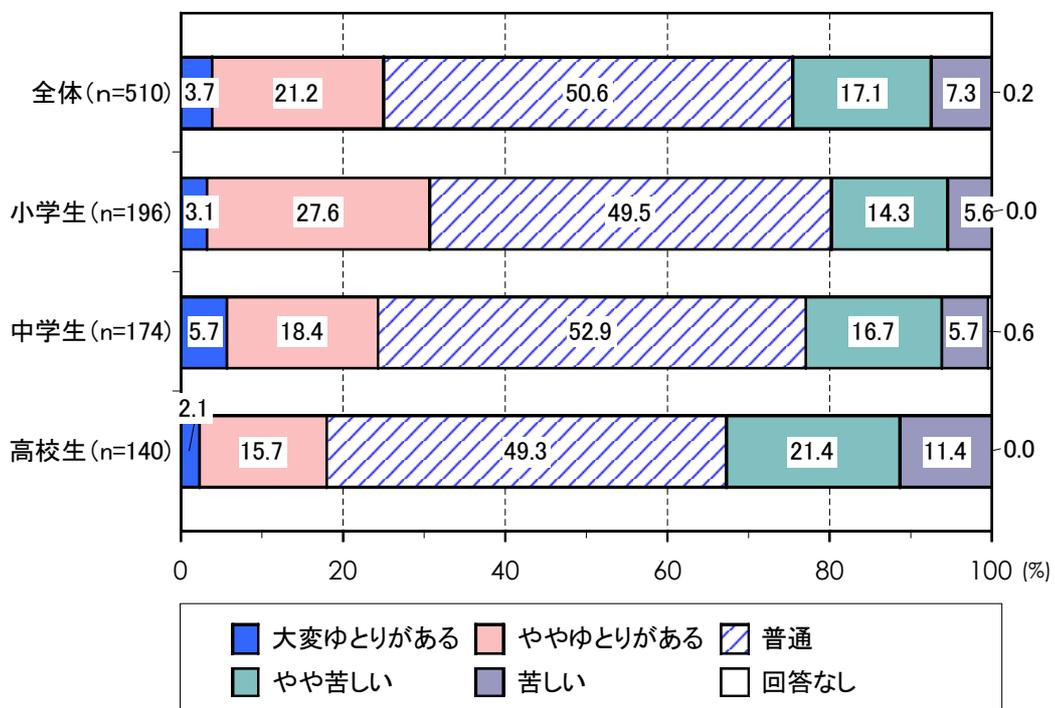


(2) 暮らし向き

問8 あなたの世帯の現在の暮らし向きについてうかがいます。(単数回答)

- 世帯の暮らし向きについて「普通」が50.6%で最も高くなっています。「大変ゆとりがある」3.7%と「ややゆとりがある」21.2%を合わせた24.9%が“ゆとりがある”、「苦しい」7.3%と「やや苦しい」17.1%を合わせた24.4%が“苦しい”と回答しています。
- 子どもの学年別にみると、「大変ゆとりがある」は中学生が最も高くなっていますが、“ゆとりがある”をみると小学生が最も高く、学年が上がるにしたがって6ポイントずつ低くなっています。一方、“苦しい”は、学年が上がるにしたがって高くなり、高校生では32.8%となっています。

図表 5 - 16 暮らし向き (保護者・学年別)



《自由回答まとめ》

●子どもの権利についてのアンケート調査（子ども用）

153件の意見がありました。主な意見は次の通りです。

子育て支援の充実	学校教育・制度に関すること(13件) 【主な意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・学校の時間をもう少し短くしてほしい。 ・学校の課題（宿題）を少なくしてほしい。 ・（意図のわからない）校則を無くしてほしい。 ・部活動などで特定の人だけに怒らず、平等に怒ってほしい。 ・部活の先生を地域の人に変えてほしい。
子ども・子育てに関する環境の整備	子ども・子育て環境の充実(15件) 【主な意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館を改装してほしい。 ・図書館に新しい本を増やしたり、パソコンなどを置いてほしい。 ・広い公園がほしい。 ・（中学生、高校生が）遊ぶ場所がない。
	防犯・交通安全(3件) <ul style="list-style-type: none"> ・警察に通報した時には、すぐ駆けつけてほしい。 ・挨拶をしたらきちんと返事をしたり、歩行者優先を守ってほしい。 ・物を勝手にとらないでほしい。
	地域社会との関わり(3件) <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人たちが参加できる祭りやイベントをもっと増やしてほしい。 ・できなかった行事などをたくさんやって、地域の人たちと交流をして仲良くなったりしたい。 ・外国籍の方が増えてきており、グローバルなところがこのまちの特色だと思う。学校で丁寧に英語を教えて、交流しやすくすると良い。
	社会インフラへの要望(4件) <ul style="list-style-type: none"> ・道路が凸凹だから整備してほしい。 ・娯楽施設がとても少ないのでつくってほしい。 ・異臭がするところがあるので改善してほしい。 ・中学生や高校生が気軽に寄れる飲食店がほしい。
子どもの意見の反映	相談できる環境の整備(4件) <ul style="list-style-type: none"> ・差別などがあったら、相談させてほしい。 ・学校で嫌なことがなかったか、定期的に聞いてほしい。聞かれないと言にくい。 ・学校カウンセラーにもっと悩みを言いやすい環境にしてほしい。悩みが言いにくい。 ・いじめなどをもっと見つけてほしい。

<p>子どもの意見の反映（続き）</p>	<p>子どもの居場所づくり(5件) 【主な意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・宿題や勉強ができるスペースをつくってほしい。 ・明るい雰囲気学習スポットがほしい。 ・落ち着いていられる場所がほしい。 </p> <hr/> <p>子どもの意見の反映(94件) 【主な意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意見も聞いてほしい。 ・（大人に対して）いつもありがとう。 ・大人の意見を押し付けないでほしい。 ・ゲームや余暇の時間がもっとほしい。 ・習い事をしたい。 ・大人ができないことを子どもに求めないでほしい。 ・できる人と比べないでほしい。 ・勉強を教えてほしい。 </p> <hr/> <p>地域の魅力・広報(5件) 【主な意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・岩倉市に魅力を持たせてほしい。 ・桜や山車、食べ物、自然の多さをもっと強くPRしてほしい。 ・岩倉の魅力を伝えるために、まずはホームページを少し変えてみてはどうか。 </p>
<p>行政</p>	<p>アンケートに関する意見(4件) 【主な意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートが長い。 ・こんなアンケートをとって何になるのか。 </p>
<p>その他</p>	<p>その他(3件) <ul style="list-style-type: none"> ・どの家も避難袋を用意するようにしてほしい。 ・まちの緑を増やしたり、生き物をもっと増やしてほしい。SDGsに貢献した取組みをしてほしい。 ・若者が希望を持てる社会にしてほしい。若者優位の政策がなさすぎる。 </p>

●子どもの権利についてのアンケート調査（保護者用）

58件の意見がありました。主な意見は次の通りです。

子育て支援の充実	<p>子育て支援・保育サービスの充実(4件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期の子育てについて相談できるところがほしい。 ・幼児期以降の子育てに関して、講座や学びの場があると良い。 ・施設利用の際に、子どもの権利に対して疑問に思う対応があった。 ・子どもの意見の尊重について、相談窓口の職員の知識のアップデートをしてほしい。
	<p>学校教育・制度に関すること(8件)</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内のおかしいルールは、時代とともに変更するべき。 ・希望者は自転車通学ができるようになると良い。 ・中学校を選択できるようにしてほしい。 ・個人の特技を活かした学校授業にしてほしい。市内の農家から仕入れた安全な給食にしてほしい。同調圧力を感じない環境にしてほしい。 ・小学校で部活動などの機会があると良い。
	<p>子育てに関する金銭的支援(11件)</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手当・補助の所得制限を無くしてほしい。 ・教育の無償化をしてほしい。 ・自治体による子育てに関する支援の差を無くしてほしい。 ・子どもが大きくなるにつれて金銭面で支えてあげられるか不安。 ・第三子の手当・補助で、子どものカウント方法により第三子としての恩恵が受けられなくなるのはおかしい。
仕事と子育ての両立	<p>仕事と子育ての両立(3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共働きは大変すぎる。 ・共働きで時間がないのに、PTA 役員をしなければならないことが困る。 ・仕事で子どもの寂しい思いに伝えられなかったことを後悔している。
子ども・子育てに関する環境の整備	<p>子ども・子育て環境の充実(6件)</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の規模を大きくして、本を増やしてほしい。 ・子どもたちが遊べる場所や運動できる場所を増やしてほしい。 ・子ども会でやっていた様な映画鑑賞会やイベントなどをしてほしい。
	<p>地域社会との関わり(4件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生のための未来寄合はとても有意義なので、次回開催される際にはより多くの中学生が参加できるようになると良い。 ・学校の登下校時に、ボランティアを増やして子どもを見守ってほしい。 ・市民体育祭の区対抗リレーの、各学年の代表選出を中止してほしい。 ・市から子どもたちへ、まちづくりや地域社会とのつながりを発信してもらえたい。

子ども・子育てに関する環境の整備（続き）	社会インフラへの要望（2件） <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの安全のためにも、街灯を増やしてほしい。 ・車の往来が多い道路に、信号機を設置してほしい。
	子育て観（9件） 【主な意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での良好な人間関係や親や周囲からの愛情が、子どもの心の豊かさに影響を及ぼすと思う。 ・子ども自身が自分の身を守ったり、自分の意見を伝えられたりするような環境の整備や、教育を行うことが大切だと考える。また、子どもが他者の権利も尊重する意識を育てるのも大人の責任だと思う。 ・子どもの権利について、見本となる大人の言動が大事だと思う。 ・同じタイミングで同じ学びをしなくてはいけない。人と違うことを受け入れない。という同調圧力のなかで、子どもたちは個性を出せずにいると感じる。 ・子どもの生まれながらの才能を、親や教師、子ども自身が知ることで、悩みが減り、他者理解が進むのではないかと思う。 ・親の意見を子どもに伝えたいが、なかなかできずもどかしい。
子どもの意見の反映	相談できる環境の整備（1件） <ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂やおしゃべりに行くだけの場所など、いざという時に子どもが相談しやすい場所があると良い。
	子どもの居場所づくり（2件） <ul style="list-style-type: none"> ・学習スペースが少ない。 ・生涯学習センターに、長期休暇中に使える学習部屋があると良い。
行政	地域の魅力・広報（1件） <ul style="list-style-type: none"> ・岩倉のまちが今よりも良い場所になり、高校生や大学生にも楽しめる場所・企画を発信できるようになれば良い。
その他	アンケートに関する意見（2件） <ul style="list-style-type: none"> ・このアンケートに子ども条例を添付してほしかった。 ・二次元コードでアンケートをとるなら、封筒は不要だと思う。
	その他（5件） <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが健やかで、健全に育っていけるよう市も努力や協力をしてほしい。 ・子どもも親も希望が持てる世の中になると良い。 ・新型コロナの影響で体験できなかった学年に、宿泊学習や職場体験などを受ける機会をつくってほしい。 ・将来の子どもたちに負の財産（借金）を残さない行政を行ってほしい。 ・「この行為・言動は子どもの権利侵害にあたる」という例を知りたい。

《調査依頼文・調査票》

調査票1) 子ども・子育て支援についてのアンケート調査

<p>◆ 回答する上での注意事項 ◆</p> <p>※この調査における教育・保育サービスとは、以下のサービスを指します。 家族・知人による預かりは含みません。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園 2. 保育園 3. 認定こども園 4. 小規模な保育施設 5. 家庭的保育(保育ママ) 6. 事業所内保育施設 7. 認可外保育施設 8. ベビーシッター/家政婦 9. ファミリー・サポート・センター </div> <p>※時間(時刻)を入力する場合は、24時間表記でご入力ください。 例: 午前7時 → 7時、午後6時 → 18時</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #cccccc;">用語の定義</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> * 子育てとは、 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援をいいます。 </td> </tr> <tr> <td> * 教育とは、 問13までは家庭での教育を含めた広い意味、問14からは幼児期の学校(幼稚園)における教育の意味で用いています。 </td> </tr> <tr> <td> * 幼稚園とは、 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設です。 </td> </tr> <tr> <td> * 保育園とは、 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設です。 </td> </tr> <tr> <td> * 認定こども園とは、 幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設です。認定こども園には、保護者が共働きや病气などのために、家庭で保育することができないお子さんを教育・保育する「保育部」と、満3歳以上の幼児に対して、小学校に入学するまでの就学前教育を行う「教育部」があります。 </td> </tr> <tr> <td> * 幼稚園等の預かり保育とは、 幼稚園及び認定こども園の教育部において、教育時間の前後や土曜、日曜、長期休業期間中に、保護者の希望に応じて、通常の就園時間を延長してお子さんを預かる事業です。 </td> </tr> <tr> <td> * 小規模な保育施設とは、 国が定める最低基準に適合し、市町村の認可を受けた、定員がおおむね6～19人の施設です。 </td> </tr> <tr> <td> * 家庭的保育(保育ママ)とは、 保育園等と連携しながら保育者(保育ママ)の居宅等で少人数の乳幼児を保育する制度です。保育者や実施場所は市町村の認可を受けて行います。 </td> </tr> <tr> <td> * 事業所内保育施設とは、 企業や病院などにおいて、その従業員の乳幼児を保育する施設で、児童福祉法に基づく児童福祉施設として市長の認可を受けている認可保育施設です。 </td> </tr> <tr> <td> * 認可外保育施設とは、 乳幼児を保育することを目的とする施設で、児童福祉法に基づく児童福祉施設として県知事の認可を受けていない施設を総称したものです。事業所内保育施設以外の託児所やベビーホテル、臨時に設置された一時預かり等です。 </td> </tr> <tr> <td> * ファミリー・サポート・センターとは、 育児の手助けができる人(援助会員)と育児の手助けが必要な人(支援会員)を登録し、依頼員からの依頼に応じて援助会員を紹介するものです。 </td> </tr> </tbody> </table>	用語の定義	* 子育てとは、 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援をいいます。	* 教育とは、 問13までは家庭での教育を含めた広い意味、問14からは幼児期の学校(幼稚園)における教育の意味で用いています。	* 幼稚園とは、 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設です。	* 保育園とは、 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設です。	* 認定こども園とは、 幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設です。認定こども園には、保護者が共働きや病气などのために、家庭で保育することができないお子さんを教育・保育する「保育部」と、満3歳以上の幼児に対して、小学校に入学するまでの就学前教育を行う「教育部」があります。	* 幼稚園等の預かり保育とは、 幼稚園及び認定こども園の教育部において、教育時間の前後や土曜、日曜、長期休業期間中に、保護者の希望に応じて、通常の就園時間を延長してお子さんを預かる事業です。	* 小規模な保育施設とは、 国が定める最低基準に適合し、市町村の認可を受けた、定員がおおむね6～19人の施設です。	* 家庭的保育(保育ママ)とは、 保育園等と連携しながら保育者(保育ママ)の居宅等で少人数の乳幼児を保育する制度です。保育者や実施場所は市町村の認可を受けて行います。	* 事業所内保育施設とは、 企業や病院などにおいて、その従業員の乳幼児を保育する施設で、児童福祉法に基づく児童福祉施設として市長の認可を受けている認可保育施設です。	* 認可外保育施設とは、 乳幼児を保育することを目的とする施設で、児童福祉法に基づく児童福祉施設として県知事の認可を受けていない施設を総称したものです。事業所内保育施設以外の託児所やベビーホテル、臨時に設置された一時預かり等です。	* ファミリー・サポート・センターとは、 育児の手助けができる人(援助会員)と育児の手助けが必要な人(支援会員)を登録し、依頼員からの依頼に応じて援助会員を紹介するものです。
用語の定義													
* 子育てとは、 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援をいいます。													
* 教育とは、 問13までは家庭での教育を含めた広い意味、問14からは幼児期の学校(幼稚園)における教育の意味で用いています。													
* 幼稚園とは、 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設です。													
* 保育園とは、 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設です。													
* 認定こども園とは、 幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設です。認定こども園には、保護者が共働きや病气などのために、家庭で保育することができないお子さんを教育・保育する「保育部」と、満3歳以上の幼児に対して、小学校に入学するまでの就学前教育を行う「教育部」があります。													
* 幼稚園等の預かり保育とは、 幼稚園及び認定こども園の教育部において、教育時間の前後や土曜、日曜、長期休業期間中に、保護者の希望に応じて、通常の就園時間を延長してお子さんを預かる事業です。													
* 小規模な保育施設とは、 国が定める最低基準に適合し、市町村の認可を受けた、定員がおおむね6～19人の施設です。													
* 家庭的保育(保育ママ)とは、 保育園等と連携しながら保育者(保育ママ)の居宅等で少人数の乳幼児を保育する制度です。保育者や実施場所は市町村の認可を受けて行います。													
* 事業所内保育施設とは、 企業や病院などにおいて、その従業員の乳幼児を保育する施設で、児童福祉法に基づく児童福祉施設として市長の認可を受けている認可保育施設です。													
* 認可外保育施設とは、 乳幼児を保育することを目的とする施設で、児童福祉法に基づく児童福祉施設として県知事の認可を受けていない施設を総称したものです。事業所内保育施設以外の託児所やベビーホテル、臨時に設置された一時預かり等です。													
* ファミリー・サポート・センターとは、 育児の手助けができる人(援助会員)と育児の手助けが必要な人(支援会員)を登録し、依頼員からの依頼に応じて援助会員を紹介するものです。													

子ども・子育て支援についてのアンケート調査

■ アンケート調査ご協力をお願い

日頃より岩倉市の市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
 本市では、平成20年に「岩倉市子ども条例」を制定し、平成24年度には「岩倉市子ども行動計画」を策定するなど、子どもの権利を大切に、子どもが安心して暮らすことができまわつくりを推進しています。
 また、令和元年度には、令和2年度から令和6年度までを計画期間とする「第2期岩倉市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、この計画に基づいて子育て支援のための施策を実施しており、現在、第3期計画の策定に向けた準備を進めています。
 そこで、市民の皆さまの幼児期の学校教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」などを把握し、第3期計画を策定するにあたっての基礎資料として活用するために、アンケート調査を実施することになりました。
 この調査は、0歳児から5歳児のお子さまのいる保護者の皆さまに、ご協力をお願いしています。
 回答いただいた内容は、市や国、県の子ども・子育て支援施策の検討みに利用し、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたりすることは一切ございません。
 つましましては、ご多忙のところ大変申し訳ありませんが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年11月
 岩倉市長 久保田 桂朗

- ご回答にあたってのお願い
1. 就学前のお子さんで、かつ年齢が一番上のお子さんに関してお答えください。
 2. 就学前の弟や妹がいる場合には、調査のご案内が郵送もしくは保育園や認定こども園、幼稚園を通じて複数送られる可能性がありますが、いずれか1つにお答えください。
 3. 回答は、「あてはまる番号を選択する場合」と「数字などを入力する場合」があります。設問によって、回答する数が異なります。また、「その他」を選択した場合は、具体的な内容を記入してください。
 4. 設問によっては回答いただく方が限定される場合があります。設問の順番が飛び込む場合がありますが、そのままお進みください。
 5. 調査の回答は、**12月11日(月)まで**にお願いします。
 6. 通信環境がないなど、回答できない場合は下記までご連絡ください。
 回答はこちらから → 

調査に関する問合先：岩倉市役所 教育子ども未来部 子育て支援課 担当：山田、大島
 電話：0587-38-5810(直通) FAX:0587-66-6380

※ 就学児対象の調査も実施していますので、就学児調査のご案内が届いた方はご協力をお願いします。

問14に関連して

《定期的な教育・保育事業について》

- 保育園：国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のものを指します。
- 小規模な保育施設：国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた、定員がおおむね6～19人のものを指します。
- 認定こども園：幼稚園と保育園の機能を併せ持つ施設です。
- 認定こども園には、保護者が共働きや病欠などのために、家庭で保育することができないお子さんを教育・保育する「保育園」と、満3歳以上の幼児に対して、小学校に入学するまでの就学前教育を行う「教育部」があります。
- 家庭内保育（保育ママ）：保育者の家庭等で5人以下の子どもの子を保育する事業です。
- 事業所内保育施設：企業・病院等が主に従業員用に運営する施設です。
- 居宅訪問型保育：ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業です。
- 認可外保育施設：児童福祉施設として県知事の認可を受けていない施設です。
- 幼稚園：通常の就園時間での利用を指します。
- 幼稚園等の預かり保育：幼稚園、認定こども園の教育部において通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみを指します。
- ファミリー・サポート・センター：地域住民が子どもを預かる事業です。

問18に関連して

《地域の子育て支援事業の利用状況と利用意向について》

- 地域子育て支援拠点事業：親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、岩倉市では市民プラザ2階に「子育て支援センター」を設置しています。

問20に関連して

《不定期の教育・保育事業について》

- 一時預かり：保育園などで一時的に子どもを保育する事業です。
- 幼稚園等の預かり保育：通常の就園時間を延長して預かる事業を、不定期に利用する場合は指します。
- ファミリー・サポート・センター：地域住民が子どもを預かる事業です。
- 短時間生活支援事業（ショートステイ）：児童福祉施設等で一定期間、子どもを保護する事業です。
- 夜間聴講等事業（トワイライトステイ）：児童福祉施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業です。

問23に関連して

《放課後児童クラブについて》

- 放課後児童クラブ：岩倉市では学童保育とも呼ばれています。保護者が働労等により暑假期間こい場合などに、放課後児童支援員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。事業を利用するには、一定の利用料がかかります。
- 放課後子ども教室：地域の方々の協力を得て、小学校で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労に関わらず、すべての小学生が利用できるものです。岩倉市では現在土曜日の午前中に実施していますが、平日も実施された場合を想定して回答してください。

《1. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について》

問1 お住まいの地区を教えてください(あてはまるもの1つ)。

1. 岩倉北小学校区
2. 岩倉南小学校区
3. 岩倉東小学校区
4. 五条川小学校区
5. 曾野小学校区
6. わからない

問2 すべての就学前(小学生未満)のお子さん(宛名のお子さんを含む)の生年月月を下記入力ください。4人以上いる場合はスペースにご記入ください。

※以下、就学前のお子さんのうち1人目を「宛名のお子さん」といいます。

宛名のお子さん(1人目)	平成・令和	年	[]	年	[]	月生まれ
2人目	平成・令和	[]	年	[]	[]	月生まれ
3人目	平成・令和	[]	年	[]	[]	月生まれ
4人目以上						

(参考:西暦・和暦対照表)

和暦	平成 29年	平成 30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
西暦	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみられた関係でお答えください(あてはまるもの1つ)。

1. 母親
2. 父親
3. その他 ([])

問4 宛名のお子さんの母親または父親に配偶者はいますか(あてはまるもの1つ)。

1. 配偶者がいる
2. 配偶者がいない

問5 宛名のお子さんの子育て(日常的な身の回りの世話や教育など)を主にしているのはどなたですか。お子さんからみられた関係でお答えください(あてはまるもの1つ)。

1. 父母ともに ⇒ 問6へ

2. 主に母親 ⇒ 問6へ

3. 主に父親 ⇒ 問6へ

4. 主に祖父・祖母 ⇒ 問6へ

5. 主に兄弟姉妹 ⇒ 問5-1へ

6. その他 ([]) ⇒ 問6へ

問5で「5. 主に兄弟姉妹」と回答した方がいらっしゃいます。

問5-1 宛名のお子さんの子育てを主にしている兄弟姉妹の年齢をお答えください(数字でご記入ください)。

主に子育てを行っている兄弟姉妹の年齢 [] 歳

《2. 子どもの育ちをめぐる環境について》

問6 日頃、宛名のお子さんをおみてもらえる親族・知人はいますか。お子さんからみられた関係でお答えください(あてはまるものすべて)。

1. 日常的に祖父母等の親族のみでもらえる → 問6-1へ

2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族のみでもらえる

3. 日常的に子どもをおみてもらえる知人・友人がいる

4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをおみてもらえる知人・友人がいる → 問6-2へ

5. いずれもない → 問7へ

問6で「1.」または「2.」の親族のみでもらえる」と回答した方にかかいます。

問6-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらえている状況についてお答えください
(あてはまるものすべて)。

1. 特に問題はなく、安心して子どもをおみてもらえる

2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である

3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

4. 自分たち親の立場として、負担をにかけていることが心苦しい

5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある

問6で「3.」または「4.」の「子どもをおみてもらえる知人・友人がいる」と回答した方にかかいます。

問6-2 知人・友人にお子さんをみてもらえている状況についてお答えください
(あてはまるものすべて)。

1. 特に問題はなく、安心して子どもをおみてもらえる

2. 知人・友人の身体的負担が大きく心配である

3. 知人・友人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である

4. 自分たち親の立場として、負担をにかけていることが心苦しい

5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるが、少し不安がある

問7 子育てに関して、不安を感じることはありませんか(あてはまるもの1つ)。

1. よくある 3. あまりない

2. ときどきある 4. 全くない

問8 子育てをしていて、孤独感や孤立感を感じることはありませんか(あてはまるもの1つ)。

1. よくある 3. あまりない

2. ときどきある 4. 全くない

問9 子育てに関して、大変だと感じることはありませんか。また、大変だと感じることはどんなことですか(あてはまるものすべて)。

1. 大変だと思うことは特にない

2. 子育てによる身体の疲労が大きい

3. 子育てによる出費がかさむ

4. 自分の自由な時間が少ない

5. 夫婦で楽しむ時間が少ない

6. 子育てに時間がとれない

7. 仕事が十分にできない

8. 子育てが大変だと身近な人が理解してくれない

9. 自分の存在感が少ない

10. その他 (具体的に_____)

問10 子育てをすすめる上で気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか(あてはまるもの1つ)。

1. いる/ある ⇒問10-1へ 2. いない/ない ⇒問11へ

問10で「1. いる/ある」と回答した方にかかいます。

問10-1 子育てに関して気軽に相談できる先は誰(またはどこ)ですか(あてはまるものすべて)。

1. 祖父母等の親族

2. 友人や知人

3. 近所の人

4. 子育て支援施設 (子育て支援センター等)・NPO

5. 保健センターの保健師

6. お子さんが通っている保育園の保育士や幼稚園の教諭等

7. 児童館の児童厚生員

8. 民生委員・児童委員

9. かかりつけの医師

10. 岩倉市の子育て関連担当窓口

11. その他 (具体的に_____)

問11 あなたの世帯の現在の暮らし向きについて教えてください(あてはまるもの1つ)。

1. 大変ゆとりがある 4. やや苦しい

2. ややゆとりがある 5. 苦しい

3. 普通

《3. 宛名のお子さんの保護者の就労状況について》

問12 宛名のお子さんの母親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)を教えてください。
【父子家庭の場合、記入は不要(あてはまるもの1つを選び、該当する方は数字でご記入ください)】

1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度又は短時間勤務) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 ⇒ 1週あたりの平均就労日数 : [] 日 / 週
 ⇒ 1日あたりの平均就労時間 : [] 時間 / 日
 ⇒ 働いている日の平均的な家を出る時間 : [] 時頃 (時間は24時間表記)
 ⇒ 働いている日の平均的な帰宅時間 : [] 時頃 (時間は24時間表記)

2. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度) で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 ⇒ 1週あたりの平均就労日数 : [] 日 / 週
 ⇒ 1日あたりの平均就労時間 : [] 時間 / 日
 ⇒ 働いている日の平均的な家を出る時間 : [] 時頃 (時間は24時間表記)
 ⇒ 働いている日の平均的な帰宅時間 : [] 時頃 (時間は24時間表記)

3. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
 ⇒ 1週あたりの平均就労日数 : [] 日 / 週
 ⇒ 1日あたりの平均就労時間 : [] 時間 / 日
 ⇒ 働いている日の平均的な家を出る時間 : [] 時頃 (時間は24時間表記)
 ⇒ 働いている日の平均的な帰宅時間 : [] 時頃 (時間は24時間表記)

4. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
 ⇒ 1週あたりの平均就労日数 : [] 日 / 週
 ⇒ 1日あたりの平均就労時間 : [] 時間 / 日
 ⇒ 働いている日の平均的な家を出る時間 : [] 時頃 (時間は24時間表記)
 ⇒ 働いている日の平均的な帰宅時間 : [] 時頃 (時間は24時間表記)

■フルタイムでの就労へ転換したいという希望がありますか。
 ア. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 イ. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 ウ. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) の就労を続けることを希望
 エ. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) をやめて子育てや家事に専念したい

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ 問12-1へ
 6. これまで就労したことがない ⇒ 問12-1へ

問12で「5. 現在は就労していない」または「6. 就労したことがない」と回答した方にかかいます。

問12-1 就労したいという希望はありますか(あてはまるもの1つを選び、該当する方は数字でご記入ください)。

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが [] 歳になった頃に就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態

ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 イ. パートタイム、アルバイト等 (フルタイム以外)
 ⇒ 1週あたりの就労日数 [] 日
 ⇒ 1日あたりの就労時間 [] 時間

問13 宛名のお子さんの父親の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)を教えてください。
【母子家庭の場合、記入は不要(あてはまるもの1つを選び、該当する方は数字でご記入ください)】

1. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度又は短時間勤務) で就労しており、育休・介護休業中ではない
 ⇒ 1週あたりの平均就労日数 : [] 日 / 週
 ⇒ 1日あたりの平均就労時間 : [] 時間 / 日
 ⇒ 働いている日の平均的な家を出る時間 : [] 時頃 (時間は24時間表記)
 ⇒ 働いている日の平均的な帰宅時間 : [] 時頃 (時間は24時間表記)

2. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度) で就労しているが、育休・介護休業中である
 ⇒ 1週あたりの平均就労日数 : [] 日 / 週
 ⇒ 1日あたりの平均就労時間 : [] 時間 / 日
 ⇒ 働いている日の平均的な家を出る時間 : [] 時頃 (時間は24時間表記)
 ⇒ 働いている日の平均的な帰宅時間 : [] 時頃 (時間は24時間表記)

3. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) で就労しており、育休・介護休業中ではない
 ⇒ 1週あたりの平均就労日数 : [] 日 / 週
 ⇒ 1日あたりの平均就労時間 : [] 時間 / 日
 ⇒ 働いている日の平均的な家を出る時間 : [] 時頃 (時間は24時間表記)
 ⇒ 働いている日の平均的な帰宅時間 : [] 時頃 (時間は24時間表記)

4. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) で就労しているが、育休・介護休業中である
 ⇒ 1週あたりの平均就労日数 : [] 日 / 週
 ⇒ 1日あたりの平均就労時間 : [] 時間 / 日
 ⇒ 働いている日の平均的な家を出る時間 : [] 時頃 (時間は24時間表記)
 ⇒ 働いている日の平均的な帰宅時間 : [] 時頃 (時間は24時間表記)

■フルタイムでの就労へ転換したいという希望がありますか。
 ア. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
 イ. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
 ウ. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) の就労を続けることを希望
 エ. パート・アルバイト等 (フルタイム以外) をやめて子育てや家事に専念したい

5. 以前は就労していたが、現在は就労していない ⇒ 問13-1へ
 6. これまで就労したことがない ⇒ 問13-1へ

問13で「5. 現在は就労していない」または「6. 就労したことがない」と回答した方にかかいます。

問13-1 就労したいという希望はありますか(あてはまるもの1つを選び、該当する方は数字でご記入ください)。

1. 子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)
 2. 1年より先、一番下の子どもが [] 歳になった頃に就労したい
 3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい

希望する就労形態

ア. フルタイム (1週5日程度・1日8時間程度の就労)
 イ. パートタイム、アルバイト等 (フルタイム以外)
 ⇒ 1週あたりの就労日数 [] 日
 ⇒ 1日あたりの就労時間 [] 時間

《4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況等について》

◆ 就学前のお子さんすべて ◆

問14 就学前のお子さんの平日の「定期的な教育・保育事業」の現在の利用状況等についてお答えください(あてはまる番号すべてを選び、該当する方は利用状況などを数字で記入してください)。

※「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。

※ただし、一定の利用者負担が発生します。

※利用希望については、現在の利用の有無に関係なく、また、実際にサービスが利用可能な時間帯(例:保育園の開園時間)に関係なくお答えください。

※時間は、必ず「例」8時から18時のように24時間表記でお答えください。

※用語については後欄文に記載しておりますので、そちらをご参照ください。

問2でお答えいただいた就学前(小学生未満)のお子さん1人ずつについてうかがいます。記載にしたがって、現在の利用状況と来年度(2024年4月から2025年3月までの)利用意向をご回答ください。

1人目…①(1人目記入欄)へ

2人目…②(2人目記入欄)へ いない⇒ 問14 1へ

3人目…③(3人目記入欄)へ いない⇒ 問14 1へ

4人目以上の回答は省略させていただきます。

①宛名のお子さん(問2の1人目)の「定期的な教育・保育事業」の利用状況と利用意向(1)現在、利用している定期的な教育・保育事業(利用状況)(1～14)であてはまる番号すべて

1. 市内の公立保育園(中部、北部、南部、東部、西部、仙奈、下幸の各保育園)

2. 市内の私立保育園(こどもの森保育園)

3. 市内の私立保育園の小規模な保育施設(こどものまち保育園、ゆうか・さいち保育園)

4. 市内の認定こども園の保育部(岩倉北幼稚園・ゆうか幼稚園の保育部、曾野第二幼稚園子ども

の庭保育園のうち子ども園の部分)

5. 市内の幼稚園(岩倉幼稚園、曾野幼稚園)

6. 市内の認定こども園の保育部(岩倉北幼稚園・ゆうか幼稚園の保育部、曾野第二幼稚園子ども

の庭保育園のうち曾野第二幼稚園の部分)

7. 事業所内保育施設

8. 認可外保育施設

9. 市外の保育園、認定こども園の保育部・小規模な保育施設

10. 市外の幼稚園、認定こども園の教育部

11. その他(具体的に「 」日、1日あたり「 」時間「 」分

12. ファミリー・サポート・センター：現在の利用回数等 ■ 1週あたり「 」回、

13. その他(具体的に「 」日、1日あたり「 」時間「 」分

14. どれも利用していない

幼稚園、認定こども園の教育部で預かり保育を利用している方は、利用日数・時間等をご記入ください。

■ 1週あたり「 」日、1日あたり「 」時間「 」分

(2)来年度(2024年4月～2025年3月)に利用したい「定期的な教育・保育事業」(利用意向)

(1～16)であてはまる番号すべて

※2024年4月から小学校に入学するお子さんの場合は、2024年3月までの利用についてお答えください。

1. 市内の公立保育園(中部、北部、南部、東部、西部、仙奈、下幸の各保育園)

2. 市内の私立保育園(こどもの森保育園)

3. 市内の私立保育園の小規模な保育施設(こどものまち保育園、ゆうか・さいち保育園)

4. 市内の認定こども園の保育部(岩倉北幼稚園・ゆうか幼稚園の保育部、曾野第二幼稚園子ども

の庭保育園のうち子ども園の部分)

5. 市内の幼稚園(岩倉幼稚園、曾野幼稚園)

6. 市内の認定こども園の保育部(岩倉北幼稚園・ゆうか幼稚園の保育部、曾野第二幼稚園子ども

の庭保育園のうち曾野第二幼稚園の部分)

7. 所定訪問型保育

8. 家庭的保育(保育ママ)

9. 事業所内保育施設

10. 認可外保育施設

11. 市外の保育園、認定こども園の教育部

12. 市外の幼稚園、認定こども園の教育部

13. その他(具体的に「 」日、1日あたり「 」時間「 」分

14. ファミリー・サポート・センター：希望する利用回数等 ■ 1週あたり「 」回、

15. その他(具体的に「 」日、1日あたり「 」時間「 」分

16. どれも利用しない

幼稚園、認定こども園の教育部で預かり保育を利用希望の方は、希望日数・時間等をご記入ください。

■ 1週あたり「 」日、1日あたり「 」時間「 」分

6

②2人目のお子さん(問2の2人目)の「定期的な教育・保育事業」の利用状況と利用意向

(1)現在、利用している定期的な教育・保育事業(利用状況)〔1～14〕では、番号すべて

1. 市内の公立保育園 (中部、北部、南部、東部、西部、仙奈、下寺の各保育園)
 2. 市内の私立保育園 (こどもの森保育園)
 3. 市内の私立保育園の小規模な保育施設 (こどものまち保育園、ゆうか・さいち保育室)
 4. 市内の認定こども園の保育部 (岩倉北幼稚園・ゆうか幼稚園の保育部、曾野第二幼稚園子どもの庭保育園のうち子ども園の保育部)
 5. 市内の幼稚園 (岩倉幼稚園、曾野幼稚園)
 6. 市内の認定こども園の教育部 (岩倉北幼稚園・ゆうか幼稚園の教育部、曾野第二幼稚園子どもの庭保育園のうち曾野第二幼稚園の部分)
 7. 事業所内保育施設
 8. 認可外保育施設
 9. 市外の保育園、認定こども園の保育部・小規模な保育施設
 10. 市外の幼稚園、認定こども園の教育部
 11. その他 (具体的に)
 12. ファミリー・サポート・センター：現在の利用回数等 ■ 1週あたり [] 回、 [] 時間程度
 13. その他 (具体的に)
 14. どれも利用していない

→ (1～10.と回答した方)：現在の利用日数・時間等をご記入ください。
 ■ 1週あたり [] 日、1日あたり [] 時間 [] 分

11. 一時保育 (非定期型)：現在の利用日数 ■ 1か月あたり [] 日 [] 時 [] 分
 12. ファミリー・サポート・センター：現在の利用回数等 ■ 1週あたり [] 回、 [] 時間程度
 13. その他 (具体的に)
 14. どれも利用していない

幼稚園、認定こども園の教育部で預かり保育を利用している方は、利用日数・時間等をご記入ください。

■ 1週あたり [] 日、1日あたり [] 時間 [] 分

(2)来年度(2024年4月から小学校へ入学するお子さんの場合は、2024年3月)に利用したい「定期的な教育・保育事業」(利用意向)

(1～16)では、番号すべて

※2024年4月から小学校へ入学するお子さんの場合は、2024年3月までの利用についてお答えください。

1. 市内の公立保育園 (中部、北部、南部、東部、西部、仙奈、下寺の各保育園)
 2. 市内の私立保育園 (こどもの森保育園)
 3. 市内の私立保育園の小規模な保育施設 (こどものまち保育園、ゆうか・さいち保育室)
 4. 市内の認定こども園の保育部 (岩倉北幼稚園・ゆうか幼稚園の保育部、曾野第二幼稚園子どもの庭保育園のうち子ども園の保育部)
 5. 市内の幼稚園 (岩倉幼稚園、曾野幼稚園)
 6. 市内の認定こども園の教育部 (岩倉北幼稚園・ゆうか幼稚園の教育部、曾野第二幼稚園子どもの庭保育園のうち曾野第二幼稚園の部分)
 7. 居宅訪問型保育
 8. 家庭的保育 (保育ママ)
 9. 事業所内保育施設
 10. 認可外保育施設
 11. 市外の保育園、認定こども園の保育部・小規模な保育施設
 12. 市外の幼稚園、認定こども園の教育部
 13. その他 (具体的に)
 14. ファミリー・サポート・センター：希望する利用回数等 ■ 1週あたり [] 回、 [] 時間程度
 15. その他 (具体的に)
 16. どれも利用しない

(1～12.と回答した方)：希望する利用日数・時間等をご記入ください。
 ■ 1週あたり [] 日、1日あたり [] 時間 [] 分

13. 一時保育 (非定期型)：希望する利用日数 ■ 1か月あたり [] 日 [] 時 [] 分
 14. ファミリー・サポート・センター：希望する利用回数等 ■ 1週あたり [] 回、 [] 時間程度
 15. その他 (具体的に)
 16. どれも利用しない

幼稚園、認定こども園の教育部で預かり保育を利用希望の方は、希望日数・時間等をご記入ください。

■ 1週あたり [] 日、1日あたり [] 時間 [] 分

③3人目のお子さん(問2の3人目)の「定期的な教育・保育事業」の利用状況と利用意向

(1)現在、利用している定期的な教育・保育事業(利用状況)〔1～14〕では、番号すべて

1. 市内の公立保育園 (中部、北部、南部、東部、西部、仙奈、下寺の各保育園)
 2. 市内の私立保育園 (こどもの森保育園)
 3. 市内の私立保育園の小規模な保育施設 (こどものまち保育園、ゆうか・さいち保育室)
 4. 市内の認定こども園の保育部 (岩倉北幼稚園・ゆうか幼稚園の保育部、曾野第二幼稚園子どもの庭保育園のうち子ども園の保育部)
 5. 市内の幼稚園 (岩倉幼稚園、曾野幼稚園)
 6. 市内の認定こども園の教育部 (岩倉北幼稚園・ゆうか幼稚園の教育部、曾野第二幼稚園子どもの庭保育園のうち曾野第二幼稚園の部分)
 7. 事業所内保育施設
 8. 認可外保育施設
 9. 市外の保育園、認定こども園の保育部・小規模な保育施設
 10. 市外の幼稚園、認定こども園の教育部
 11. その他 (具体的に)
 12. ファミリー・サポート・センター：現在の利用回数等 ■ 1週あたり [] 回、 [] 時間程度
 13. その他 (具体的に)
 14. どれも利用していない

→ (1～10.と回答した方)：現在の利用日数・時間等をご記入ください。
 ■ 1週あたり [] 日、1日あたり [] 時間 [] 分

11. 一時保育 (非定期型)：現在の利用日数 ■ 1か月あたり [] 日 [] 時 [] 分
 12. ファミリー・サポート・センター：現在の利用回数等 ■ 1週あたり [] 回、 [] 時間程度
 13. その他 (具体的に)
 14. どれも利用していない

幼稚園、認定こども園の教育部で預かり保育を利用している方は、利用日数・時間等をご記入ください。

■ 1週あたり [] 日、1日あたり [] 時間 [] 分

(2)来年度(2024年4月～2025年3月)に利用したい「定期的な教育・保育事業」(利用意向)

(1～16)では、番号すべて

※2024年4月から小学校へ入学するお子さんの場合は、2024年3月までの利用についてお答えください。

1. 市内の公立保育園 (中部、北部、南部、東部、西部、仙奈、下寺の各保育園)
 2. 市内の私立保育園 (こどもの森保育園)
 3. 市内の私立保育園の小規模な保育施設 (こどものまち保育園、ゆうか・さいち保育室)
 4. 市内の認定こども園の保育部 (岩倉北幼稚園・ゆうか幼稚園の保育部、曾野第二幼稚園子どもの庭保育園のうち子ども園の保育部)
 5. 市内の幼稚園 (岩倉幼稚園、曾野幼稚園)
 6. 市内の認定こども園の教育部 (岩倉北幼稚園・ゆうか幼稚園の教育部、曾野第二幼稚園子どもの庭保育園のうち曾野第二幼稚園の部分)
 7. 居宅訪問型保育
 8. 家庭的保育 (保育ママ)
 9. 事業所内保育施設
 10. 認可外保育施設
 11. 市外の保育園、認定こども園の保育部・小規模な保育施設
 12. 市外の幼稚園、認定こども園の教育部
 13. その他 (具体的に)
 14. ファミリー・サポート・センター：希望する利用回数等 ■ 1週あたり [] 回、 [] 時間程度
 15. その他 (具体的に)
 16. どれも利用しない

(1～12.と回答した方)：希望する利用日数・時間等をご記入ください。
 ■ 1週あたり [] 日、1日あたり [] 時間 [] 分

13. 一時保育 (非定期型)：希望する利用日数 ■ 1か月あたり [] 日 [] 時 [] 分
 14. ファミリー・サポート・センター：希望する利用回数等 ■ 1週あたり [] 回、 [] 時間程度
 15. その他 (具体的に)
 16. どれも利用しない

幼稚園、認定こども園の教育部で預かり保育を利用希望の方は、希望日数・時間等をご記入ください。

■ 1週あたり [] 日、1日あたり [] 時間 [] 分

問14の(1)で就学前のお子さんが1人でも、幼稚園や保育園などの教育・保育の事業を平日に定期的に利用している方(「1.」～「10.」と回答した方)にうかがいます。

問14-1 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由は何ですか(あてはまるものすべて)。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て(教育を含む)をしている者が現在就労している
3. 子育て(教育を含む)をしている者が就労予定である/求職中である
4. 子育て(教育を含む)をしている者が家族・親戚などを介してしている
5. 子育て(教育を含む)をしている者が病気や障害がある
6. 子育て(教育を含む)をしている者が学生である
7. その他(具体的に_____)

問14の(1)で就学前のお子さんが1人でも、幼稚園・認定こども園の教育部を利用していると回答した方(「5.」～「10.」と回答した方)にうかがいます。

問14-2 特に幼稚園等(幼稚園等の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用をどの程度希望しますか(あてはまるもの1つ)。

1. 幼稚園の利用を強く希望する
2. できれば幼稚園を利用したい
3. 必ずしも幼稚園でなくてもよい
4. わからない

問14の(1)で、就学前のお子さん全員が幼稚園や保育園などの「平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない」方(「14.」どれも利用していない)と回答した方)にうかがいます。

問14-3 平日に定期的に教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか(あてはまるものすべて)。

1. 子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がなっている
3. 近所の人や父母の友人・知人がなっている
4. 利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため(「_____」歳くらいになったら利用しようと考えている)
9. その他(具体的に_____)

《5. 宛名のお子さんの病気の際の対応について》
◆ 平日の教育・保育を利用する方のみ

問14の(1)で、平日の「定期的な教育・保育の事業」を利用している方(「1.」～「13.」と回答した方)にうかがいます。利用していない方は、問16にお進みください。

問15 この1年間(2022年11月から2023年10月まで)に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはいくらありますか(あてはまるもの1つ)。

1. あった ⇒ 問15-1へ
2. なかった ⇒ 問16へ

問15で「1. あった」と回答した方にうかがいます。

問15-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間(2022年11月から2023年10月まで)に行った対処方法を教えてください(あてはまるもの1つを選び、該当する方は数字でご記入ください)。

(1)1年間の対処方法	(2)日数
1. 父親が休んだ	1年間で [] 日
2. 母親が休んだ	1年間で [] 日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	1年間で [] 日
4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた	1年間で [] 日
5. 病児・病後児保育を利用した	1年間で [] 日
6. ベビーシッター/家政婦を利用した	1年間で [] 日
7. ファミリー・サポーター・センターを利用した	1年間で [] 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1年間で [] 日
9. その他(具体的に_____)	1年間で [] 日

問15-1で「1. 父親が休んだ」または「2. 母親が休んだ」のいずれかと回答した方にうかがいます。

問15-2 お子さんが病気やけがのときに、病児・病後児のための保育施設等を利用しなかったのはなぜですか(あてはまるものすべて)。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にはかかりつけ医の受診が必要となります。

1. 利用しなかったが、満員で利用できなかった
2. 利用しなかったが、利用条件が合わなかった
3. 利用しなかったが、施設や手続方法がわからなかった
4. 利用しなかったが、子どもの症状が重かった
5. 病児・病後児保育制度を知らなかった
6. 病児・病後児保育施設を利用したいと思わなかった ⇒ 問15-4へ

⇒ 問15-3へ

問15-2で「1.」から「5.」のいずれかと回答した方にかかっています。

問15-3 今後、病児・病後児のための保育施設等を利用する場合、どの程度の日数の利用か想定されますか(数字で記入してください)。
 ※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

病児・病後児保育施設の利用が想定される日数 1年間で「」日

問15-2で「6. 病児・病後児保育施設を利用したいと思わなかった」と回答した方にかかっています。

問15-4 あなたが、利用したいと思わなかった理由は何か(あてはまるものすべて)。

1. 病児・病後児を他人に看てもらおうのは不安
2. 事業の質に不安がある
3. 事業の利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 親が仕事を休んで対応したい
6. その他(具体的に)

《6. 宛名のお子さんの土曜日・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について》

問16 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望がありますか(一時的な利用は除きます)(あてはまるものを1つ選び、該当する方は数字で記入してください)。

- ※時間は、必ず(例)8時から18時のように24時間表記でお答えください。
- ※定期的な教育・保育事業とは、幼稚園、保育園、認定こども園、認可外保育施設などを指しますが、親族・知人による預かりは含みません。
- ※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1)土曜日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯
「」時から「」時まで

(2)日曜日・祝日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1～2回は利用したい

利用したい時間帯
「」時から「」時まで

問14の(1)で「5. 幼稚園」または「6. 認定こども園の教育部」を利用されている方にかかっています。

問17 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか(あてはまるものを1つ選び、該当する方は数字で記入してください)。

- ※時間は、必ず(例)8時から18時のように24時間表記でお答えください。
- ※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数日利用したい

利用したい日数
1週間あたり「」日

利用したい時間帯
「」時から「」時まで

《7. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況と利用意向について》

問18 宛名のお子さんは現在、地域子育て支援拠点事業などを利用していますか(あてはまるものすべてを選び、この1年間(2022年11月から2023年10月まで)のおよその利用回数を数字でご記入ください)。
※用語については依頼文に記載しておりますので、そちらをご参照ください。

(1)事業(施設)	(2)利用頻度
1. 地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)	1年間に〔 〕回程度
2. 生涯学習センターの子供ルーム	1年間に〔 〕回程度
3. さくらの家の子どもルーム	1年間に〔 〕回程度
4. 地域交流センター・児童館	1年間に〔 〕回程度
5. その他(具体的に)	1年間に〔 〕回程度
6. 利用していない	

問19 問18のような地域子育て支援拠点事業などを、今後は(または、今後も継続して)利用したいと思えますか(あてはまるものすべてを選び、該当する方は数字でご記入ください)。
※現在利用している方も、継続して利用する意向がある場合は、今後の利用頻度を必ずお答えください。

(1)事業(施設)	(2)利用頻度
1. 地域子育て支援拠点事業(子育て支援センター)	1年間に〔 〕回程度
2. 生涯学習センターの子供ルーム	1年間に〔 〕回程度
3. さくらの家の子どもルーム	1年間に〔 〕回程度
4. 地域交流センター・児童館	1年間に〔 〕回程度
5. その他(具体的に)	1年間に〔 〕回程度
6. 新たに利用したり、利用回数を増やしたりしたいと思わない	

《8. 宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について》

問20 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用や親の通院、不定期就労等の目的で不定期に利用している教育・保育事業はありますか(あてはまるものすべてを選び、この1年間(2022年11月から2023年10月まで)のおおよその利用日数を数字でご記入ください)。
※用語については依頼文に記載しておりますので、そちらをご参照ください。

(1)事業	(2)日数
1. 一時預かり(一時保育、リフレッシュ保育)	1年間で〔 〕日
2. 幼稚園等の預かり保育	1年間で〔 〕日
3. ファミリー・サポート・センター	1年間で〔 〕日
4. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)	1年間で〔 〕日
5. 夜間養護等事業(トワイライトステイ)	1年間で〔 〕日
6. ベビーシッター・家政婦	1年間で〔 〕日
7. その他(具体的に)	1年間で〔 〕日
8. 利用していない	⇒問20-1へ

問20で「8. 利用していない」と回答した方にかかいます。

問20-1 現在利用していない理由は何ですか(あてはまるものすべて)。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 事業の質に不安がある
4. 事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかると高い
6. 自分が事業の対象者になるのかわからない
7. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
8. その他(具体的に)

問21 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい
 不定期の教育・保育事業を利用する必要があると思いますか(あてはまるものすべて
 を選び、該当する方は数字でご記入ください)。

*なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

(1)利用意向	(2)目的	(3)日数
1. 利用したい	1. 私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的 2. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等 3. 不定期の就労 4. その他(具体的に_____)	[]日 []日 []日 []日
2. 利用する必要はない		

問22 この1年間(2022年11月から2023年10月まで)に、宛名のお子さんについて、次の「ア、」から「エ、」の理由でショートステイ(短期入所生活援助事業・児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)を利用したいと思ったことがありますか。理由別に、泊数を数字でご記入ください。

1. 利用したいと思ったことがある	計 []泊
ア、冠婚葬祭	[]泊
イ、保護者や家族の育児疲れ・不安	[]泊
ウ、保護者や家族の病气	[]泊
エ、その他()	[]泊
2. 利用したいとは思わなかった	

《9. 宛名のお子さんの小学校入学後の放課後の過ごし方について》
 ◆宛名のお子さんが来年度(2024年4月)に小学校に入学する方のみ

宛名のお子さんが、来年度(2024年4月)に小学校に入学する方にかがいます。
 宛名のお子さんが来年度、小学校に入学する年齢でない方は、問24にお進みください。

問23 宛名のお子さんについて、来年度(2024年4月)に小学校へ入学したら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごす予定ですか(あてはまるものすべてを選び、1週間あたりの日数を数字でご記入ください)。

※時間は、必ず(例)18時まで、のように24時間表記でご記入ください。

※2024年度新学期から岩倉市全域で放課後児童クラブは小学校敷地内に移転が完了する予定です。放課後児童クラブを利用したい場合は「4.」を選択してください。

※用語については依頼文に記載しておりますので、そちらをご参照ください。

(1)過ごさせたい場所	(2)1週間あたりの日数
1. 自宅	1週間あたり []日くらい
2. 祖父母や友人・知人宅	1週間あたり []日くらい
3. 習い事(学習塾、スポーツクラブ、音楽教室など)	1週間あたり []日くらい
4. 放課後児童クラブ(学童保育)	1週間あたり []日くらい → 下校時から[]時まで
5. 児童館	1週間あたり []日くらい
6. 放課後子ども教室	1週間あたり []日くらい
7. ファミリー・サポーター・センター	1週間あたり []日くらい
8. その他(公民館、公園など)	1週間あたり []日くらい

《10. 育児休業など職場の両立支援制度について》

問24 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか(あてはまるもの1つを選び、理由の番号をご記入ください)。

母親(いずれかに○)	父親(いずれかに○)
1. 働いてなかった	1. 働いてなかった
2. 取得した(取得中である)	2. 取得した(取得中である)
3. 取得していない	3. 取得していない

取得していない理由(下の《選択肢》からあてはまる番号を選び、いくつでもご記入ください) [選択肢の番号:]

取得した(取得中である)理由(下の《選択肢》からあてはまる番号を選び、いくつでもご記入ください) [選択肢の番号:]

《選択肢》

- ① 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- ② 仕事が多かった
- ③ (産休後に)仕事に早く復帰したかった
- ④ 仕事に戻るのが難しかった
- ⑤ 昇給・昇格などが遅れそうだった
- ⑥ 収入減となり、経済的に苦しくなる
- ⑦ 保育園などに預けることができた
- ⑧ 配偶者が育児休業制度を利用した
- ⑨ 子育てや家事に専念するため退職した
- ⑩ 配偶者が専職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- ⑪ 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- ⑫ 育児休業を取得できなかった(就業規則に定めがなかった)
- ⑬ 育児休業を取得できることを知らなかった
- ⑭ その他(具体的に)

問24で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方にかがいます。

問24-1 育児休業取得後、職場に復帰しましたか(あてはまるもの1つ)。

母親	父親
問24-2 1. 育児休業取得後、職場に復帰した	問24-2 1. 育児休業取得後、職場に復帰した
問24-5 2. 現在も育児休業中である	問24-5 2. 現在も育児休業中である
問24-5 3. 育児休業中に離職した	問24-5 3. 育児休業中に離職した

問24-1で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にかがいます。

問24-2 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか(あてはまるもの1つ)。

※年度初めでの保育園入園を希望して、1月~2月頃復帰して一時的に保育園に入園した場合なども「1.」に当てはまります。

※また、年度初めでの入園を希望して復帰したが、実際には希望する保育園に入園できなかったという場合も「1.」を選択してください。

母親	父親
1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった	1. 年度初めの入園に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった	2. それ以外だった

問24-3 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか(数字でご記入ください)。

母親	父親
実際の取得期間 []歳 []か月	実際の取得期間 []歳 []か月
希望の取得期間 []歳 []か月	希望の取得期間 []歳 []か月

問24-4 お勤め先に、育児のために、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか(数字でご記入ください)。

母親	父親
[]歳 []か月	[]歳 []か月

問24-1で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にかがいます。

問24-5 復帰したいときに必ず利用できる事業があれば、宛名のお子さんが1歳・1歳半・2歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか(あてはまるもの1つ)。

母親	父親
1. 1歳になる前に復帰したい	1. 1歳になる前に復帰したい
2. 1歳になるまで育児休業を取得したい	2. 1歳になるまで育児休業を取得したい
3. 1歳半になるまで育児休業を取得したい	3. 1歳半になるまで育児休業を取得したい
4. 2歳になるまで育児休業を取得したい	4. 2歳になるまで育児休業を取得したい

調査にご協力いただき、ありがとうございます。

調査票2) お子さんの放課後の過ごし方についてのアンケート調査

<p>◆ 回答する上での注意事項 ◆</p> <p>※時間(時刻)を入力する場合は、24時間表記でご入力ください。 例: 午前7時 → 7時、午後6時 → 18時</p>
<p>用語の定義</p>
<p>*放課後児童クラブ(学童保育)とは、保護者が就労等により居宅家庭にいない場合などに、放課後児童支援員のもと、子どもの生活の場を提供するものです。利用にあたっては、一定の利用料がかかります。</p>
<p>*放課後子ども教室とは、岩倉市では、毎週土曜日の午前中に、市内のすべての小学校(5校)の体育館・図書室を利用して、子どもたちが安心して活動することができる「放課後子ども教室」を実施しています。放課後児童クラブとは異なり、保護者の方の就労状況に関係なく利用できます。</p>

お子さんの放課後の過ごし方についてのアンケート調査

■ アンケート調査ご協力をお願い ■

日頃より岩倉市の市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
本市では、共働き家庭等のお子さんを対象に小学校や児童館で「放課後児童クラブ(学童保育)」を行っています。また、毎週土曜日の午前中に、市内のすべての小学校(5校)の体育館・図書室を利用して、子どもたちが安心して活動することができます「放課後子ども教室」を実施しています。

この度、こうした事業を一層充実するために、「岩倉市子ども・子育て支援事業計画」の第3期計画を策定することになりました。この計画は、共働き家庭等を含めた本市のすべての児童が、放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、そのための事業目標や施設等の確保方策、放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的、または連携による事業実施の方策などを定めていくものです。

そこで、第3期計画を策定するにあたっての基礎資料として活用するために、アンケート調査を実施することになりました。この調査は、小学校1年生～5年生の就学児童がいるすべての保護者の皆さまを対象にしています。

回答いただいた内容は、市や町、県の子ども・子育て支援施策の検討のみを利用し、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にみられたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多忙のところ大変申し訳ありませんが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年11月
岩倉市長 久保田桂朗

- ご回答にあたってのお願い ■
1. 小学校に通っているお子さんが複数いる場合は、1回の回答で、それぞれのお子さんについてご回答ください。
 2. お子さんのお考えを踏まえながら、保護者の方がご回答ください
 3. 各設問とも、あてはまる番号を選択する場合がございます。設問によって、選択する数が異なります。「その他」を選択した場合には、具体的な内容を入力してください
 4. 調査の回答は12月11日(月)までお願いします。
 5. 通信簿がないなど、回答ができない場合は下記までご連絡ください。紙の調査票を送付します。
- 回答はこちらから →



調査に関する問合せ: 岩倉市役所 教育こども未来部 子育て支援課 担当: 山田、大島
電話: 0587-38-5810(直通) FAX: 0587-66-6380

※未就学児対象の調査も実施していますので、調査票が届いた方はご協力をお願いします。

《1. お子さんやご家族のことについて》

問1 小学生のおさんは何人いらっしゃいますか。(当てはまるもの1つ)。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人以上

問2 おさんの通っている小学校はどこですか(あてはまるもの1つ)。

1. 岩倉北小学校区 3. 岩倉東小学校区 5. 曾野小学校区
2. 岩倉南小学校区 4. 五条川小学校区

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のおさんからみられた関係でお答えください(当てはまるもの1つ)。

1. 母親 2. 父親 3. その他 ()

問4 宛名のおさんの母親または父親に配偶者はいますか(あてはまるもの1つ)。

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問5 同居している家族の中には、以下のような方がいますか(【A欄】のあてはまるものと、
また、「1. おさんの父親」や「2. おさんの母親」を回答した方は、おさんの父親や母親にあたる
人の放課後における状況についてお答えください(【B欄】)。

【A欄】同居している家族
(あてはまるものすべて)

1. おさんの父親 →
2. おさんの母親 →
3. おさんの兄弟姉妹
4. 同居している家族の中には、
1.～3.のような人ははいりません

【B欄】おさんの父親や母親は、平日の放課後(学校の授業が
終わった後の)時間帯に仕事をしており、おさん
のお世話ができないような状況にありますか。

1. そのような状況にある 2. そのような状況にはない
1. そのような状況にある 2. そのような状況にはない

問6 宛名のおさんの子育て(日間的な身の回りの世話や教育など)を主にしているのはどなたですか。
おさんからみられた関係でお答えください(あてはまるもの1つ)。

1. 父母ともに → 問7A 4. 主に祖父母 → 問7A
2. 主に母親 → 問7A 5. 主に兄弟姉妹 → 問6-1A
3. 主に父親 → 問7A 6. その他 () → 問7A

問6で5. 主に兄弟姉妹と回答した方にかがいます。

問6-1 宛名のおさんの子育てを主にしている兄弟姉妹の年齢をお答えください(数字を記入く
ださい)。

主に子育てを行っている兄弟姉妹の年齢 () 歳

問7 子育てをする上で気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか(あてはまるもの1つ)。

1. いる/ある → 問7-1A 2. いない/ない → 問8A

問7で1. いる/あると回答した方にかがいます。

問7-1 子育てに関して気軽に相談できる先は誰(またはどこ)ですか(あてはまるものすべて)。

1. 祖父母等の親族
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 子育て支援施設(子育て支援センター等)・NPO
5. 保健センターの保健師
6. おさんが通っている学校の教諭等
7. 児童館の児童厚生員
8. 民生委員・児童委員
9. かかりつけの医師
10. 若竹市の子育て関連担当窓口
11. その他(具体的に)

① 1人目のお子さんについてお答えください。(問8～問13)

《2. 平日の放課後の過ごし方について》

問8 お子さんの現在の学年についてご回答ください(あてはまるもの1つ)。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 1年生 | 3. 3年生 | 5. 5年生 |
| 2. 2年生 | 4. 4年生 | |

問9 あなたのお子さんは、平日の放課後(学校の授業が終わった後)は、主にどのように過ごしていますか(あてはまるもの3つまで)。

- | | |
|--|------------------------------------|
| 1. 放課後児童クラブ(学童保育)で過ごしている | 10. コンビニやショッピングセンターなどで過ごしている |
| 2. 保護者や祖父母等の家族(大人)と過ごしている | 11. 娯楽施設(映画館、ボウリング場)などで過ごしている |
| 3. 家で兄弟姉妹等の子どもだけで過ごしている | 12. 水泳や体操、サッカーや野球などのスポーツの習い事に行っている |
| 4. 家でひとりで過ごしている | 13. 学習塾や、英会話やピアノなどの習い事に行っている |
| 5. 友だちの家にいる | 14. その他() |
| 6. 公園や広場などの外で友達と遊んでいる | |
| 7. 学校のグラウンドで過ごしている | |
| 8. 図書館で過ごしている | |
| 9. 児童館や地域交流センター(みどりの家・くすのきの家・ボプラの家)等の公共施設で過ごしている | |

《3. 放課後児童クラブ(学童保育)の利用状況と利用意向等について》

問10 あなたのお子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。また、どの程度利用していますか(あてはまるもの1つ)。

- | | | |
|--------------------------|--------------------------------|------------|
| 1. 年間を通して放課後児童クラブを利用している | 2. 夏休み等(春休み、冬休みを含む)の期間のみ利用している | 3. 利用していない |
|--------------------------|--------------------------------|------------|

① 平日の週5日のうち、平均して何日間ぐらい放課後児童クラブを利用していますか。(あてはまるもの1つ)

- | | |
|----------|----------------|
| 1. 週1日程度 | 4. 週4日程度 |
| 2. 週2日程度 | 5. 週5日程度(ほぼ毎日) |
| 3. 週3日程度 | |

② 夏休み等の期間に放課後児童クラブをどの程度利用していますか。(あてはまるもの1つ)

- | | |
|----------|----------------|
| 1. 週1日程度 | 4. 週4日程度 |
| 2. 週2日程度 | 5. 週5日程度(ほぼ毎日) |
| 3. 週3日程度 | |

問11 あなたのお子さんは、2024年4月以降に、放課後児童クラブの利用を希望しますか。平日と土曜日と夏休み等のそれぞれの利用意向(A欄)と平日と夏休み等の利用頻度の意向(B欄)をご回答ください。

[A欄]: 利用意向の有無

[B欄]: 利用頻度の意向

- | 平日の利用意向 | 土曜日の利用意向 | 夏休み等の利用意向 |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 利用する、利用したい | 1. 利用する、利用したい | 1. 利用する、利用したい |
| 2. 利用しない | 2. 利用しない | 2. 利用しない |
| 3. わからない | 3. わからない | 3. わからない |

- | 平日(週5日のうち)の利用頻度の意向 | 夏休み等の週5日のうちの利用頻度の意向 |
|--------------------|---------------------|
| 1. 週1日程度 | 1. 週1日程度 |
| 2. 週2日程度 | 2. 週2日程度 |
| 3. 週3日程度 | 3. 週3日程度 |
| 4. 週4日程度 | 4. 週4日程度 |
| 5. 週5日程度(ほぼ毎日) | 5. 週5日程度(ほぼ毎日) |

《4. 放課後子ども教室の利用状況と今後の利用意向について》

問12 あなたのお子さんは、毎週土曜日の午前中に開催している「放課後子ども教室」を利用していますか
(あてはまるもの1つ)。

※2～5年生のお子さんについては、直近の1年間における利用状況をご回答ください。1年生のお子さんについては、これらの利用予定を基込んで利用状況をご回答ください。

1. おおむね毎週利用している
2. おおむね隔週で利用している
3. 月1回程度利用している
4. 3か月に1回程度利用している
5. 半年に1回程度利用している
6. 1年に1回程度利用している
7. ほとんど利用していない
8. これまで1回も利用したことがない

問13 放課後等の子どものための遊び場の提供や居場所として「放課後子ども教室」が平日や夏休み等にも開設されるようになつた場合、あなたのお子さんは、それを利用しようと思えますか。平日と土曜日と夏休み等のそれぞれの利用意向【A欄】と平日と夏休み等の利用頻度の意向【B欄】をご回答ください。

【A欄】:利用意向の有無

平日の利用意向	土曜日の利用意向	夏休み等の利用意向
1. 利用する、利用したい 2. 利用しない 3. わからない	1. 利用する、利用したい 2. 利用しない 3. わからない	1. 利用する、利用したい 2. 利用しない 3. わからない

【B欄】:利用頻度の意向

平日(週5日のうち)の利用頻度の意向	夏休み等の0週5日(うち)の利用頻度の意向
1. 週1日程度 2. 週2日程度 3. 週3日程度 4. 週4日程度 5. 週5日程度(ほぼ毎日)	1. 週1日程度 2. 週2日程度 3. 週3日程度 4. 週4日程度 5. 週5日程度(ほぼ毎日)



② 2人目のお子さんについてお答えください。(問14～問19)

(※問で2～4に回答した場合は、2人目～4人目それぞれに対してご回答ください)

《2. 平日の放課後の過ごし方について》

問14 お子さんの現在の学年についてご回答ください(あてはまるもの1つ)。

1. 1年生
2. 2年生
3. 3年生
4. 4年生
5. 5年生

問15 あなたのお子さんは、平日の放課後(学校の授業が終わった後)は、主にどのように過ごしていますか(あてはまるもの3つまで)。

1. 放課後児童クラブ(学童保育)で過ごしている
2. 保護者や祖父母等の家族・親族(大人)と過ごしている
3. 家で兄弟姉妹等の子どもだけで過ごしている
4. 家でひとりで過ごしている
5. 友だちの家にいる
6. 公園や広場などの外で友達と遊んでいる
7. 学校のグラウンドで過ごしている
8. 図書館で過ごしている
9. 児童館や地域交流センター(みどりの家・くすのきの家・ボプラの家)等の公共施設で過ごしている
10. コンビニやショッピングセンターなどで過ごしている
11. 娯楽施設(映画館、ボウリング場)などで過ごしている
12. 水泳や体操、サッカーや野球などのスポーツの習い事に行っている
13. 学習塾や、英会話やピアノなどに行っている
14. その他()

《3. 放課後児童クラブ(学童保育)の利用状況と利用意向等について》

問16 あなたのお子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。また、どの程度利用していますか(あてはまるもの1つ)。

1. 年間を通して放課後児童クラブを利用している	2. 夏休み等(春休み、冬休みを含む)の期間のみ利用している	3. 利用していない
--------------------------	--------------------------------	------------

①平日の週5日のうち、平均して何日間くらい放課後児童クラブを利用していますか。(あてはまるもの1つ)	②夏休み等の期間に放課後児童クラブをどの程度利用していますか。(あてはまるもの1つ)
1. 週1日程度 2. 週2日程度 3. 週3日程度 4. 週4日程度 5. 週5日程度 (ほぼ毎日)	1. 週1日程度 2. 週2日程度 3. 週3日程度 4. 週4日程度 5. 週5日程度 (ほぼ毎日)

問17 あなたのお子さんは、2024年4月以降に、放課後児童クラブの利用を希望しますか。平日と土曜日と夏休み等のそれぞれの利用意向[A欄]と平日と夏休み等の利用頻度の意向[B欄]をご回答ください。

【A欄】:利用意向の有無

平日の利用意向	土曜日の利用意向	夏休み等の利用意向
1. 利用する、利用したい 2. 利用しない 3. わからない	1. 利用する、利用したい 2. 利用しない 3. わからない	1. 利用する、利用したい 2. 利用しない 3. わからない

【B欄】:利用頻度の意向

平日(週5日のうち)の利用頻度の意向	夏休み等の(週5日のうち)の利用頻度の意向
1. 週1日程度 2. 週2日程度 3. 週3日程度 4. 週4日程度 5. 週5日程度 (ほぼ毎日)	1. 週1日程度 2. 週2日程度 3. 週3日程度 4. 週4日程度 5. 週5日程度 (ほぼ毎日)

《4. 放課後子ども教室の利用状況と今後の利用意向について》

問18 あなたのお子さんは、毎週土曜日の午前中に開催している「放課後子ども教室」を利用していますか(あてはまるもの1つ)。

※2～5年生のお子さんについては、直近の1年間における利用状況をご回答ください。1年生のお子さんについては、これからの利用予定を見込んで利用状況をご回答ください。

1. おおむね毎週利用している	5. 半年に1回程度利用している
2. おおむね隔週で利用している	6. 1年に1回程度利用している
3. 月1回程度利用している	7. ほとんど利用していない
4. 3か月に1回程度利用している	8. これまで1回も利用したことがない

問19 放課後等の子どものための遊び場の提供や居場所として「放課後子ども教室」が平日や夏休み等にも開設されるようになった場合、あなたのお子さんは、それを利用しようと思えますか。平日と土曜日と夏休み等のそれぞれの利用意向[A欄]と平日と夏休み等の利用頻度の意向[B欄]をご回答ください。

【A欄】:利用意向の有無

平日の利用意向	土曜日の利用意向	夏休み等の利用意向
1. 利用する、利用したい 2. 利用しない 3. わからない	1. 利用する、利用したい 2. 利用しない 3. わからない	1. 利用する、利用したい 2. 利用しない 3. わからない

【B欄】:利用頻度の意向

平日(週5日のうち)の利用頻度の意向	夏休み等の(週5日のうち)の利用頻度の意向
1. 週1日程度 2. 週2日程度 3. 週3日程度 4. 週4日程度 5. 週5日程度 (ほぼ毎日)	1. 週1日程度 2. 週2日程度 3. 週3日程度 4. 週4日程度 5. 週5日程度 (ほぼ毎日)

③ 3人目のお子さんについてお答えください。(問20～問25)

(※問1で2～4に回答した場合は、2人目～4人目それぞれに対してご回答ください)

《2. 平日の放課後の過ごし方について》

問20 お子さんの現在の学年についてご回答ください(あてはまるもの1つ)。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 1年生 | 3. 3年生 | 5. 5年生 |
| 2. 2年生 | 4. 4年生 | |

問21 あなたのお子さんは、平日の放課後(学校の授業が終わった後)は、主にどのように過ごしていますか(あてはまるもの3つまで)。

- | | |
|--|------------------------------------|
| 1. 放課後児童クラブ(学童保育)で過ごしている | 10. コンビニやショッピングセンターなどで過ごしている |
| 2. 保護者や祖父母等の家族(大人)と過ごしている | 11. 娯楽施設(映画館、ボウリング場)などで行っている |
| 3. 家で兄弟姉妹等の子どもだけで過ごしている | 12. 水泳や体操、サッカーや野球などのスポーツの習い事に行っている |
| 4. 家でひとり過ごしている | 13. 学習塾や、英会話やピアノなどの習い事に行っている |
| 5. 友だちの家にいる | 14. その他() |
| 6. 公園や広場などの外で友達と遊んでいる | |
| 7. 学校のグラウンドで過ごしている | |
| 8. 図書館で過ごしている | |
| 9. 児童館や地域交流センター(みどりの家・くすのきの家・ボブ라의家)等の公共施設で過ごしている | |

《3. 放課後児童クラブ(学童保育)の利用状況と利用意向等について》

問22 あなたのお子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。また、どの程度利用していますか(あてはまるもの1つ)。

- | | | |
|--------------------------|--------------------------------|------------|
| 1. 年間を通して放課後児童クラブを利用している | 2. 夏休み等(春休み、冬休みを含む)の期間のみ利用している | 3. 利用していない |
|--------------------------|--------------------------------|------------|

① 平日の週5日のうち、平均して何日間ぐらい放課後児童クラブを利用していますか。(あてはまるもの1つ)

- | | |
|----------|----------------|
| 1. 週1日程度 | 4. 週4日程度 |
| 2. 週2日程度 | 5. 週5日程度(ほぼ毎日) |
| 3. 週3日程度 | |

② 夏休み等の期間に放課後児童クラブをどの程度利用していますか。(あてはまるもの1つ)

- | | |
|----------|----------------|
| 1. 週1日程度 | 4. 週4日程度 |
| 2. 週2日程度 | 5. 週5日程度(ほぼ毎日) |
| 3. 週3日程度 | |

問23 あなたのお子さんは、2024年4月以降に、放課後児童クラブの利用を希望しますか。平日と土曜日と夏休み等のそれぞれの利用意向[A欄]と平日と夏休み等の利用頻度の意向[B欄]をご回答ください。

[A欄]:利用意向の有無

平日の利用意向	土曜日の利用意向	夏休み等の利用意向
1. 利用する、利用したい	1. 利用する、利用したい	1. 利用する、利用したい
2. 利用しない	2. 利用しない	2. 利用しない
3. わからない	3. わからない	3. わからない

[B欄]:利用頻度の意向

平日(週5日のうち)の利用頻度の意向	夏休み等の(週5日のうち)の利用頻度の意向
1. 週1日程度	1. 週1日程度
2. 週2日程度	2. 週2日程度
3. 週3日程度	3. 週3日程度
4. 週4日程度	4. 週4日程度
5. 週5日程度(ほぼ毎日)	5. 週5日程度(ほぼ毎日)

《4. 放課後子ども教室の利用状況と今後の利用意向について》

問24 あなたのお子さんは、毎週土曜日の午前中に開催している「放課後子ども教室」を利用していますか(あてはまるもの1つ)。

※2～5年生のお子さんについては、直近の1年間における利用状況をご回答ください。1年生のお子さんについては、これからの利用予定を見込んで利用状況をご回答ください。

1. おおむね毎週利用している
2. おおむね隔週で利用している
3. 月1回程度利用している
4. 3か月に1回程度利用している
5. 半年に1回程度利用している
6. 1年に1回程度利用している
7. ほとんど利用していない
8. これまで1回も利用したことがない

問25 放課後等の子どものための遊び場の提供や居場所として「放課後子ども教室」が平日や夏休み等にも開設されるようになった場合、あなたのお子さんは、それを利用しようと思えますか。平日と土曜日と夏休み等のそれぞれの利用意向[A欄]と平日と夏休み等の利用頻度の意向[B欄]をご回答ください。

【A欄】:利用意向の有無

平日の利用意向	土曜日の利用意向	夏休み等の利用意向
1. 利用する、利用したい	1. 利用する、利用したい	1. 利用する、利用したい
2. 利用しない	2. 利用しない	2. 利用しない
3. わからない	3. わからない	3. わからない

【B欄】:利用頻度の意向

平日(週5日のうち)の利用頻度の意向	夏休み等の(週5日のうち)の利用頻度の意向
1. 週1日程度	1. 週1日程度
2. 週2日程度	2. 週2日程度
3. 週3日程度	3. 週3日程度
4. 週4日程度	4. 週4日程度
5. 週5日程度(ほぼ毎日)	5. 週5日程度(ほぼ毎日)

④ 4人目のお子さんについてお答えください。(問26～問31)

(※問で2～4.に回答した場合は、2人目～4人目それぞれに対してご回答ください)

《2. 平日の放課後の過ごし方について》

問26 お子さんの現在の学年についてご回答ください(あてはまるもの1つ)。

1. 1年生
2. 2年生
3. 3年生
4. 4年生
5. 5年生

問27 あなたのお子さんは、平日の放課後(学校の授業が終わった後)は、主にどのようなように過ごしていますか(あてはまるもの3つまで)。

1. 放課後児童クラブ(学童保育)で過ごしている
2. 保護者や祖父母等の家族・親族(大人)と過ごしている
3. 家で兄弟姉妹等の子どもだけで過ごしている
4. 家でひとり過ごしている
5. 友だちの家にいる
6. 公園や広場などの外で友達と遊んでいる
7. 学校のグラウンドで過ごしている
8. 図書館で過ごしている
9. 児童館や地域交流センター(みどりの家・くすのきの家・ボプラの家)等の公共施設で過ごしている
10. コンビニやショッピングセンターなどで過ごしている
11. 娯楽施設(映画館、ボウリング場)などで過ごしている
12. 水泳や体操、サッカーや野球などのスポーツの習い事に行っている
13. 学習塾や、英会話やピアノなどの習い事に行っている
14. その他()

《3. 放課後児童クラブ(学童保育)の利用状況と利用意向等について》

問28 あなたのお子さんは、現在、放課後児童クラブを利用していますか。また、どの程度利用していますか(あてはまるもの1つ)。

1. 年間を通して放課後児童クラブを利用している
2. 夏休み等(春休み、冬休みを含む)の期間のみ利用している
3. 利用していない

①平日の週5日のうち、平均して何日間くらい放課後児童クラブを利用していますか。(あてはまるもの1つ)

1. 週1日程度	4. 週4日程度
2. 週2日程度	5. 週5日程度 (ほぼ毎日)
3. 週3日程度	

②夏休み等の期間に放課後児童クラブをどの程度利用していますか。(あてはまるもの1つ)

1. 週1日程度	4. 週4日程度
2. 週2日程度	5. 週5日程度 (ほぼ毎日)
3. 週3日程度	

問29 あなたのお子さんは、2024年4月以降に、放課後児童クラブの利用を希望しますか。平日と土日と夏休み等のそれぞれの利用意向(A欄)と平日と夏休み等の利用頻度の意向(B欄)をご回答ください。

【A欄】利用意向の有無

平日の利用意向	土曜日の利用意向	夏休み等の利用意向
4. 利用する、利用したい	4. 利用する、利用したい	4. 利用する、利用したい
5. 利用しない	5. 利用しない	5. 利用しない
6. わからない	6. わからない	6. わからない

【B欄】利用頻度の意向

平日(週5日のうち)の利用頻度の意向	夏休み等の(週5日のうち)の利用頻度の意向
6. 週1日程度	6. 週1日程度
7. 週2日程度	7. 週2日程度
8. 週3日程度	8. 週3日程度
9. 週4日程度	9. 週4日程度
10. 週5日程度 (ほぼ毎日)	10. 週5日程度 (ほぼ毎日)

《4. 放課後子ども教室の利用状況と今後の利用意向について》

問30 あなたのお子さんは、毎週土曜日の午前中に開催している「放課後子ども教室」を利用していますか(あてはまるもの1つ)。

※2～5年生のお子さんについては、直近の1年間における利用状況をご回答ください。1年生のお子さんについては、これからの利用予定を見込んで利用状況をご回答ください。

1. おおむね毎週利用している
2. おおむね隔週で利用している
3. 月1回程度利用している
4. 3か月に1回程度利用している
5. 半年に1回程度利用している
6. 1年に1回程度利用している
7. ほとんど利用していない
8. これまで1回も利用していない

問31 放課後等の子どものための遊び場の提供や居場所として「放課後子ども教室」が平日や夏休み等にも開設されるようになった場合、あなたのお子さんは、それを利用しようと思えますか。平日と土日と夏休み等のそれぞれの利用意向(A欄)と平日と夏休み等の利用頻度の意向(B欄)をご回答ください。

【A欄】利用意向の有無

平日の利用意向	土曜日の利用意向	夏休み等の利用意向
1. 利用する、利用したい	1. 利用する、利用したい	1. 利用する、利用したい
2. 利用しない	2. 利用しない	2. 利用しない
3. わからない	3. わからない	3. わからない

【B欄】利用頻度の意向

平日(週5日のうち)の利用頻度の意向	夏休み等の(週5日のうち)の利用頻度の意向
1. 週1日程度	1. 週1日程度
2. 週2日程度	2. 週2日程度
3. 週3日程度	3. 週3日程度
4. 週4日程度	4. 週4日程度
5. 週5日程度 (ほぼ毎日)	5. 週5日程度 (ほぼ毎日)

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

子ども用

子どもの権利についてのアンケート調査

岩倉市では、将来にわたって安心して子どもたちが暮らすことのできるまちを目指して、平成20年に「岩倉市子ども条例」（子どものために、子どもと周りの大人が大切にしなければいけないいきま）を制定しました。また、子どもが自分の意見を述べて参加することや、子どもの居場所づくりなど、子どもの権利を保障する岩倉市子ども行動計画をつくりに、計画にそって事業をすすめています。

このアンケートでは、みなさんが普段、どのような生活を送り、どのようなことを考えているのかをお聞きし、次の岩倉市子ども行動計画を作る資料にしたいと考えています。アンケートは、岩倉市に住んでいる小学校4年生、中学校2年生、高校2年生にあたる年齢のお子さんとその保護者の皆さまに対して行うものです。

みなさんに回答していただいた内容は、コンピュータで処理します。名前は入力しませんので、答えの中身を他の人に知られることはありません。ぜひ、アンケートに協力をおねがいします。

令和5年11月

岩倉市長 久保田 桂朗

■ ご回答にあたってのお願い ■

1. 「子ども用」のアンケートには、子どもご本人が答えください。
2. 答えは、あてはまる番号を選ぶ場合がほとんどです。質問によって、選ぶ数が違います。「その他」を選ぶ場合には、具体的な内容を入力してください。
3. 回答は12月11日（月）までにお願いします。
4. 通信環境がなくて答えられない場合は、下の電話番号に連絡をしてください。紙のアンケートを送ります。



回答はこちらから→

調査に関する問合わせ先：岩倉市役所 教育こども未来部 子育て支援課 担当：山田、大島

電話：0587-38-5810(直通) FAX：0587-66-6380

調査票3) 子どもの権利についてのアンケート調査 (子ども用)

1. 日ごろの生活や過ごし方について、お聞きします。

問1 あなたは平日の放課後、主にどこで過ごしていますか(主なものを3つまで)。

1. 放課後児童クラブ(学童保育)
2. 児童館や地域交流センター(みどりの家・くすのきの家・ポプラの家)などの公共施設
3. 親戚や親戚の家
4. 家で兄弟姉妹などの子どもだけで過ごしている
5. コンビニやショッピングセンターなどで過ごしている
6. 家でのんびり過ごしている
7. 友達の家
8. 公園、児童遊園、広場
9. 学校のグラウンド
10. 部活動
11. 音楽をきく
12. テレビ・Youtube などを見る
13. ひとりでゲームをしたりマンガを読む
14. 友だちとゲームをする
15. SNS やカカオトークで人とやりとりをする
16. 本や新聞を読む
17. 友だちと遊ぶ(屋内)
18. 友だちと遊ぶ(屋外)
19. 電話で話をする
20. 絵をかいたり楽器をひいたりする
21. スポーツをする
22. 社会活動(ボランティアなど)をする
23. 休けない(何もしない)
24. その他()

問2(1) あなたは、自分の自由な時間に、何をして過ごしていることが多いですか(主なものを4つまで)。

1. 音楽をきく
2. テレビ・Youtube などを見る
3. ひとりでゲームをしたりマンガを読む
4. 友だちとゲームをする
5. SNS やカカオトークで人とやりとりをする
6. 本や新聞を読む
7. 友だちと遊ぶ(屋内)
8. 友だちと遊ぶ(屋外)
9. 電話で話をする
10. 絵をかいたり楽器をひいたりする
11. スポーツをする
12. 社会活動(ボランティアなど)をする
13. 休けない(何もしない)
14. その他()

問2(2) (1)で選んだものうち、一番よくしているのはどれですか(あてはまるものを1つ)。

1. 音楽をきく
2. テレビ・Youtube などを見る
3. ひとりでゲームをしたりマンガを読む
4. 友だちとゲームをする
5. SNS やカカオトークで人とやりとりをする
6. 本や新聞を読む
7. 友だちと遊ぶ(屋内)
8. 友だちと遊ぶ(屋外)
9. 電話で話をする
10. 絵をかいたり楽器をひいたりする
11. スポーツをする
12. 社会活動(ボランティアなど)をする
13. 休けない(何もしない)
14. その他()

問3(2) (2)で選んだものを、1日どのくらいしていますか。

平日 およそ [] 時間 [] 分
土日 およそ [] 時間 [] 分

問3 あなたには、ほっとできる場所がありますか。(あてはまるものをすべて)。

1. 自分の部屋など、家で一人でいられる場所
2. リビングなど、家で家族といられる場所
3. 友だちの家
4. 祖父母や親せきの家
5. 学校の教室
6. 学校の保健室
7. 図書館
8. 児童館・放課後児童クラブ
9. 絵や習いごとの教室など
10. 公園や山や川などの自然のあるところ
11. インターネット・SNS
12. その他 ()
13. ほっとできる場所はない

問4 あなたは休日、主にどのような過ごし方をしていますか。(あてはまるものを2つまで)。

1. 家族と一緒に過ごす
2. 友だちと遊ぶ
3. ひとりで過ごす
4. 習習塾
5. 学習塾
6. 習い事
7. SNSやブログなどで人とやりとりをする
8. 社会活動 (ボランティア) などをする
9. その他 ()

2. 友だちのことについて、お聞きします。

問5(1) 仲のよい友だちは何人いますか(あてはまるものを1つ)。

1. 1人
2. 2人
3. 3～5人
4. 6～10人
5. 11人以上

6. 仲のよい友だちはほっとしない

(2)問5(1)で1～5に回答した方にかがいます
仲のよい友だちの中に、次のような人はいいますか
(あてはまるものをすべて)。

1. 学年のちがう友だち
2. 通っている学校がちがう友だち
3. 異性の友だち
4. SNSやメールやチャットだけで交流している友だち
5. この中にあてはまる友だちはいない

問6 あなたは友だちやクラスメイトとどのような話をしていますか(主なもの4つまで)。

1. テレビ番組やYoutubeのこと
2. 音楽、マンガ、ゲームのこと
3. 好きな歌手やタレントのこと
4. スポーツに関すること
5. 先生のこと
6. 友だちのこと
7. 勉強やテストのこと
8. 部活動やクラブ活動のこと
9. 悩んでいること
10. 将来の夢や目標のこと
11. 性格のこと
12. 家族のこと
13. 恋愛のこと
14. 地域や社会のこと
15. おしやえれに関すること
16. その他 ()

3. あなた自身のことについて、お聞きします。

問7 あなたの学年をお答えください(あてはまるものを1つ)。

1. 小学4年生
2. 中学2年生
3. 高校2年生にあたる年齢

問8 今の生活は楽しいですか(あてはまるものを1つ)。

1. 楽しいと思う
2. どちらかといえば楽しいと思う
3. どちらかといえば楽しいと思わない
4. 楽しいと思わない

問9 いま通っている学校での生活は楽しいですか(①～⑤まで、それぞれ、あてはまるもの1つ)。学校を病気になるまで長期休んでいる場合は⑥を選んでください。学校に通っていない場合は⑦を選んでください。

	楽しい	どちらかという いいえ	どちらとも いいえ	楽しくない	やっ て い な い
①学校の授業	1	2	3	4	
②クラブ活動・部活動	1	2	3	4	
③友達との関係	1	2	3	4	
④先生との関係	1	2	3	4	
⑤学校生活全体	1	2	3	4	
⑥学校を長期休んでいる (中学卒業後、働 いているなど)					

問10 あなたは自分のことが好きですか。(あてはまるもの1つ)。

1. 好き 2. どちらかという
と好き 3. どちらかという
と嫌い 4. 嫌い

問11 あなたは色々なことに積極的に挑戦できますか。(あてはまるもの1つ)。

1. 挑戦できる 3. どちらかとい
えば挑戦できない
2. どちらかとい
えば挑戦できない 4. 挑戦できない

問12 平日は主にどれと食事をしていま
すか(朝食・夕食それぞれについて、あてはまるもの1つずつ)。

(1) 朝食	(2) 夕食
1. 家族と食べる	1. 家族と食べる
2. 一人で食べる	2. 一人で食べる
3. 食べない	3. 食べない
4. その他 ()	4. その他 ()

問13 今、あなたが悩んだり困ったりしていることはありますか(あてはまるものすべて)。

1. 家族のこと 7. 将来のこと
2. 友だちのこと 8. 地域や社会のこと
3. 異性のこと 9. 自分の性格やからだのこと
4. 先生のこと 10. その他 ()
5. 勉強のこと 11. 悩んでいることはない
6. 習い事のこと

問14 悩みや困ったことがあるときに、あなたが相談するのはだれですか(あてはまるものすべて)。

9. 児童館や放課後児童クラブの先生
10. 塾や習い事の先生
11. SNS やLINEなどで交流している人
12. 電話などによる相談
13. 近所の人
14. その他 ()
15. 相談できる人はいます
1. お母さん
2. お父さん
3. おじいさん・おばあさん
4. きょうだい
5. 友だち
6. 担任の先生
7. 担任以外の学校の先生
8. 学校にいる相談員

問15 この中で、あなたが他の人からさらされて嫌な思いをしたことすべてを選んでください。

1. 理由もなくたたかれたり、けられたり、暴力をふるわれる
2. 自分の性格のことや、話し方、体のことについて悪口を言われる
3. お金や、持ち物をとられる
4. 持ち物をかくされたり、こわされたりする
5. ノートや教科書、つくえに落書きをされる
6. あそびや、話の仲間に入れてもらえない
7. インターネットのチャットやブログなどに悪口を書かれる
8. 外国人だといって、からかわれる
9. この中にはない

問16 あなたはこれまでに、だれかからひどくたたかれたり、言葉や態度でひどく傷つけられたりしたことがありますか(①～⑥まで、それぞれ、あてはまるもの1つ)。

	ない	1回ある	2回以上ある
①親からひどくたたかれた	1	2	3
②クラスメイト・先輩などからひどくたたかれた	1	2	3
③先生からひどくたたかれた	1	2	3
④親から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた	1	2	3
⑤クラスメイト・先輩などから厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた	1	2	3
⑥先生から厳しい言葉をかけられたり、冷たい態度をとられた	1	2	3

問17 この中で、あなたが他の人にしたことがあるものすべてを選んでください。

1. 理甲もなくたたいたり、けつたりと、暴力をふるう
2. 自分の性格のことや、話し方、体のことについて悪口を言う
3. お金や、持ち物をとる
4. 持ち物をかくしたり、こわしたりする
5. ノートや教科書、つくえに落書きをする
6. あそびや、話の仲間に入れない
7. インターネットのチャットやブログに悪口を書く
8. 外国人だといって、からかう
9. この中にはない

問18 あなたの家の「経済的な生活レベル」について、あなたはどのよう思いますか(あてはまるもの1つ)。

1. かなり豊かだ
2. まあまあ豊かだ
3. どちらとも言えない
4. やや苦しい
5. かなり苦しい
6. わからぬ

4. 子どもの権利・参加について、お聞きします。

問19 岩倉市子ども条例を知っていますか。(あてはまるもの1つ)。

1. 内容まで知っている
2. 名前だけ知っている
3. 知らない

問20 子どもが幸せに暮らすために守らなければならないことを「子どもの権利」と言います。あなたは、いつもの生活の中で守られていない、満たされていない権利は何だと思いますか(あてはまるものすべて)。

1. 自分が認められ、尊重されること
2. 考えや気持ちを自由に持ち、それを表明すること
3. 自分のことを自分で決めること
4. 遊び、学び、休息すること
5. 自然、歴史、文化、芸術、スポーツに親しむこと
6. 家族で食事や会話等の楽しい時間を過ごすこと
7. 夢を持ち、夢に向かって挑戦すること
8. 命が守られること
9. 暴力や犯罪から守られること
10. 健康に生活し、適切な治療が受けられること
11. 差別を受けないこと
12. 愛情と理解をもって育てられること
13. 平和な環境で生活できること
14. ブライバジャーや名誉が守られること
15. 自分に関係することについて意見を言ったり、参加したりすること
16. 特にない

問21 親や先生といった大人に決められるのではなく、自分で決めたいと思うことは、どのようなことですか(あてはまるものすべて)。

- | | |
|--|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 友だち 2. 将来のこと (進学や就職など) 3. 服やファッション 4. 家に帰る時間 5. 習い事や塾 6. 学校のきまり・校則 7. 運動会や文化祭など、学校の行事 8. 学校の授業 9. クラブ活動や部活動 | <ol style="list-style-type: none"> 10. 児童会や生徒会活動 11. 入学式や卒業式 12. 遊ぶ場所 13. テレビやゲーム 14. 携帯電話・スマートフォン・タブレットを持つこと 15. その他 () 16. 特にない |
|--|---|

5. 岩倉のまちについて、お聞きします。

問22 岩倉市がまちづくり(市民にとって、住みやすいまちにすることを話し合うとき)、子どもはどうするべきだと思いますか(あてはまるもの1つ)。

1. 会議などに出て、意見をいうべきである
2. 学級会などで話し合いをし、その結果を先生が伝えるのがよい
3. 家の人と話して、その内容を家の人が伝えるのがよい
4. それを考えるのは大人の仕事であるから、関係がない
5. その他 ()

問23(1) 子どもが学校や地域の活動について、自分の意見を言う場があれば、参加してみたいと思いますか(あてはまるもの1つ)。

<ol style="list-style-type: none"> 1. 参加したい 2. どちらかといえば参加したい 3. どちらかといえば参加したくない 4. 参加したくない 	<p>(2) そのように思う理由は何ですか。 (あてはまるものすべて)。</p> <table border="1"> <tr> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. おもしろそうだから 2. もっと学校や地域をよくしたいから 3. 自分たちで決めたいから 4. 大人に任せたくないから 5. その他 () </td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. おもしろくないから 2. 面倒くさそうだから 3. なにも変わらないから 4. 大人が決めるべきだから 5. その他 () </td> </tr> </table>	<ol style="list-style-type: none"> 1. おもしろそうだから 2. もっと学校や地域をよくしたいから 3. 自分たちで決めたいから 4. 大人に任せたくないから 5. その他 () 	<ol style="list-style-type: none"> 1. おもしろくないから 2. 面倒くさそうだから 3. なにも変わらないから 4. 大人が決めるべきだから 5. その他 ()
<ol style="list-style-type: none"> 1. おもしろそうだから 2. もっと学校や地域をよくしたいから 3. 自分たちで決めたいから 4. 大人に任せたくないから 5. その他 () 	<ol style="list-style-type: none"> 1. おもしろくないから 2. 面倒くさそうだから 3. なにも変わらないから 4. 大人が決めるべきだから 5. その他 () 		

6. ヤングケアラーについて、お聞きします。

ヤングケアラーとは、「ふつうは大人がしている家のことや家族のお世話などを、子どもが代わりにしていたり、お手伝いに時間などがとられ、子ども自身がやりたいことができなくなったりするなど、子ども自身の権利が守られていないと認められる子ども」のことをいいます。

お世話の具体的な例として、次のようなことなどがあります。

- ・家事(食事の準備や掃除、洗濯)
- ・ぐちを聞く、話し相手になるなど感情面のサポート
- ・見守り
- ・むかえなど
- ・入浴やトイレのお世話などの介護
- ・買い物、散歩など外出のつきそい
- ・お金や薬の管理
- ・病院に行くときのつきそい

問24 「ヤングケアラー」という言葉を聞いたことがありますか(あてはまるもの1つ)。

1. 聞いたことがあり、内容も知っている
2. 聞いたことはあるが、よく知らない
3. 聞いたことはない

問25(1) 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまるもの1つ)。
『お世話とは、本当なら大人がするような家事や家族の世話などをすることです。』

1. いる
2. いない

(2) (問25(1)で1に回答した方にかがいます)

だれのお世話をしていますか。あてはまるものすべてを選んでください。

1. 母親
2. 父親
3. おじいさん・おばあさん
4. きょうだい
5. その他 ()

(3) (問25(1)で1に回答した方にかがいます)

どんなことをしていますか。あてはまるものすべてを選んでください。

1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯)
2. きょうだいの世話や保育園などへの送迎
3. 入浴やトイレのお世話などの介護
4. 買い物、散歩など外出のつきそい
5. 病院に行くときのつきそい
6. ぐちを聞く、話し相手になるなど感情面のサポート
7. 見守り
8. 日本語や手話など通訳
9. お金の管理
10. 薬の管理
11. その他 ()

(4) (問25(1)で1に回答した方にかがいます)

あなたは、お世話をしていることで、次のようなことがありますか。あてはまるものすべてを選んでください。

1. 学校を休みがちになっている
2. 学校への遅刻が多い
3. 電話動ができな
4. 勉強の時間が十分に取れない
5. 友だちと遊ぶことができない
6. 周りの人と会話や話題が合わない
7. ケアについて話せる人がいなくて、ひとりぼっちに感じる
8. ストレスに感じている
9. 寝る時間が短い
10. 食事の時間がとれない
11. 体がつらい
12. 自分の時間がとれない
13. 色々なことを考える余裕がない
14. 色々なことを考える余裕がない
15. 家族が喜んでくれてうれし
16. 特に影響はない
17. その他 ()

7. 児童館・地域交流センター(みどりの家・くすのきの家・ポプラの家)について、お聞きします。

問26(1) 放課後児童クラブ以外で児童館・地域交流センター(みどりの家・くすのきの家・ポプラの家)に行つたことはありますか(あてはまるもの1つ)。

1. はい
2. いいえ

(2) (問26(1)で1に回答した方にかがいます)

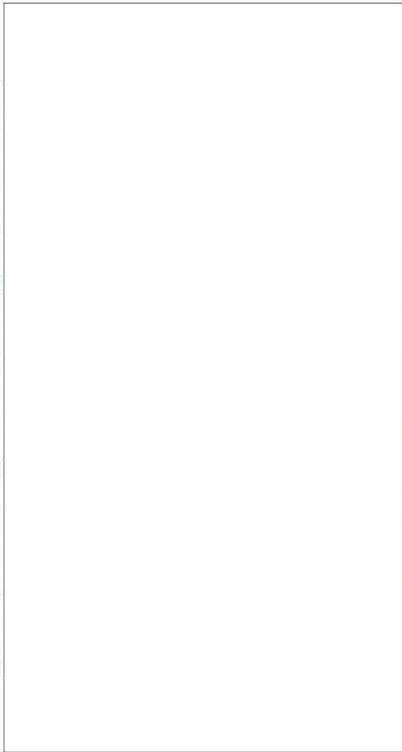
児童館・地域交流センター(みどりの家・くすのきの家・ポプラの家)へは何をしに行きましたか(あてはまるものすべて)。

1. クラブ活動や教室に参加する
2. イベントや行事 (夏祭りやおはなし会など) に参加する
3. 友だちと遊んだり話したりする
4. 図書室を利用する
5. 宿題や勉強をする
6. スポーツをする (卓球など)
7. その他 ()

問27 どんな児童館・地域交流センター(みどりの家・くすのきの家・ポプラの家)なら行きたいですか。(行きたくなるもの3つまで)。

1. 参加できるクラブ活動や教室が多くある
2. 多くのイベントに参加できる
3. 友だちと遊んだり話したりできる場所がある
4. 遊ぶおもちゃがたくさんある
5. ひとりでも過ごしやすい雰囲気がある
6. 宿題や勉強ができるスペースがある
7. 新しい本がたくさんある
8. 児童館の先生と気軽に話すことができる (悩み事を相談できる)
9. 知らない子とスポーツなどで交流ができる
10. その他 ()

自由意見(大人に対して言いたいことなど、ご自由に記入してください)



【アンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。】

調査票4) 子どもの権利についてのアンケート調査 (保護者用)

保護者用

子どもの権利についてのアンケート調査

日頃より岩倉市の市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
 岩倉市では、将来にわたって安心して子どもたちが暮らすことのできるまちをめざして「岩倉市子ども条例」を制定しています。また、岩倉市子ども条例に基づいて、子どもの意見表明・参加や、子どもの居場所づくりなど、子どもの権利を保障する観点から岩倉市子ども行動計画を策定しています。その計画の計画期間が令和6年度で終了することから、皆さんの子どもに対する意見や現状をお聞きし、次期計画策定の基礎資料として活用するため、アンケート調査を実施することになりました。
 アンケート調査は、岩倉市在住の小学4年生と中学2年生、高校2年生にあたる年齢のお子さんとその保護者の皆さまに、ご協力をお願いしています。
 回答いただいた内容は、市や国、県の子ども・子育て支援施策の検討のみご利用し、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に持ちたりのことは一切ございません。
 つきましては、ご多忙のところ大変申し訳ありませんが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和5年 11月

岩倉市長 久保田 桂朗

■ご回答にあたってのお願い■

1. 各設問とも、あてはまる番号を選択する場合がございます。設問によって、選択する数が異なります。「その他」を選択した場合には、具体的な内容を入力してください。
2. 調査対象のお子さんが複数いる場合は、お子さん1人につき1回、お答えください。
3. 調査の回答は12月11日(月)までにお願いたします。
4. 通信環境がないなど、回答できない場合は下記までご連絡ください。
紙の調査票を送付いたします。



回答はこちらから →

調査に関する問合せ：岩倉市役所 教育こども未来部 子育て支援課 担当：山田、大島
 電話：0587-38-5810(直通) FAX：0587-66-6380

子どもの権利について、お聞きます。

問1 岩倉市子ども条例を知っていますか(あてはまるもの1つ)。

1. 内容まで知っている
2. 名前だけ知っている
3. 知らない

問2 普段の生活の中で「守られていない」、「満たされていない」子どもの権利は何だと思えますか(あてはまるものすべて)。

1. 偏見が認められ、尊重されること
2. 考えや気持ちを自由に持ち、それを表明すること
3. 自分のことを自分で決めること
4. 遊び、学び、休息すること
5. 自然、歴史、文化、芸術、スポーツに親しむこと
6. 家族で食事や会話等の楽しい時間を過ごすこと
7. 夢を持ち、夢に向かって挑戦すること
8. 命が守られること
9. 暴力や犯罪から守られること
10. 健康に生活し、適切な治療が受けられること
11. 差別を受けがないこと
12. 愛情と理解をもって育まれること
13. 平和な環境で生活できること
14. プライバシーや名誉が守られること
15. 自分に関係することについて意見を言ったり、参加したりすること
16. 特になし

問3 岩倉市がまちづくりを行うときに、子どもはどうするべきであると思えますか(あてはまるもの1つ)。

1. 会議などに出て、意見を言うべきである
2. 学級会などで話し合いをすればよい
3. 家の人と話しをすればよい
4. それを考えるのは大人の仕事であるから、子どもは関係がない
5. その他 ()

問4 おうちの方からごらんになる限り、お子さんは、お子さん自身のことが好きだと思えますか(あてはまるもの1つ)。

1. 好き
2. どちらかというと好き
3. どちらかというと嫌い
4. 嫌い

問5 お子さんが、友だちと遊んだり話したりする場所として、「もっとこのような場所があれば」とか、「もっと使いやすい方がいい」と思う場所はどんなところですか（自由に記入してください）。

問6 「岩倉市子ども条例」第8条では、保護者の責務と役割について、子どもがすこやかに育つよう、愛情を持って全力で探検や指導をしていくよう努める必要があること、としています。
お子さんとの関係に関する以下の項目それぞれについて、あなたはどのように思われますか（項目ごとにあてはまるもの1つずつ）。

	そう思う	だいたい そう思う	あまり そう思わない	そう思わない
①子どもの好きなことをよくわかっている	1	2	3	4
②子どもと仲の良い女だちの名前をほとんど知っている	1	2	3	4
③子どもに信頼されている	1	2	3	4
④子どもの将来の夢が分かろうよう、手助けしている	1	2	3	4
⑤子どもの学校の様子や出来事をよく知っている	1	2	3	4
⑥子どもにも悩み事がある場合は、話を聞いている	1	2	3	4
⑦子どもの健康状態を把握している	1	2	3	4
⑧子ども自身のことを決めるとき、子どもの意見をきいている	1	2	3	4

最後にあなたのことについて、お聞きます。

問7 子育てをしていて良かったと感じたことは何ですか（主なものを3つまで）。

1. 子どもといることで幸福感を感じる	6. 友だちが増えた
2. 子どもの成長をみると充実感を感じる	7. 自分が育ててもらったことを感謝できるようになった
3. 子どもとともに自分も成長できた	8. 特になし
4. 家族の絆が強まった	9. その他（ ）
5. 視野が広がった	

問8 あなたの世帯の現在の暮らし向きについてうかがいます（あてはまるもの1つ）。

1. 大変ゆとりがある
2. ややゆとりがある
3. 普通
4. やや苦しい
5. 苦しい

問9 お子さんの学年をお答えください（あてはまるもの1つ）。

1. 小学4年生
2. 中学2年生
3. 高校2年生にあたる年齢

意見などがあればご自由に記入してください。

【以上で、アンケートは終わります。ご協力ありがとうございました。】

子ども・子育て支援についてのアンケート調査・
お子さんの放課後の過ごし方についてのアンケート調査・
子どもの権利についてのアンケート調査（子ども用・保護者用）
結果報告書

発行：令和6年3月 / 岩倉市
編集：岩倉市 教育こども未来部 子育て支援課
〒482-8686
愛知県岩倉市栄町一丁目 66 番地
Tel 0587-38-5810（直通）
ホームページ <https://www.city.iwakura.aichi.jp/>